

滋賀県立大学工学部棟他トイレ改修工事

図面リスト

番号	図面名称	縮尺
M-01	機械設備特記仕様書	NOSCALE
M-02	共通 給排水衛生設備 衛生器具リスト	NOSCALE
	C1-1 共同装置棟	
M-03	C1-1 給排水衛生設備 2階平面詳細図（撤去・改修後）	1/50
M-04	C1-1 換気設備 2階平面詳細図（撤去・改修後）	1/50
	C2 実習工事棟	
M-05	C2 給排水衛生設備 1階平面図（撤去・管更生・改修後）	1/100
M-06	C2 給排水衛生設備 2階平面詳細図（撤去・管更生・改修後）	1/50
M-07	C2 換気設備 2階平面詳細図（撤去・改修後）	1/50
	C3 材料棟	
M-08	C3 給排水衛生設備 1階平面詳細図（撤去・管更生・改修後）	1/50
M-09	C3 給排水衛生設備 2階平面詳細図（撤去・管更生・改修後）	1/50
M-10	C3 給排水衛生設備 3階平面詳細図（撤去・管更生・改修後）	1/50
M-11	C3 換気設備 1, 2階平面詳細図（撤去・改修後）	1/50
M-12	C3 換気設備 3階平面詳細図（撤去・改修後）	1/50

機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書				特 記 事 項				特 記 事 項				種目	適用	項 目				特 記 事 項																
工 事 概 要	工 事 名 称			滋賀県立大学C棟トイレ改修後期工事			一 般 共 通 事 項	工 事 場 所			滋賀県彦根市八坂町2500			給 湯 設 備	工 事 期 間 ・ 限			令和 年 月 日			7	給 湯 設 備	工 事 範 囲 及 び 説 明			既設共同装置棟(C1-1)・実習工事棟(C2)・材料棟(C3)の便所改修に伴う洗面・手洗いの電気温水器の新設を行う。 鉄製セクショナルボイラ、鋼製ボイラ、ガス炊きボイラ 〔電気温水器〕給湯器 A重油、灯油、LPGガス、都市ガス(13A)、〔電気 脱酸銅管M、ステンレス銅管、耐熱ビニルライニング銅管 保温付き被覆銅管(保温厚14mm以上)、ポリプテン管								
	工事概要説明			滋賀県立大学の便所改修を行う 上記に伴う機械設備工事の一切を行う。																			○ 工事範囲及び説明			既設共同装置棟(C1-1)・実習工事棟(C2)・材料棟(C3)の便所改修に伴う機器・ダクトの改修を行う。 壁付換気扇、天井埋込換気扇・全熱交換器・〔ダクトファン〕								
	※該当工事には適用欄に○印を附す。																						○ 送風機			外壁より2m以内は保温すること。 送風機据付については、防音、防振に注意して施工のこと。 機器リストによる。								
	適用			No				工 事 種 目			工 種				備 考													○ 給湯ボイラ						
				1				受 水 設 備			○																	○ 熱配管材料			保温工事			
	○			2				給 水 設 備			○																							
	○			3				排 水 通 気 設 備			○				既設排水管の管更生を行う。																			
	○			4				衛 生 器 具 設 備			○																							
	○			5				ガ ス 設 備																										
	○			6				消 火 設 備																										
	○			7				給 湯 設 備			○				洗面器付属の貯湯式電気温水器の設置を行う。																			
○			8			換 気 設 備			○																									
○			9			排 煙 設 備																												
○			10			暖 房 設 備																												
○			11			冷 房 設 備																												
○			12			空 気 調 和 設 備																												
○			13			放 熱 器																												
○			14			保 温 工 事																												
○			15			給 湯 設 備																												
○			16			衛 生 器 具 設 備																												
○			17			ガ ス 設 備																												
○			18			消 火 設 備																												
○			19			給 湯 設 備																												
○			20			換 気 設 備																												
○			21			排 煙 機																												
○			22			暖 房 設 備																												
○			23			冷 房 設 備																												
○			24			空 気 調 和 設 備																												
○			25			放 熱 器																												
○			26			保 温 工 事																												
○			27			給 湯 設 備																												
○			28			衛 生 器 具 設 備																												
○			29			ガ ス 設 備																												
○			30			消 火 設 備																												
○			31			給 湯 設 備																												
○			32			換 気 設 備																												
○			33			排 煙 機																												
○			34			暖 房 設 備																												
○			35			冷 房 設 備																												
○			36			空 気 調 和 設 備																												
○			37			放 熱 器																												
○			38			保 温 工 事																												
○			39			給 湯 設 備																												
○			40			衛 生 器 具 設 備																												
○			41			ガ ス 設 備																												
○			42			消 火 設 備																												
○			43			給 湯 設 備																												
○			44			換 気 設 備																												
○			45			排 煙 機																												
○			46			暖 房 設 備																												
○			47			冷 房 設 備																												
○			48			空 気 調 和 設 備																												
○			49			放 熱 器																												
○			50			保 温 工 事																												
○			51			給 湯 設 備																												
○			52			衛 生 器 具 設 備																												
○			53			ガ ス 設 備																												
○			54			消 火 設 備																												
○			55			給 湯 設 備																												
○			56			換 気 設 備																												
○			57			排 煙 機																												
○			58			暖 房 設 備																												
○			59			冷 房 設 備																												
○			60			空 気 調 和 設 備																												
○			61			放 熱 器																												
○			62			保 温 工 事																												
○			63			給 湯 設 備																												
○			64			衛 生 器 具 設 備																												
○			65			ガ ス 設 備																												
○			66			消 火 設 備																												
○			67			給 湯 設 備																												
○			68			換 気 設 備																												
○			69			排 煙 機																												
○			70			暖 房 設 備																												
○			71			冷 房 設 備																												
○			72			空 気 調 和 設 備																												
○			73			放 熱 器																												
○			74			保 温 工 事																												
○			75			給 湯 設 備																												
○			76			衛 生 器 具 設 備																												
○			77			ガ ス 設 備																												
○			78			消 火 設 備																												
○			79			給 湯 設 備																												
○			80			換 気 設 備																												
○			81			排 煙 機																												
○			82			暖 房 設 備																												
○			83			冷 房 設 備																												
○			84			空 気 調 和 設 備																												
○			85			放 熱 器																												
○			86			保 温 工 事																												
○			87			給 湯 設 備																												
○			88			衛 生 器 具 設 備																												
○			89			ガ ス 設 備																												
○			90			消 火 設 備																												
○			91			給 湯 設 備																												
○			92			換 気 設 備																												
○			93			排 煙 機																												
○			94			暖 房 設 備																												
○			95			冷 房 設 備																												
○			96			空 気 調 和 設 備																												
○			97			放 熱 器																												
○			98			保 温 工 事																												
○			99			給 湯 設 備																												
○			100			衛 生 器 具 設 備																												
○			101			ガ ス 設 備																												
○			102			消 火 設 備																												
○			103			給 湯 設 備																												
○			104			換 気 設 備																												
○			105			排 煙 機																												
○			106			暖 房 設 備																												
○			107			冷 房 設 備																												
○			108			空 気 調 和 設 備																												
○			109			放 熱 器																												
○			110			保 温 工 事																												
○			111			給 湯 設 備																												
○			112			衛 生 器 具 設 備																												
○			113			ガ ス 設 備																												
○			114			消 火 設 備																												
○			115			給 湯 設 備																												
○			116			換 気 設 備																												
○			117			排 煙 機																												
○			118			暖 房 設 備																												
○			119			冷 房 設 備																												
○			120			空 気 調 和 設 備																												
○			121			放 熱 器																												
○			122			保 温 工 事																												
○			123			給 湯 設 備																												
○			124			衛 生 器 具 設 備																												
○			125			ガ ス 設 備																												
○			126			消 火 設 備																												
○			127			給 湯 設 備																												
○			128			換 気 設 備																												
○			129			排 煙 機																												
○			130			暖 房 設 備																												
○			131			冷 房 設 備																												
○			132			空 気 調 和 設 備																												
○			133			放 熱 器																												
○			134			保 温 工 事																												
○			135			給 湯 設 備																												
○			136			衛 生 器 具 設 備																												
○			137			ガ ス 設 備																												
○			138			消 火 設 備																												
○			139			給 湯 設 備																												
○			140			換 気 設 備																												
○			141			排 煙 機																												
○			142			暖 房 設 備																												
○			143			冷 房 設 備																					</							

(新設) 衛生器具リスト

器 具 名	参 考 品 番	付 属 品	合計	C1-1 共同装置棟		C2 実習工事棟		C3 材料棟								
				2階		2階		1階		2階		3階				
				女子便所	男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	身障者便所	男子便所	女子便所	身障者便所	男子便所	女子便所	身障者便所	男子便所
	TOTO															
洋風便器	CFS498BMT（フラッシュタンク式）	便座（TCF5514＝貯湯式、擬音装置、便蓋あり、AC100V電源、消費電力314W）、センサースイッチ（HE37）、SUS製棚付2連紙巻器（YH702）	13	1	1	2	2	1			2		1	2		1
洋風便器	CFS498BMT（フラッシュタンク式）	便座（TCF5514Y＝貯湯式、擬音装置、便蓋なし、AC100V電源、消費電力314W）、センサースイッチ（HE37）、SUS製棚付2連紙巻器（YH702）	3					1			1				1	
便器消毒ディスペンサー		便器消毒ディスペンサー（サラヤ・SC-460C）	16	1	1	2	2	1	1		2	1	1	2	1	1
和風便器	C755VU（フラッシュバルブ式）	自動フラッシュバルブ（TEFV70JHA）、配管セット、電波受信ユニット（THE27）、タッチスイッチユニット（TES47WR）、擬音装置（YES412R AC100V）、SUS製棚付き2連式紙巻器（YH702）	2					1		1						
擬音装置	YES412R	AC100V	1		1											
紙巻器（2連）	YH702		1		1											
壁掛小便器（2連）	XPV22B（マイクロ波センサー）	小便器（XPV22B）×2、ライニングパーツ（UAUN82RA2W＝2連用）、小便器用手すり（T115CJ3R#NW1）、ハイドロセラ・フロア（AB690BR#HB4）×2	3							1			1			1
壁掛小便器（3連）	XPV22B（マイクロ波センサー）	小便器（XPV22B）×3、ライニングパーツ（UAUN83RA2W＝3連用）、小便器用手すり（T115CJ3R#NW1）、ハイドロセラ・フロア（AB690BR#HB4）×3	1				1									
壁掛小便器（4連）	XPV22B（マイクロ波センサー）	小便器（XPV22B）×4、ライニングパーツ（UAUN84RA2W＝4連用）、小便器用手すり（T115CJ3R#NW1）、ハイドロセラ・フロア（AB690BR#HB4）×4	1		1											
洗面器	L250CM、壁掛型	自動水栓（TLE33SB4A＝電気温水器付、AC100V電源、消費電力0.6kW）、水せっけん入れ（TS126AR）、ブラケット共、止水栓共、排水金具共	1	1												
洗面器	L270CM、壁掛型	自動水栓（TLE33SB4A＝電気温水器付、AC100V電源、消費電力0.6kW）、水せっけん入れ（TS126AR）、ブラケット共、止水栓共、排水金具共	3						1			1				1
ボウル一体型洗面器	LS351CM、スタンダード、陶器タイプ	L=1000、陶器タイプ 自動水栓（REAH03B1RS26SK＝電気温水器付、AC100V電源、消費電力0.6kW）、水せっけん入れ（TS126AR）、ブラケット共、止水栓共、排水金具共	3					1			1			1		
ボウル一体型洗面器	LS351CM、スタンダード、陶器タイプ	L=1400、陶器タイプ 自動水栓（REAH03B1RS26SK＝電気温水器付、AC100V電源、消費電力0.6kW）、水せっけん入れ（TS126AR）、ブラケット共、止水栓共、排水金具共	1		1											
ボウル一体型洗面器（2連）	LS351CM、スタンダード、ボウル2連、陶器タイプ	L=1970、陶器タイプ 自動水栓（REAH03B1RS26SK＝電気温水器付、AC100V電源、消費電力0.6kW）×2、水せっけん入れ（TS126AR）×2、ブラケット共、止水栓共、排水金具共	3							1			1			1
ボウル一体型洗面器（2連）	LS351CM、スタンダード、ボウル2連、陶器タイプ	L=2020、陶器タイプ 自動水栓（REAH03B1RS26SK＝電気温水器付、AC100V電源、消費電力0.6kW）×2、水せっけん入れ（TS126AR）×2、ブラケット共、止水栓共、排水金具共	2			1	1									
掃除用流し	SK22A	横水栓（T23AEQ20C）、リムカバー（TK22）、バックハンガー共、止水栓共、床排水金具共	6	1	1		1			1			1			1
モップ掛けパネル	UTR422S		4							1			1			1
化粧鏡	EL8001S	洗面器用450×600、取付金具共	2	1	1											
化粧鏡	EL80017	洗面器用450×1000、取付金具共	13			2	2	1		2	1		2	1		2
化粧鏡	YMK50K	全身用300×16×1500、取付金具共	12		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
傾斜鏡	LH530	車いす用傾斜型528×193×664	3						1			1			1	
フック	YKH22		4	1					1			1			1	
手すり（L型）	T112CL9	L型、取付金具共	3						1			1			1	
手すり（はね上げ型）	T112HK6R	はね上げ型、取付金具共	3						1			1			1	
フィッティングボード	YKA41R		3						1			1			1	
ペビーチェア	YKA15S	平壁設置タイプ	3						1			1			1	

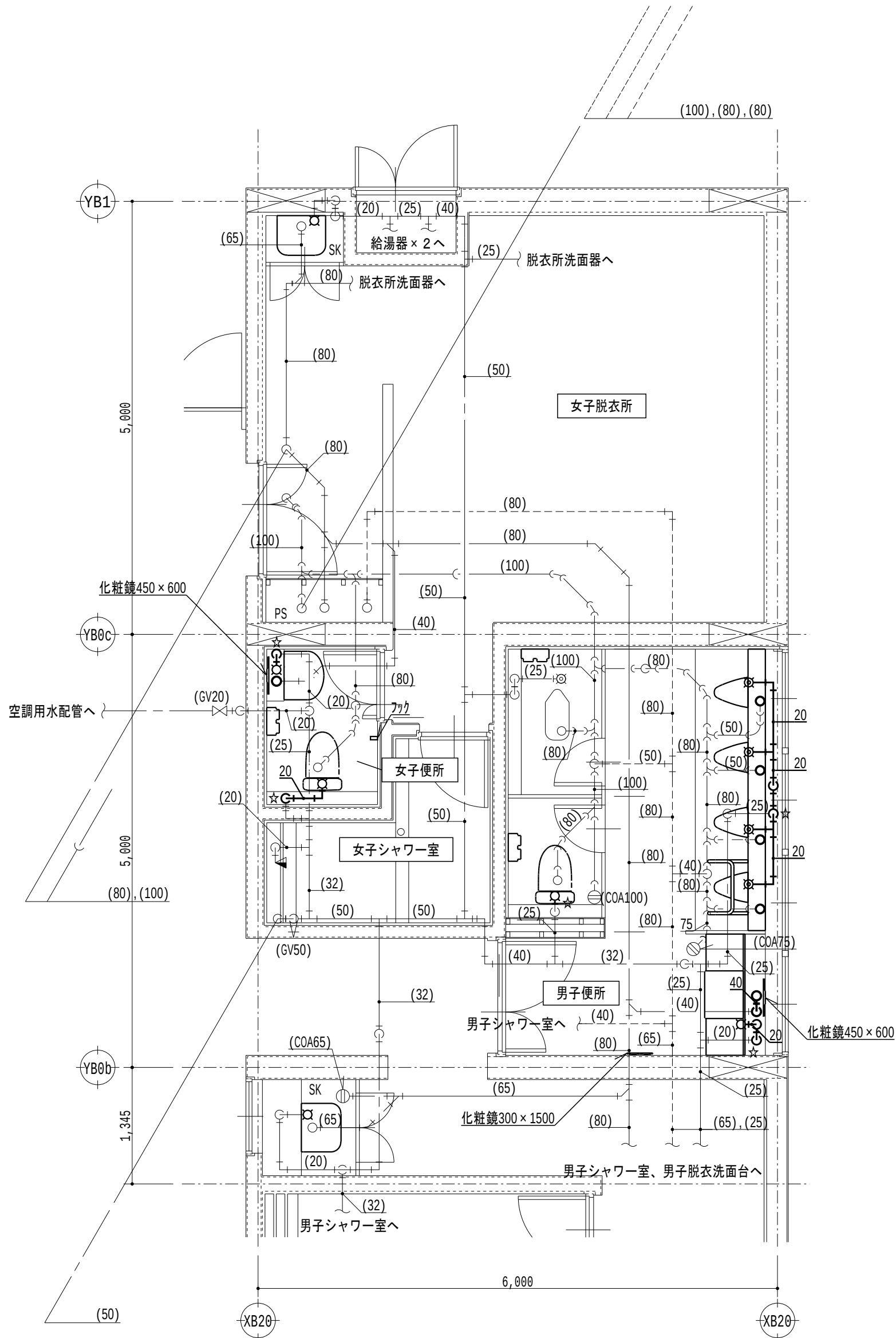
- 注記事項
- | |
|---|
| 1. 品番は便宜上、TOTO（株）とする |
| 2. リストに記載なき必要な付属品は標準品を設置すること |
| 3. ライニング、カウンター等の詳細図寸法について、建築施工図を確認したうえで発注すること |
| 4. 色の選択が可能な器具類について、発注者と協議のうえで決定すること |
| 5. 器具取付部分の補強は建築工事とするが、補強の必要箇所及び採用メーカーの取付要領を建築工事施工業者へ提示し、調整を行うこと |
| 6. 採用するメーカーの仕様書を電気設備施工業者へ提示し、電源供給（器具の位置）等の調整を行うこと |
| 7. 設備より建築へハイドロセラフロアを支給し、建築工事で取付を行うこと |

撤去

改修後

C1-1 2階

女子便所		撤去・処分
名称	仕様	数量
洋風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1
掃除流し	水栓共	1
手洗器	壁掛型、水栓・水せつけん入れ共	1
化粧鏡		1



C1-1 給排水衛生設備 2階平面詳細図(改修後) S = 1/50

凡例		
記 号	名 称	備 考
	洗浄弁	
	水栓	
	掃除口	

記 号	名 称	備 考
	洗淨弁	
	水栓	
	掃除口	

注記

1. 太線は新設を示す
2. 細線は既設を示す
3. 特記なき配管は天井内、PS内、空隙壁中配管とする
4. 和便器を除く、衛生器具の新設を行う
5. ☆は既設配管の接続箇所を示す

撤去

（撤去）換気機器リスト

記号	機器名称	機器仕様	動力			台数 (台)	設置室名	備考
			電圧 (φ・V)	容量 (kW)	始動 方式			
EF-1	斜流送風機	型 式：天吊形 仕 様：250φ × 590m³/h × 110Pa	1-100	0.04	LS	1	C1-1 共同装置棟 2階 男子便所	形状：400×330×400H 重量：9kg
EF-4	斜流送風機	型 式：天吊形 仕 様：250φ × 590m³/h × 110Pa	1-100	0.04	LS	1	C1-1 共同装置棟 2階 男子便所	形状：400×330×400H 重量：9kg
EF-5	斜流送風機	型 式：天吊形 仕 様：225φ × 1000m³/h × 100Pa	1-100	0.08	LS	1	C1-1 共同装置棟 2階 男子便所	形状：400×330×400H 重量：9kg
EF-6	斜流送風機	型 式：天吊形 仕 様：150φ × 210m³/h × 80Pa	1-100	0.022	LS	1	C1-1 共同装置棟 2階 男子便所	形状：340×250×200H 重量：3.5kg
注）撤去送風機共通事項								
1. 付属品共、場外搬出処分とする								

改修後

（新設）換気機器リスト

記号	機器名称	機器仕様	動力			台数 (台)	設置室名	備考
			電圧 (φ・V)	容量 (kW)	始動 方式			
EF-1	斜流送風機	型 式：天吊形 仕 様：250φ × 600m³/h × 90Pa 付属品：防振吊金具、他標準付属品一式	1-100	0.058	LS	1	C1-1 共同装置棟 2階 男子便所	品番：（参考）三菱JF-70SA2
EF-4	斜流送風機	型 式：天吊形 仕 様：300φ × 590m³/h × 110Pa 付属品：防振吊金具、他標準付属品一式	1-100	0.127	LS	1	C1-1 共同装置棟 2階 男子便所	品番：（参考）三菱JF-90SA2
EF-5	斜流送風機	型 式：天吊形 仕 様：300φ × 1000m³/h × 100Pa 付属品：防振吊金具、他標準付属品一式	1-100	0.205	LS	1	C1-1 共同装置棟 2階 男子便所	品番：（参考）三菱JF-120SA2
EF-6	斜流送風機	型 式：天吊形 仕 様：250φ × 250m³/h × 70Pa 付属品：防振吊金具、他標準付属品一式	1-100	0.087	LS	1	C1-1 共同装置棟 2階 男子便所	品番：（参考）三菱JF-50SA2

注）送風機共通事項

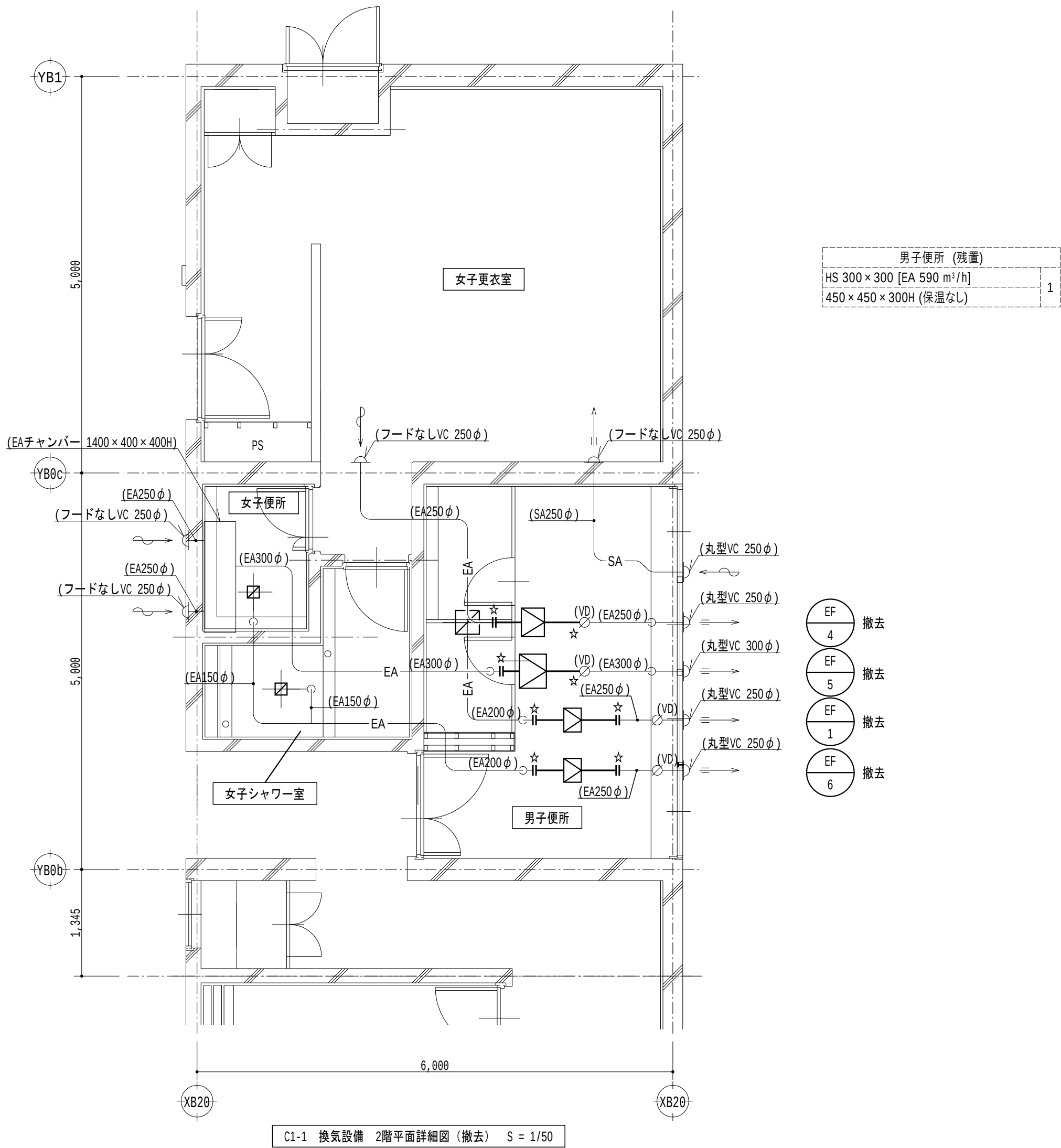
1.電気容量は参考値とし、記載以下とする

2.ファンへの接続は、たわみ継手とする

3.機器表中記載の〇〇Paは機外静圧を示し、参考値とする

4.その他はメーカー基準とする

5.排気送風機、天井埋込型換気扇のスイッチは別途電気設備工事とする（配線、機器接続を含む）



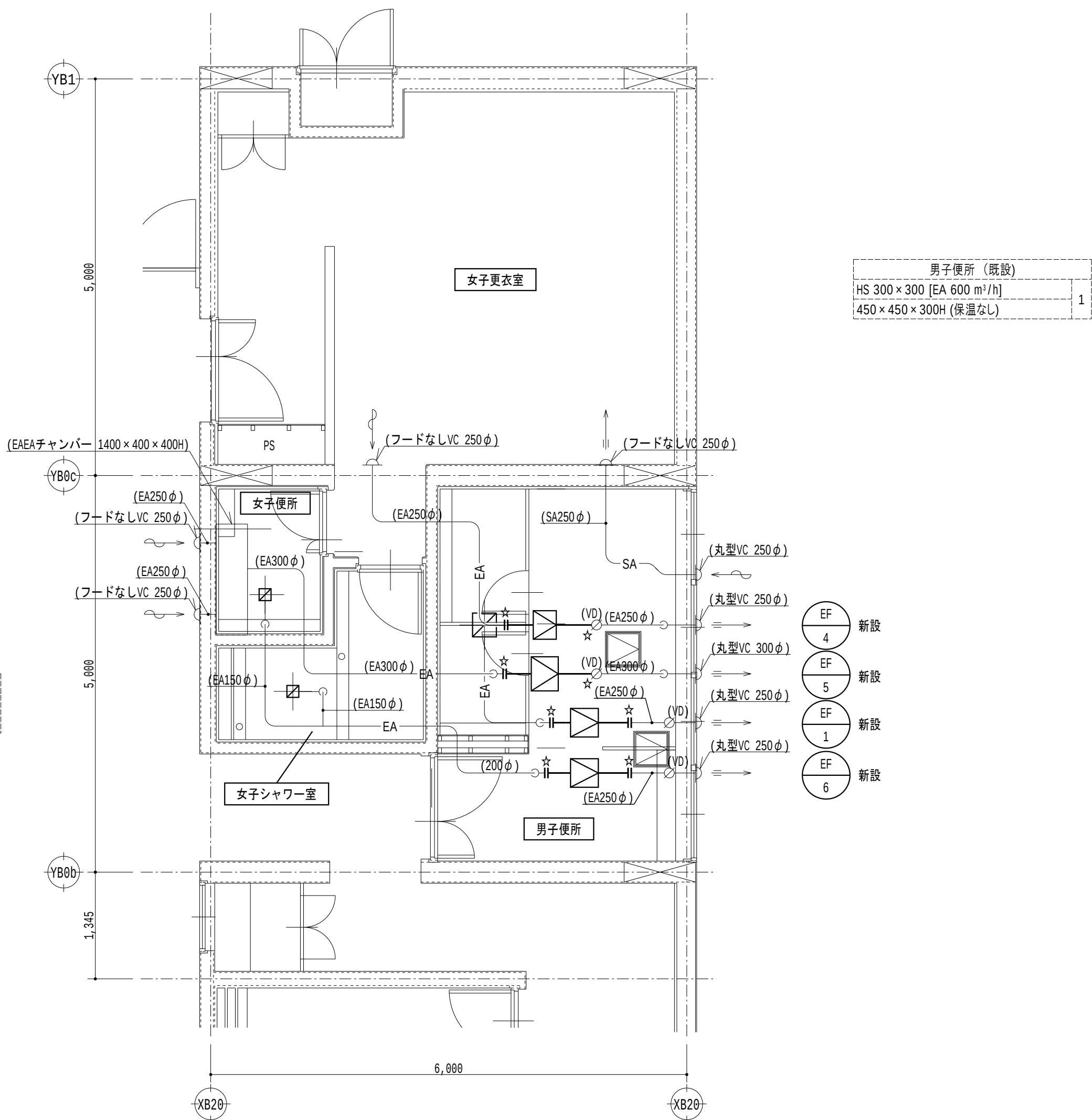
C1-1 換気設備 2階平面詳細図（撤去） S = 1/50

記 号	名 称	備 考
—	ダクト	
∅ ^{VD}	風量調整ダンパー	

記 号	名 称	備 考
⊠	制気口	
←≡∠	ベントキャップ	

注記

- 太線は撤去を示す
- 細線は残置を示す
- 特記なきダクトは天井内配管とする
- ☆は切断箇所を示す



C1-1 換気設備 2階平面詳細図（改修後） S = 1/50

記 号	名 称	備 考
—	ダクト	
∅ ^{VD}	風量調整ダンパー	

記 号	名 称	備 考
⊠	制気口	
←≡∠	ベントキャップ	

注記

- 太線は新設を示す
- 細線は既設を示す
- 特記なきダクトは天井内配管とする
- ☆は接続箇所を示す

令和6年 3月 日

滋賀県立大学財務課

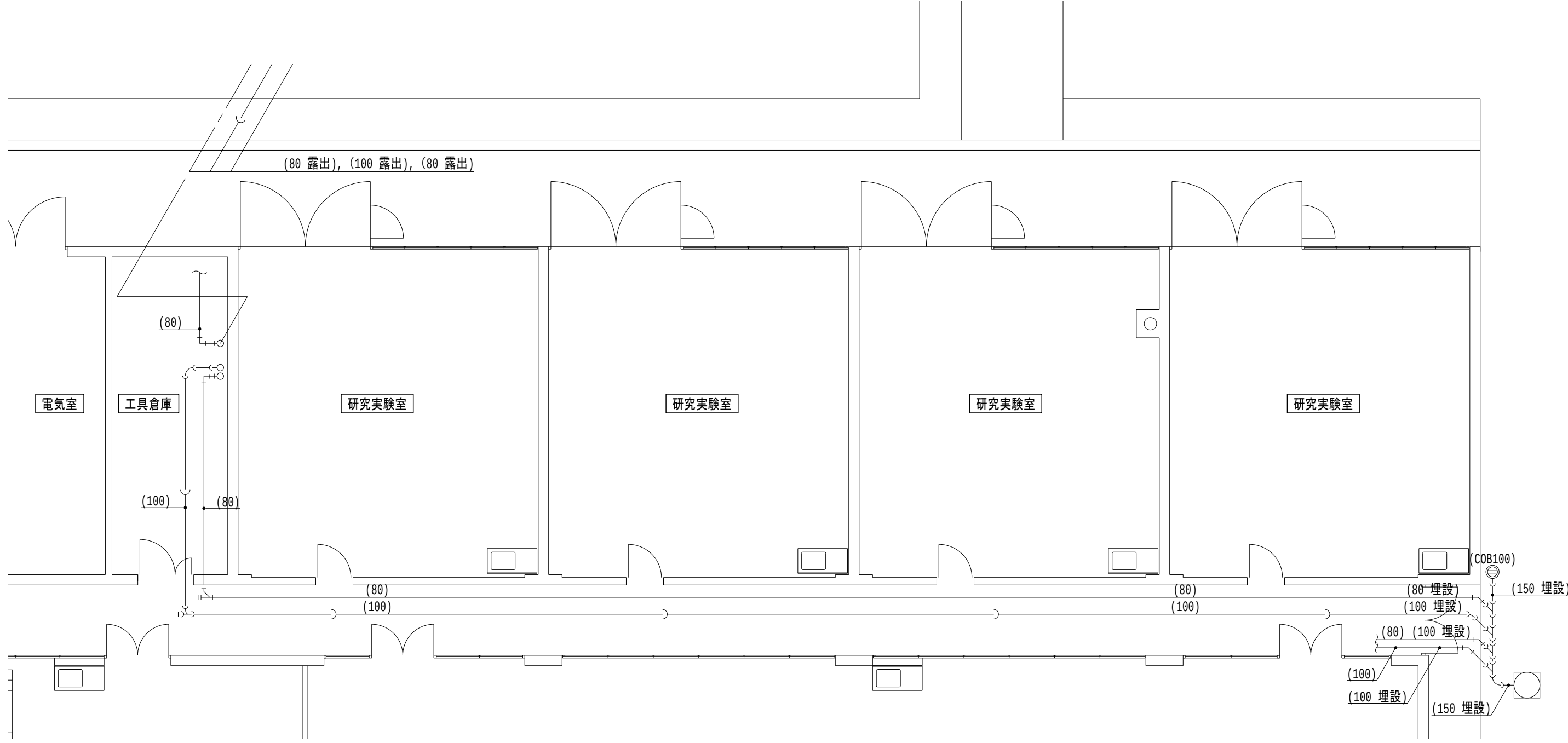
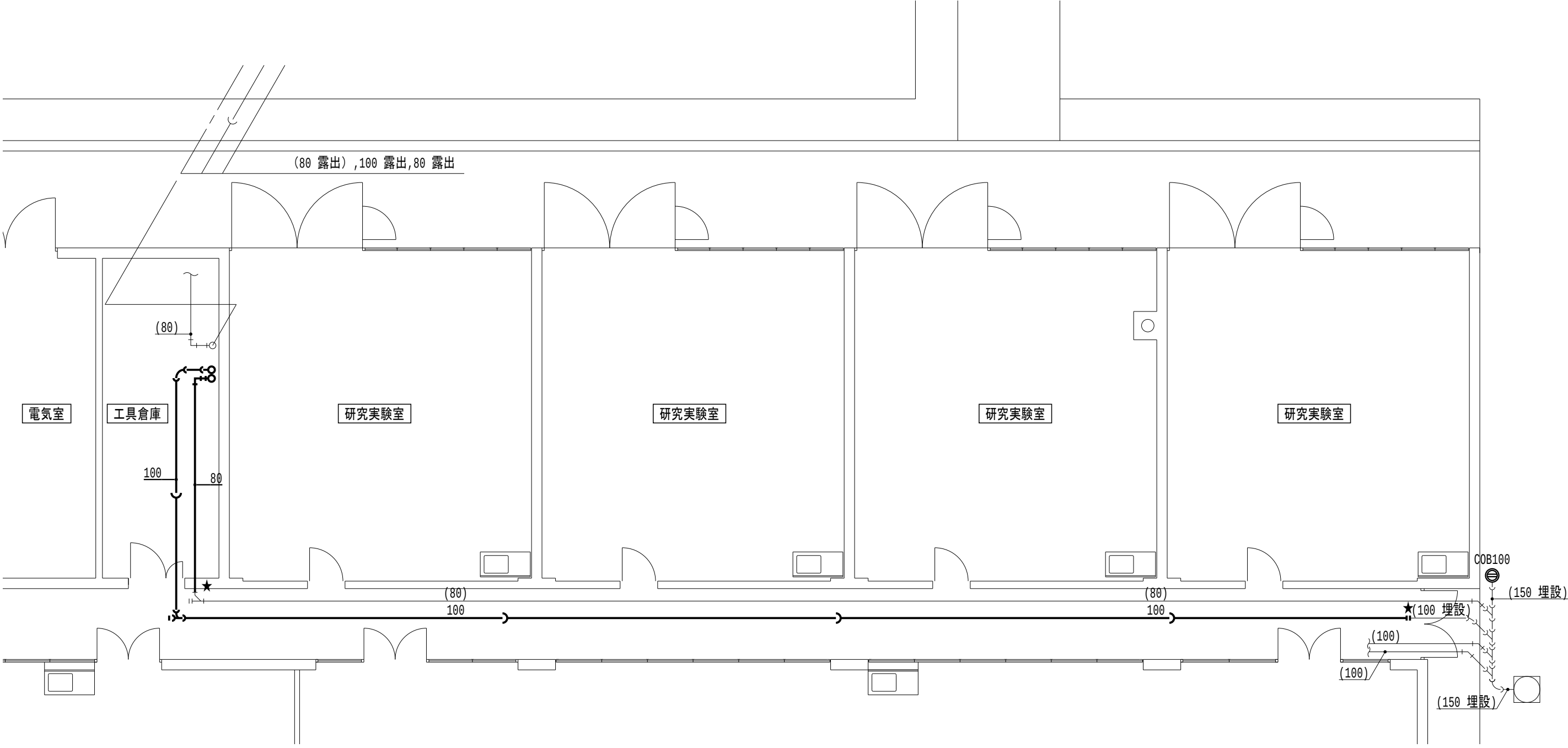
株式会社 総合設備コンサルタント

工事名称 滋賀県立大学C棟トイレ改修後期工事

図面名称 C1-1 換気設備 2階平面詳細図（撤去・改修後）

図面No. M-04

設計日 2024年3月



線種記号		
記 号	名 称	備 考
— — —	給水配管	SGP-PA
———	雑排水配管	DVLP管更生、埋設：VP管更生
———>	汚水配管	DVLP管更生、埋設：VP管更生

凡例		
記 号	名 称	備 考
⊕	掃除口	

- 注記
- 太線はライニング管更生を示し、床上掃除口は蓋の清掃とする
 - 細線は残置を示す
 - 特記なき配管はビッド内、暗渠内配管とする
 - ★は管更生時の切断プラグ止め箇所を示し、管更生後再接続すること

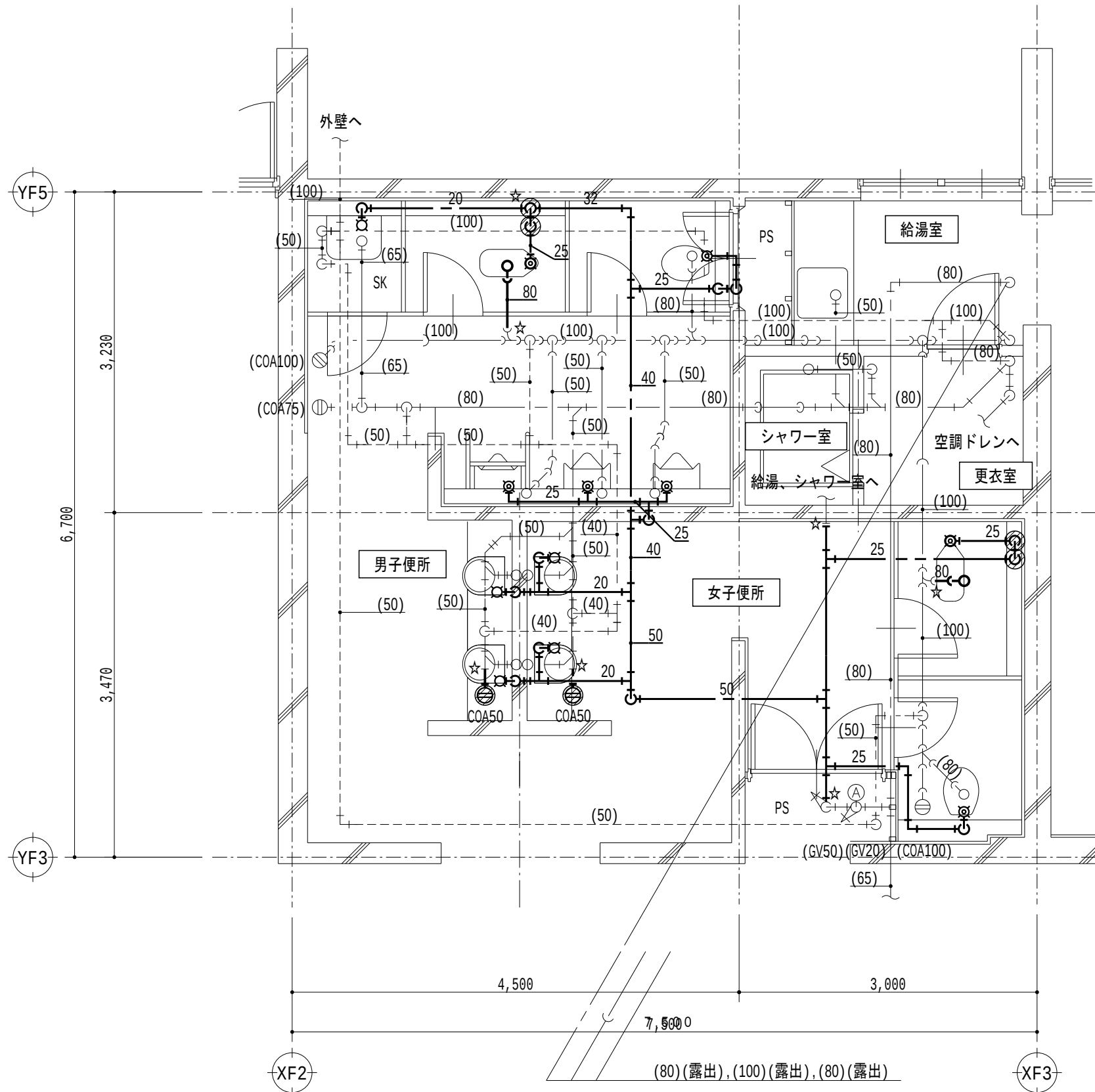
線種記号		
記 号	名 称	備 考
— — —	給水配管	SGP-PA
———	雑排水配管	DVLP、埋設：VP
———>	汚水配管	DVLP、埋設：VP

凡例		
記 号	名 称	備 考
⊕	掃除口	

- 注記
- 太線は新設を示す
 - 細線は既設を示す
 - 特記なき配管はビッド内、暗渠内配管とする

撤去

C2 2階		
男子便所		撤去・処分
名称	仕様	数量
洋風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1
和風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1
小便器	壁掛型	3
掃除流し	水栓共	1
洗面器	2連壁掛型、水栓2個共	1
化粧鏡		2
手すり	小便器用	1
注記) 和風大便器の撤去、穴埋め補修は建築工事とする		



C2 給排水衛生設備 2階平面詳細図 (撤去) S = 1/50

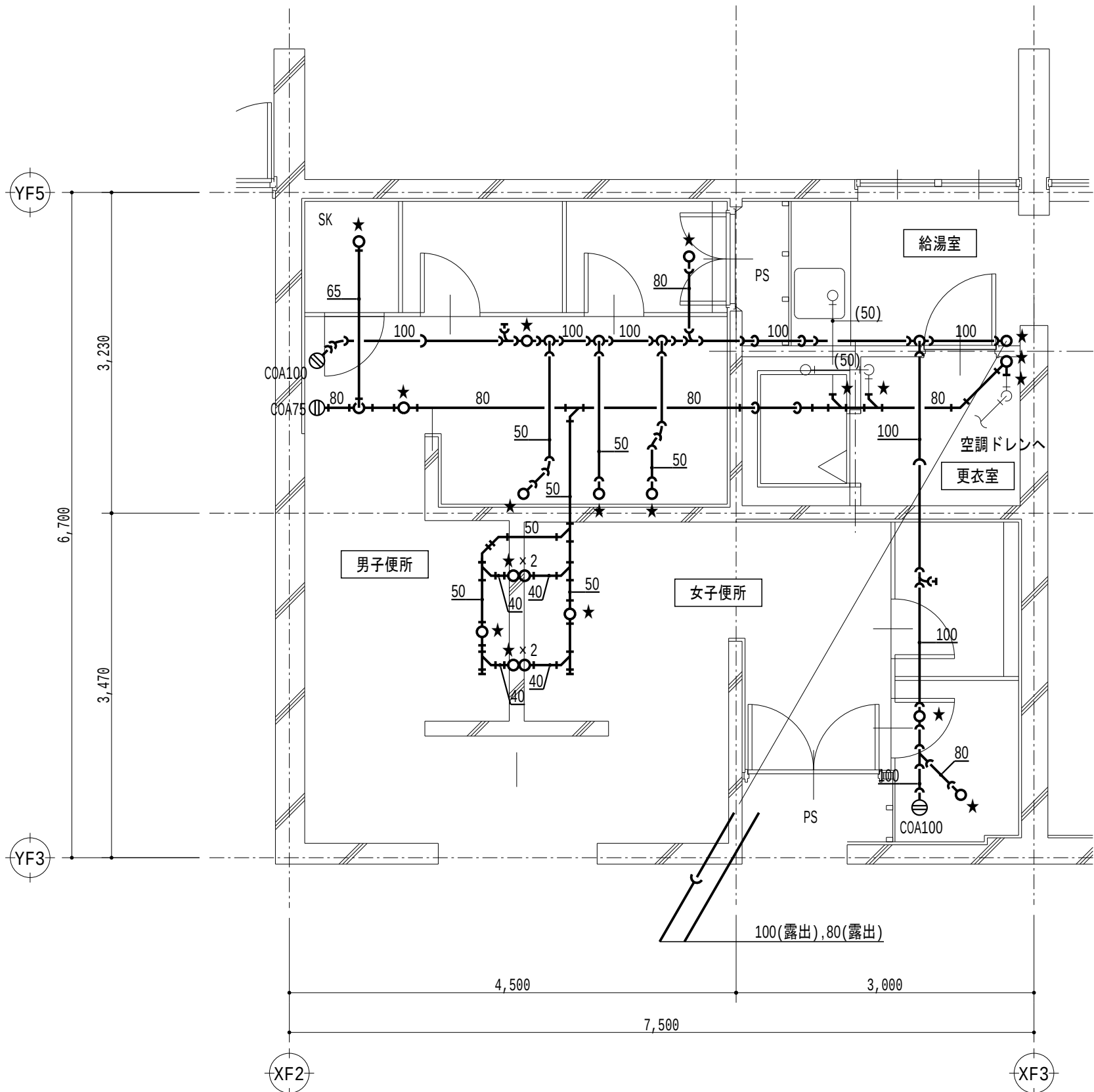
線種記号		
記 号	名 称	備 考
---	給水配管	SGP-PA
—	雑排水配管	DVLP
→	汚水配管	DVLP
----	通気配管	SGP(黒)

凡例		
記 号	名 称	備 考
⊗	洗浄弁	
⊘	水栓	
Ⓜ	掃除口	

- 注記
- 太線は撤去を示す
 - 細線は残置を示す
 - ⊗ は既設穴埋め箇所を示し、給水管は150 d × 50 φ、排水管は150 d × 125 φとする
 - 特記なき配管は天井内、PS内、空腔壁中配管とする
 - ☆は切断プラグ止め箇所を示す

管更生

C2 2階		
女子便所		撤去・処分
名称	仕様	数量
和風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1
洋風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1
洗面器	2連壁掛型、水栓2個共	1
化粧鏡		2
注記) 和風大便器の撤去、穴埋め補修は建築工事とする		

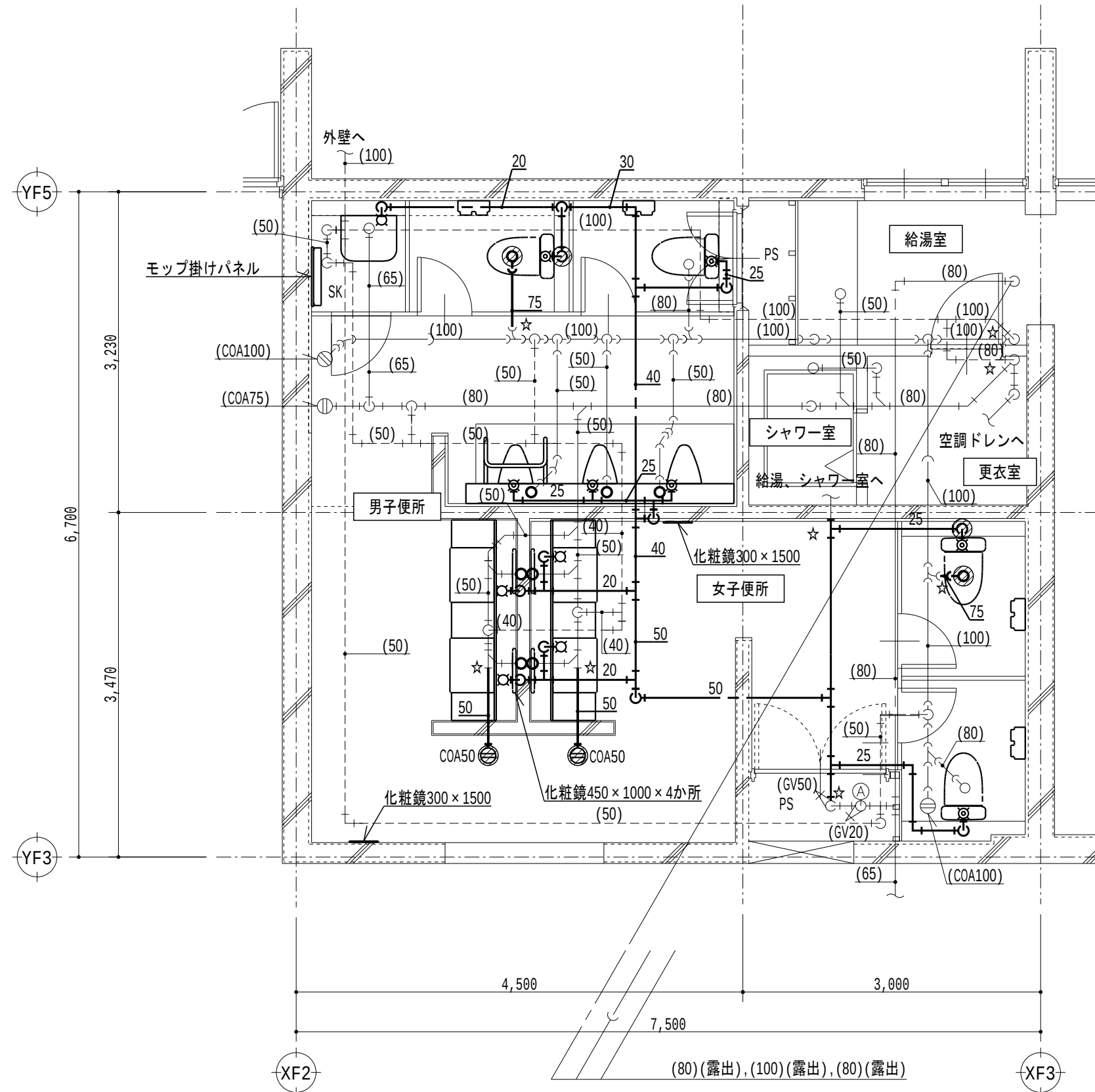


C2 給排水衛生設備 2階平面詳細図 (管更生) S = 1/50

線種記号		
記 号	名 称	備 考
—	雑排水配管	DVLP、管更生
→	汚水配管	DVLP、管更生
----	通気配管	SGP(黒)

- 注記
- 太線はライニング管更生を示し、床上掃除口は蓋の清掃とする
 - 細線は残置を示す
 - 特記なき配管は天井内、PS内、空腔壁中配管とする
 - ☆は管更生時の切断プラグ止め箇所を示し、管更生後再接続すること
- ただし、通気配管は雑排水・汚水管接続部で切断プラグ止めとし、管更生後に再接続すること

改修後



C2 給排水衛生設備 2階平面詳細図 (改修後) S = 1/50

線種記号		
記 号	名 称	備 考
---	給水配管	既: SGP-PA 新: H1VP
—	雑排水配管	既: DVLP 新: PS-VP
→	汚水配管	既: DVLP 新: PS-VP
----	通気配管	SGP(黒)

凡例		
記 号	名 称	備 考
⊗	洗浄弁	
⊘	水栓	
Ⓜ	掃除口	

- 注記
- 太線は新設を示す
 - 細線は既設を示す
 - ⊗ はダイヤモンドカッター穴あけ箇所を示し、鉄筋探査を行い、鉄筋を切断しないこと
 - 鉄筋を切断した場合、鉄筋をはつり出し、新設鉄筋をフレア溶接 (100片面) とする
 - 給水管は150 d × 50 φ、排水管は150 d × 125 φとする
 - 特記なき給水配管のスラブ貫通部は既存穴利用とする
 - 特記なき配管は天井内、PS内、空腔壁中配管とする
 - ☆は既設配管の接続箇所を示す

撤去

改修後

（撤去）換気機器リスト

記号	機器名称	機器仕様	動力			台数 (台)	設置室名	備考
			電圧 (φ・V)	容量 (kW)	始動 方式			
EF-4	消音ボックス付送風機	型 式：消音形 仕 様：400×200 × 1480m³/h × 130Pa	3・200	0.75	LS	1	C2 実習工場棟 2階 男子便所	形状：770×540×350H 重量：24kg
注）撤去送風機共通事項								
1. 付属品共、境外搬出処分とする								

（新設）換気機器リスト

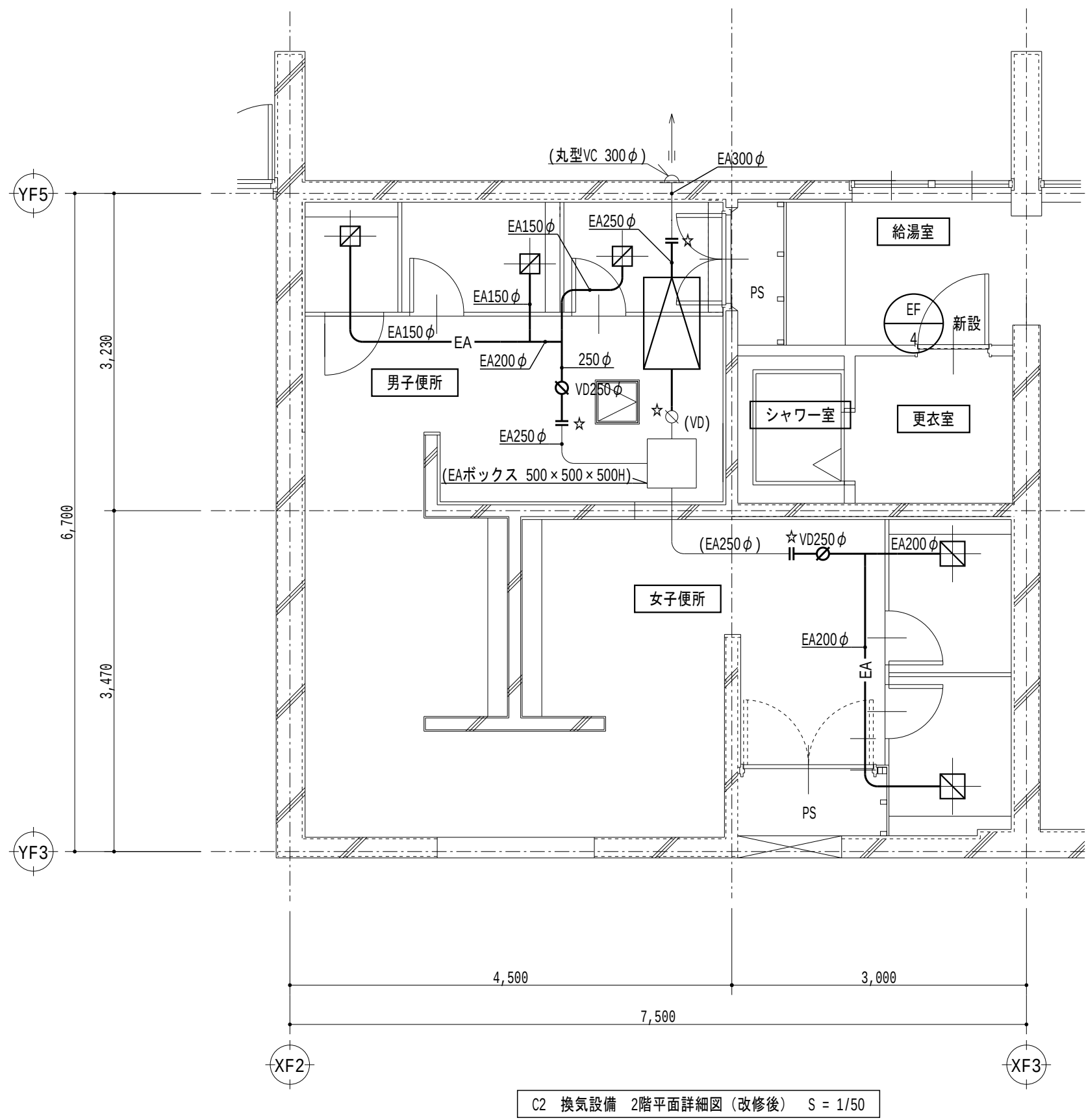
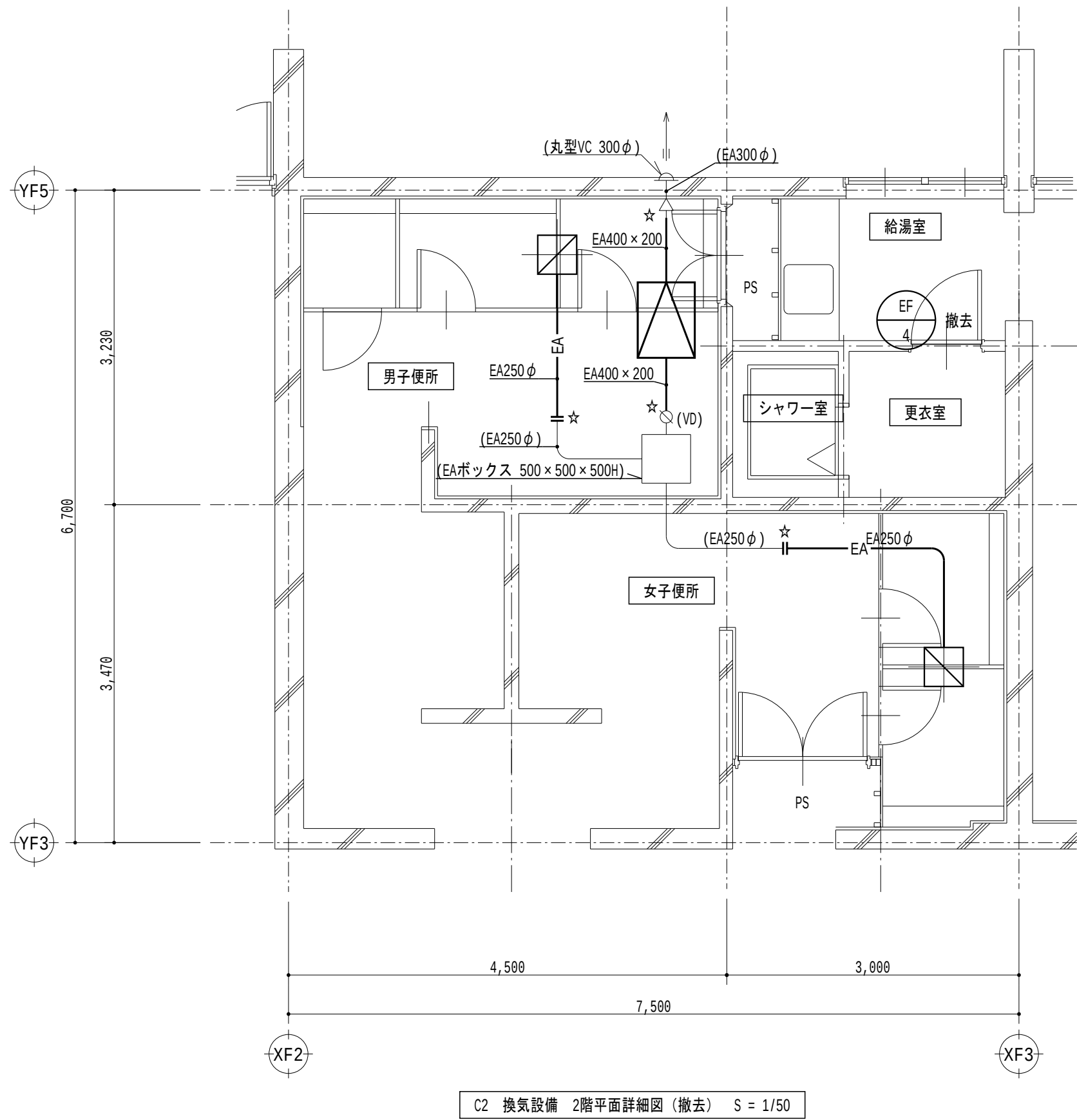
記号	機器名称	機器仕様	動力			台数 (台)	設置室名	備考
			電圧 (φ・V)	容量 (kW)	始動 方式			
EF-4	消音ボックス付送風機	型 式：消音形 仕 様：250φ × 1430m ³ /h × 150Pa 付属品：防振吊金具、他標準付属品一式	3-200	0.445	LS	1	C2 実習工場棟 2階 男子便所	品番：（参考）三菱8FS150TUG2
注）送風機共通事項								
1.電気容量は参考値とし、記載以下とする			4.その他はメーカー基準とする					
2.ファンへの接続は、たわみ継手とする			5.排気送風機、天井埋込型換気扇のスイッチは別途電気設備工事とする（配線、機器接続を含む）					
3.機器表中記載の〇〇Paは機外静圧を示し、参考値とする								

女子便所（撤去・処分）	
HS 400×400 [EA 740 m³/h] 550×550×400H (保温なし)	1
注記）制気口・ボックス・ネックの撤去を行う	

男子便所（撤去・処分）	
HS 400×400 [EA 740 m³/h] 550×550×300H (保温なし)	1
注記）制気口・ボックス・ネックの撤去を行う	

女子便所（新設）	
HS 250×250 [EA 310 m³/h] 400×400×400H (保温なし)	2
注記）制気口・ボックス・ネックの新設を行う	

男子便所（新設）	
HS 200×200 [EA 270 m³/h] 350×350×300H (保温なし)	3
注記）制気口・ボックス・ネックの新設を行う	



記号	名称	備考
——	ダクト	
∅ ^{VD}	風量調整ダンパー	

記号	名称	備考
□	制気口	
←⇒	ベントキャップ	

- 注記
- 太線は撤去を示す
 - 細線は残置を示す
 - 特記なきダクトは天井内配管とする
 - ☆は切断箇所を示す

記号	名称	備考
——	ダクト	
∅ ^{VD}	風量調整ダンパー	

記号	名称	備考
□	制気口	
←⇒	ベントキャップ	

- 注記
- 太線は新設を示す
 - 細線は既設を示す
 - 特記なきダクトは天井内配管とする
 - ☆は接続箇所を示す

令和6年 3月 日

滋賀県立大学財務課

株式会社 総合設備コンサルタント

工事名称 滋賀県立大学C棟トイレ改修後期工事

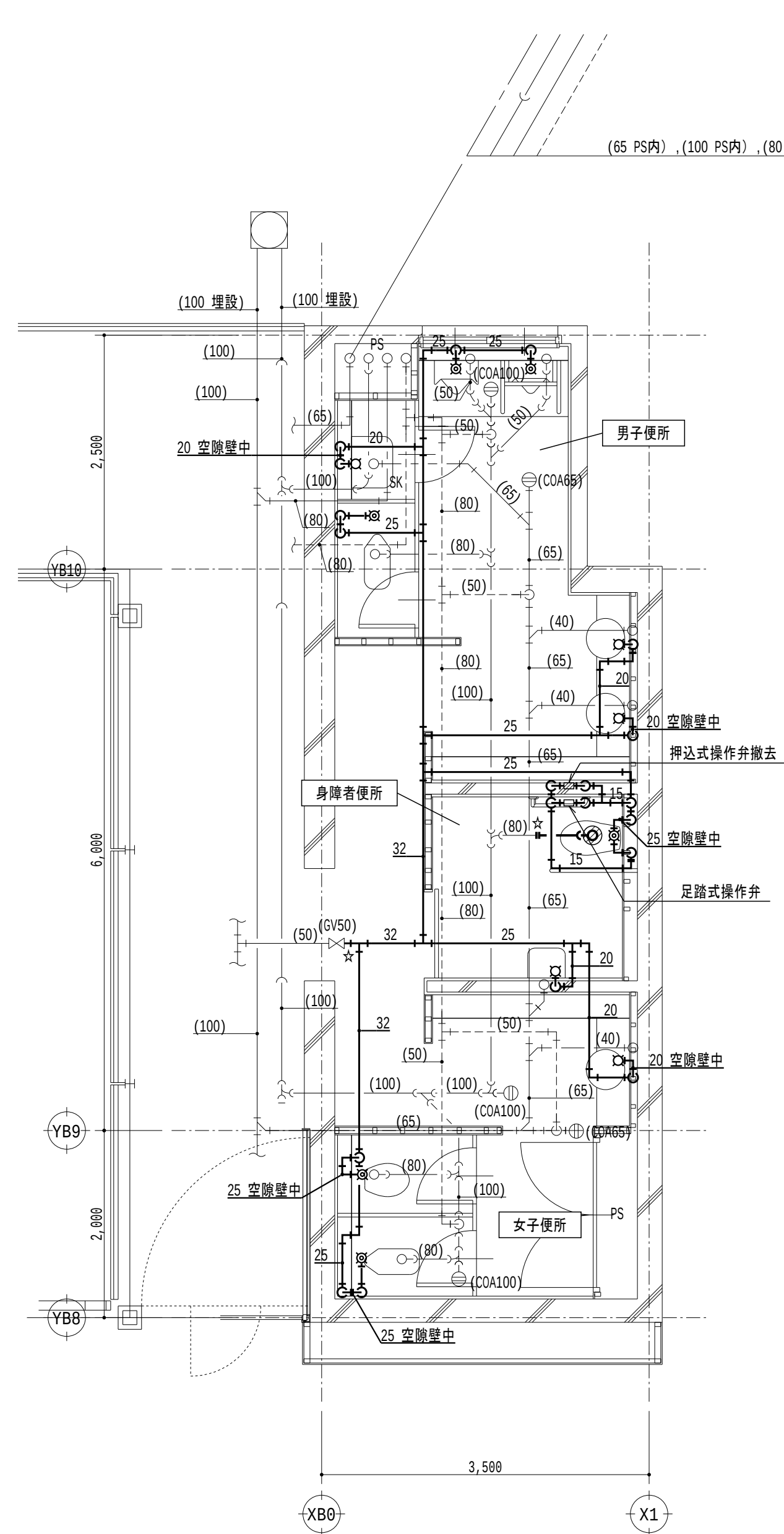
図面No. M-07

図面名称 C2 換気設備 2階平面詳細図（撤去・改修後）

S = 1/50

設計日 2024年3月

撤去



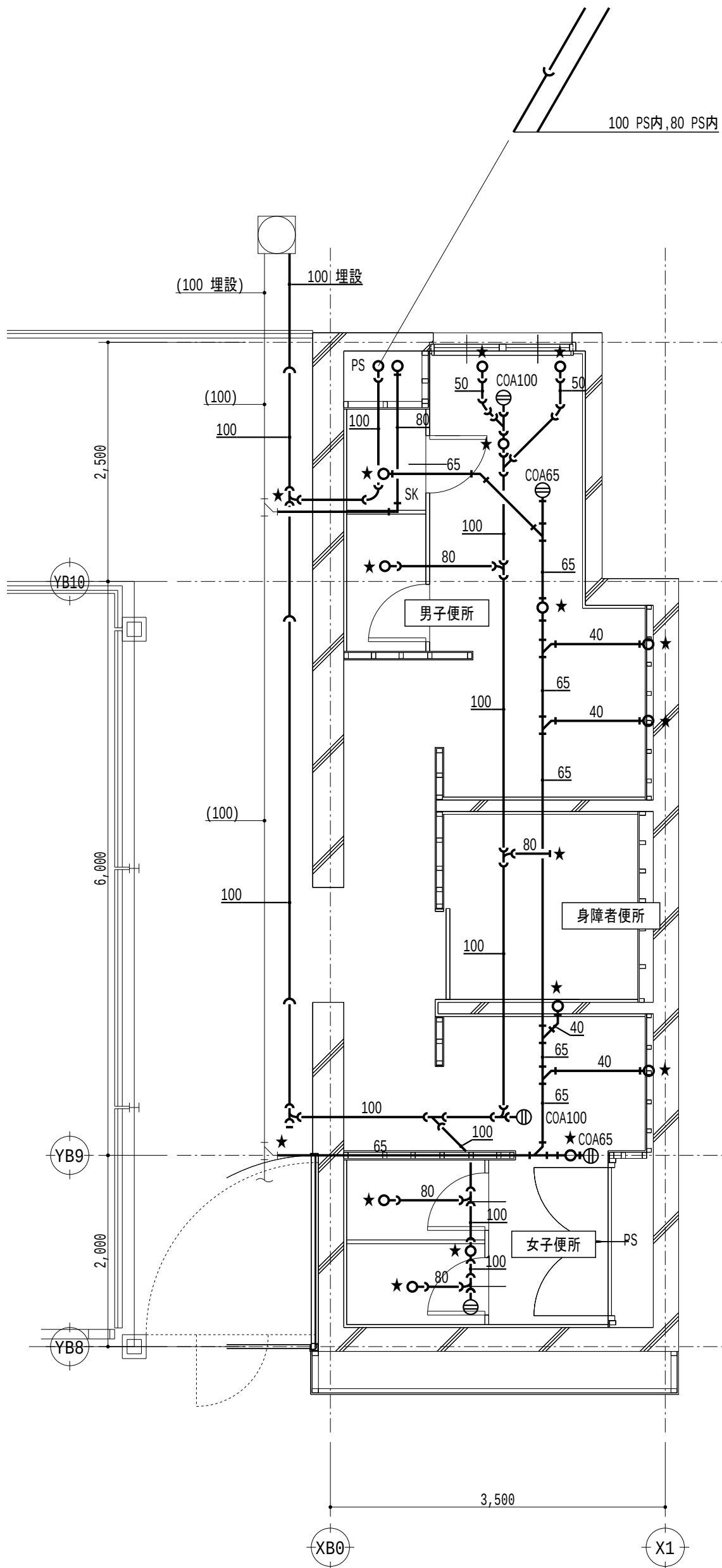
C3 給排水衛生設備 1階平面詳細図（撤去） S = 1/50

線種記号		
記 号	名 称	備 考
---	給水配管	SGP-PA
—	雑排水配管	DVLP
—	汚水配管	DVLP
- - - - -	通気配管	SGP(黒)

凡例		
記 号	名 称	備 考
⊗	洗浄弁	
□	水栓	
Ⓜ	掃除口	

- 注記
- 太線は撤去を示す
 - 細線は残置を示す
 - ⊗ は既設穴埋め箇所を示し、給水管は150φ、排水管は150φ×125φとする
 - 特記なき配管はビット内、暗渠内配管とする
 - ☆は切断プラグ止め箇所を示す

管更生

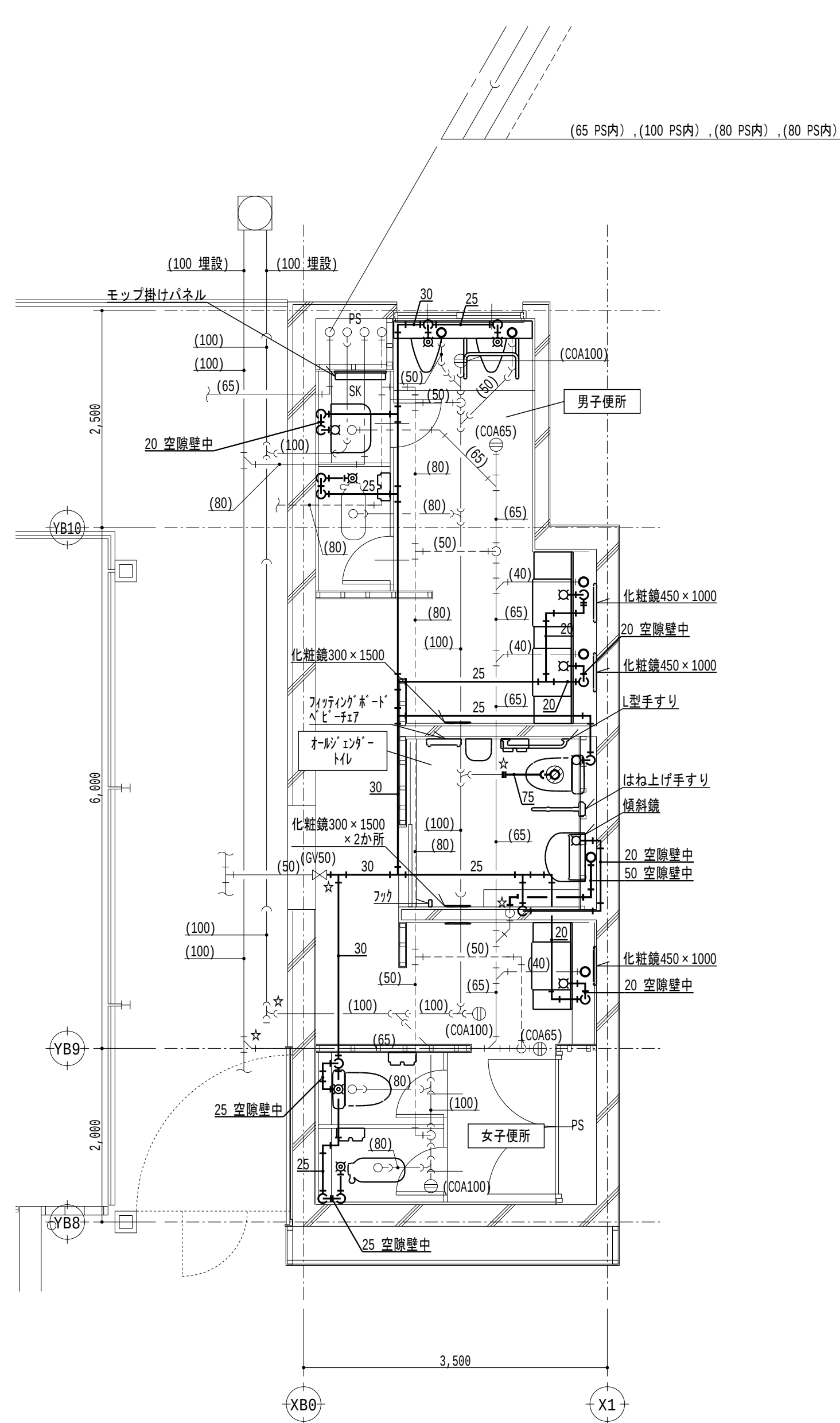


C3 給排水衛生設備 1階平面詳細図（管更生） S = 1/50

線種記号		
記 号	名 称	備 考
—	雑排水配管	DVLP、管更生
—	汚水配管	DVLP、管更生
- - - - -	通気配管	SGP(黒)

- 注記
- 太線はライニング管更生を示し、床上掃除口は蓋の清掃とする
 - 細線は残置を示す
 - 特記なき配管はビット内、暗渠内配管とする
 - ☆は管更生時の切断プラグ止め箇所を示し、管更生後再接続すること
 - ただし、通気配管は雑排水・汚水管接続部で切断プラグ止めとし、管更生後に再接続すること

改修後



C3 給排水衛生設備 1階平面詳細図（改修後） S = 1/50

線種記号		
記 号	名 称	備 考
---	給水配管	既：SGP-PA 新：HIVP
—	雑排水配管	既：DVLP 新：FS-VP
—	汚水配管	既：DVLP 新：FS-VP
- - - - -	通気配管	SGP(黒)

凡例		
記 号	名 称	備 考
⊗	洗浄弁	
□	水栓	
Ⓜ	掃除口	

- 注記
- 太線は新設を示す
 - 細線は既設を示す
 - ⊗ はダイヤモンドカッター穴あけ箇所を示し、鉄筋探査を行い、鉄筋を切断しないこと
 - 鉄筋を切断した場合、鉄筋をはり出し、新設鉄筋をフレア溶接（100片面）とする
 - 給水管は150φ×50φ、排水管は150φ×125φとする
 - 特記なき給水配管のスラブ貫通部は既存穴利用とする
 - 特記なき配管はビット内、暗渠内配管とする
 - ☆は既設配管の接続箇所を示す

撤去

管更生

改修後

C3 2階

男子便所			撤去・処分
名称	仕様	数量	
和風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1	
小便器	壁掛型	2	
掃除流し	水栓共	1	
洗面器	2連壁掛型、水栓2個共	1	
化粧鏡		2	
手すり	小便器用	1	

注記) 和風大便器の撤去、穴埋め補修は建築工事とする

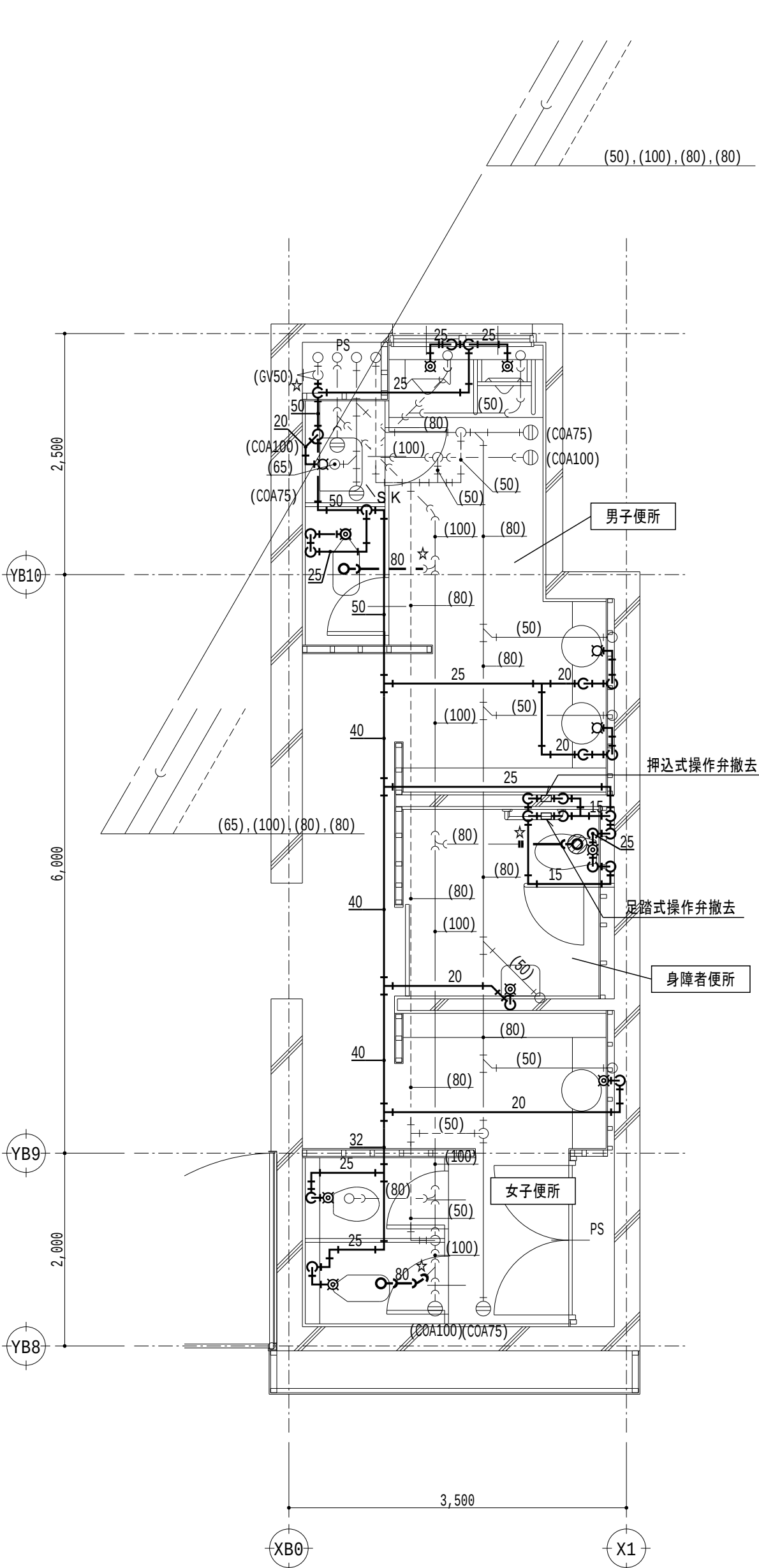
C3 2階

身障者便所			撤去・処分
名称	仕様	数量	
洋風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1	
洗面器	壁掛型、水栓1個共	1	
化粧鏡		2	
手すり	L型	1	
手すり	P型	1	

C3 2階

女子便所			撤去・処分
名称	仕様	数量	
和風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1	
洋風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1	
洗面器	壁掛型、水栓1個共	1	
化粧鏡		2	

注記) 和風大便器の撤去、穴埋め補修は建築工事とする



C3 給排水衛生設備 2階平面詳細図 (撤去) S = 1/50

線種記号

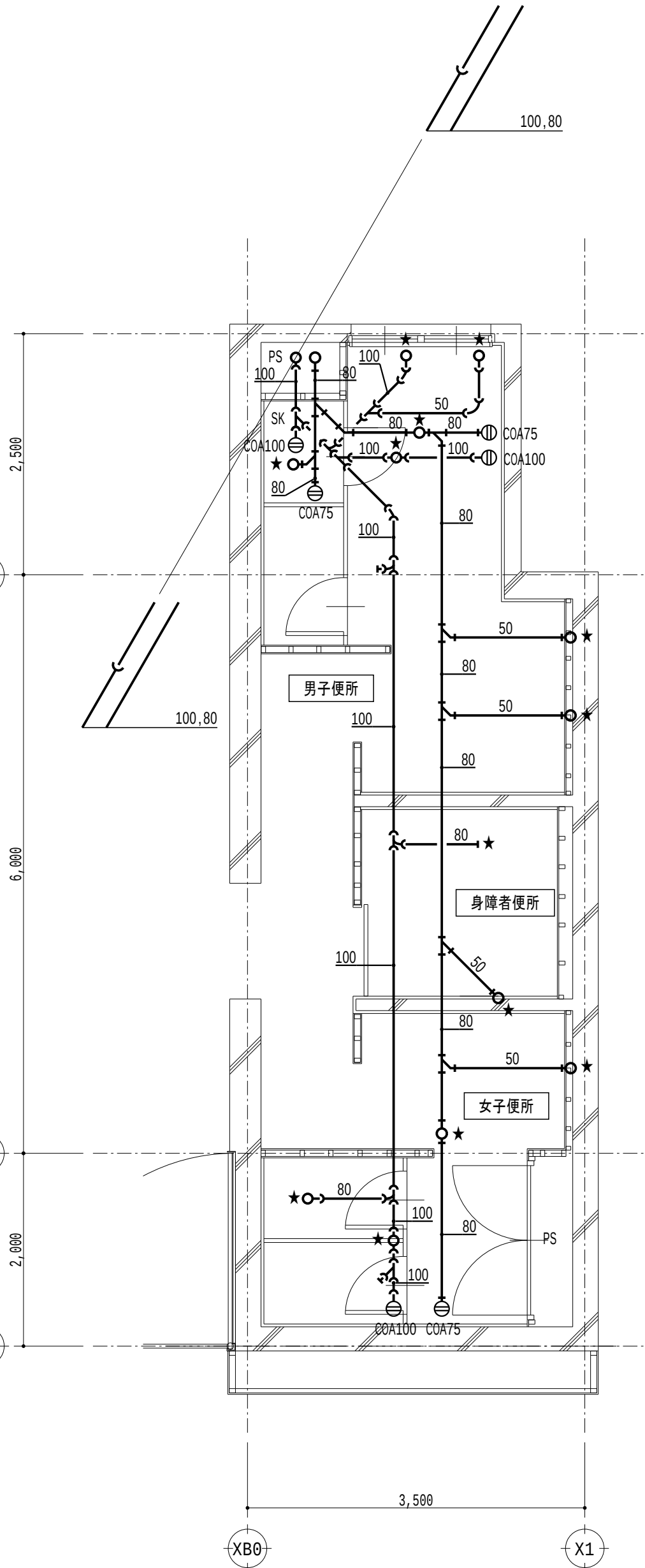
記号	名称	備考
---	給水配管	SGP-PA
—	雑排水配管	DVLP
→	汚水配管	DVLP
- - - - -	通気配管	SGP(黒)

凡例

記号	名称	備考
⊗	洗浄弁	
⊠	水栓	
⊕	掃除口	

注記

- 太線は撤去を示す
- 細線は残置を示す
- ⊗ は既設穴埋め箇所を示し、給水管は150 d × 50 φ、排水管は150 d × 125 φとする
- 特記なき配管は天井内、PS内、空腔壁中配管とする
- ☆は切断プラグ止め箇所を示す



C3 給排水衛生設備 2階平面詳細図 (管更生) S = 1/50

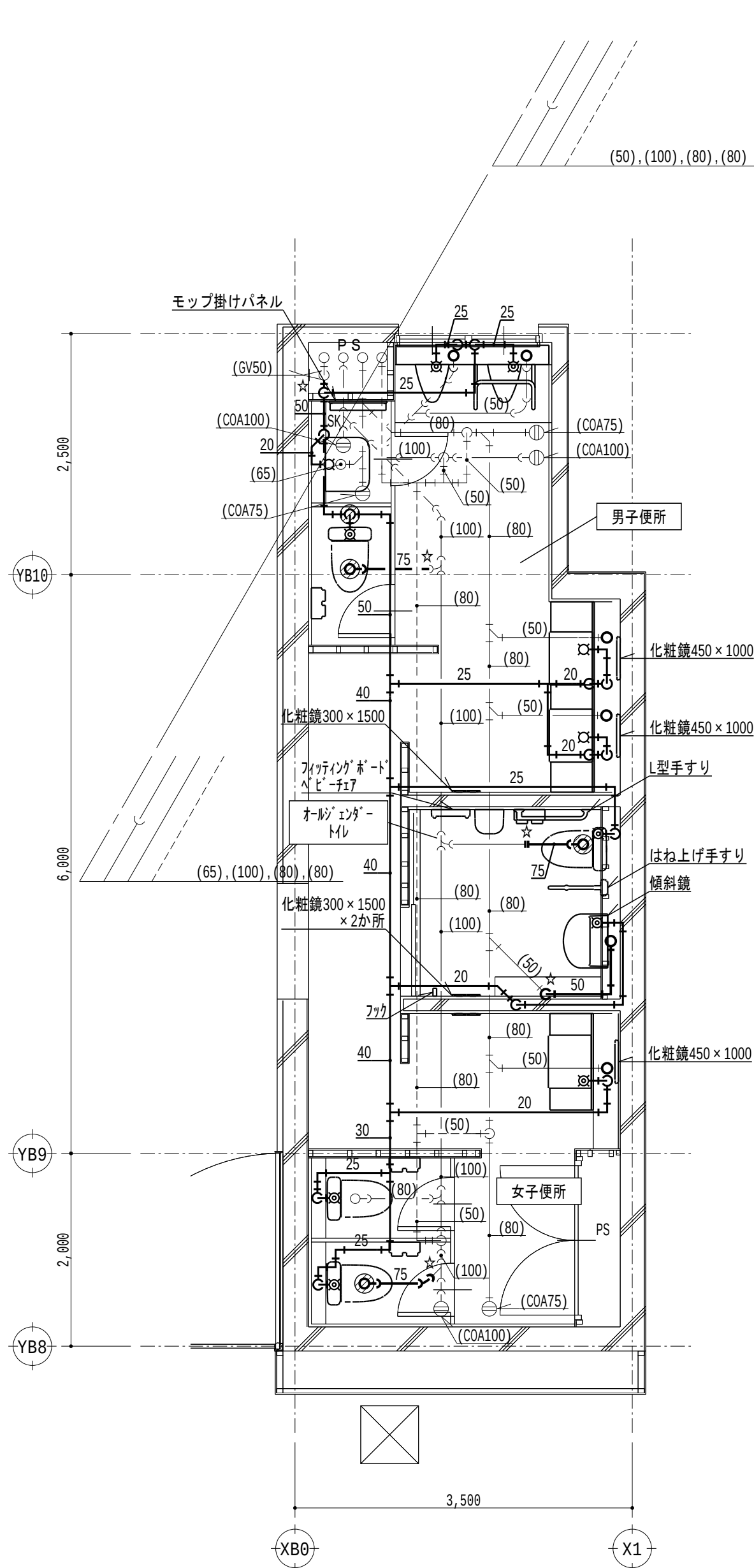
線種記号

記号	名称	備考
—	雑排水配管	DVLP、管更生
→	汚水配管	DVLP、管更生
- - - - -	通気配管	SGP(黒)

注記

- 太線はライニング管更生を示し、床上掃除口は蓋の清掃とする
- 細線は残置を示す
- 特記なき配管は天井内、PS内、空腔壁中配管とする
- ☆は管更生時の切断プラグ止め箇所を示し、管更生後再接続すること

ただし、通気配管は雑排水・汚水管接続部で切断プラグ止めとし、管更生後に再接続すること



C3 給排水衛生設備 2階平面詳細図 (改修後) S = 1/50

線種記号

記号	名称	備考
---	給水配管	既: SGP-PA 新: HIVP
—	雑排水配管	既: DVLP 新: FS-VP
→	汚水配管	既: DVLP 新: FS-VP
- - - - -	通気配管	SGP(黒)

凡例

記号	名称	備考
⊗	洗浄弁	
⊠	水栓	
⊕	掃除口	

注記

- 太線は新設を示す
- 細線は既設を示す
- ⊗ はダイヤモンドカッター穴あけ箇所を示し、鉄筋探索を行い、鉄筋を切断しないこと
鉄筋を切断した場合、鉄筋をはつり出し、新設鉄筋をフレア溶接 (100片面) とする
給水管は150 d × 50 φ、排水管は150 d × 125 φとする
特記なき給水配管のスラブ貫通部は既存穴利用とする
- 特記なき配管は天井内、PS内、空腔壁中配管とする
- ☆は既設配管の接続箇所を示す

令和6年 3月 日

滋賀県立大学財務課

株式会社 総合設備コンサルタント

工事名称 滋賀県立大学C棟トイレ改修後期工事

図面No. M-09

図面名称 C3 給排水衛生設備 2階平面詳細図 (撤去・管更生・改修後) S = 1/50

設計日 2024年3月

撤去

C3 3階

男子便所			撤去・処分
名称	仕様	数量	
和風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1	
小便器	壁掛型	2	
掃除流し	水栓共	1	
洗面器	2連壁掛型、水栓2個共	1	
化粧鏡		2	
手すり	小便器用	1	

注記) 和風大便器の撤去、穴埋め補修は建築工事とする

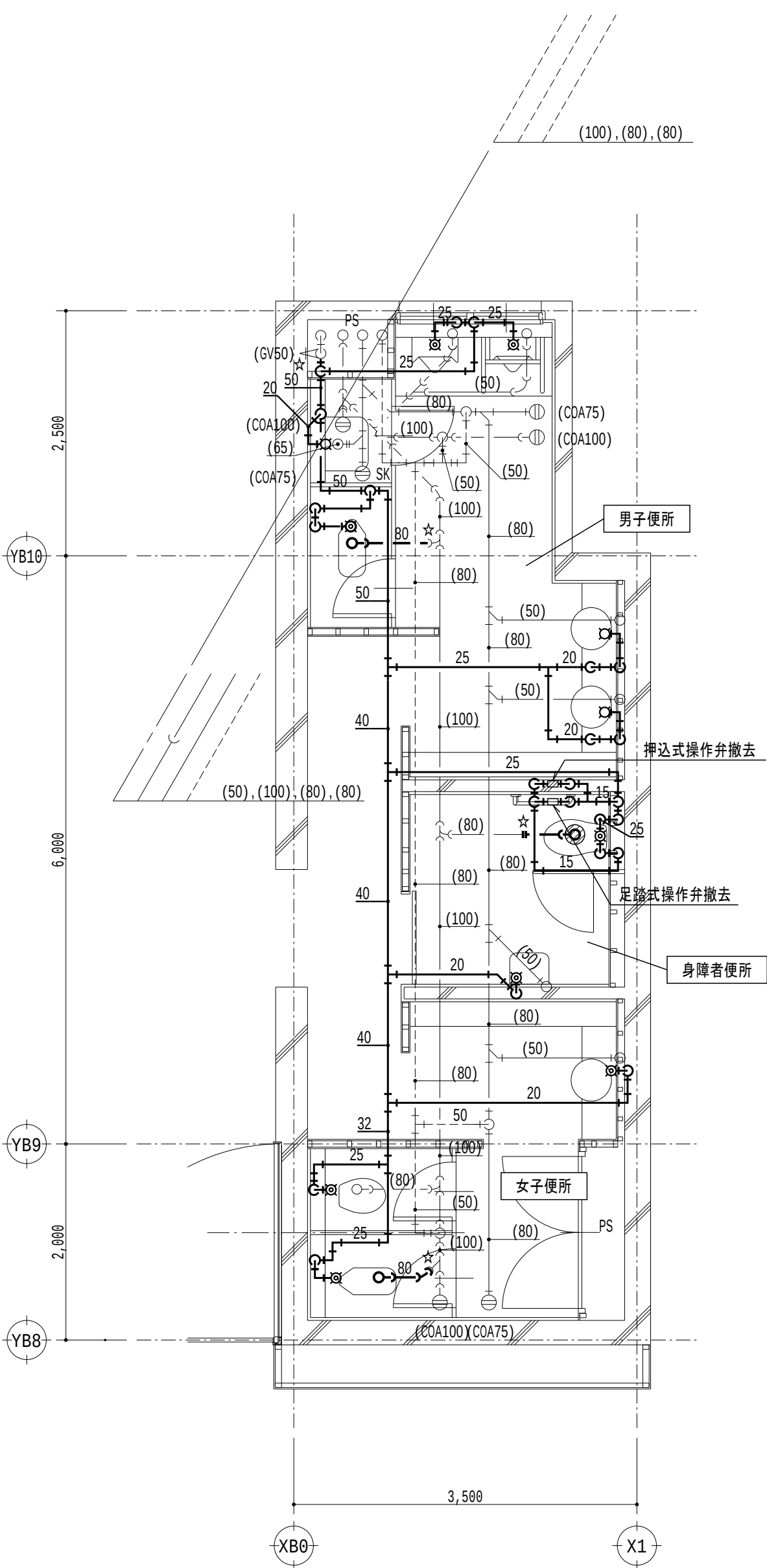
C3 3階

身障者便所			撤去・処分
名称	仕様	数量	
洋風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1	
洗面器	壁掛型、水栓1個共	1	
化粧鏡		2	
手すり	L型	1	
手すり	P型	1	

C3 3階

女子便所			撤去・処分
名称	仕様	数量	
和風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1	
洋風大便器	洗浄弁、紙巻器共	1	
洗面器	壁掛型、水栓1個共	1	
化粧鏡		2	

注記) 和風大便器の撤去、穴埋め補修は建築工事とする



C3 給排水衛生設備 3階平面詳細図 (撤去) S = 1/50

線種記号

記 号	名 称	備 考
---	給水配管	SGP-PA
—	雑排水配管	DVLP
→	汚水配管	DVLP
-----	通気配管	SGP(黒)

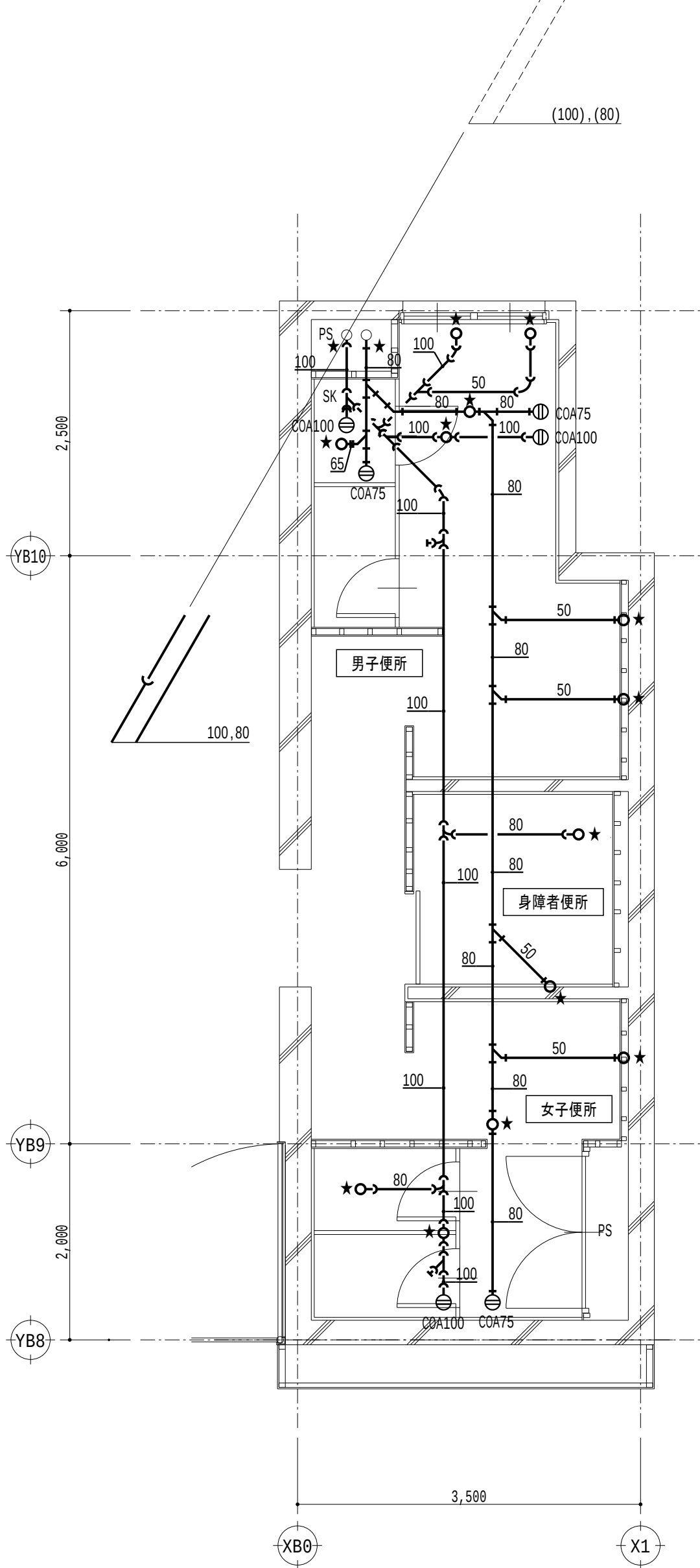
凡例

記 号	名 称	備 考
☒	洗浄弁	
⊗	水栓	
Ⓜ	掃除口	

注記

- 太線は撤去を示す
- 細線は残置を示す
- ⊗ は既設穴埋め箇所を示し、給水管は150 d × 50 φ、排水管は150 d × 125 φとする
- 特記なき配管は天井内、PS内、空腔壁中配管とする
- ☆は切断プラグ止め箇所を示す

管更生



C3 給排水衛生設備 3階平面詳細図 (管更生) S = 1/50

線種記号

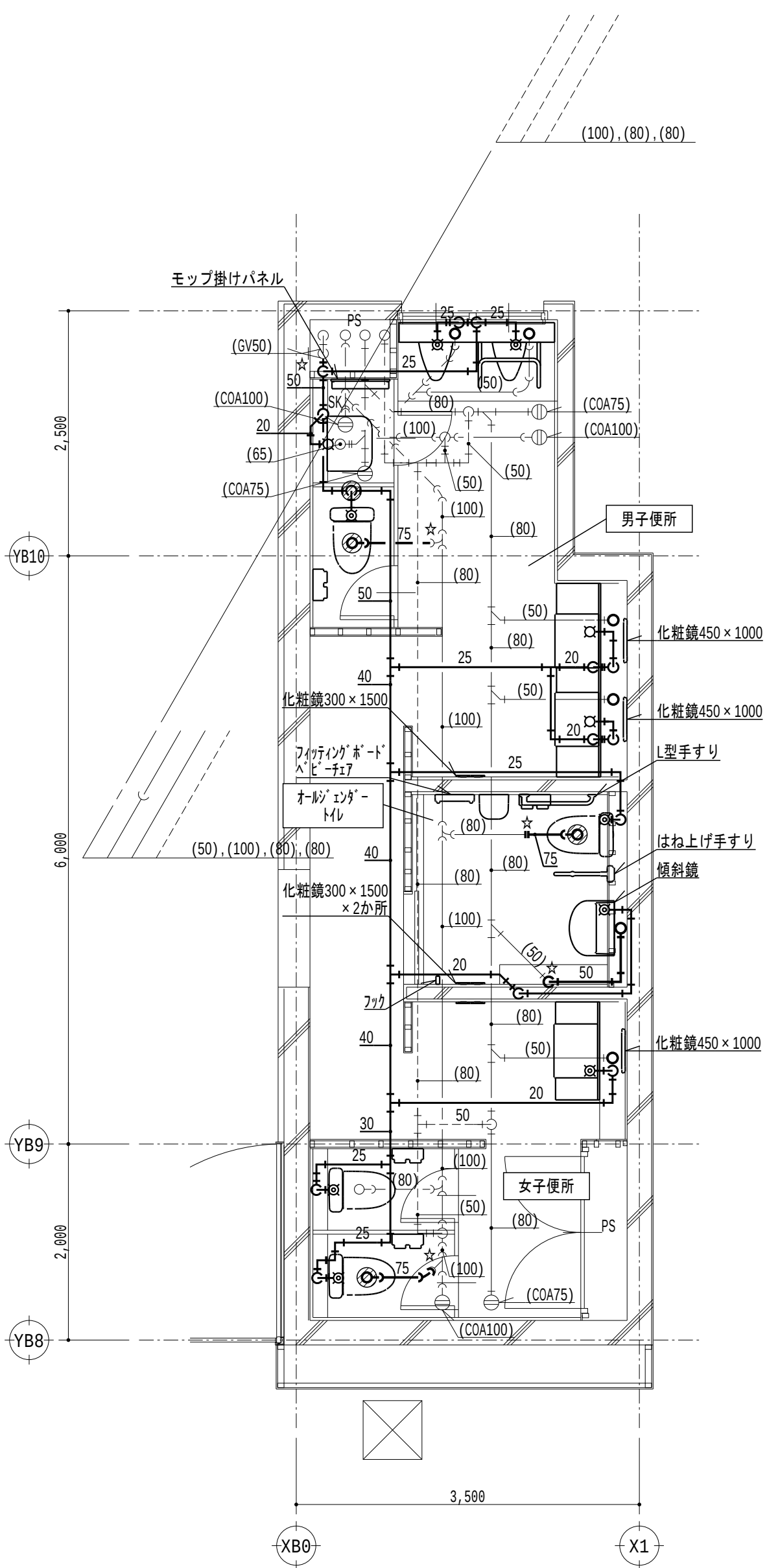
記 号	名 称	備 考
—	雑排水配管	DVLP、管更生
→	汚水配管	DVLP、管更生
-----	通気配管	SGP(黒)

注記

- 太線はライニング管更生を示し、床上掃除口は蓋の清掃とする
- 細線は残置を示す
- 特記なき配管は天井内、PS内、空腔壁中配管とする
- ☆は管更生時の切断プラグ止め箇所を示し、管更生後再接続すること

ただし、通気配管は雑排水・汚水管接続部で切断プラグ止めとし、管更生後に再接続すること

改修後



C3 給排水衛生設備 3階平面詳細図 (改修後) S = 1/50

線種記号

記 号	名 称	備 考
---	給水配管	既: SGP-PA 新: H1VP
—	雑排水配管	既: DVLP 新: FS-VP
→	汚水配管	既: DVLP 新: FS-VP
-----	通気配管	SGP(黒)

凡例

記 号	名 称	備 考
☒	洗浄弁	
⊗	水栓	
Ⓜ	掃除口	

注記

- 太線は新設を示す
- 細線は既設を示す
- ⊗ はダイヤモンドカッター穴あけ箇所を示し、鉄筋探索を行い、鉄筋を切断しないこと
鉄筋を切断した場合、鉄筋をはり出し、新設鉄筋をフレア溶接 (100片面) とする
給水管は150 d × 50 φ、排水管は150 d × 125 φとする
特記なき給水配管のスラブ貫通部は既存穴利用とする
- 特記なき配管は天井内、PS内、空腔壁中配管とする
- ☆は既設配管の接続箇所を示す

令和6年 3月 日

滋賀県立大学財務課

株式会社 総合設備コンサルタント

工事名称 滋賀県立大学C棟トイレ改修後期工事

図面名称 C3 給排水衛生設備 3階平面詳細図 (撤去・管更生・改修後) S = 1/50

図面No. M-10

設計日 2024年3月

撤去

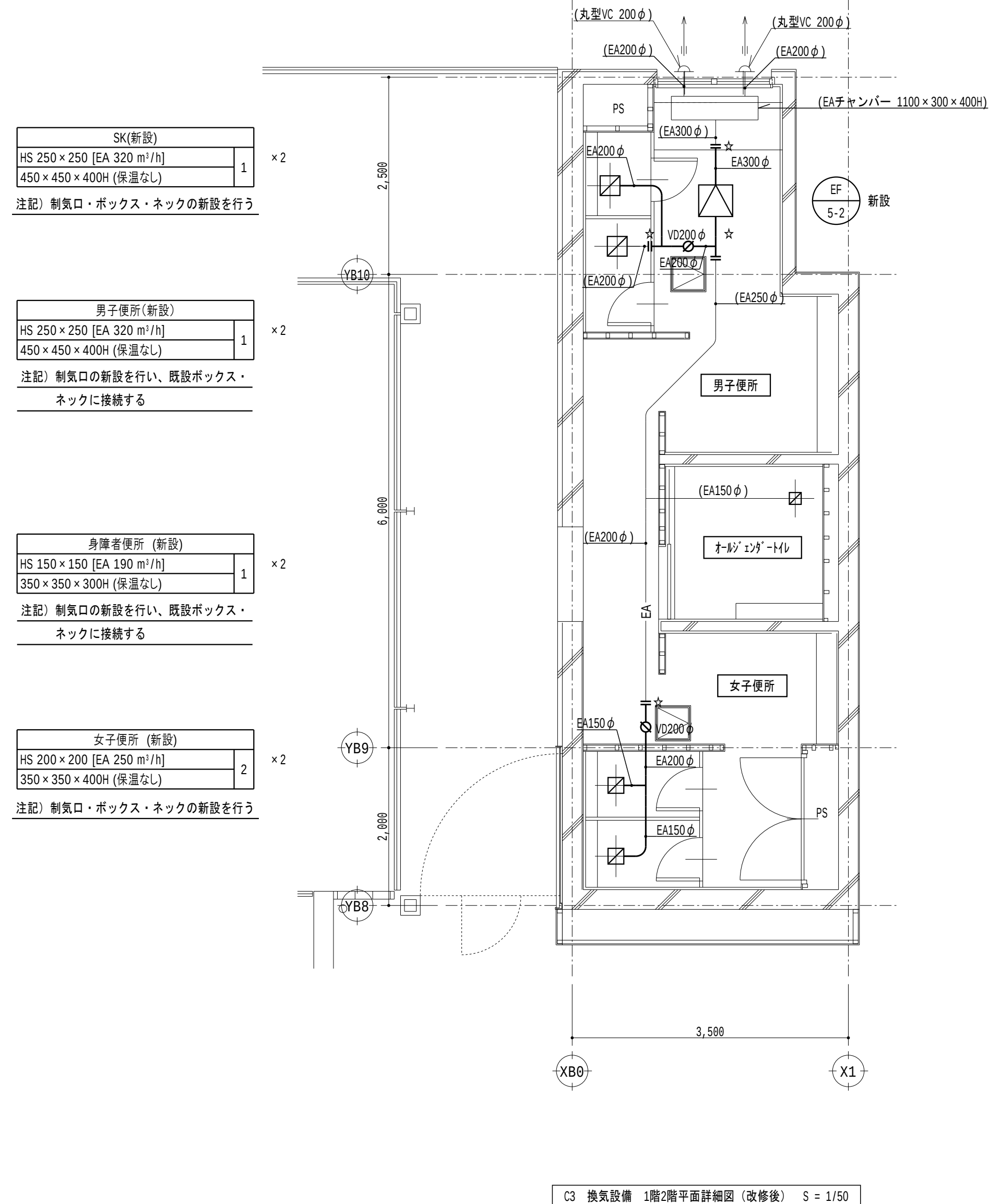
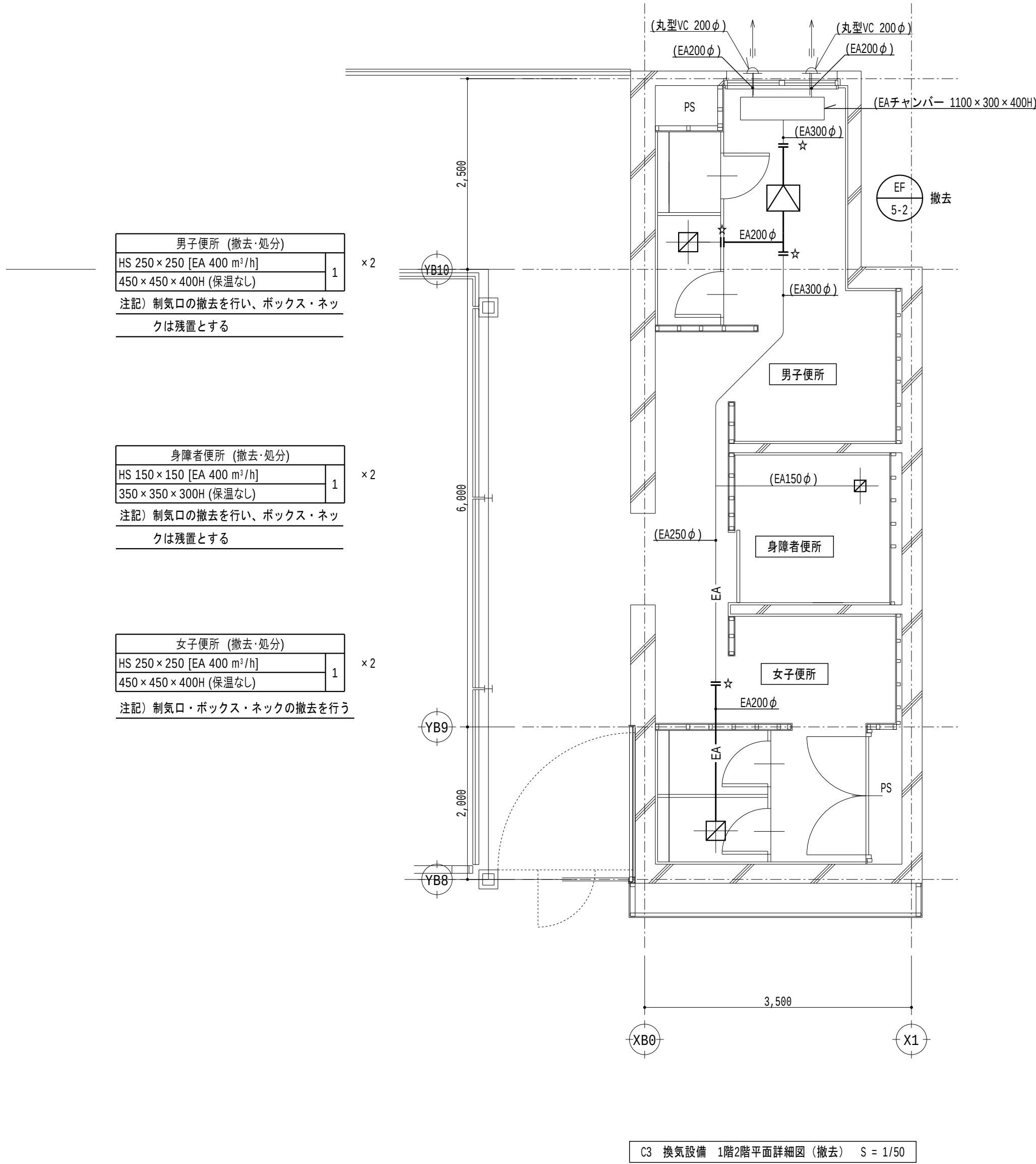
改修後

（撤去）換気機器リスト

記号	機器名称	機器仕様	動力			台数 (台)	設置室名	備考
			電圧 (φ・V)	容量 (kW)	始動 方式			
EF-5-2	斜流送風機	型 式：天吊形 仕 様：225φ × 1200m³/h × 100Pa	1-100	0.08	LS	2	C3 材料棟 1階 男子便所 ×1 2階 男子便所 ×1	形状：400×330×400H 重量：9kg
注）撤去送風機共通事項 1.付属品共、境外搬出処分とする								

（新設）換気機器リスト

記号	機器名称	機器仕様	動力			台数 (台)	設置室名	備考
			電圧 (φ・V)	容量 (kW)	始動 方式			
EF-5-2	斜流送風機	型 式：天吊形 仕 様：250φ × 1330m³/h × 140Pa 付属品：防振吊金具、他標準付属品一式	1-100	0.348	LS	2	C3 材料棟 1階 男子便所 ×1 2階 男子便所 ×1	品番：（参考）三菱JF-120SA2
注）送風機共通事項 1.電気容量は参考値とし、記載以下とする 2.ファンへの接続は、たわみ継手とする 3.機器表中記載の〇〇Paは機外静圧を示し、参考値とする 4.その他はメーカー基準とする 5.排気送風機、天井埋込型換気扇のスイッチは別途電気設備工事とする（配線、機器接続を含む）								



記 号	名 称	備 考
—	ダクト	

記 号	名 称	備 考
—	制気口	
←=	ベントキャップ	

- 注記
- 太線は撤去を示す
 - 細線は残置を示す
 - 特記なきダクトは天井内配管とする
 - ☆は切断箇所を示す

記 号	名 称	備 考
—	ダクト	
φ ^{ID}	風量調整ダンパー	
φ ^{CD}	逆流防止ダンパー	

記 号	名 称	備 考
—	制気口	
←=	ベントキャップ	

- 注記
- 太線は新設を示す
 - 細線は既設を示す
 - 特記なきダクトは天井内配管とする
 - ☆は接続箇所を示す

令和6年 3月 日

滋賀県立大学財務課

株式会社 総合設備コンサルタント

工事名称 滋賀県立大学C棟トイレ改修後期工事

図面名称 C3 換気設備 1. 2階平面詳細図（撤去・改修後）

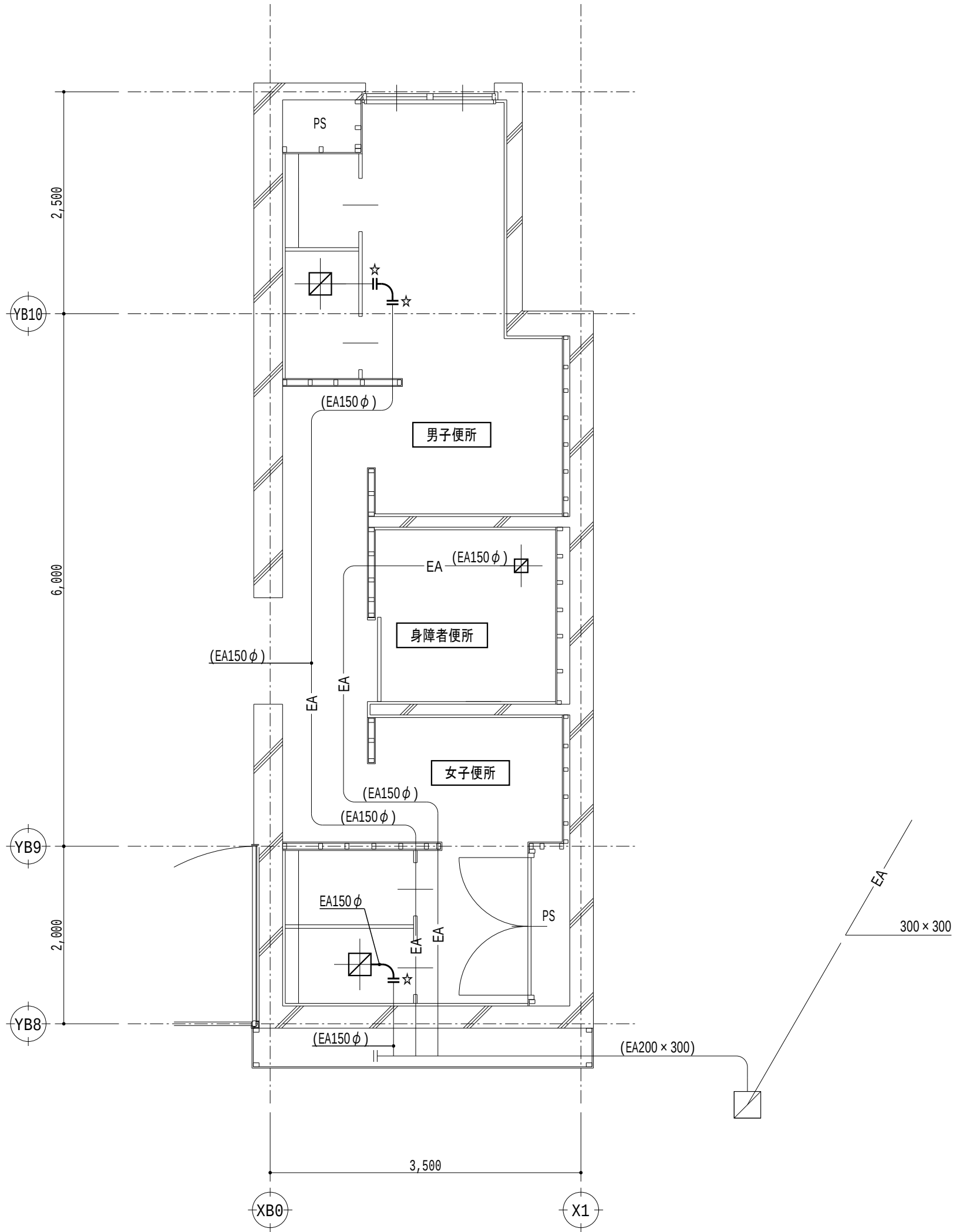
図面No. M-11

設計日 2024年3月

男子便所 (撤去・処分)		
HS 250×250 [EA 380 m³/h]	1	
450×450×400H (保温なし)		
注記) 制気口の撤去を行い、ボックス・ネックは残置とする		

身障者便所 (撤去・処分)		
HS 150×150 [EA 130 m³/h]	1	
350×350×300H (保温なし)		
注記) 制気口の撤去を行い、ボックス・ネックは残置とする		

女子便所 (撤去・処分)		
HS 250×250 [EA 190 m³/h]	1	
450×450×400H (保温なし)		
注記) 制気口・ボックス・ネックの撤去を行う		



C3 換気設備 3階平面詳細図 (撤去) S = 1/50

記 号	名 称	備 考
——	ダクト	

記 号	名 称	備 考
□	制気口	

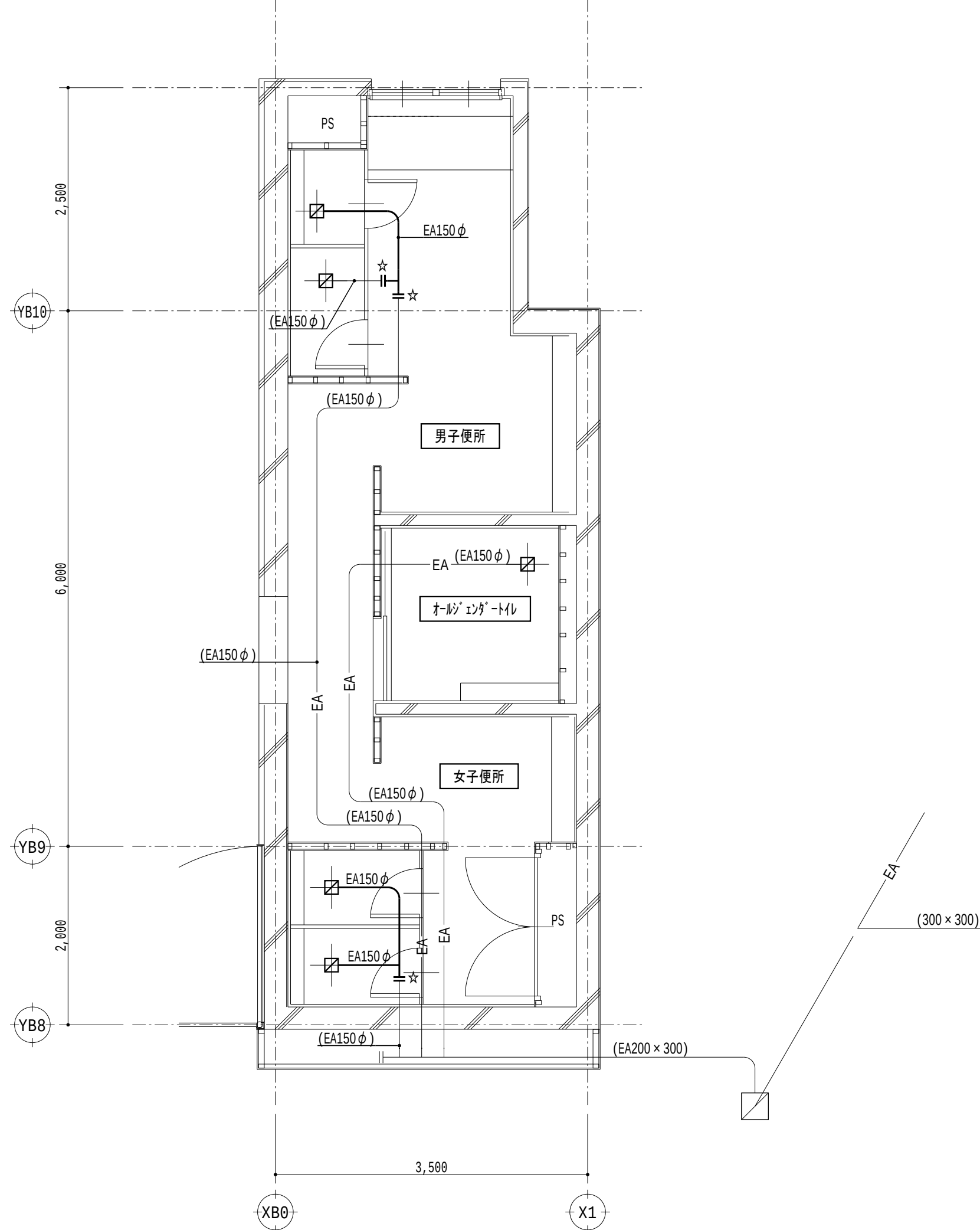
- 注記
- 太線は撤去を示す
 - 細線は残置を示す
 - 特記なきダクトは天井内配管とする
 - ☆は切断箇所を示す

SK (新設)		
HS 150×150 [EA 190 m³/h]	1	
300×300×300H (保温なし)		
注記) 制気口・ボックス・ネックの新設を行う		

男子便所 (新設)		
HS 150×150 [EA 190 m³/h]	1	
450×450×400H (保温なし)		
注記) 制気口の新設を行い、既設ボックス・ネックに接続する		

身障者便所 (新設)		
HS 150×150 [EA 130 m³/h]	1	
350×350×300H (保温なし)		
注記) 制気口の新設を行い、既設ボックス・ネックに接続する		

女子便所 (新設)		
HS 150×150 [EA 95 m³/h]	2	
300×300×300H (保温なし)		
注記) 制気口・ボックス・ネックの新設を行う		



C3 換気設備 3階平面詳細図 (改修後) S = 1/50

記 号	名 称	備 考
——	ダクト	

記 号	名 称	備 考
□	制気口	

- 注記
- 太線は新設を示す
 - 細線は既設を示す
 - 特記なきダクトは天井内配管とする
 - ☆は接続箇所を示す

滋賀県立大学工学部棟他トイレ改修工事

図面リスト

番号	図面名称	縮尺
A-01	建築改修工事特記仕様書（1）	NOSCALE
A-02	建築改修工事特記仕様書（2）	NOSCALE
A-03	建築改修工事特記仕様書（3）	NOSCALE
A-04	工事区分表	NOSCALE
A-05	配置図 附近見取図	1/1500,4000
A-06	工学部棟 1階平面図	1/250
A-07	工学部棟 2階平面図	1/250
A-08	工学部棟 3階平面図	1/250
	C1-1 共同装置棟	
A-09	C1-1 2階便所平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
A-10	C1-1 2階便所展開・天井伏図（改修前）	1/50
A-11	C1-1 2階便所展開・天井伏図（改修後）	1/50
A-12	C1-1 矩計図（改修前・改修後）	1/50
	C2 実習工事棟	
A-13	C2 2階便所平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
A-14	C2 2階便所展開・天井伏図（改修前）	1/50
A-15	C2 2階便所展開・天井伏図（改修後）	1/50
A-16	C2 矩計図（改修前・改修後）	1/50
	C3 材料棟	
A-17	C3 1階便所平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
A-18	C3 2～3階便所平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
A-19	C3 1階便所展開・天井伏図（改修前）	1/50
A-20	C3 1階便所展開・天井伏図（改修後）	1/50
A-21	C3 2～3階便所展開・天井伏図（改修前）	1/50
A-22	C3 2～3階便所展開・天井伏図（改修後）	1/50
A-23	C3 矩計図（改修前・改修後）	1/50
A-24	建具リスト	1/50
A-25	建具詳細図	1/5
A-26	ビクトサイン詳細図（1）	1/2
A-27	ビクトサイン詳細図（2）	1/2

[illegible]

土
事

1 埋戻し及び盛土

種別

・ A種 ※ B種（不足分は良質土搬入のこと） ・ C種 ・ D種 (3.2.3) (表3.2-1)

・建設汚泥から再生した処理土

(3.2.5)

2 建設発生土の処理

※現場説明書による

・構外搬出適切な処理

・構内指示の場所にたい積

・構内指示の場所に敷き均し

(3.3.1)

3 山留め

・自立鋼矢板 ・切梁腹起鋼矢板 ・松矢板

・その他（ 法付けオープンカット工法 施工箇所）

(3.3.1)

4 騒音・振動の防止

低騒音型、低振動型建設機械指定要領に基づき指定された建設機械を使用する。

4 地業工事

1 床下防湿層

施工箇所 ※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下
ポリエチレンフィルム t=0.15

(4.6.6)

2 砕石

※ R C-40 ・ C-40

3 地盤調査

表面波探査法による地盤調査

4 基礎支持地盤の確認

根切完了後、監督職員の確認、承諾を得ること。また、支持地盤が設計支持力が得られないと見込まれる場合は、監督職員と打合せの上適切な処置をとること。

上記以外は構造特記仕様書による

5 鉄筋工事

図示による

6 コンクリート工事

図示による

7 鉄骨工事

1 耐火被覆

種 別

所要性能及び適用構造部位

・ラス張りモルタル塗り

・耐火1時間

・耐火材

・乾式吹付けロックウール

・耐火1時間（比重0.28以上、厚さ25mm）

吹付け

・半乾式吹付けロックウール

／1号棟多目的便所 見え隠れ部分柱・梁

・湿式ロックウール

・耐火板張り

ALC平板パネル t=50

・繊維混入タイプ軽カルシウム板（4号）張 t=20

／1号棟多目的便所 見え掛部分柱

上記以外は構造特記仕様書による

(7.9.2～7)

8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

1 補強コンクリートブロック造

※空洞ブロック16 ・空洞ブロック16-W

(8.2.2)

2 コンクリートブロック縦壁及び幅

※標準表8.3.1及び下表による

適用箇所

厚さ (mm)

・間仕切壁 ・地下二重壁 ・外壁

・150

・120

・100

・扉

高さ

2 m以下

・2 mを超える

・衛生配管用裏積みブロック

・100

(8.4.2～6) (表8.4.2～4)

3 ALCパネル

種 類

単位荷重 (N/m²)

厚さ (mm)

取得付け法種別

・外壁パネル

・1180

・1960

・100(平/コナリ)

・A種 ・ B種

・125(平/コナリ)

・A種 ・ B種

・150

・A種 ・ B種

・間仕切壁パネル

※100

・C種 ・ D種 ・ E種

・屋根パネル

・980

・※100

・F種

・床パネル

・2350

・3530

・100

・150

外壁パネル：1号棟 多目的便所外壁、接続部1号棟外壁開口閉塞部

・床パネルの耐火性能（・1時間 ・2時間）

(8.5.2～6) (表8.5.1～2)

4 押出成形セメント板（ECP）

種 類

表面形状

厚さ (mm)

幅 (mm)

工法種別

・外壁パネル

※F ・ F-R

・D ・ D-R

・A種 ・ B種

・T ・ T-R

・間仕切パネル

※F ・ F-R

・D ・ D-R

・B種 ・ C種

・T ・ T-R

耐火性能

・有り（ ）

・無し

9 防水工事

1 アスファルト防水

種 別

施工箇所

(9.2.2～3) (表9.2.3～8)

・ A1-2

・ A-2

・ D-2

・ B1-2

・ E-2

アスファルト ※3種 ・ 4種 (9.2.2)

断熱工法の断熱材 厚さ (mm) ・ 25 (9.2.2)

ただし、特定フロンを含まないもの。

立上り部の保護

・乾式保護材

・押出成形セメント板（厚さ 15mm）

(9.2.5)

2 改質アスファルトシート防水

種 別

・ A S-1

・ A S-2

厚 さ ()

施工箇所

・

(9.3.2～4) (表9.3.1)

3 合成高分子系ルーフィングシート防水

種 別

厚さ (mm)

施工箇所

仕上がり塗料塗り

使用分類

・ S-F1

※1.2

・

・シルバー

・非歩行

・ S-F2

※2.0

・

・カラー

・軽歩行

・ S-M1

※1.5

・

・防滑性E4

・ S-M2

※1.5

・

・床3つ張

・ S-M3

※1.2

・

(9.4.2～3) (表9.4.1)

4 金属地下断熱防水工法

金属地下 JEP建材 (L)ルーフ

断熱材 面材付ポリスチレンフォーム 3種b t=35mm

一部

防水工法 非歩行用 機械固定式塩ビシート防水（立上り共） t=1.5mm

(9.5.3) (表9.5.1)

5 塗膜防水

・ウレタン塗膜防水 X-2

施工箇所：

・無機質浸透性塗布防水材（ ケイ酸質系塗布防水材）

施工箇所：1号棟多目的便所増築部 外部巾木

6 塗布防水

・無機質浸透性塗布防水材（ ケイ酸質系塗布防水材）

施工箇所：1号棟多目的便所増築部 外部巾木

7 シーリング

下表以外は、標準表9.6.1による

(9.6.2) (表9.6.1)

種 別（記 号）

施工箇所

MS-2(ノアロードタイプ) 換気扇7-F7周囲

SR-1 内部壁洗面カウンター取合い、ライニング天板

※施工に先立ち簡易接着性試験を行う。

(9.6.5)

8 責任施工及び保障期間

防水工事は責任施工とし、保証期間は次のとおりとする。

・アスファルト防水 10年

・合成高分子ルーフィングシート防水 10年

・塗膜防水 10年

10 石工事

1 天然石

石の種類・表面仕上げ

(10.2.1) (表10.2.1～2)

施工箇所

種 類

産地・名称

断面寸法(mm)

仕上げる種類

2 壁の石張り工法

外壁石張り

工法

(10.3.2～3) (10.5.2～3)

内壁石張り

工法

(10.4.2～3) (10.5.2～3)

3 床及び階段の石張り

床石張りの裏面処理

・行う

屋内のフックス掛け

・行う

(10.6.2) (10.1.5)

11 タイル工事

1 陶磁器質タイル

タイルの種類

(11.2.1) (表11.2.1～2)

施工箇所

形状寸法 (mm)

き じ

うわぐすり

役物

色

再生材の

備考

・小使便汚汚4-F600×800

磁器

せつ

陶器

ぬゆう

無ゆう

あり

なし

標準

特注

適用

(G)

参考品番

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

・1000

工事区分表

下記の項目は○印部分を区分して施工する。但し図面その他に特記のあるものは、それに従う。

No	工 事 項 目	建 築	電 気	機 械		別 途	備 考	No	工 事 項 目	建 築	電 気	機 械		別 途	備 考
①	躯体貫通スリーブ入・箱入、躯体貫通コア抜き、開口新設	○	○	○			・貫通コア抜きは鉄筋探査実施後施工すること	47	電気錠の操作盤・制御盤						
②	躯体貫通孔・箱入れ部の施工後の孔埋め	○	○	○				48	電気錠の電源・配管・配線						
③	設備用躯体貫通の補強筋及び開口部補強筋	○						49	昇降機の一次側配管配線						
4	A L C板の補強を要しない貫通用の穴開け							50	昇降機の出入口・三方枠・カゴ内インターホン取付・制御盤・二次側配管配線						
5	A L C板の設備貫通用の開口補強、機器取付用下地補強							51	鉄骨構造階の出入口三方枠・敷居・押しボタン等の固定用鋼材の設置						
⑥	L G S壁下地の設備貫通用の開口補強、機器取付用下地補強	○					手摺・衛生器具取付下地補強含む	52	鉄骨構造階の出入口機器と壁面の耐火処理						
7	地下ビットの躯体内外防水仕上、マンホール、タラップ並びに連通管							53	鉄骨構造階における中間ビームの設置						
⑧	点検口の製作取付（床、壁、天井）	○						54	鉄骨構造階におけるレールブラケット・ポストアングル固定用ファスナの設置及び錆止め塗装						
9	吹出口、吸込口等の埋込器具取付のための墨出し							55	昇降機のインターホン用配線						
10	吹出口、吸込口等の埋込器具取付のための孔開・補強							56	昇降機のインターホン用配管（シャフト内）						
11	建物外壁に取付く給・排気ガラの製作取付							57	昇降機のインターホン用配管（シャフト外）						
⑫	建具ガラの製作取付	○						58	昇降機監視室等のインターホン取付調整						
13	機械・機器類の基礎（建築図面記載のものに限る）							59	昇降機監視用モニターの設置						
14	機器用アンカーボルト（〃）							60	昇降機ビット内点検用コンセント						
15	消火用充水槽							61	昇降路・ビットモルタル防水仕上げ						
16	受水槽・消火用充水槽基礎							62	昇降機機械室内ホイスティングフック						
17	流し台							63	昇降機各出入口・インジケーター押ボタン等の孔明工事						
⑮	便所廻りの手摺			○			取付下地補強建築工事補強はメーカー仕様による	64	昇降機機械室床嵩上げコンクリート打設及び防塵塗装						
⑮	換気機器			○				65	空調機への電源配管配線工事						
20	同上取付枠							66	同上内～外機への渡り配線（冷媒配管共巻き）						
⑮	天井扉・ダクト・ガラリ・ベントキャップ			○				67	空調機及び全熱交換器のリモコン用配線・取付・調整						
22	フードの製作・取付							⑥8	既設土間コンクリートはつり、復旧	○					設備図記載のものは除く。
23	電動シャッターの一次側配管配線							69	犬走り・側溝部分の撤去及び復旧						
24	電動シャッターの二次側配管配線・調整							⑦0	設備配管改修に伴う下階既設天井仕上の撤去、復旧	○					
25	防火・防煙シャッターの煙感知器・連動装置・制御盤							71	建具に設置する換気扇取付または配管貫通用のアルミパネル						(建)…配管貫通用75mm×44mm(開口共) (機)…換気扇取付
26	防火扉の一次側配管配線							72	既存換気扇開口部の閉塞						
27	防火扉の二次側配管配線・調整、開放装置							73	機械警備用空配管（既設配管利用）						
28	同上煙感知器・連動装置・制御盤							⑦4	構内舗装の撤去及び仮復旧	○					
29	液面電極棒の取付及び調整(消火用充水槽)							⑦5	構内舗装復旧	○					
30	加圧ポンプユニット 電源配管配線							76	既存汚水貯留槽 汚泥抜き取り・清掃消毒						
31	同上 制御・警報用配管配線							77	既存浄化槽 機器・配管・槽撤去						
32	給湯設備の一次側配管配線及びリモコン用配管							78	既存グリストラップ 土工事・躯体撤去						
33	同上二次側配管配線及びリモコン用配線・調整							79	既存浄化槽 一次側電源撤去						
⑦4	洗面カウンター	○					取付下地補強建築工事補強はメーカー仕様による	⑧0	諸官庁等検査・申請手続き及び、それに伴う費用	○	○	○			
⑦5	洗面カウンター用洗面器			○				81	監督員事務所						
36	消火ポンプユニット 電源配管配線							⑧2	工事範囲の仮囲い、ゲート及び敷き鉄板等	○					
37	同上 制御・警報用配管配線							⑧3	工事中に於ける水道、下水、ガス、電気の使用料金	○					現場事務所のみ適用
⑦8	照明器具・配管、ライティングダクト等吊ボルト用インサート		○					84	既設高圧受変電設備・非常用発電機廻りフェンス工事						
⑦9	ダクト・給排水管等吊りボルト用インサート			○				85	生徒用仮設トイレ本体工事						
40	厨房器具							86	生徒用仮設トイレ照明器具及び電源工事						
41	同上接続配管・電源接続工事							87	生徒用仮設トイレ給排水配管及び接続工事						
42	消火器							88							
43	消火器ボックス							89							
⑦4	化粧鏡(一般単体鏡 既製品)			○				90							
45	化粧鏡(大型鏡)														
46	電気錠の取付														

設備用の開口補強数量表

1. 設備用躯体貫通補強筋及び開口補強筋

1) 梁貫通補強筋（貫通孔D／3以下、梁巾＝400以下の場合、Dは梁せい）

貫 通 内 径 （ φ ）	数 量	備 考
100<φ≤200		
200<φ≤300		
300<φ≤400		

※貫通内径100φ未満の時は補強を必要としない。 H：貫通内径mm

2) スラブ開口補強筋

開 口 面 積 （ m ² ）	数 量	備 考
A ≤ 0. 3		
0. 3 < A ≤ 1. 0		
1. 0 < A ≤ 2. 5		

※スラブ筋を切断しない場合は補強を必要としない。 A：開口面積㎡

3) 壁開口補強

開 口 寸 法 （ mm ）	数 量	備 考

※壁面を切断しない場合は補強を必要としない。

2. 設備用下地材開口補強

1) 壁開口補強 軽量鉄骨下地、木軸等

開 口 寸 法 （ m ² ）	数 量	備 考
0.0 ～ 0.5 (床)		
0.0 ～ 0.5 (壁)		
1.1 ～ 1.5		
1.6 ～ 2.0		
2.0 ～ 2.5		

2) 天井開口補強

開 口 面 積 （ m ² ）	数 量	備 考
0.0 ～ 0.5	60	埋め込み照明（ダウンライト）
0.0 ～ 0.5	1	埋め込みスピーカー
0.0 ～ 0.5	20	機械設備用
0.6 ～ 1.0		埋め込み照明
1.1 ～ 1.5		天井カセットエアコン
600×600 天井点検口		
450×450 天井点検口	10	

特記事項

1. この表（工事区分表）及び図面その他に記載がなく工事区分が不明なもの、または必要な工事については、協議の上監督員の指示により区分を決定する。 この場合、工事費の増減の対象とはしない。

令和6年 3月 日

滋賀県立大学財務課

株式会社 総合設備コンサルタント

工事名称 滋賀県立大学C棟トイレ改修後期工事

図面名称 工事区分表

NOSCALE

図面No. A-4

設計日 2024年3月

■特記事項

- ・本工事は滋賀県立大学の「工学部棟 C1棟」「工学部棟 C2棟」「工学部棟 C3棟」にある便所の改修工事を行うものとする。
- ・本工事は校内、開校中の工事となるため、学生、職員、来客者、の安全管理に十分留意すること。
- ・施工計画において、作業曜日、作業開始時間、終了時間等の工程計画、工事場所の仮設間仕切り等、施設側と十分協議の上、作業計画を立てること。（必要に応じ休日、夜間工事も含めた立案とすること。）
- ・施工計画に際し、大学運営、学生、職員、来客の安全及び、騒音・振動が出る工事、埃が出る工事については最優先に考慮し、対策を講じ、施設側と協議すること。
- ・内容については、施工場所の学生、大学職員、来客の動線及び工事場所以外の職員作業室の確保等を必要に応じ計画に含むものとする。
- ・滋賀県立大学、監督職員と工程を含め施工計画を作成し関係者の承諾を得ること。
- ・本工事による便所以外の他部屋の給排水設備への影響を極力及ばさぬよう、現地調査を十分に行い、計画すること。
- ・本工事により、既設建物・舗装等に損傷を与えた場合は、本工区内、請負者の責任において現況復旧を行うこと。
- ・工事が完了した部分から、都度仕様承諾等にて、請負者と大学側で執り行い、利用できるよう協力すること。

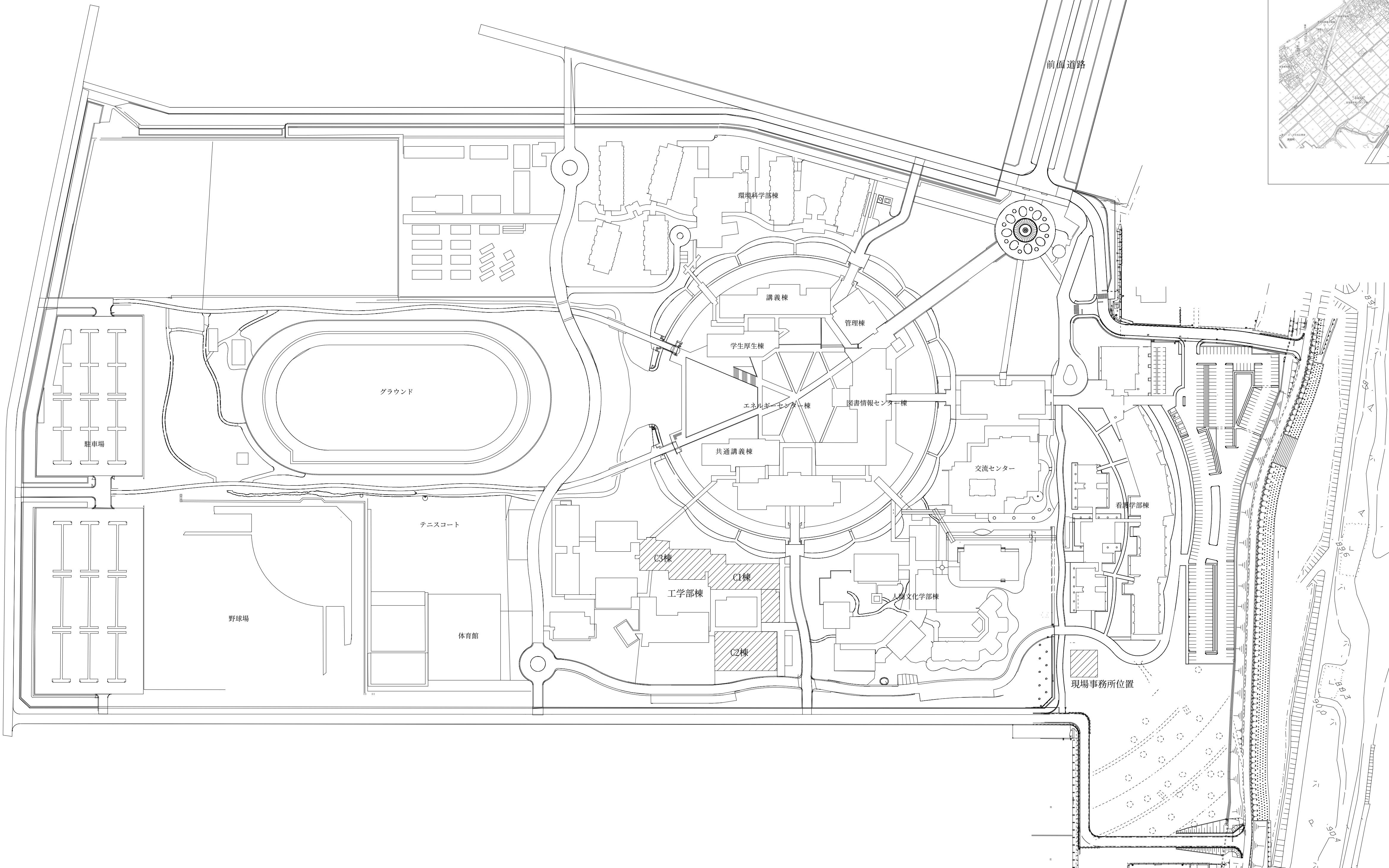
【工事概要】

- ・工学部棟 C1棟の2階男女便所の改修を行う。
- ・工学部棟 C2棟の2階男女便所の改修を行う。
- ・工学部棟 C3棟の1～3階男女便所の改修を行う。
- ・上記に付随する機械設備・電気設備工事。



工事場所：滋賀県立大学
彦根市八坂町2500

附近見取図 1/4000



配置図 1/1500

：改修棟を示す

令和6年 3月 日

滋賀県立大学財務課

株式会社 総合設備コンサルタント

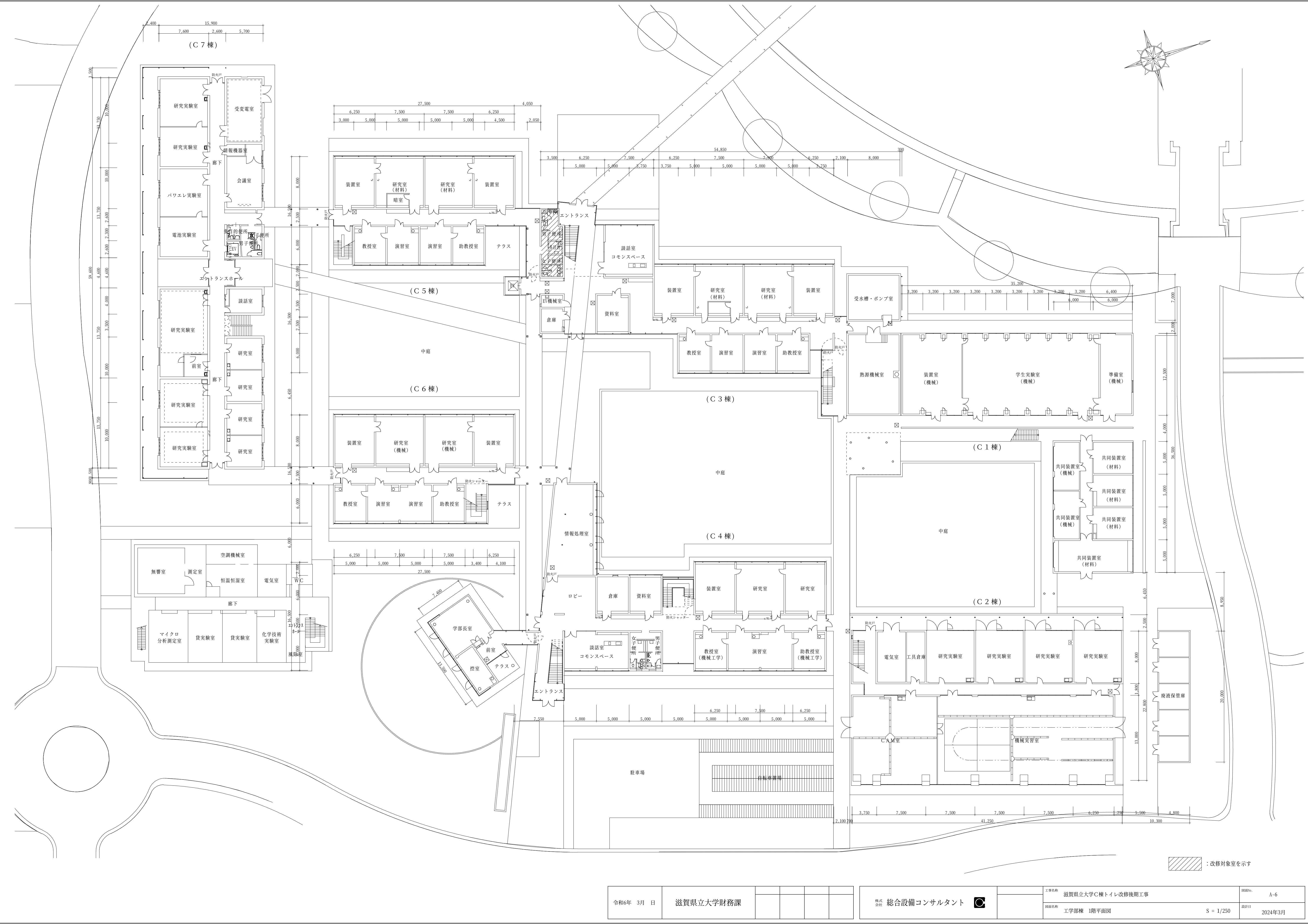
工事名称 滋賀県立大学C棟トイレ改修後期工事

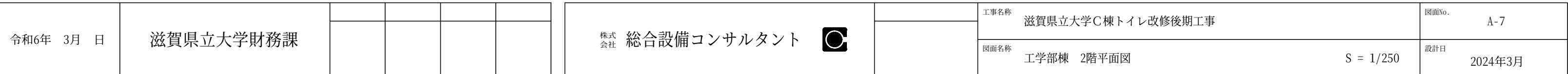
図面No. A-5

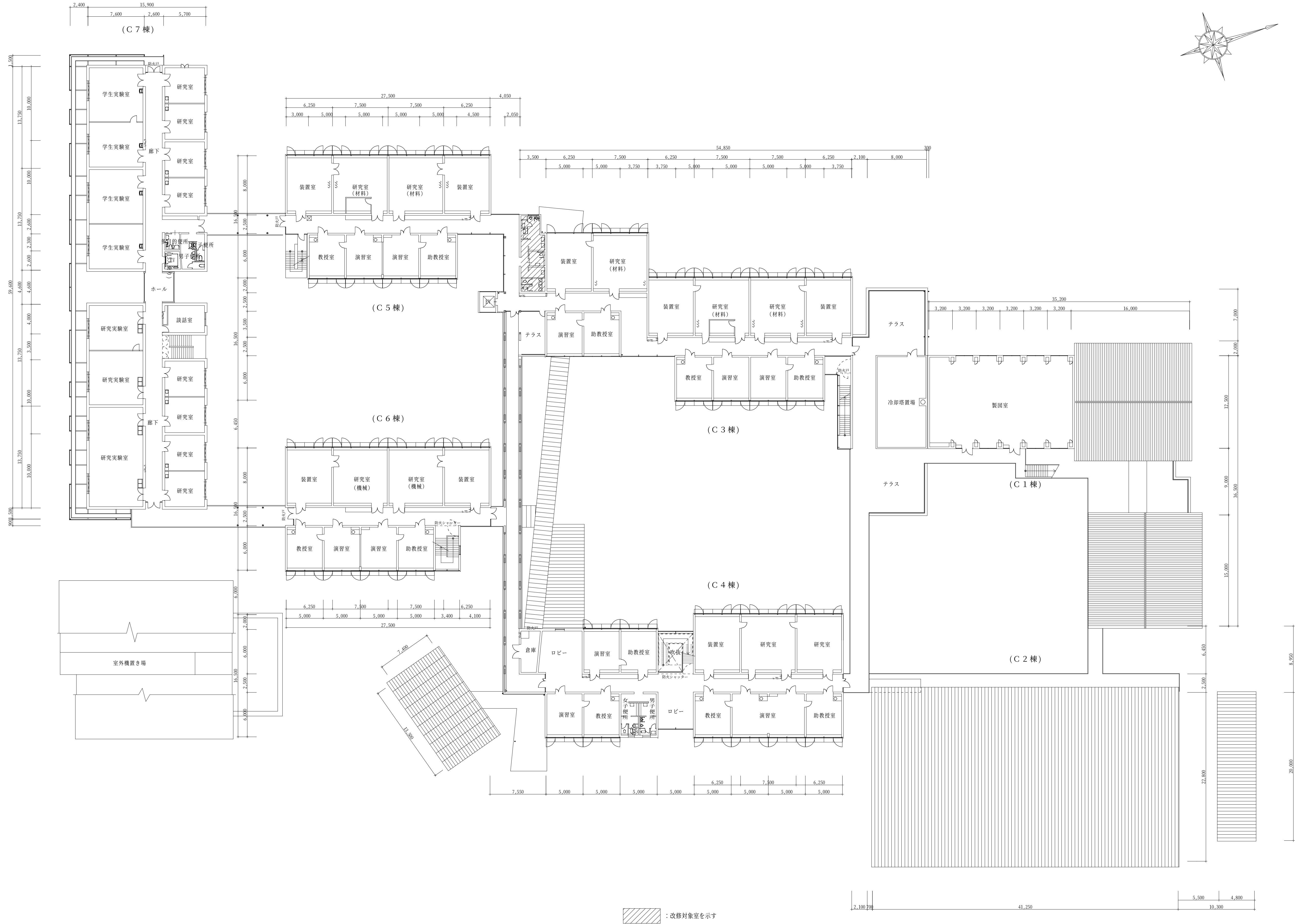
図面名称 配置図 付近見取図

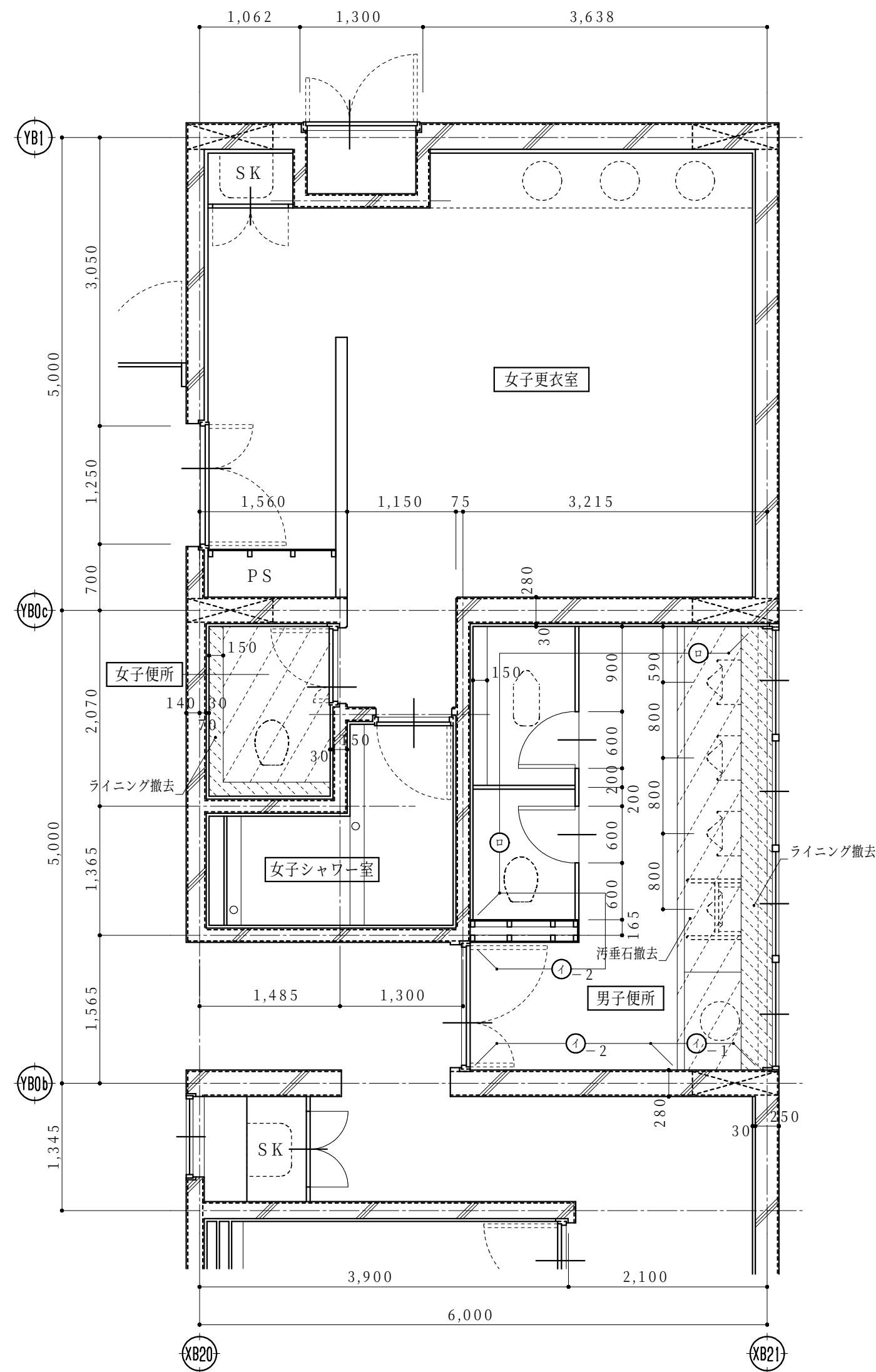
S = 1/1500

設計日 2024年3月



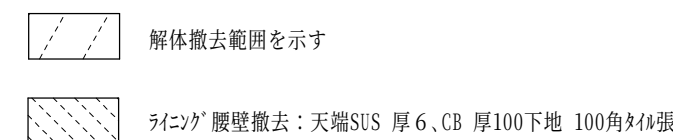




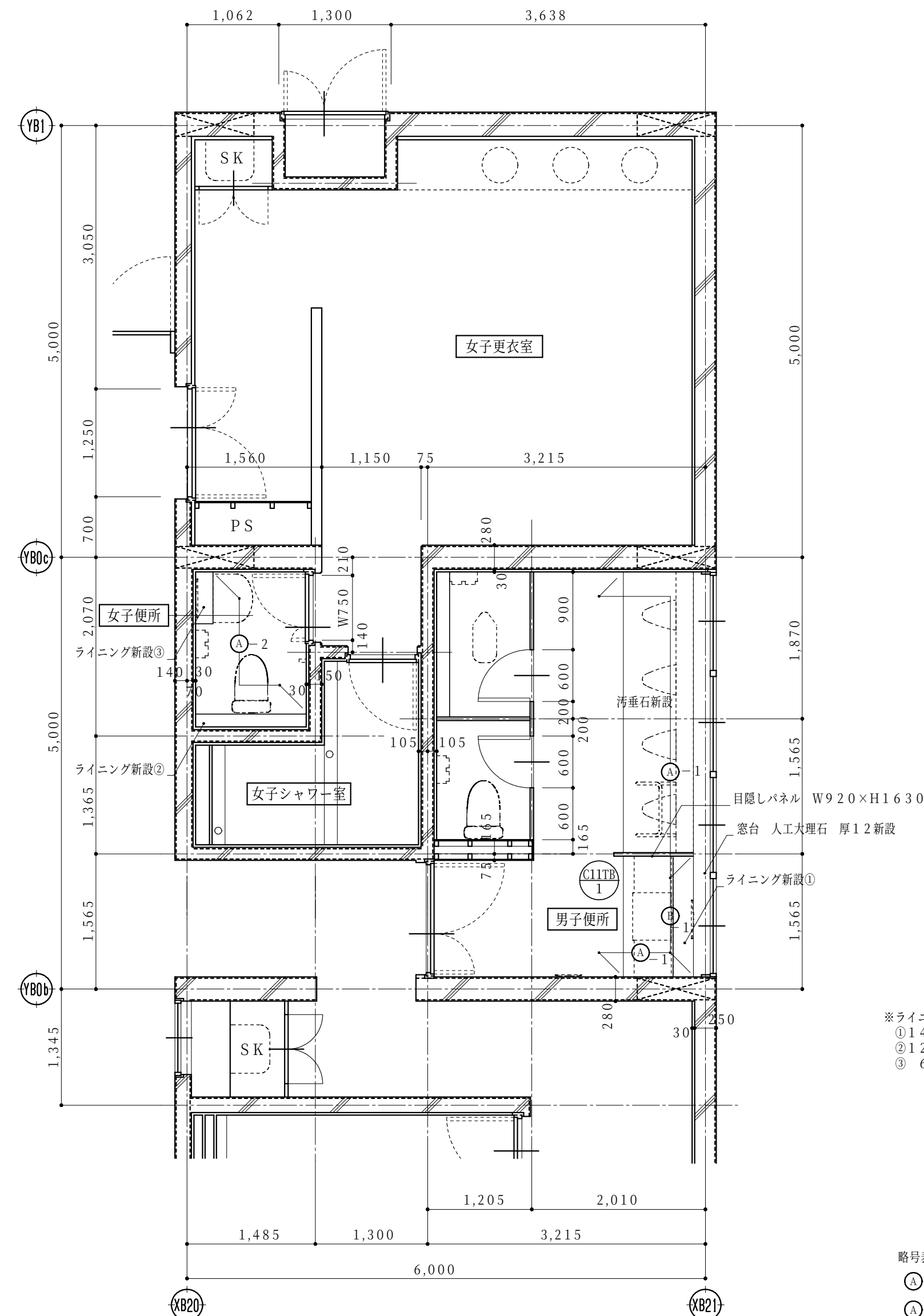


略号表示

①-1	AEP塗(塗膜除去)
①-2	AEP塗(存置)
②	壁タイル貼(存置)



※衛生器具等撤去(機械設備)
(衛生陶器、配管、鏡)
※照明器具等撤去(電気設備)
※仮設間仕切壁(LGS50 GB-R t12.5程度)、
工事用出入口を係員と協議の上適宜設置する事



※ライニング新設
① 1400×250×H900
② 1280×150×H800
③ 600×200×H900

略号表示

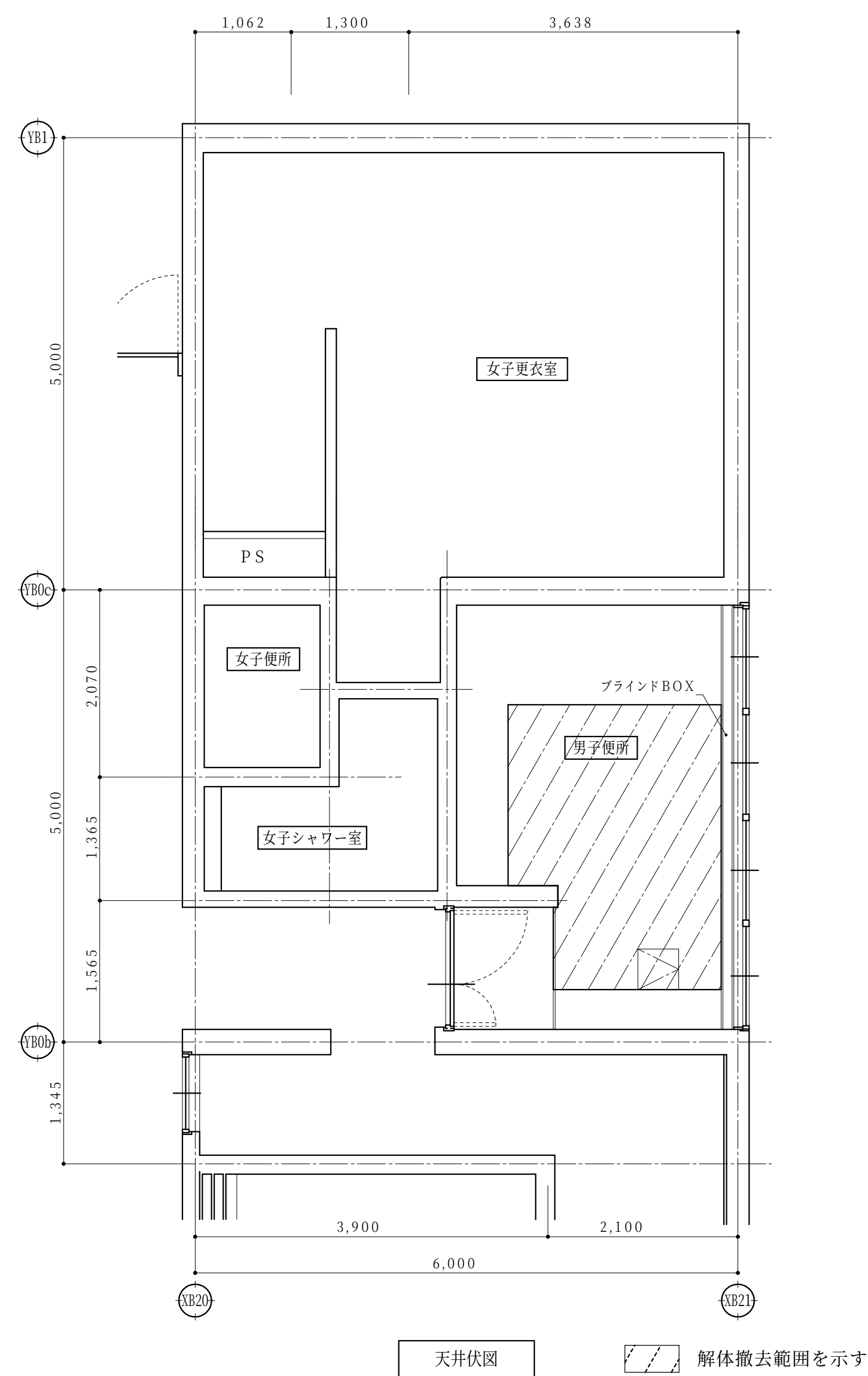
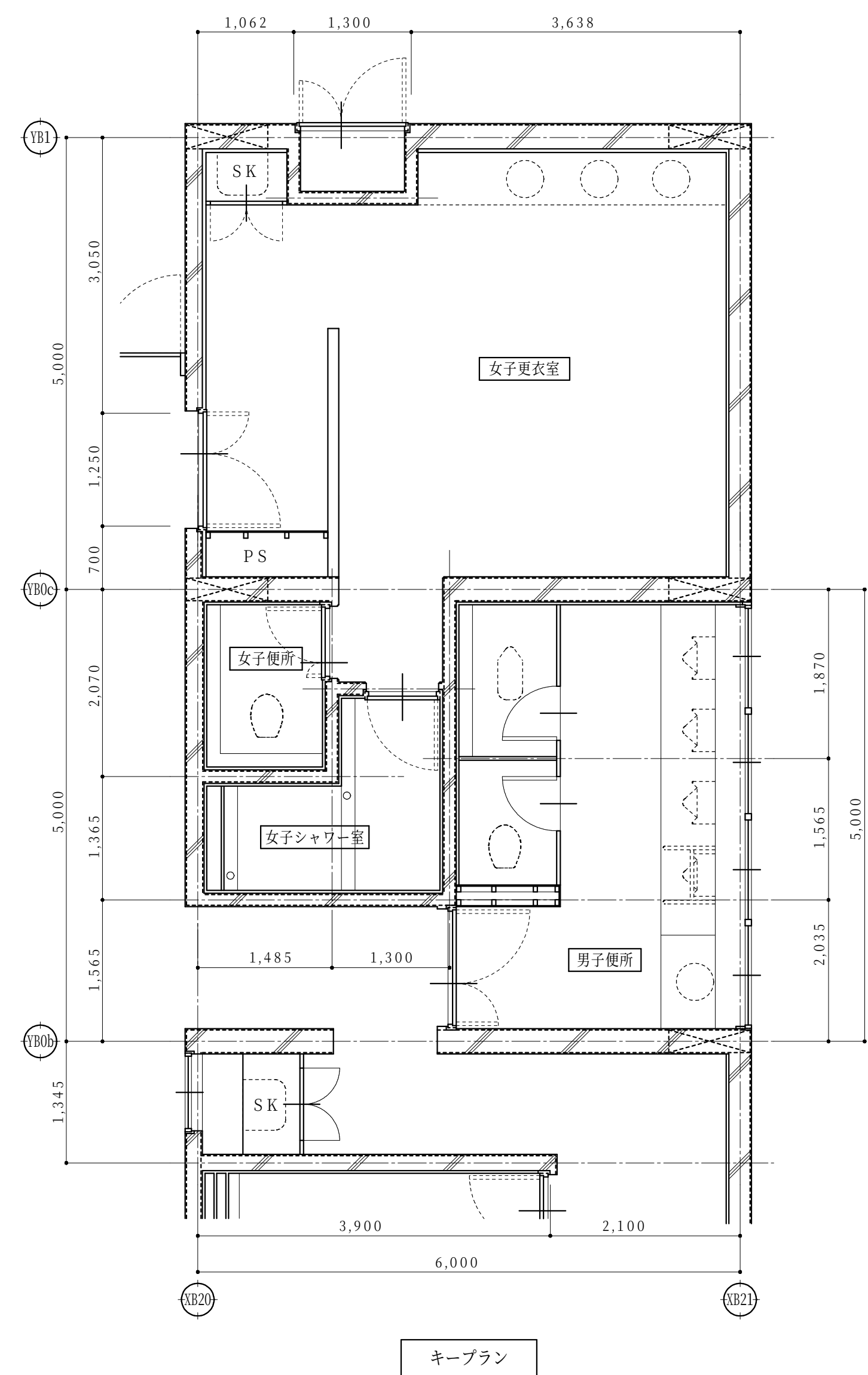
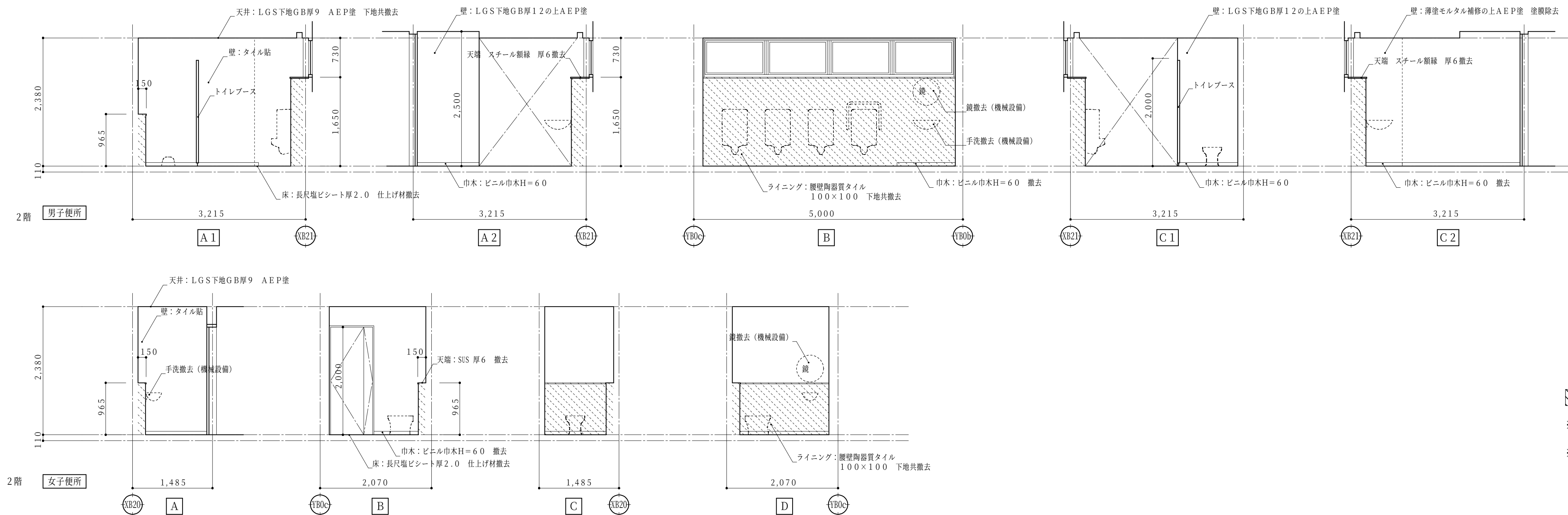
(A) - 1 壁下地調整の上アミノ化化粧板 厚3貼(新設)(壁、腰共：白)

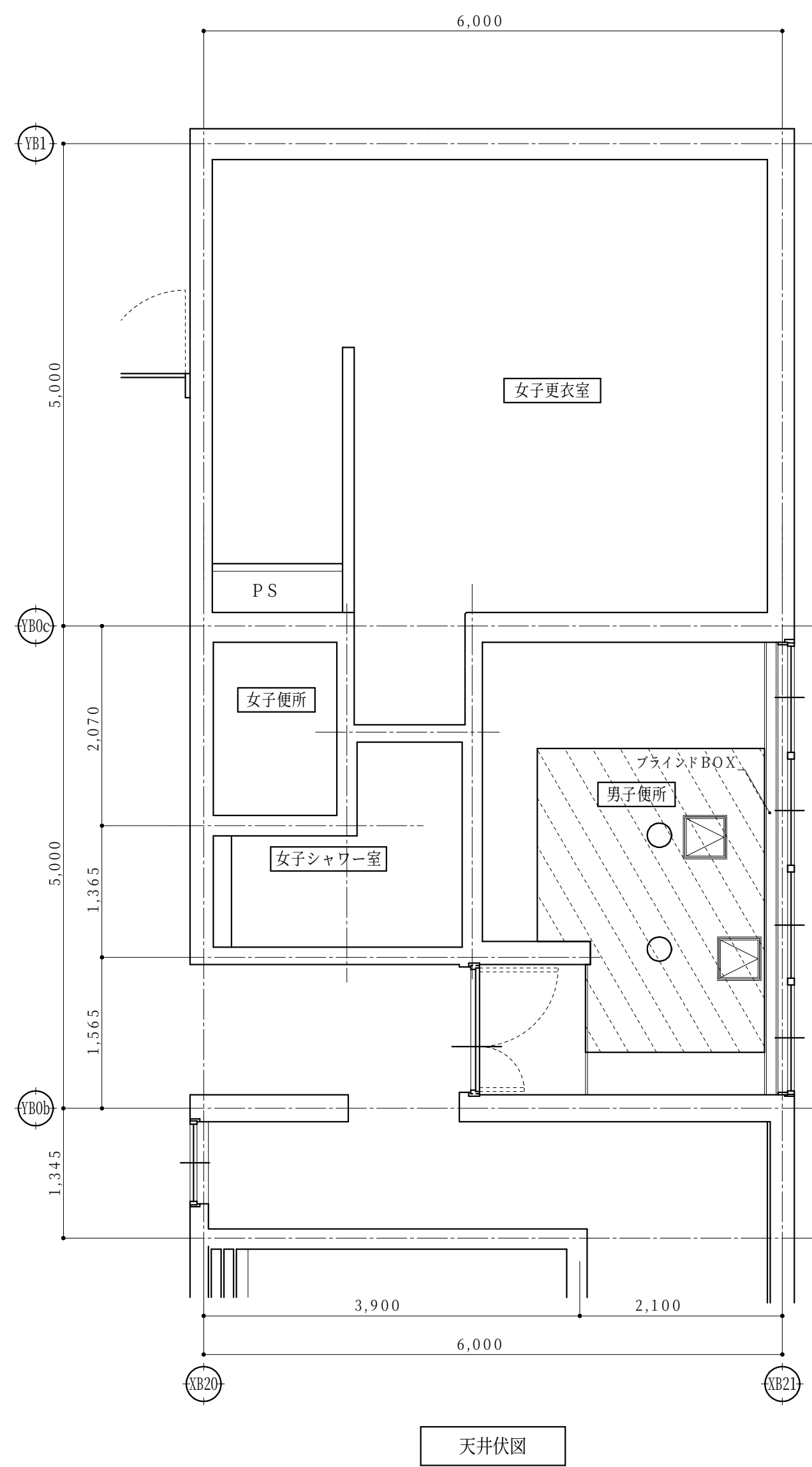
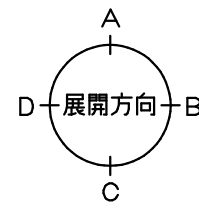
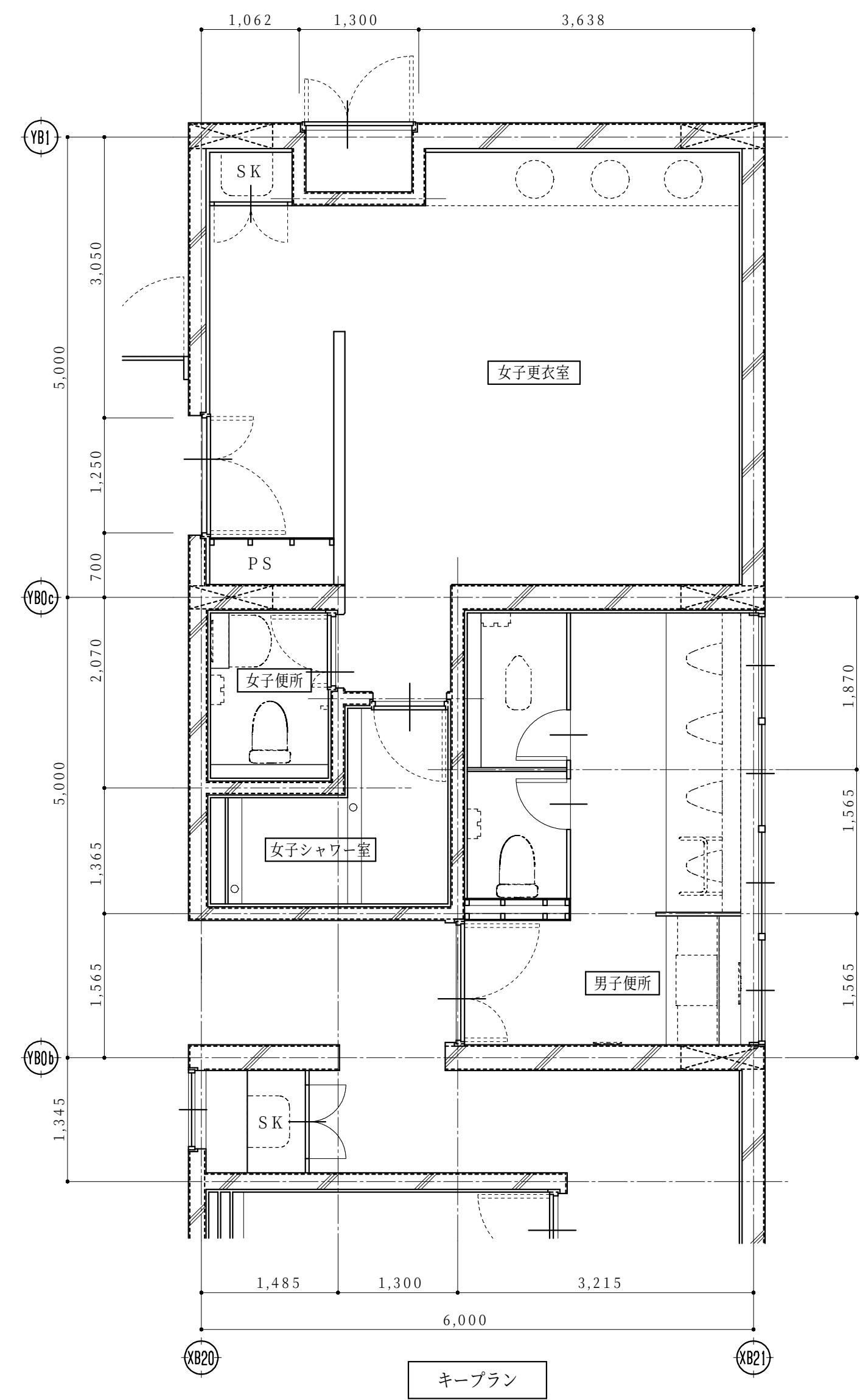
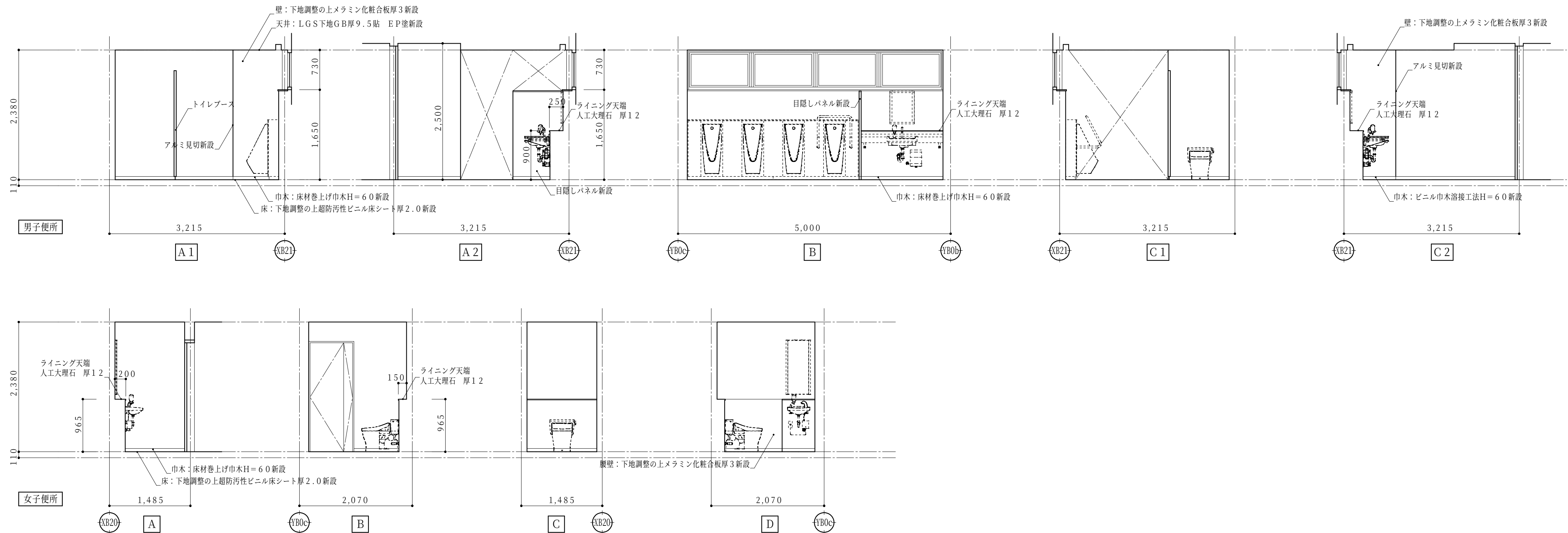
(A) - 2 腰壁下地調整の上アミノ化化粧板 厚3貼(新設)
(H = 9 6 5 : 白)

(B) - 1 壁下地調整の上アミノ化化粧板 厚3貼(指定色)(新設)
(壁：白、腰(ライニング天端又はカウンターより上部)：緑)

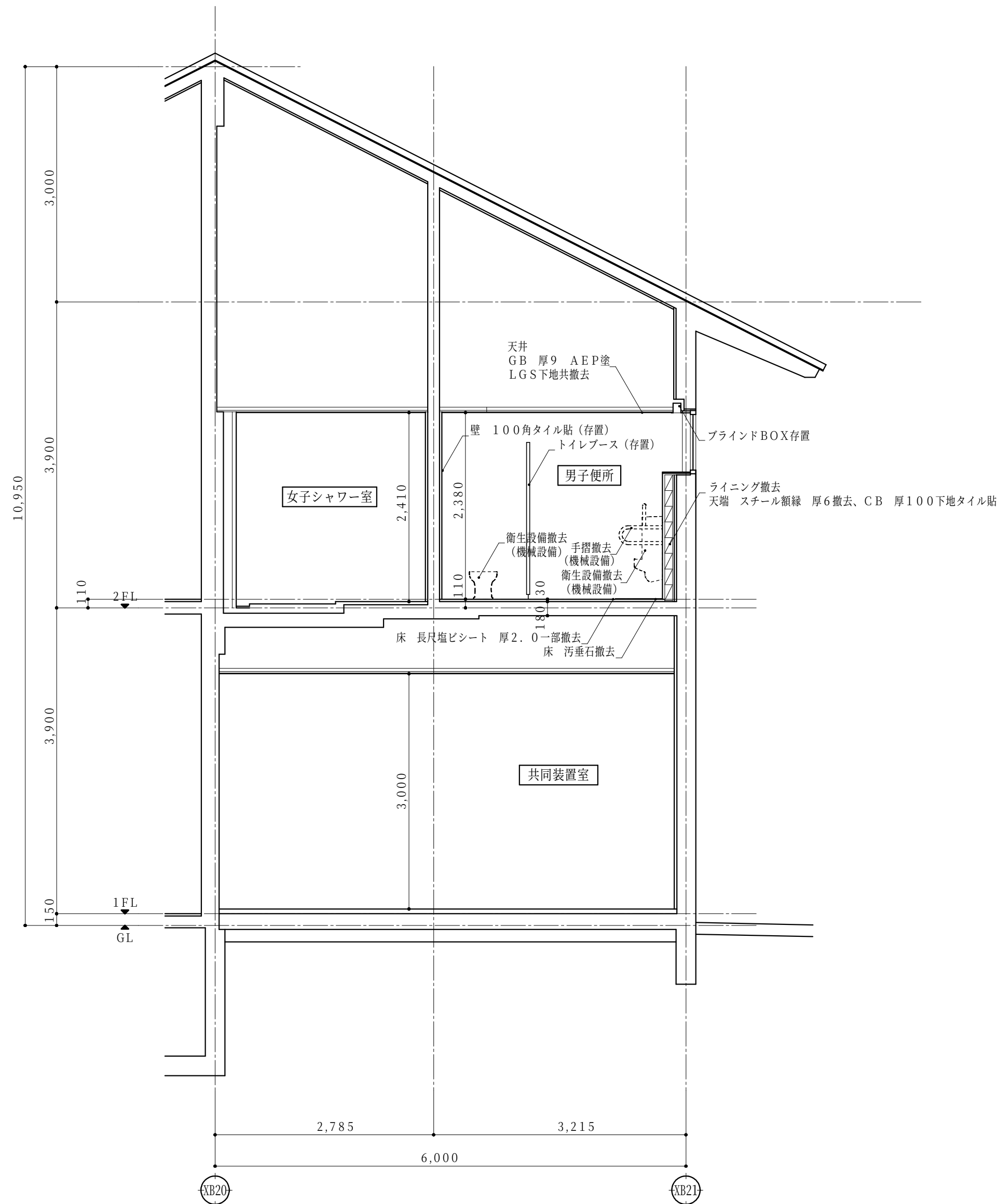
※腰と壁の取合い部はライニング天端合わせでアルミジョイナー設置

内部仕上表																	
階数	室名		床高	天井高	床		巾木	腰壁		壁		天井		廻り縁	室名		備考
			基準FL±	FL±	下地	仕上	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	仕上			
2階	男子便所	改修前	+110	2,380	M0	ビニル床シート 厚2.0貼(一部撤去) 汚垂石 磁器質タイル張(撤去)	ビニル床木浴接工法 H=60(撤去)	M0	100角タイル貼(撤去)	M0.LGS	100角タイル貼(位置) AEP塗(一部塗膜除去)、GB 厚12の上AEP塗(位置)	LGS(撤去)	GB 厚9 AEP塗(一部撤去)	塩ビ製(一部撤去)	男子便所		建築：タイルタテ GB積載去 機械設備：衛生器具、鏡撤去
		改修後	+110	2,380	下地調整	超防汚性ビニル床シート 厚2.0貼(一部新設) 汚垂石(新設)	床材巻上げ巾木 H=60(一部新設)	-	-	下地調整	タタミ化粧合板 厚3貼(一部新設)	LGS(新設)	GB 厚9、5貼 EP塗(一部新設)	塩ビ製(一部新設)		建築：タイルタテ 大板 入口大理石甲板t12 機械設備：小便器手摺	
	女子便所	改修前	+110	2,380	M0	ビニル床シート 厚2.0貼(撤去)	ビニル床木浴接工法 H=60(撤去)	M0	100角タイル貼(撤去)	M0	100角タイル貼(位置)	LGS(撤去)	GB 厚9 AEP塗(位置)	塩ビ製(位置)	女子便所		建築：タイルタテ GB積載去 機械設備：衛生器具、鏡撤去
		改修後	+110	2,380	下地調整	超防汚性ビニル床シート 厚2.0貼(新設)	床材巻上げ巾木 H=60(新設)	-	-	下地調整	タタミ化粧合板 厚3貼(一部新設)	LGS(新設)	GB 厚9 AEP塗(既存のまま)	塩ビ製(既存のまま)		建築：タイルタテ 大板 入口大理石甲板t12	
下地凡例					防火材料認定番号(認定番号は参考)												
C	コンクリート下地				EP塗・EP-G塗	不燃 NM-8585				床既設面下地調整については、速硬型調整材にて下地を行うこと。			天井点検口450角を適宜設けること。				
MO	モルタル塗				石膏板・ト(GB-R) 厚9.5	準不燃 QM-9828				塩ビ製廻り縁は目透かしタテとする。			タタミ化粧合板下地材については十分な養生期間を持ち、施工要領による乾燥状態にて施工を行うこと。				
LGS	軽量鉄骨下地				石膏板・ト(GB-R) 厚12.5	不燃 NM-8619				タタミ化粧合板貼端部及び巾木取合部には7ミミ製見切りを取り付けること。			内装仕上げ材は、F☆☆☆☆仕様とする。				
CB	コンクリートブロック				岩綿吸音板 厚12	不燃 NM-8599				衛生器具等の壁取付部分には補強材またはGB-Sに替え構造用合板にて補強を行うこと。			天井裏・小屋裏の使用材料は、F☆☆☆☆仕様とする。				
SL	セメントリソリ				タタミ化粧板 厚3.0	不燃 NM-2183											
W	木下地									令和6年 3月 日	滋賀県立大学財務課					株式会社 総合設備コンサルタント 	工事名称 滋賀県立大学C棟トイレ改修後期工事 図面名称 C-1 2階便所平面詳細図(改修前・改修後) S = 1/50 図面No. A-9 設計日 2024年3月

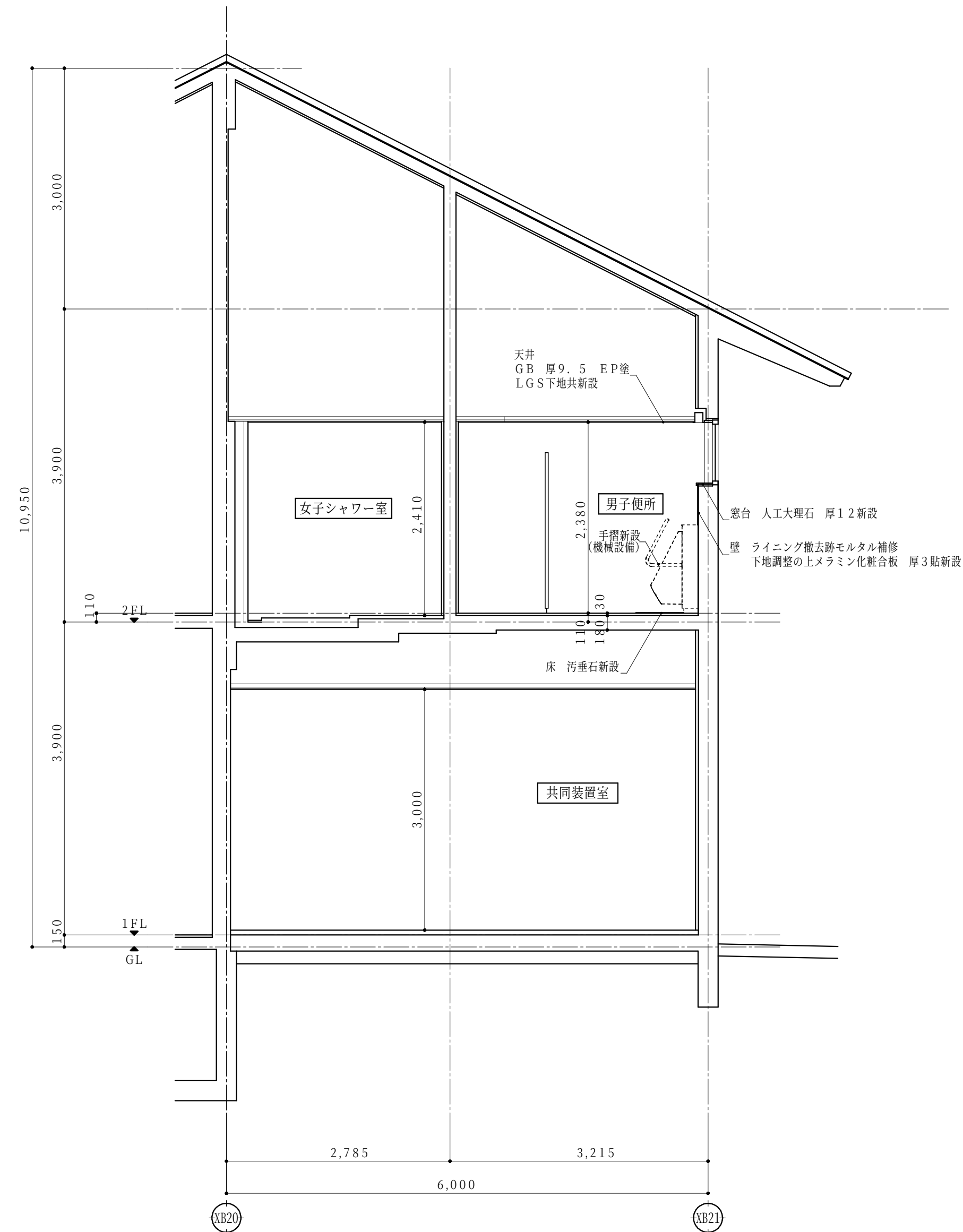




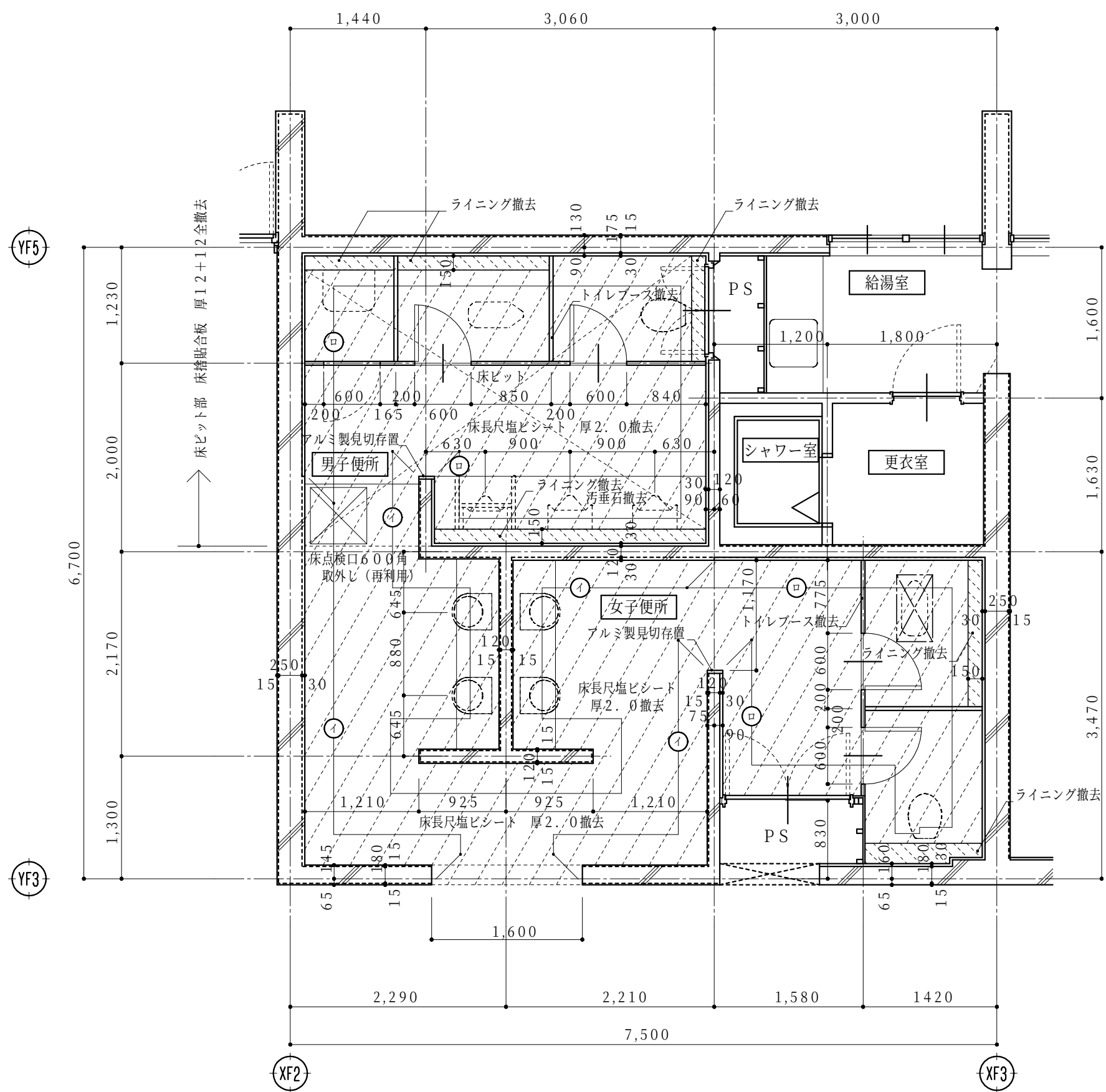
- 新設範囲を示す
- 天井点検口 アルミ製450角（開口補強共）を示す
- 機械設備用天井開口（開口補強共）を示す（寸法は図示）
- 電気設備用天井開口φ150（開口補強共）を示す



C1-1 矩計図 (改修前) 1:50



C1-1 矩計図 (改修後) 1:50

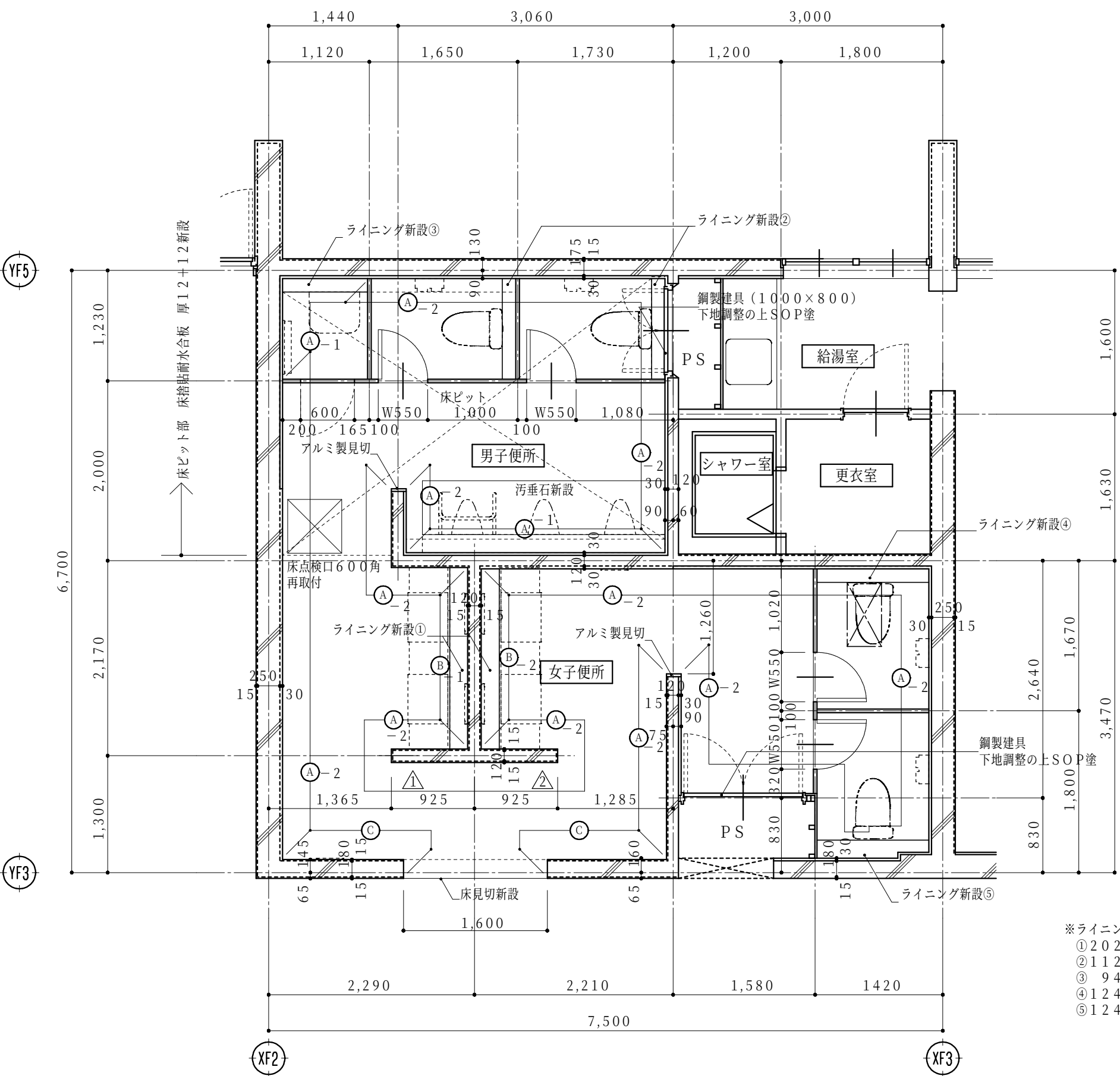


C2 2階便所平面詳細図 (改修前)

- 略号表示
- ① AEP塗 (塗膜除去)
 - ② 壁タイル貼 (存置)
 - ③ 砂壁状覆面塗材 (清掃)
 - ④ 壁コナ打放しB種 (水洗い)

- 解体撤去範囲を示す
- ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

※トイレブース全撤去、洗面カウンター撤去
※衛生器具等撤去(機械設備)
(衛生陶器、配管、手摺、鏡)
※照明器具等撤去(電気設備)
※仮設間仕切壁(LGS50 GB-R t12.5程度)、
工事用出入口を係員と協議の上適宜設置する事



C2 2階便所平面詳細図 (改修後)

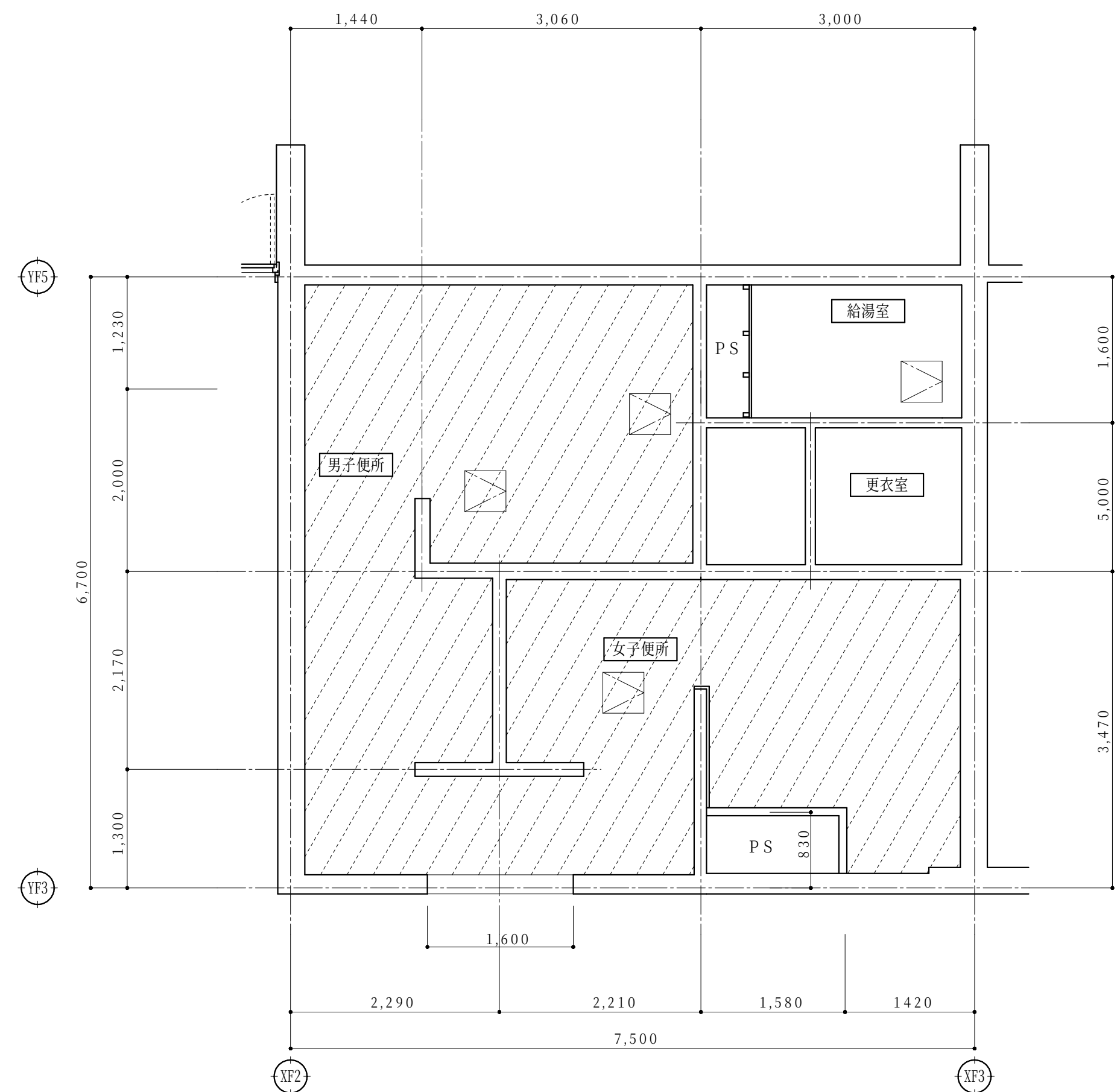
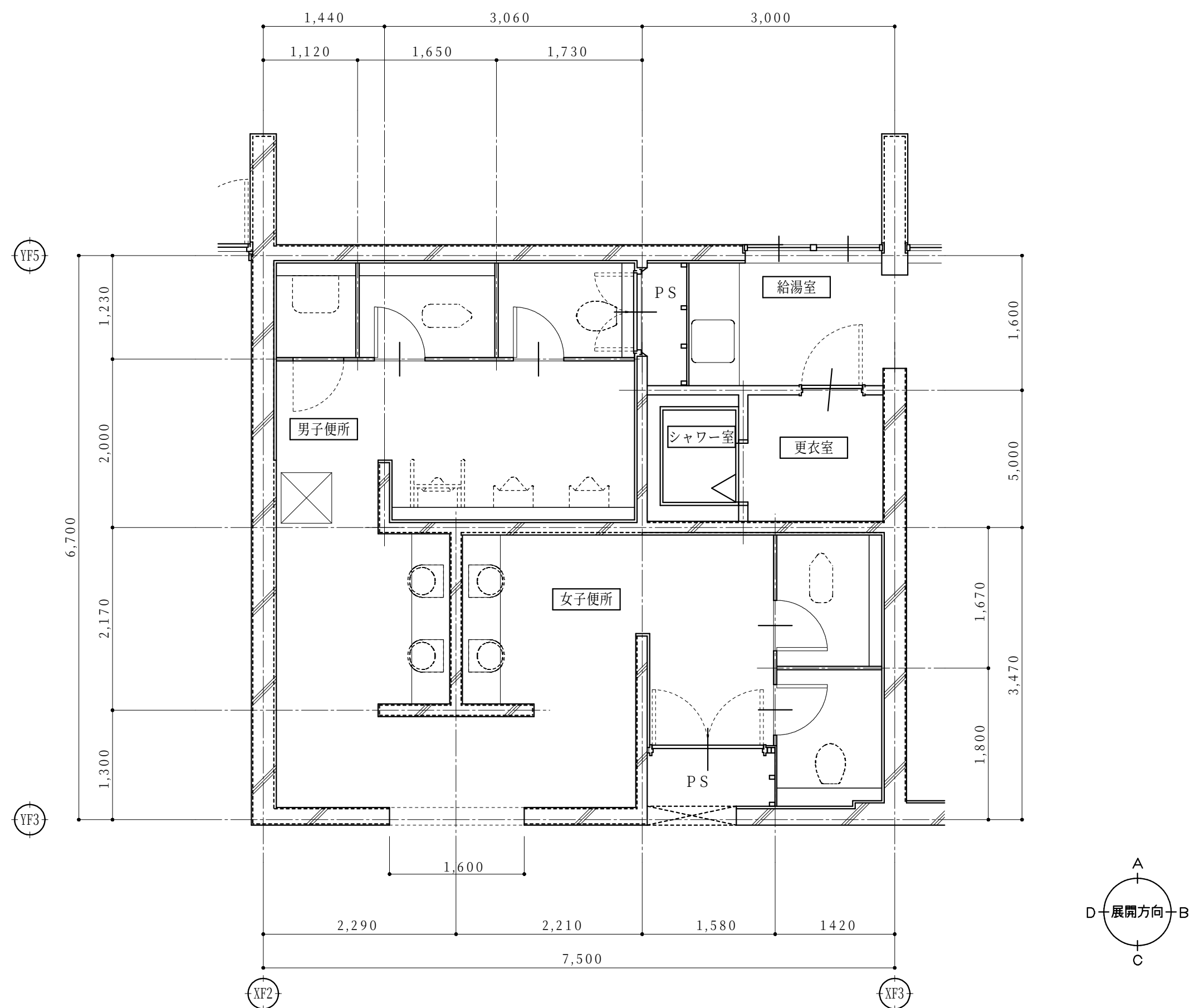
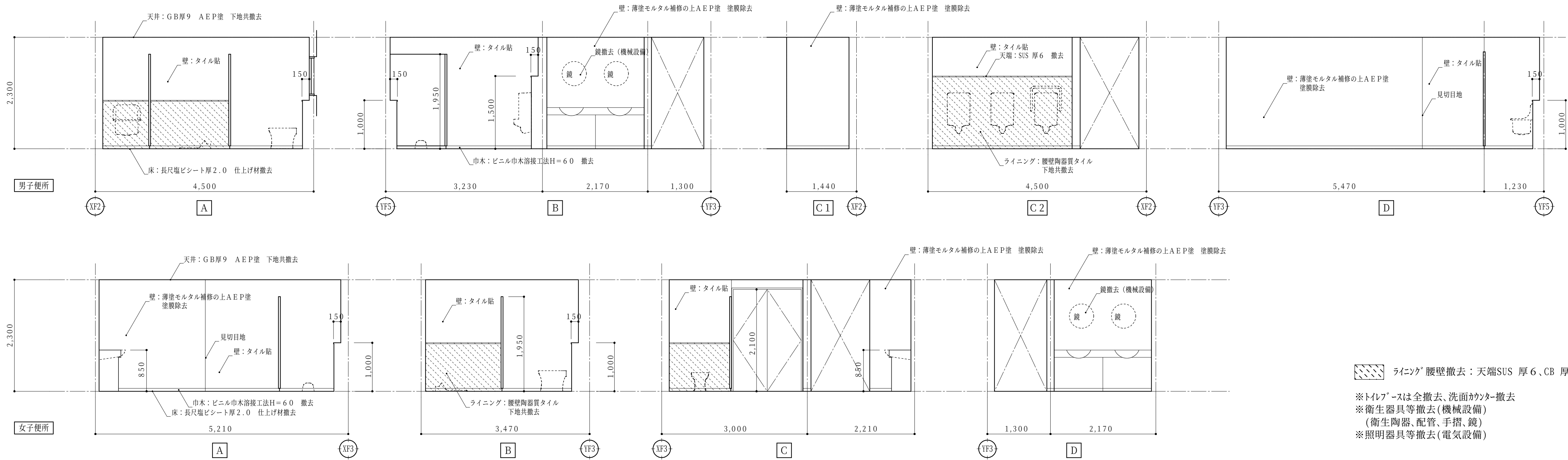
- 略号表示
- ①-1 壁下地調整の上マシ化粧合板 厚3貼(新設)(壁、壁共：白)
 - ①-2 壁下地調整の上マシ化粧合板 厚3貼(新設)
(壁：チーク木目縦 H=800、壁：白)
 - ②-1 壁下地調整の上マシ化粧合板 厚3貼(指定色)(新設)
(壁：白、壁(ライニング天端又はカウンターより上部)：緑)
 - ②-2 壁下地調整の上マシ化粧合板 厚3貼(指定色)(新設)
(壁：白、壁(ライニング天端又はカウンターより上部)：オレンジ)
 - ③ 壁下地調整の上マシ化粧合板

※壁と壁が色分けの部位はライニング天端合わせでアルミジョイナー設置

△ サイン設置位置を示す(サイン詳細図参照)

和便器撤去部開口閉塞(710×380)
コナ打放し(213/13)厚280直押え
後施工アンカー(差筋アンカー D13
薬液固定型)@150(千鳥)
(1ヶ所につき20本)

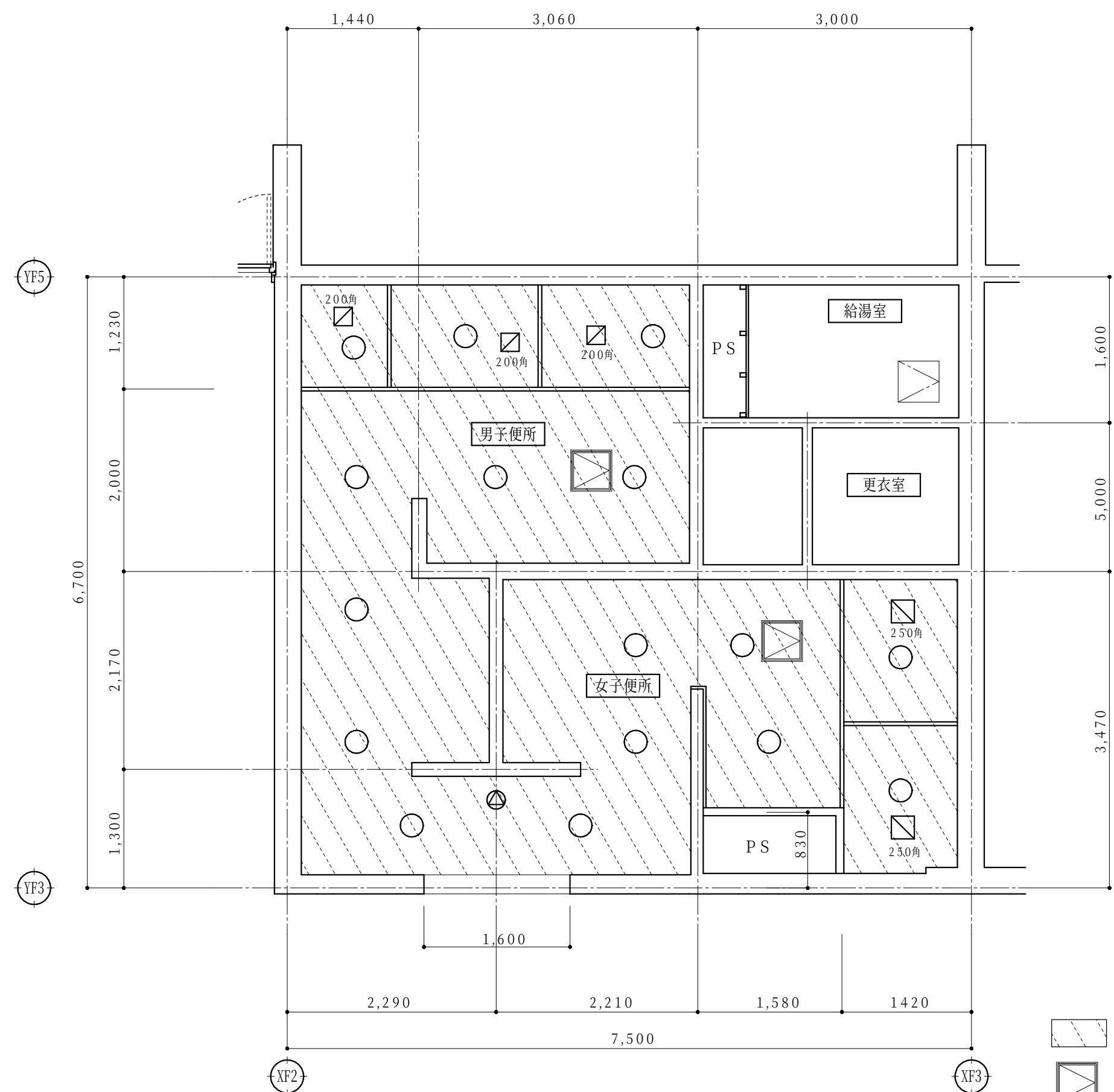
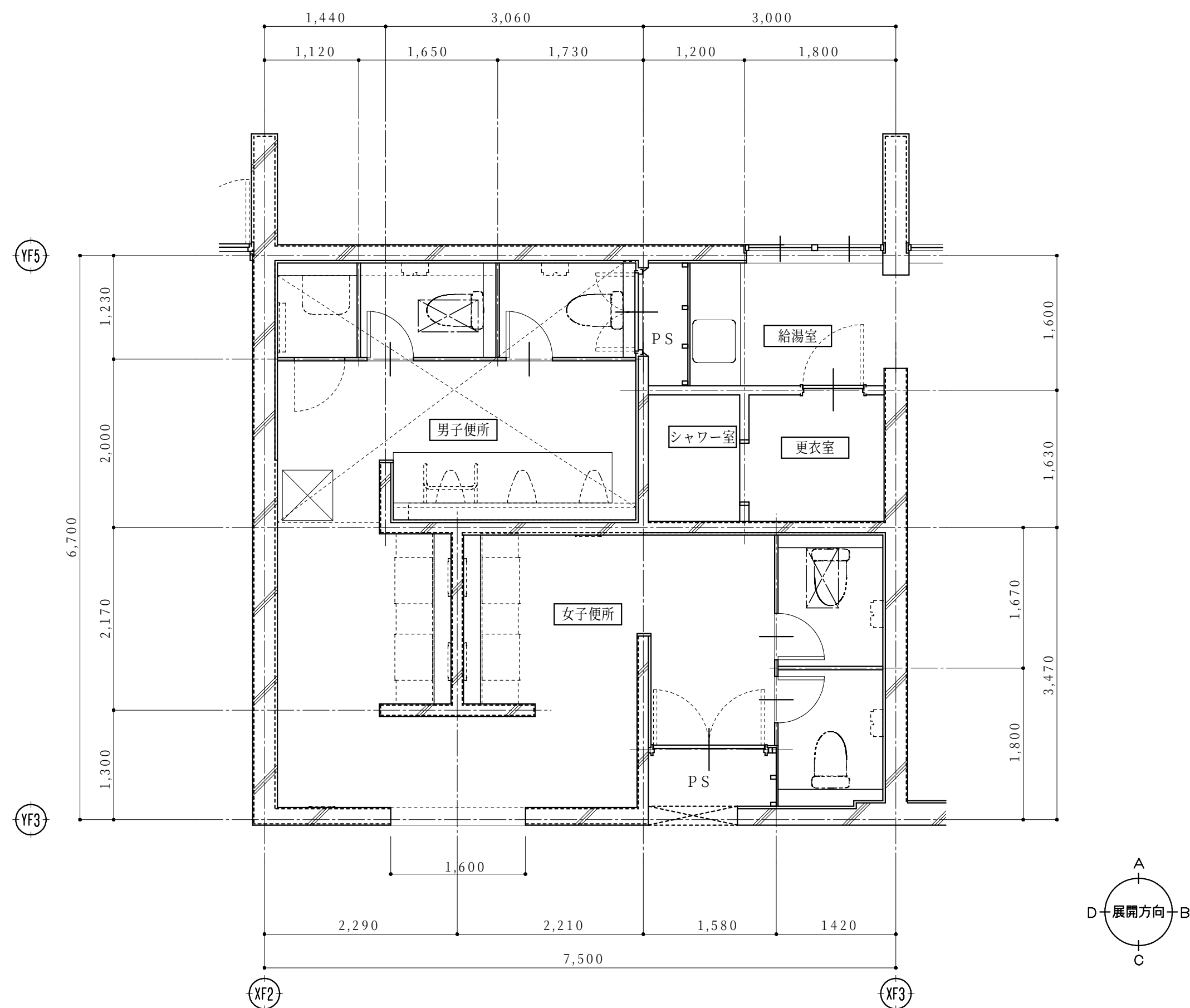
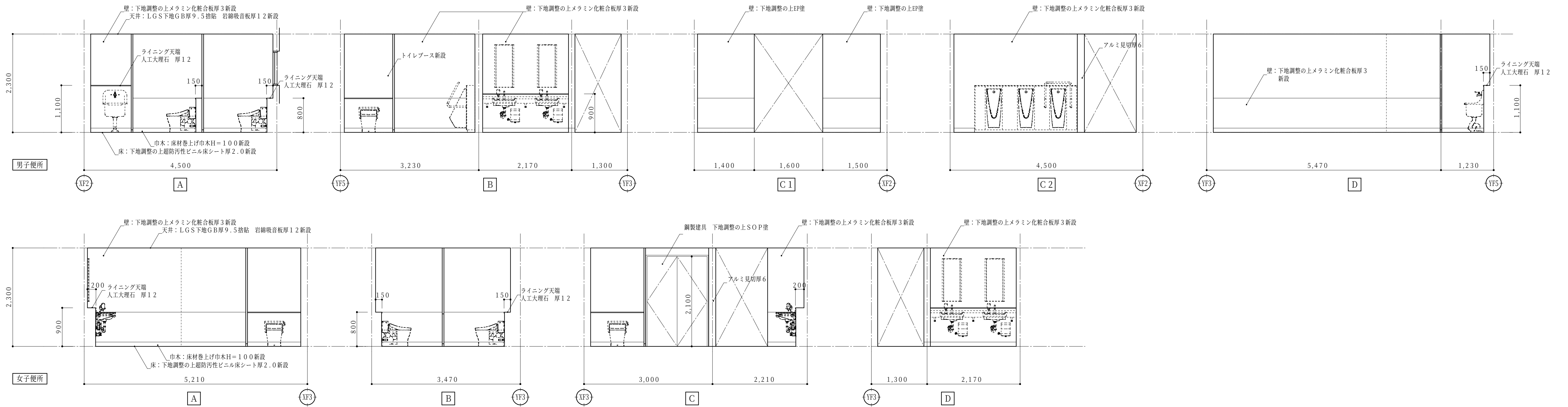
内部仕上表																			
階数	室名		床高	天井高	床		巾木	腰壁		壁		天井		廻り縁	室名		備考		
			基準FL±	FL±	下地	仕上	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	仕上					
2階	男子便所	改修前	±0	2,400	M0	ビニ床シート 厚2.0貼(撤去) 汚重石 磁器質タイル張(撤去)	ビニ巾木溶接工法 H=60(撤去)	M0	100角タイル貼(撤去)	M0	100角タイル貼(存置) AEP塗(塗膜除去)	LGS(撤去)	GB 厚9 AEP塗(撤去)	塩ビ製(撤去)	男子便所		建築：トイレブース撤去、洗面カウンター撤去、ライニングCB積撤去 機械設備：衛生器具、手摺、鏡撤去		
		改修後	±0	2,400	下地調整	超防汚性ビニ床シート 厚2.0貼(新設) 汚重石(新設)	床材巻上げ巾木 H=100(新設)	-	-	下地調整	タキシ化粧合板 厚3貼(新設)	LGS(新設)	GB 厚9、5捨貼、岩綿吸音板 厚12(新設)	塩ビ製(新設)			建築：ライニング天板 人口大理石甲板t12、トイレブース新設 機械設備：小便器手摺		
	女子便所	改修前	±0	2,400	M0	ビニ床シート 厚2.0貼(撤去)	ビニ巾木溶接工法 AEP塗(塗膜除去)	M0	100角タイル貼(撤去)	M0	100角タイル貼(存置) AEP塗(塗膜除去)	LGS(撤去)	GB 厚9 AEP塗(撤去)	塩ビ製(撤去)	女子便所		建築：トイレブース撤去、洗面カウンター撤去、ライニングCB積撤去 機械設備：衛生器具、鏡撤去		
		改修後	±0	2,400	下地調整	超防汚性ビニ床シート 厚2.0貼(新設)	床材巻上げ巾木 H=100(新設)	-	-	下地調整	タキシ化粧合板 厚3貼(新設)	LGS(新設)	GB 厚9、5捨貼、岩綿吸音板 厚12(新設)	塩ビ製(新設)			建築：ライニング天板 人口大理石甲板t12、トイレブース新設		
下地凡例					防火材料認定番号(認定番号は参考)					特記事項									
C	コンクリート下地					EP塗・EP-G塗	不燃 NM-8585				床既設面下地調整については、速硬型調整材にて下地を行うこと。	天井点検口450角を適宜設けること。	天井点検口 内部450角とする。						
M0	モルタル塗					石膏ボード(GB-R) 厚9.5	準不燃 QM-9828				塩ビ製廻り縁は目透かしタイプとする。	タキシ化粧合板下地材については十分な養生期間を持ち、施工要領による乾燥状態にて施工を行うこと。							
LGS	軽量鉄骨下地					石膏ボード(GB-R) 厚12.5	不燃 NM-8619				タキシ化粧合板貼端部及び巾木取合部には78ミ製見切りを取り付けること。	内装仕上げ材は、F☆☆☆☆仕様とする。							
CB	コンクリートブロック					岩綿吸音板 厚12	不燃 NM-8599				衛生器具等の壁取付部分には補強材またはGB-Sに替える構造用合板にて補強を行うこと。	天井裏・小屋裏の使用材料は、F☆☆☆☆仕様とする。							
SL	セムフレック					タキシ化粧板 厚3.0	不燃 NM-2183												
W	木下地																		
										令和6年 3月 日	滋賀県立大学財務課			株式会社 総合設備コンサルタント			工事名称 滋賀県立大学C棟トイレ改修後期工事	図面No. A-13	
																図面名称 C2 2階便所平面詳細図(改修前・改修後)	S = 1/50	設計日 2024年3月	



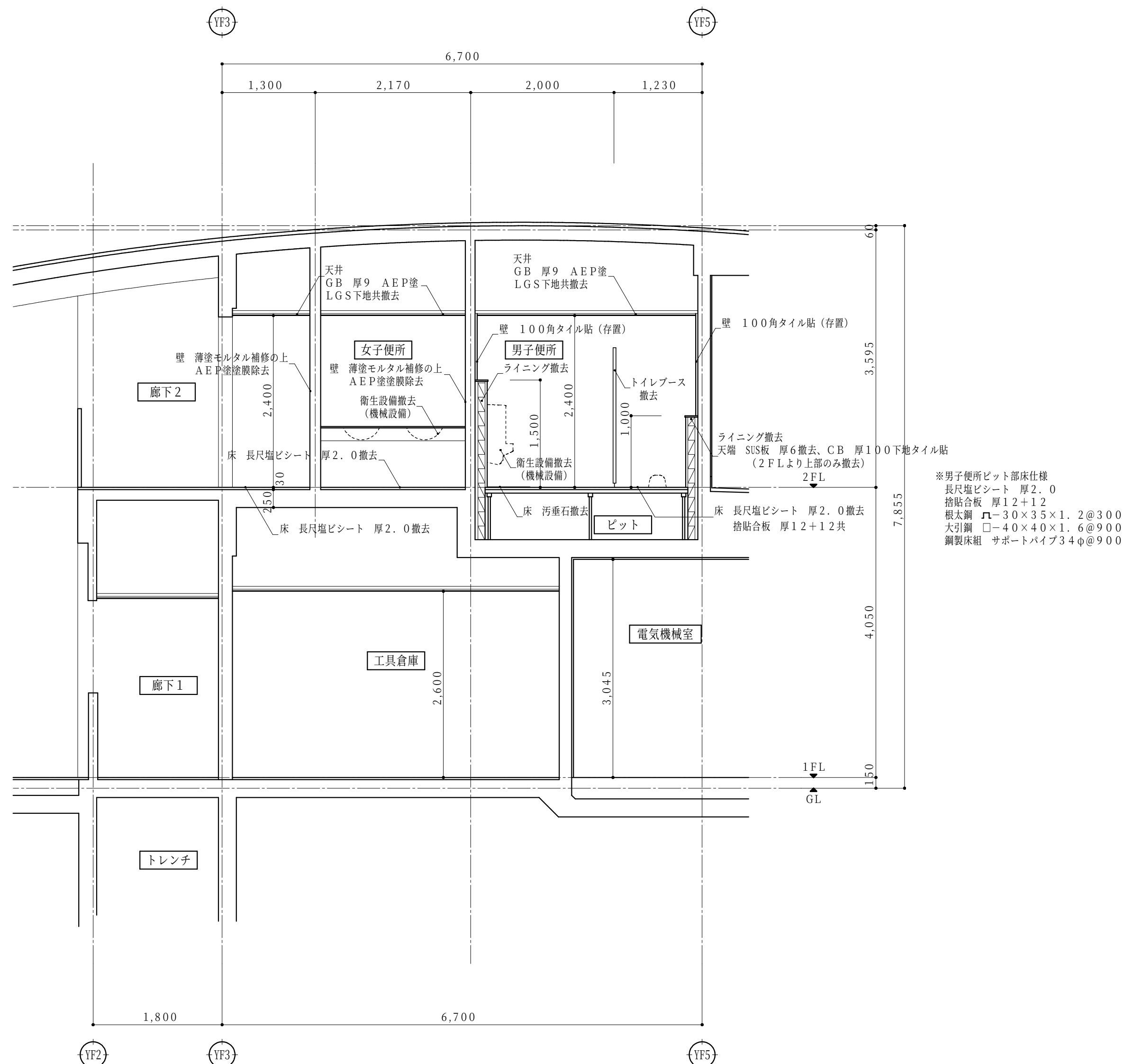
キープラン

天井伏図

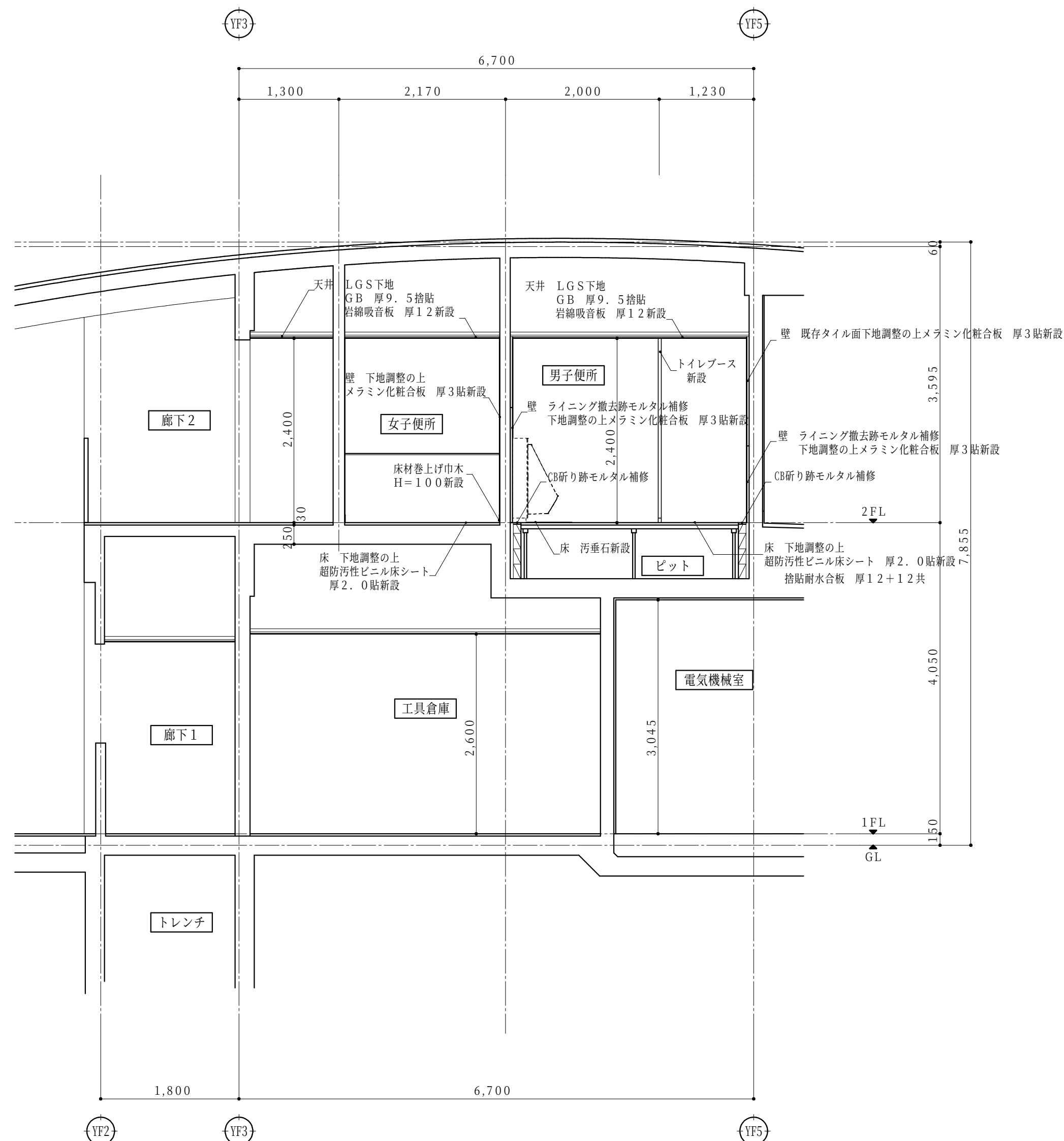
解体撤去範囲を示す



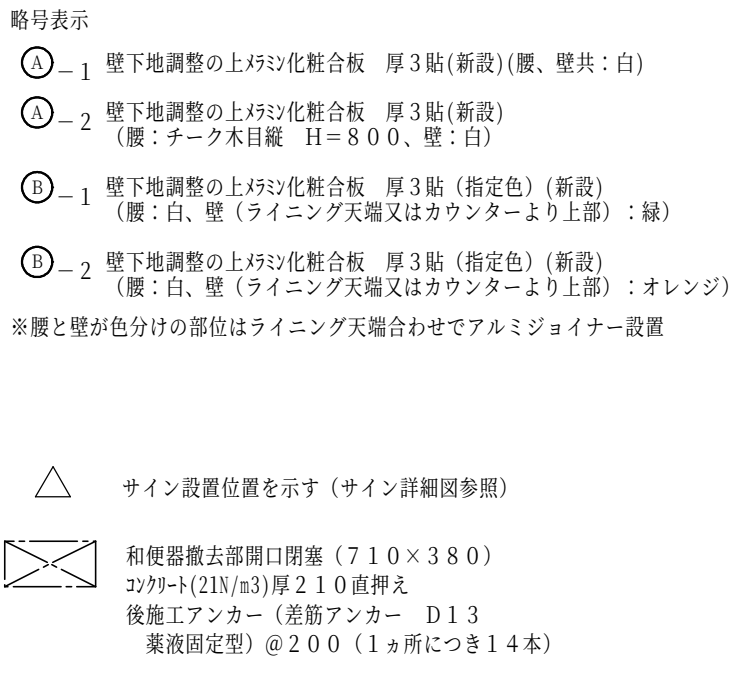
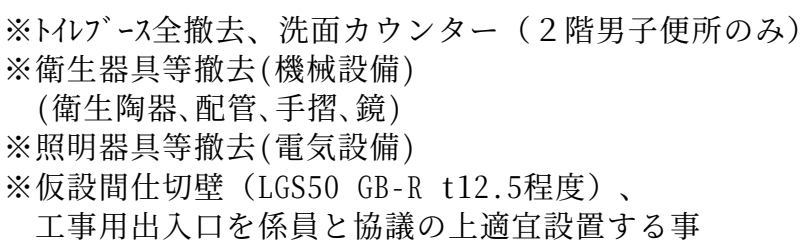
- 新設範囲を示す
- 天井点検口 アルミ製450角（開口補強共）を示す
- 機械設備用天井開口（開口補強共）を示す（寸法は図示）
- 電気設備用天井開口φ150（開口補強共）を示す
- スピーカー用天井開口φ150（開口補強共）を示す



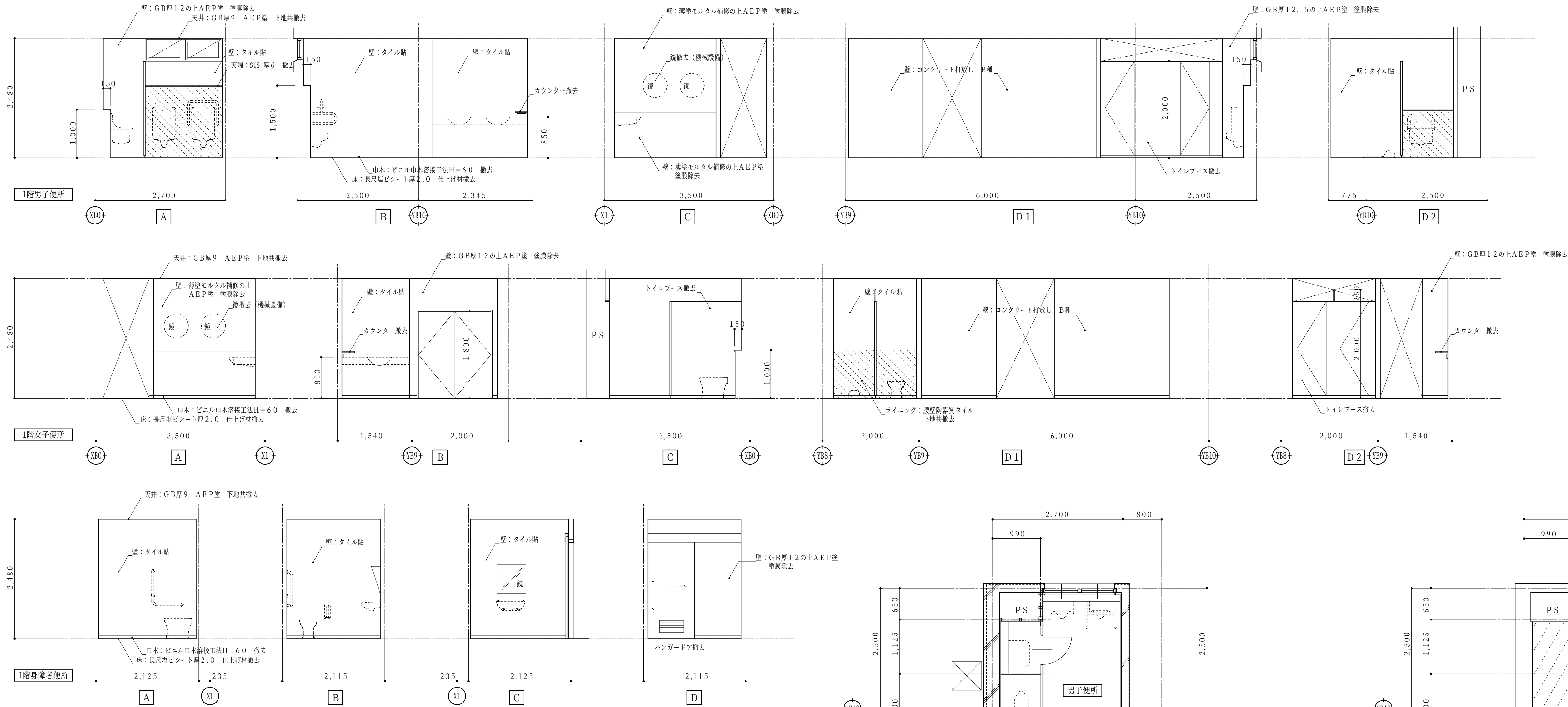
C2 矩計図 (改修前) 1:50



C2 矩計図 (改修後) 1:50

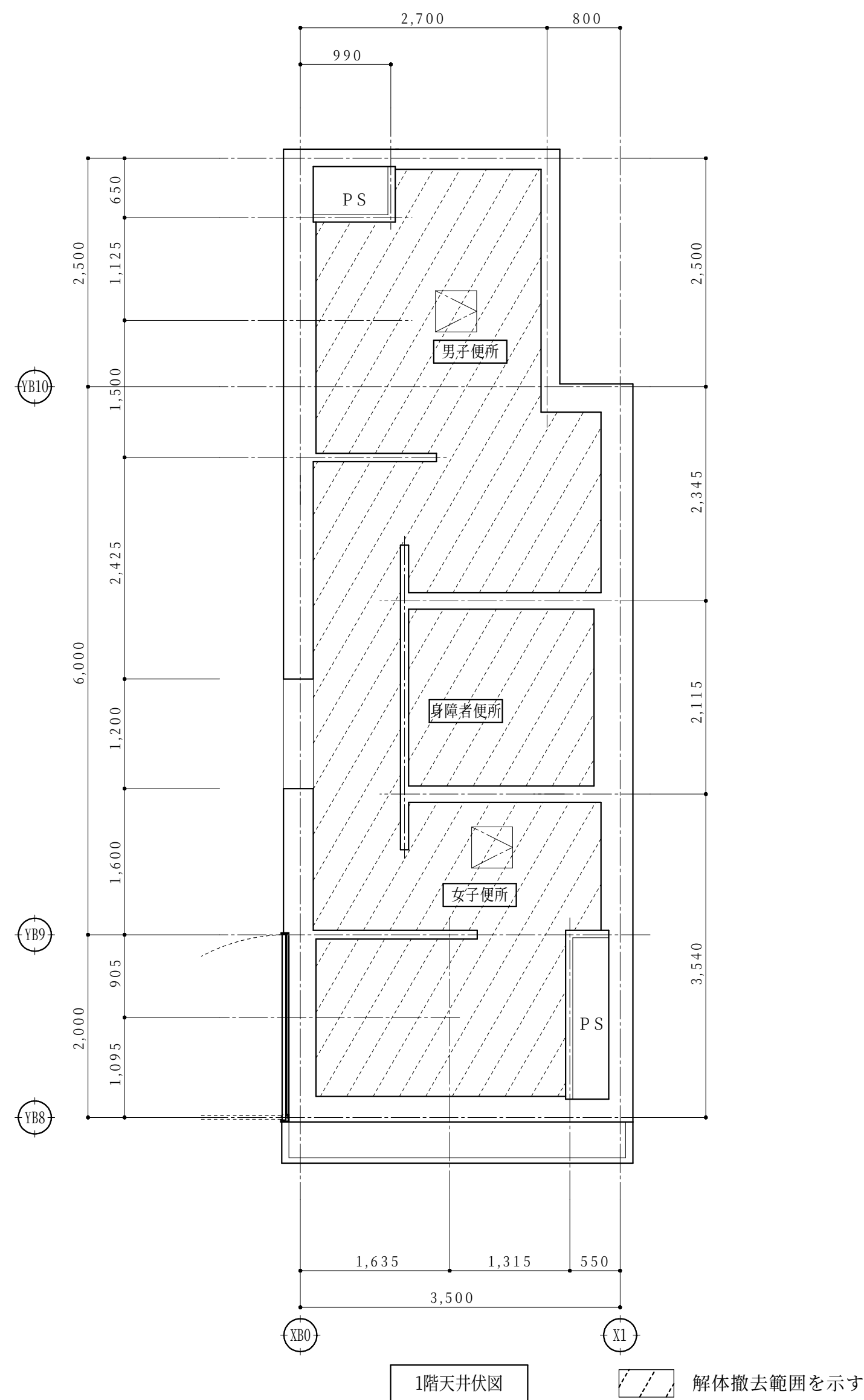
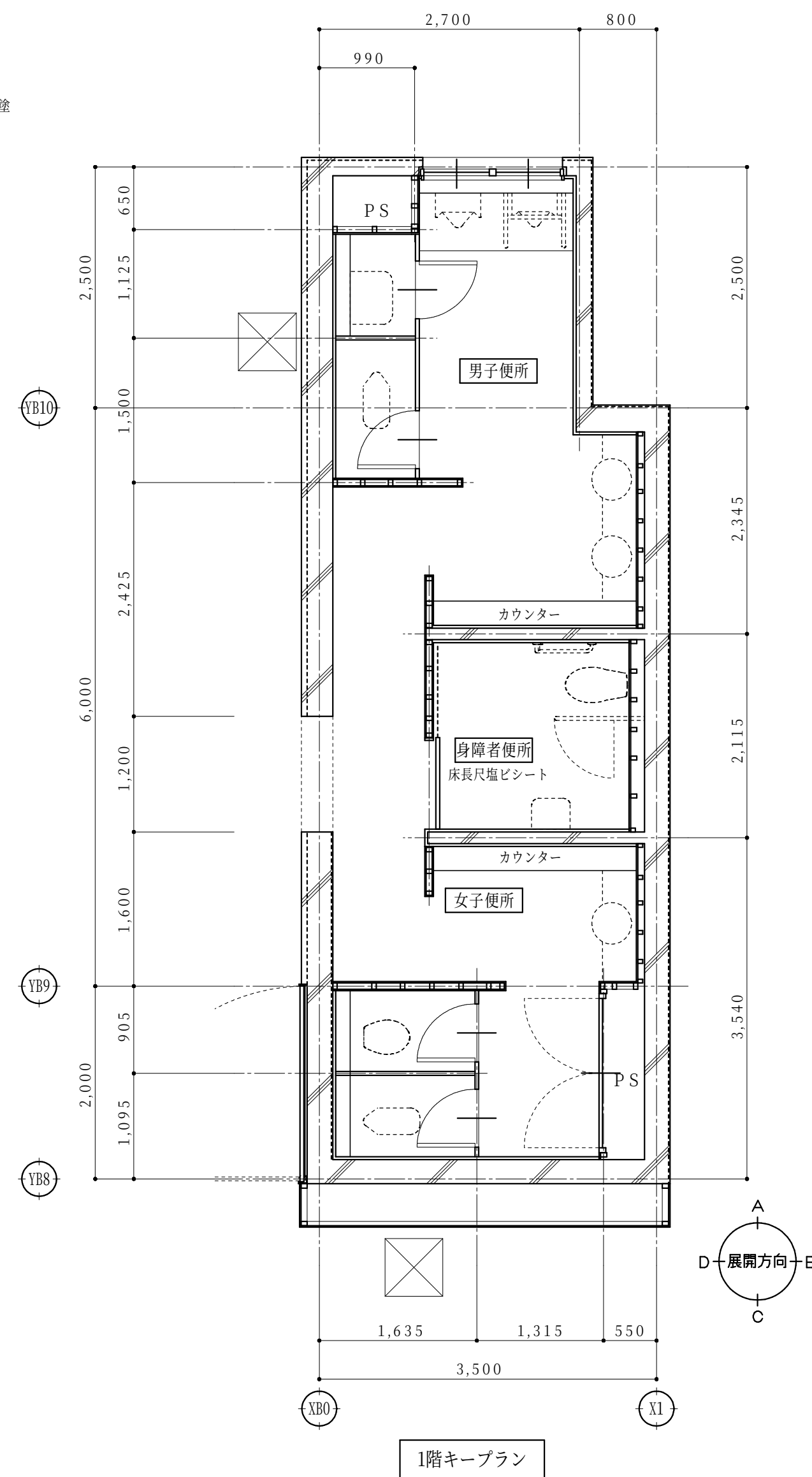


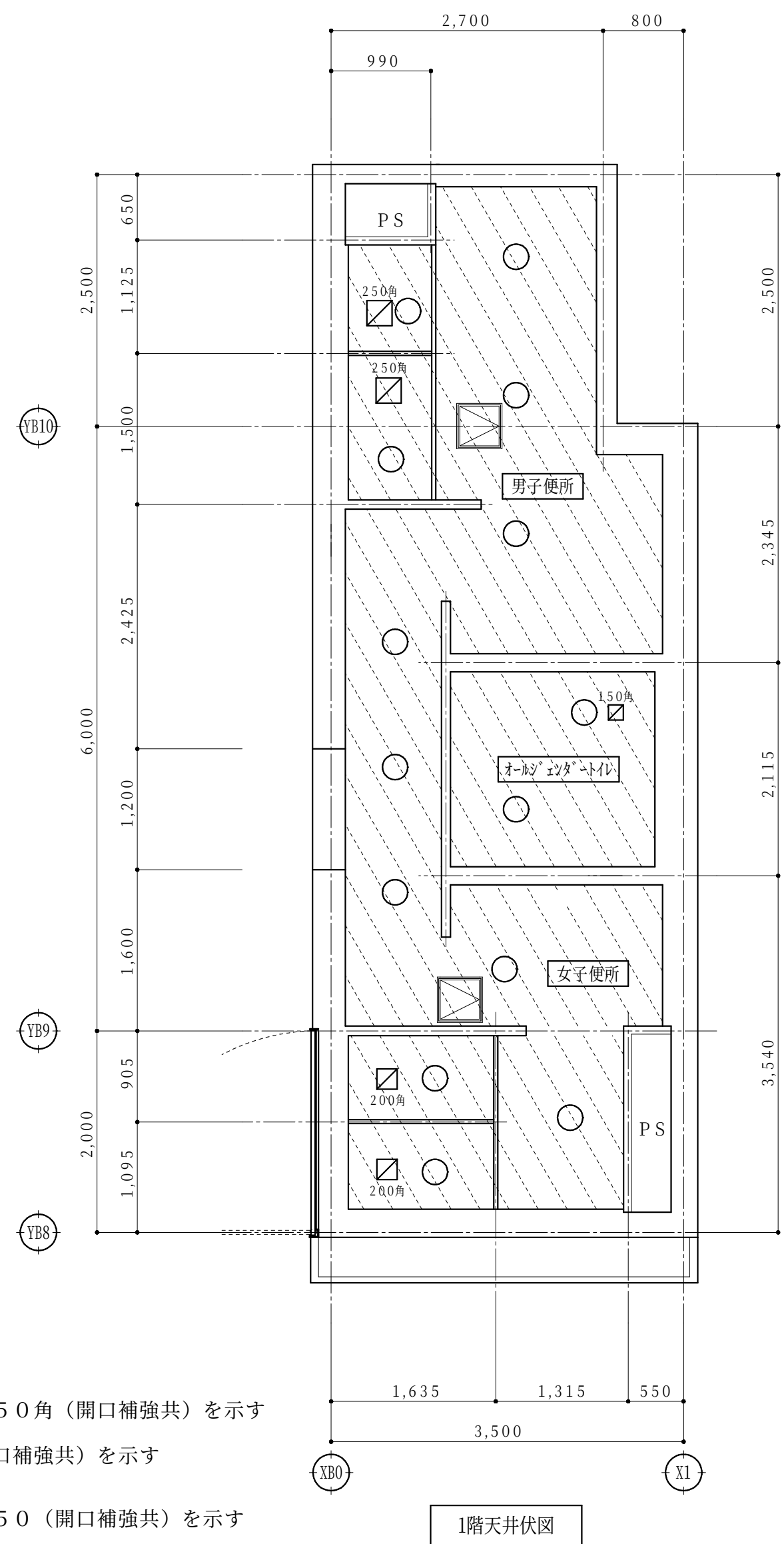
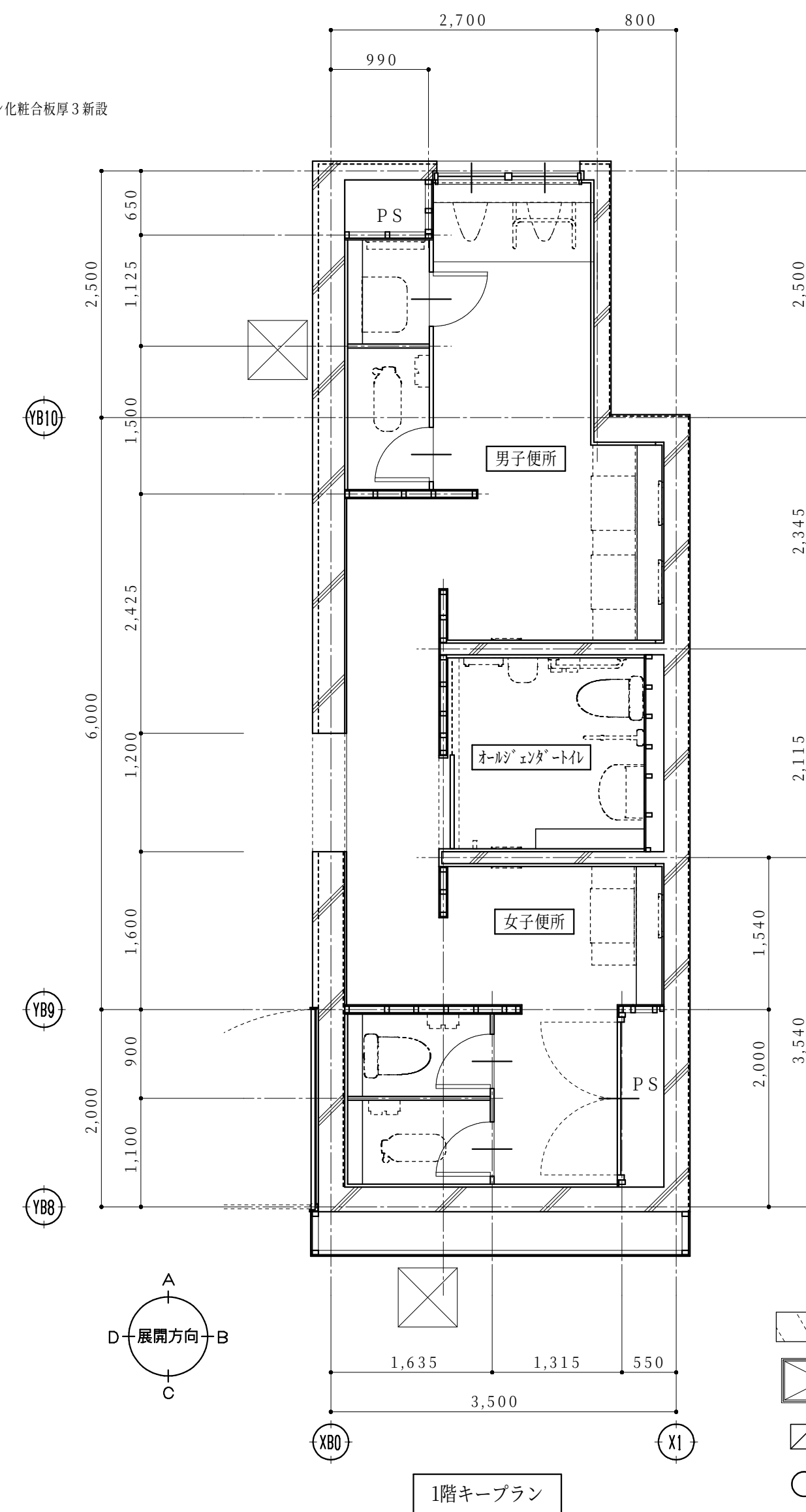
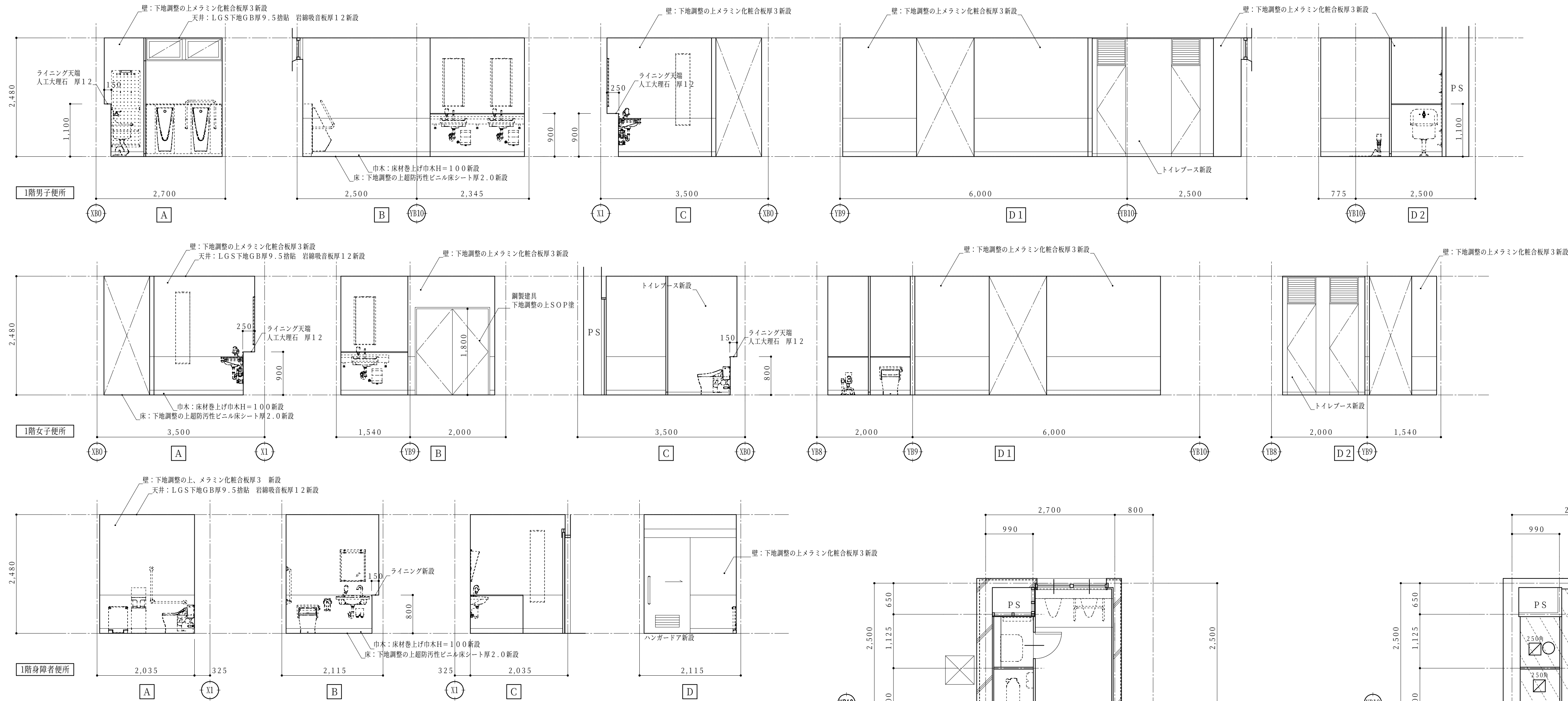
内部仕上表																				
階数	室 名		床 高	天井高	床		巾 木	腰 壁		壁		天 井		廻り縁	室 名		備 考			
		基準FL±	FL±	下地	仕上	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上				仕上		
2 階 3 階	男子便所	改修前	±0	2,480(2F) 2,200(3F)	MO	ビニール床シート 厚2.0貼(撤去) 汚重石 磁器質タイル張(撤去)	ビニール床溶接工法 H=60(撤去)	MO	100角タイル貼(撤去)	MO.LGS	100角タイル貼 (存置) AEP塗(塗膜除去) GB 厚12の上AEP塗(塗膜除去、一部LGS下地共撤去)	LGS(撤去)	GB 厚9 AEP塗 (撤去)	塩ビ製(撤去)	男子便所		建築：トイレ・アス撤去、洗面カウンター撤去、ラインングCB積撤去 機械設備：衛生器具、手磨、鏡撤去			
		改修後	±0	2,480(2F) 2,200(3F)	下地調整	超防汚性ビニール床シート 厚2.0貼(新設) 汚重石(新設)	床材巻上げ巾木 H=100(新設)	-	-	下地調整	タキシ化粧合板 厚3貼(新設) GB 厚12貼(新設LGS下地共)	LGS(新設)	GB 厚9、5捨貼、岩綿吸音板 厚12 (新設)	塩ビ製(新設)		建築：ラインング天板 入口大理石甲板t12、トイレ・アス新設 機械設備：小便器手摺				
	身障者便所	改修前	±0	2,480(2F) 2,200(3F)	MO	ビニール床シート 厚2.0貼(撤去) 汚重石 磁器質タイル張(撤去)	ビニール床溶接工法 H=60(撤去)	-	-	MO.LGS	100角タイル貼 (存置) GB 厚12の上AEP塗(塗膜除去)	LGS(撤去)	GB 厚9 AEP塗 (撤去)	塩ビ製(撤去)	身障者便所		機械設備：衛生器具、手磨、鏡撤去			
		改修後	±0	2,480(2F) 2,200(3F)	下地調整	超防汚性ビニール床シート 厚2.0貼(新設) 汚重石(新設)	床材巻上げ巾木 H=100(新設)	-	-	下地調整	タキシ化粧合板 厚3貼(新設)	LGS(新設)	GB 厚9、5捨貼、岩綿吸音板 厚12 (新設)	塩ビ製(新設)	身障者便所		建築：ラインング天板 入口大理石甲板t20 機械設備：L型手摺/可動手摺			
	女子便所	改修前	±0	2,480(2F) 2,200(3F)	MO	ビニール床シート 厚2.0貼(撤去)	ビニール床溶接工法 H=60(撤去)	MO	100角タイル貼(撤去)	MO.LGS	100角タイル貼 (存置) AEP塗(塗膜除去) GB 厚12の上AEP塗(塗膜除去、一部LGS下地共撤去)	LGS(撤去)	GB 厚9 AEP塗 (撤去)	塩ビ製(撤去)	女子便所		建築：トイレ・アス撤去、ラインングCB積撤去 機械設備：衛生器具、鏡撤去			
		改修後	±0	2,480(2F) 2,200(3F)	下地調整	超防汚性ビニール床シート 厚2.0貼(新設)	床材巻上げ巾木 H=100(新設)	-	-	下地調整	タキシ化粧合板 厚3貼(新設) GB 厚12貼(新設LGS下地共)	LGS(新設)	GB 厚9、5捨貼、岩綿吸音板 厚12 (新設)	塩ビ製(新設)		女子便所		建築：ラインング天板 入口大理石甲板t12、トイレ・アス新設		
下地凡例					防火材料認定番号(認定番号は参考)					特記事項										
C	コンクリート下地				EP塗・EP-G塗	不燃	NM-8585			床既設面下地調整については、速硬型調整材にて下地を行うこと。			天井点検口450角を適宜設けること。			天井点検口 内部450角とする。				
MO	モルタル塗				石膏ボード(GB-R) 厚9.5	準不燃	QM-9828			塩ビ製廻り縁は目透かしタイプとする。			タキシ化粧合板下地材については十分な養生期間を持ち、施工要領による乾燥状態にて施工を行うこと。							
LGS	軽量鉄骨下地				石膏ボード(GB-R) 厚12.5	不燃	NM-8619			タキシ化粧合板貼端部及び巾木取合部には78ミ製見切りを取り付けること。			内装仕上げ材は、F☆☆☆☆仕様とする。							
CB	コンクリート・ロック				岩綿吸音板 厚12	不燃	NM-8599			衛生器具等の壁取付部分には補強材またはGB-Sに替る構造用合板にて補強を行うこと。			天井裏・小屋裏の使用材料は、F☆☆☆☆仕様とする。							
SL	セルフベリシク				タキシ化粧板 厚3.0	不燃	NM-2183													
W	木下地																	令和6年 3月 日		滋賀県立大学財務課



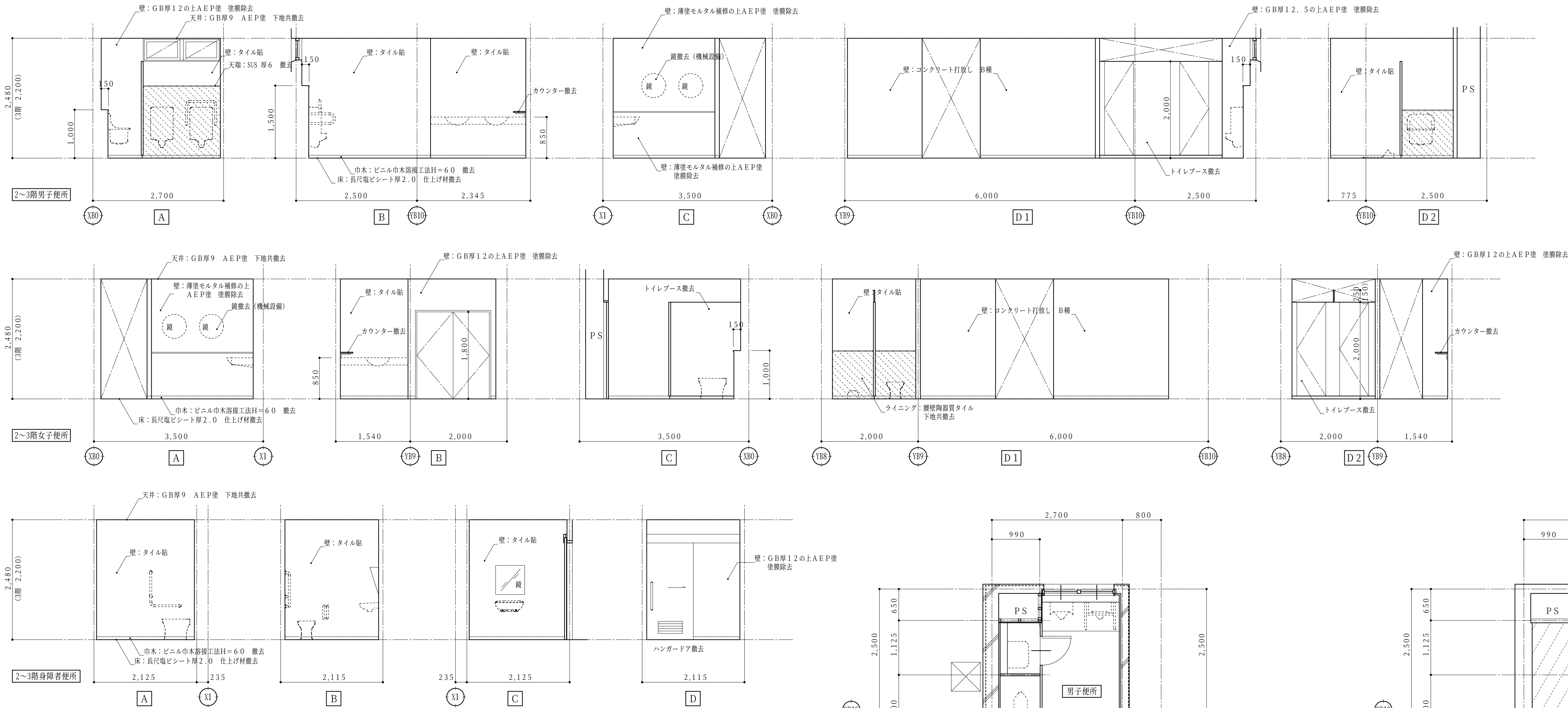
ライニング 腰壁撤去：天端SUS 厚6、CB 厚100下地 100角タイル張

※トイレ・ス全撤去
※衛生器具等撤去(機械設備)
(衛生陶器、配管、手摺、鏡)
※照明器具等撤去(電気設備)



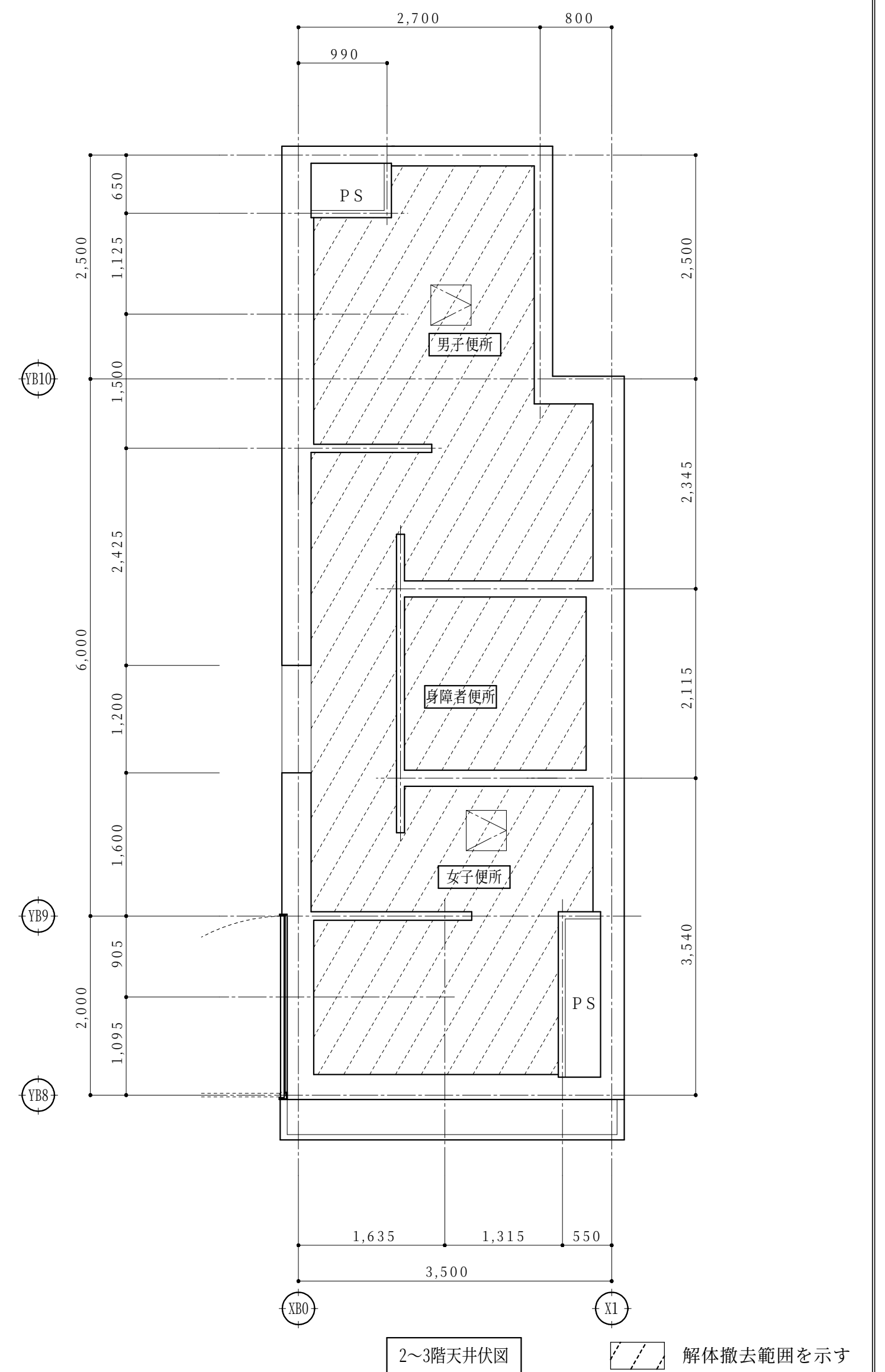
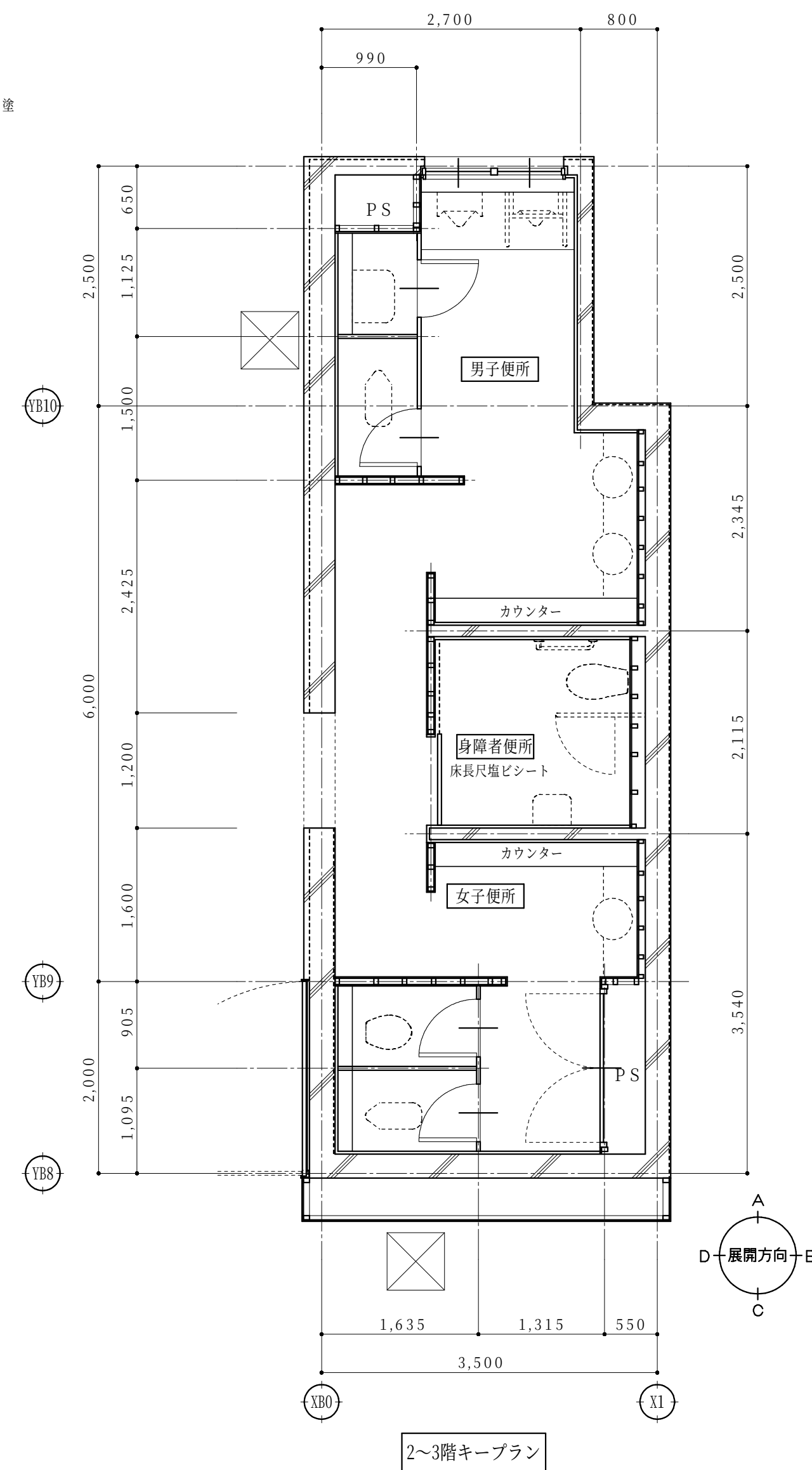


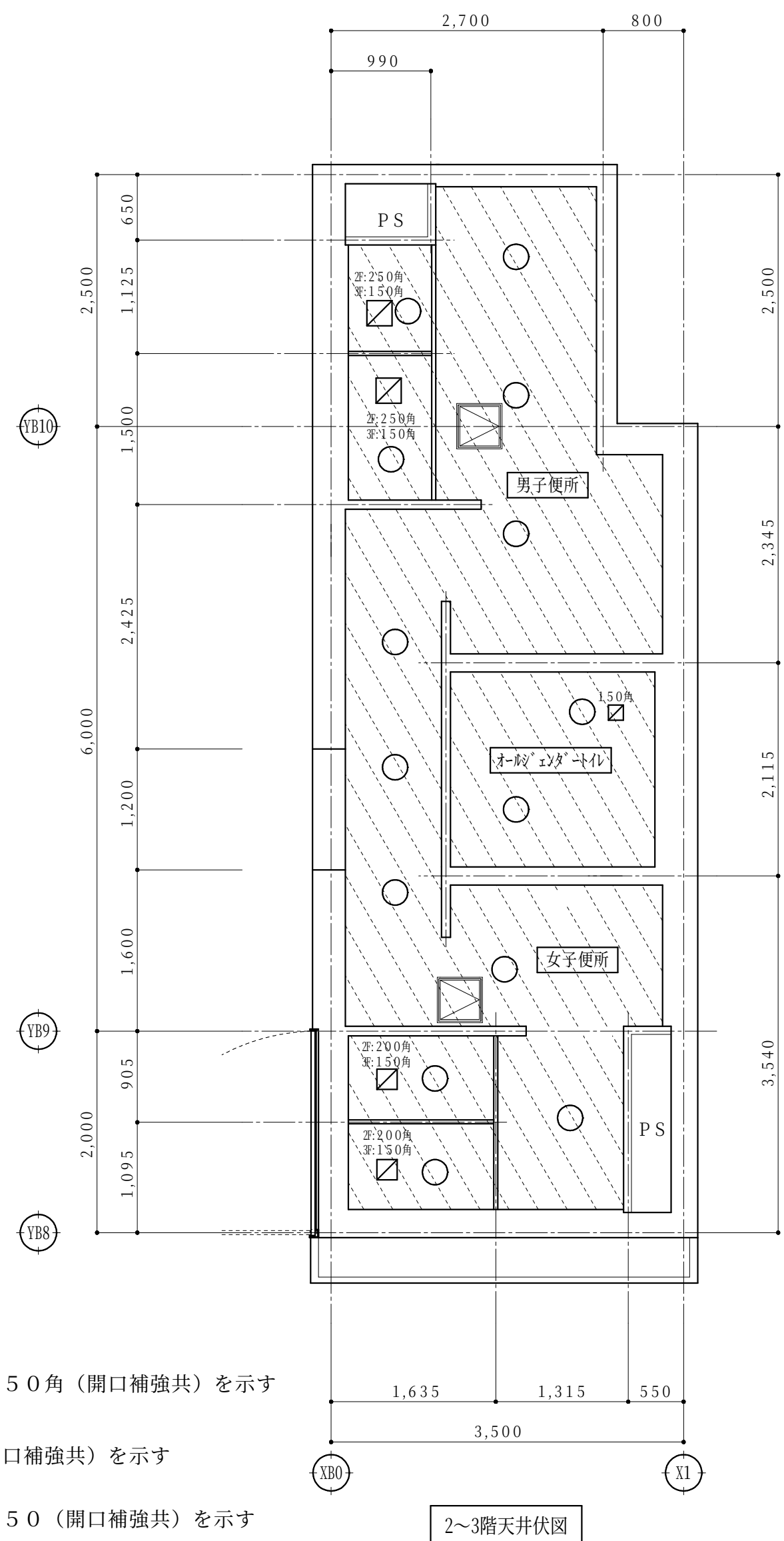
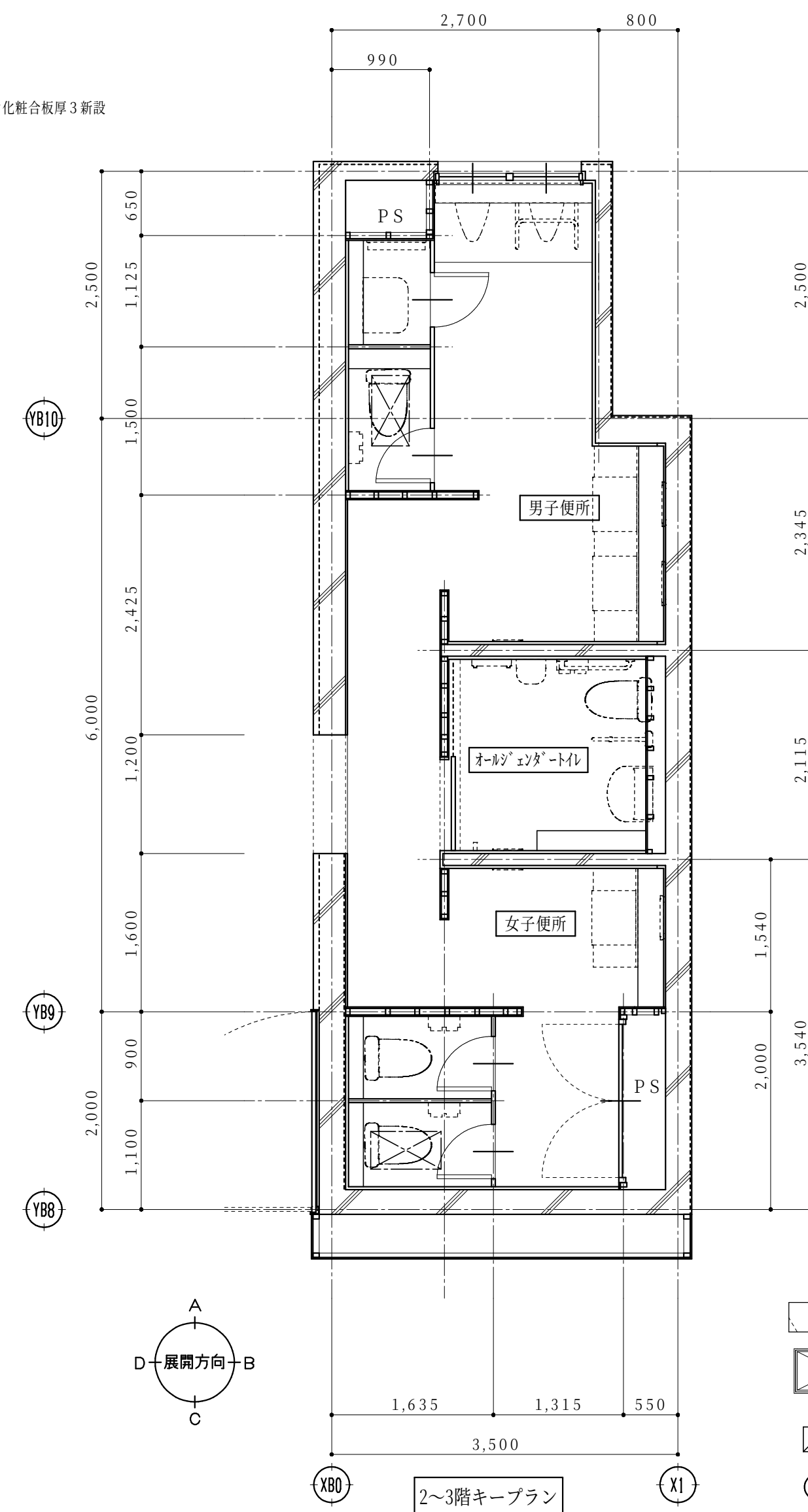
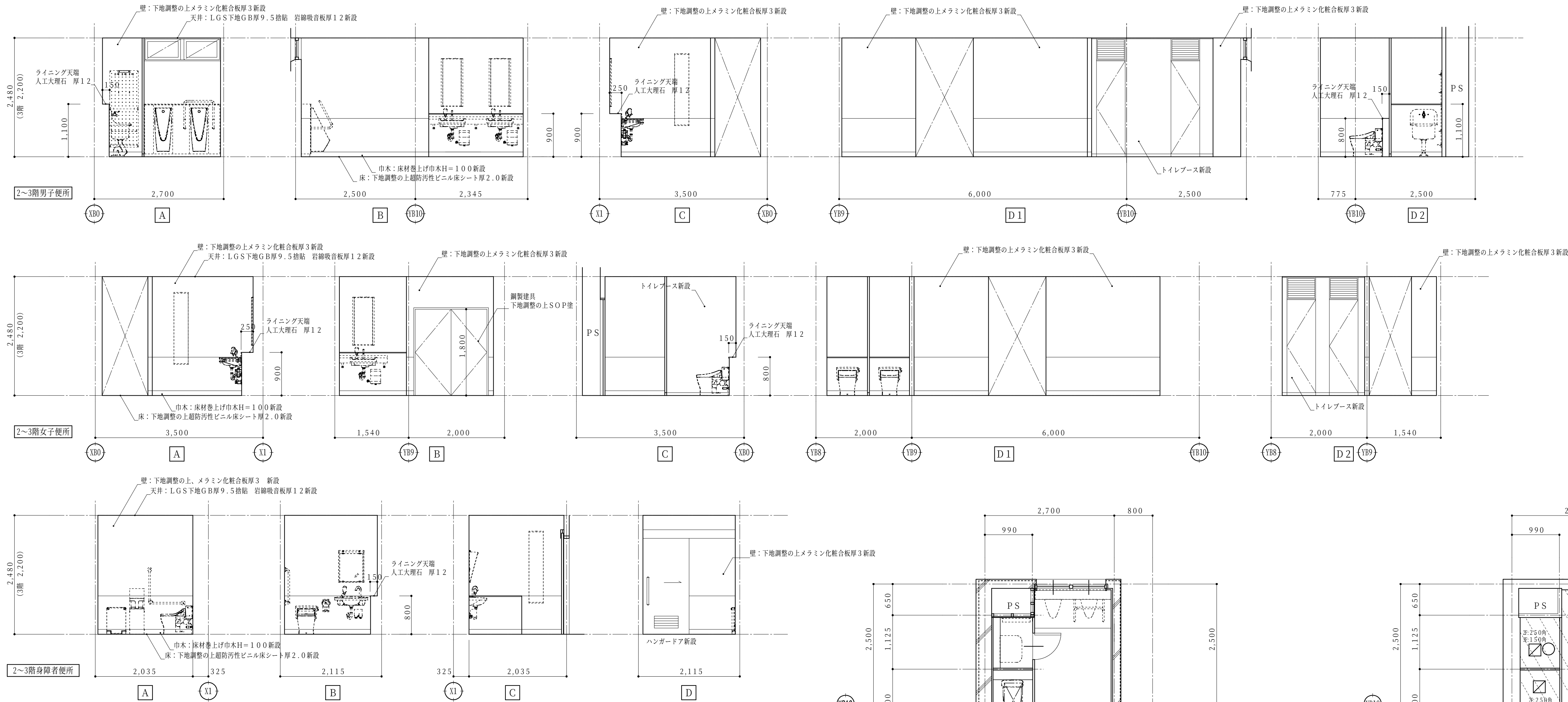
- 新設範囲を示す
- 天井点検口 アルミ製450角（開口補強共）を示す
- 機械設備用天井開口（開口補強共）を示す（寸法は図示）
- 電気設備用天井開口φ150（開口補強共）を示す



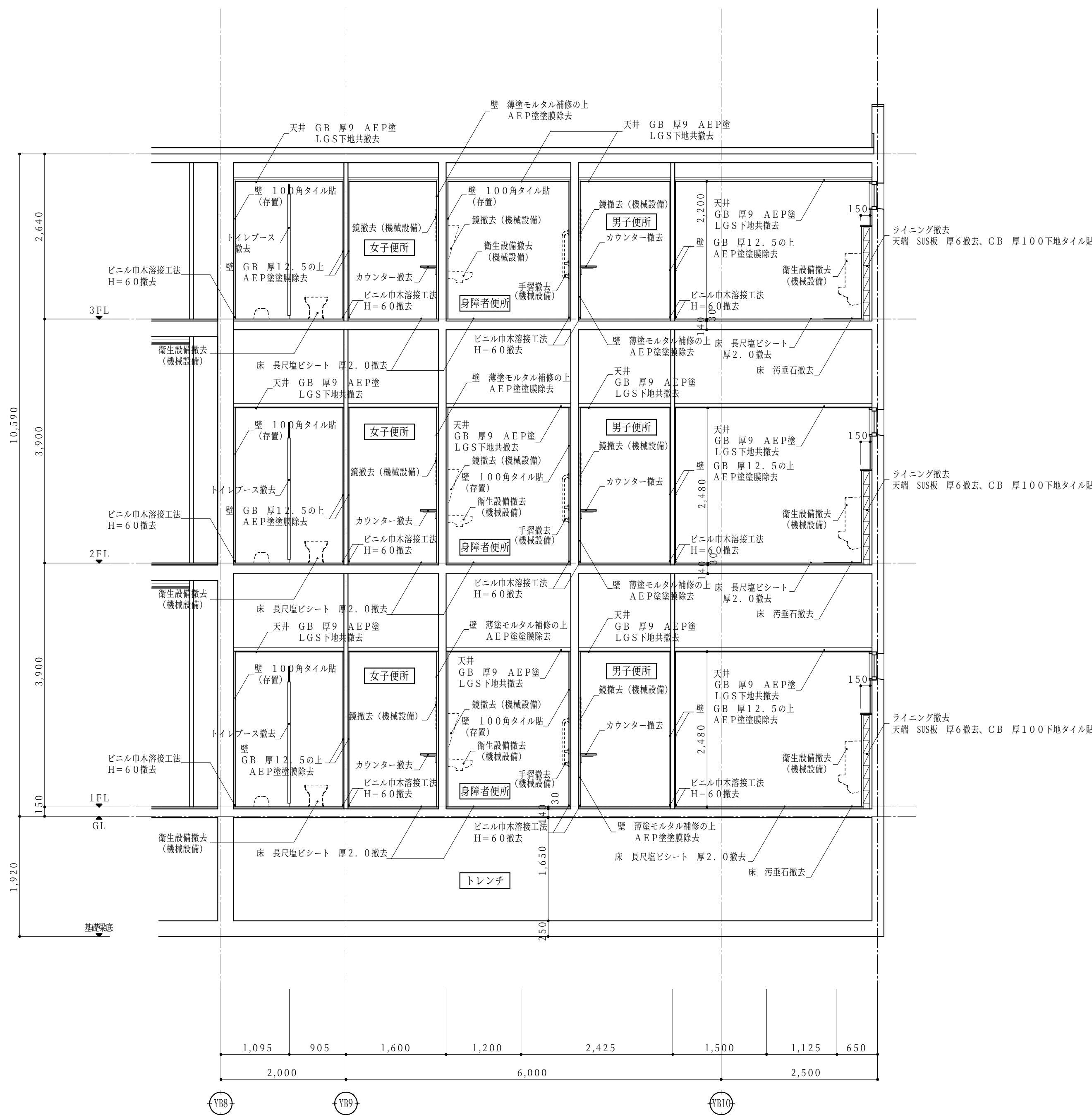
ライニング 腰壁撤去：天端SUS 厚6、CB 厚100下地 100角タイル張

※トイレブースは全撤去、洗面カウンター撤去（2階男子便所のみ）
※衛生器具等撤去（機械設備）
（衛生陶器、配管、手摺、鏡）
※照明器具等撤去（電気設備）

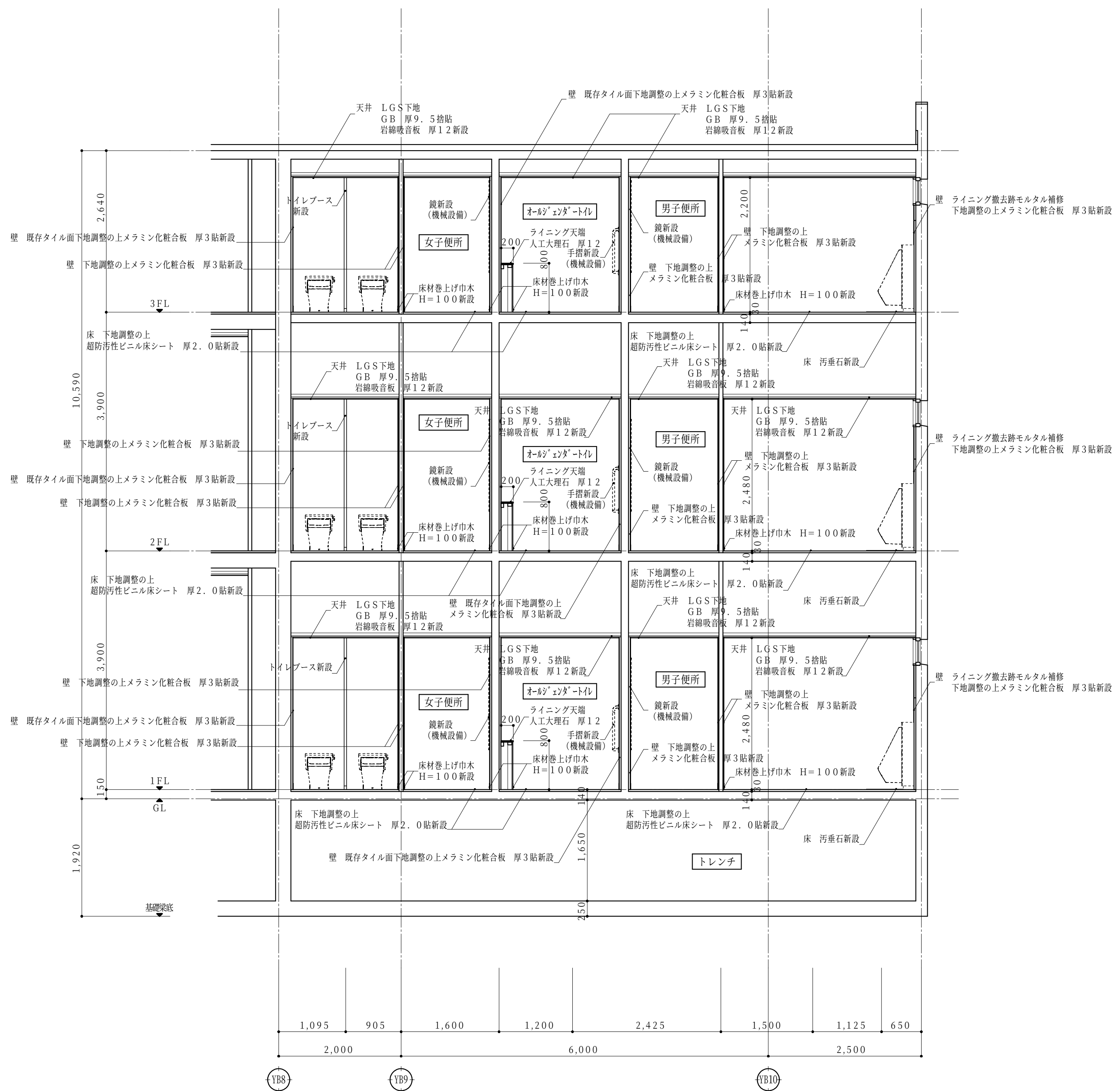




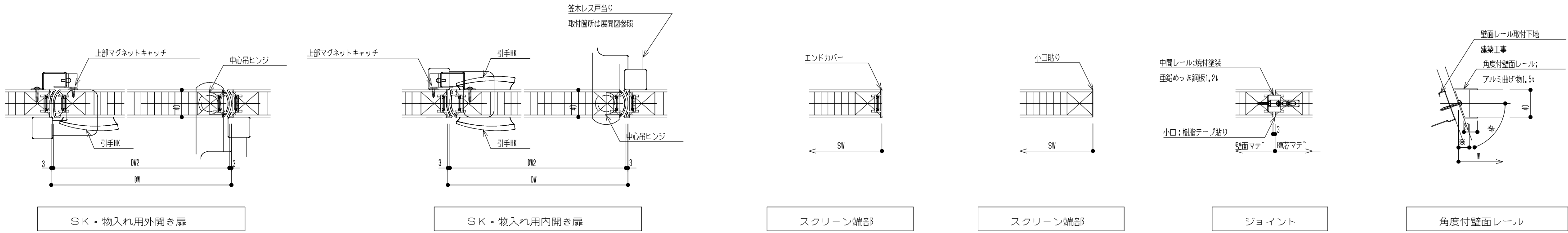
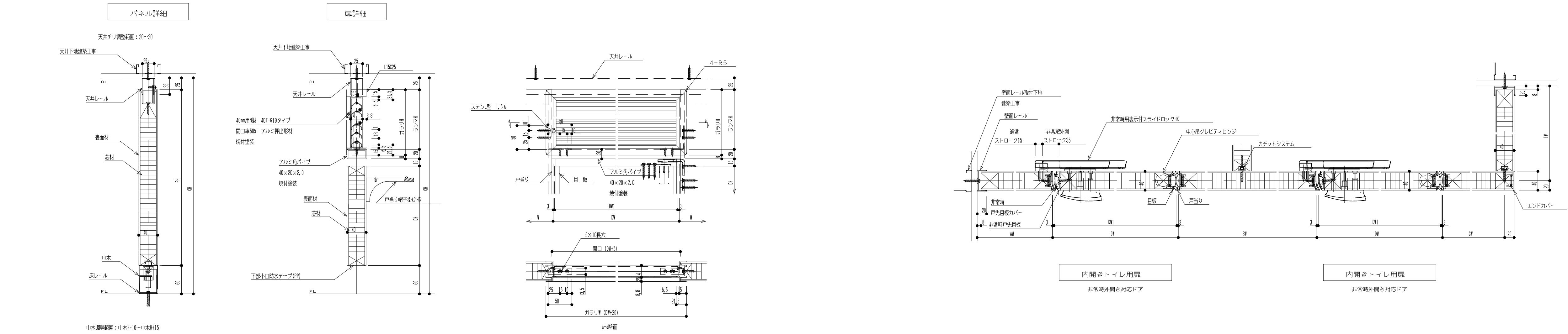
- 新設範囲を示す
- 天井点検口 アルミ製450角（開口補強共）を示す（3階は点検口無し）
- 機械設備用天井開口（開口補強共）を示す（寸法は図示）
- 電気設備用天井開口φ150（開口補強共）を示す



C3 矩計図 (改修前) 1:50



C3 矩計図 (改修後) 1:50

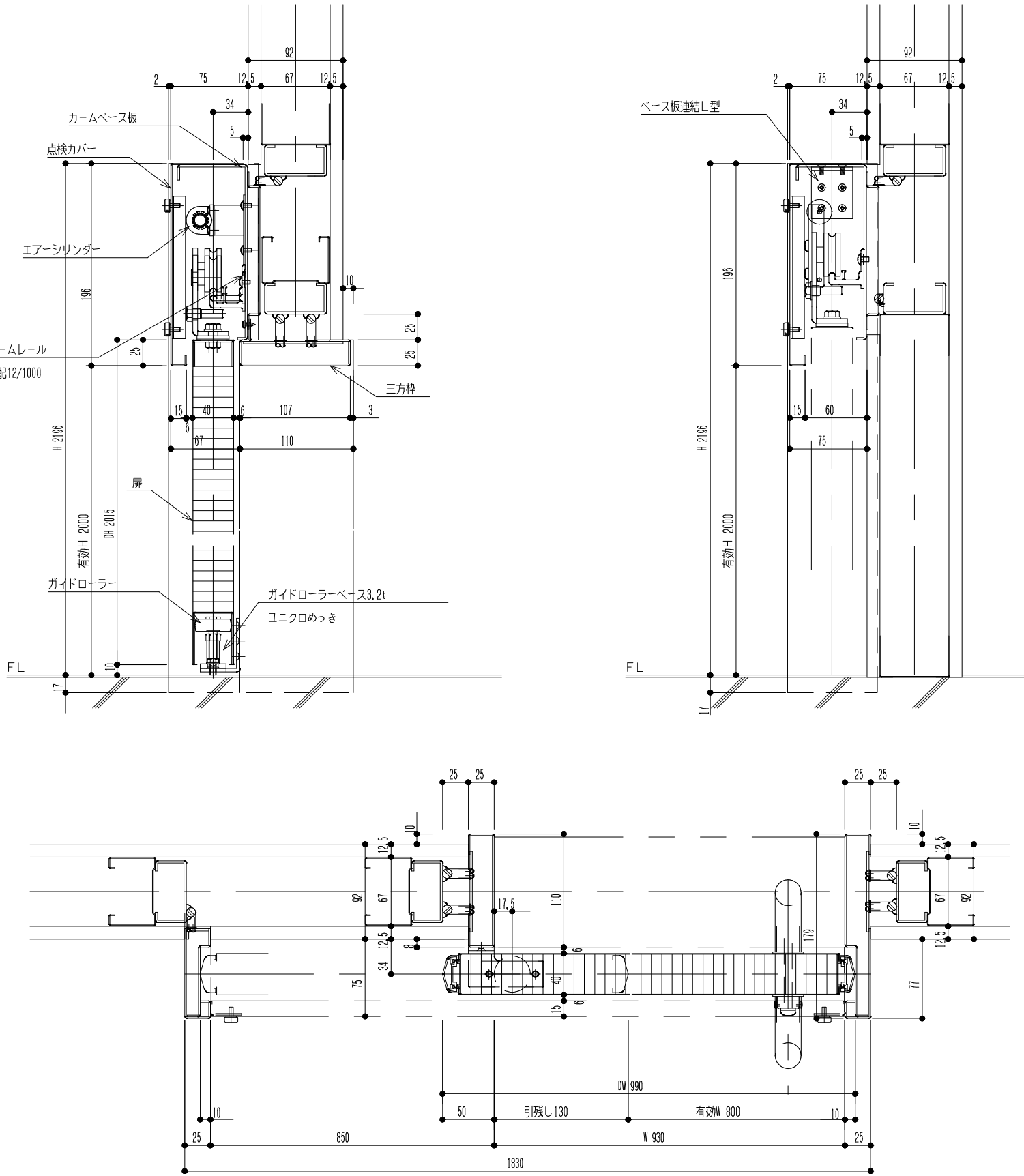


◇仕様表

		(付設ウォール ユニティTB-TPタイプ又は同等品)	
項 目	部 材	材 料 (板厚mm)	
パネリング	パネル表面材	高圧メラミン樹脂化粧板(下地:W9F)	
		着色・木目共 着色以上	
	芯 材	ペーパーコア	
付属品	目板/戸当り	アルミ押出材 (※焼付塗装仕上)	
	巾木/壁レール	ステンレス 0.8mm (ヘアライン仕上)	
	天井レール	亜鉛めっき鋼板 1.2mm (※焼付塗装仕上)	
	壁面レール/エンドカバー	アルミ押出材 (※焼付塗装仕上)	
	ヒンジ /SHヒンジ	中心吊グレブヒンジ /中心吊ヒンジ	
	ロック	非常時開表示付スライドロック機	
その他金物	戸当り帽子掛け等	/引手等	

◇仕様表

		(付設ウォール カードドア外付け特タイプ又は同等品)	
項 目	部 材	材 料 (板厚mm)	
駆動装置	駆動方式	歯料レール 駆動装置はアダンバ	
	カムベース板	亜鉛めっき鋼板 2.3mm (※焼付塗装仕上)	
	カムレール	アルミ押出材 (アルマイト処理仕上)	
	ハンガー戸重	樹脂製戸重 プラケットはめつき仕上	
枠	先付け枠	亜鉛めっき鋼板 1.5mm (※焼付塗装仕上)	
	点検カバー	冷間圧延鋼板 1.2mm (※焼付塗装仕上)	
扉	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.8mm (※焼付塗装仕上)	
	芯 材	ペーパーコア	
	フロントゴム	ポリ塩化ビニル (ブラック色)	
金物	ロック	非常時開表示付樹脂製サムターン&B-309M(上)	
	取 手	ステンレス鏡面ハンドルφ60 L-450	
ガラス	ガラリ	アルミ押出材 (※焼付塗装仕上)	



7	平付型男子トイレサイン (C3 2階, 3階)	細尺1:2	数量2	8	平付型女子トイレサイン (C3 2階, 3階)	細尺1:2	数量2

滋賀県立大学C棟トイレ改修後期工事

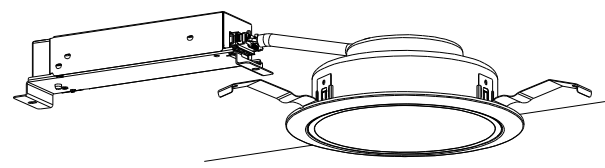
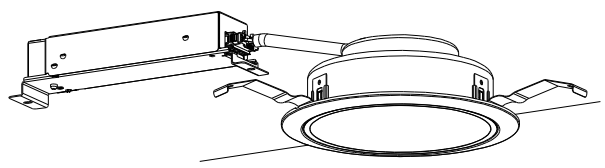
図面リスト

番号	図面名称	縮尺
E-01	特記仕様書	NO SCALE
E-02	照明器具参考姿図・トイレ呼出機器参考姿図	NO SCALE
	C1-1棟	
E-03	C1-1 電灯設備 2階平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
E-04	C1-1 コンセント設備 2階平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
	C2棟	
E-05	C2 電灯設備 2階平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
E-06	C2 コンセント設備 1階平面図（改修後）	1/50
E-07	C2 コンセント設備 2階平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
E-08	C2 弱電設備 1階平面図（改修後）	1/50
E-09	C2 弱電設備 2階平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
	C3棟	
E-10	C3 電灯設備 1階平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
E-11	C3 電灯設備 2階平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
E-12	C3 電灯設備 3階平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
E-13	C3 コンセント設備 1階平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
E-14	C3 コンセント設備 2階平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
E-15	C3 コンセント設備 3階平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
E-16	C3 弱電設備 1階平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
E-17	C3 弱電設備 2階平面詳細図（改修前・改修後）	1/50
E-18	C3 弱電設備 3階平面詳細図（改修前・改修後）	1/50

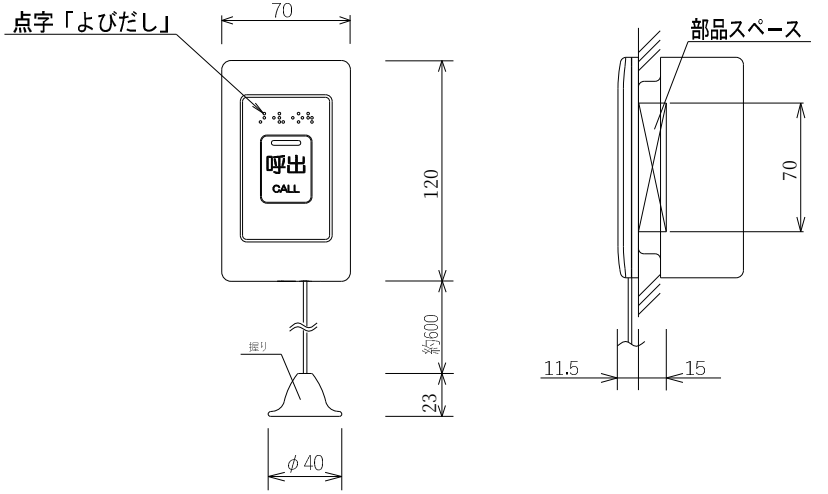
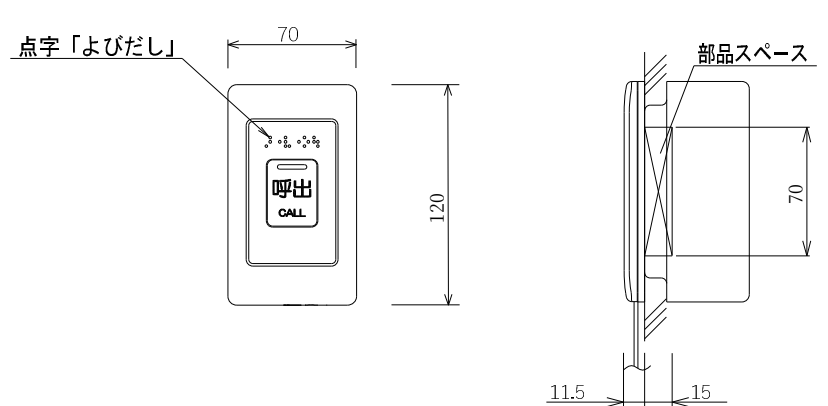
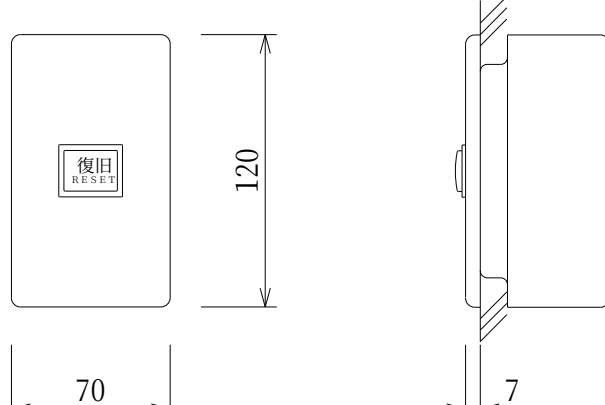
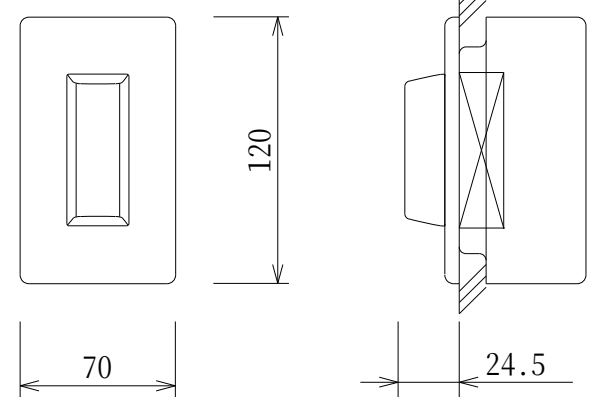
[illegible]

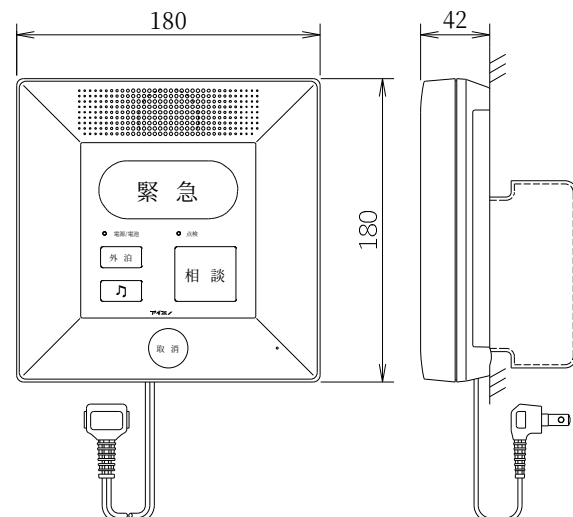
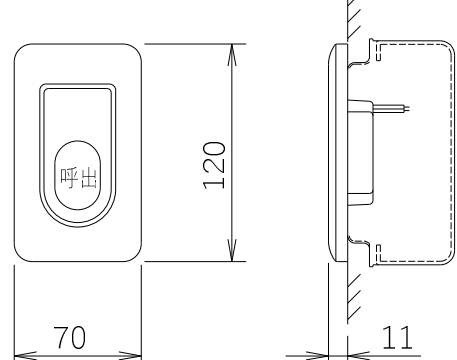
令和6年 3月 日	滋賀県立大学財務課				株式会社 総合設備コンサルタント 	工事名称	滋賀県立大学C棟トイレ改修後期工事	図面No.	E-01
						図面名称	特記仕様書 S = NO SCALE	設計日	2024年3月

照明器具姿図

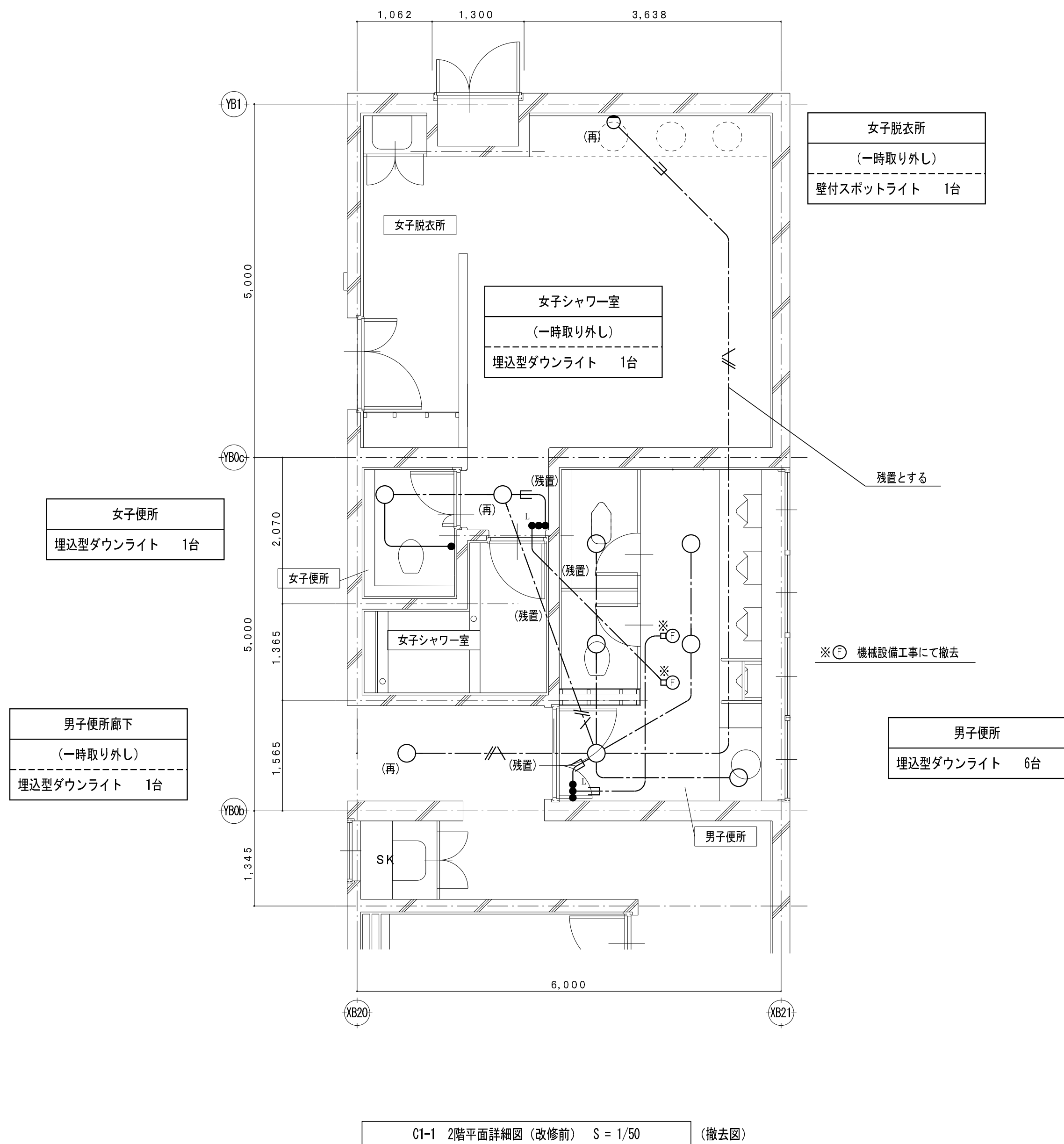
X 1	LEDダウンライト	X 2	LEDダウンライト プース・収納内
パナソニック XND1567SA LE9		パナソニック XND1067SA LE9	
 φ150		 φ150	
LED内蔵<ワンコア（ひと粒）タイプ>、電源ユニット内蔵、高演色タイプ 5000K、Ra95、拡散タイプ 光源遮光角30度、光源寿命40000時間（光束維持率85%） 器具光束：1375lm、消費電力：11.6W、電圧：100～242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：アルミ（銀色鏡面仕上） 枠：銅板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ150		LED内蔵<ワンコア（ひと粒）タイプ>、電源ユニット内蔵、高演色タイプ 5000K、Ra95、拡散タイプ 光源遮光角30度、光源寿命40000時間（光束維持率85%） 器具光束：845lm、消費電力：7W、電圧：100～242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：アルミ（銀色鏡面仕上） 枠：銅板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ150	

トイレ呼出機器姿図

 p	トイレ呼出ボタン ひも付き	 N	トイレ呼出ボタン	 ●	復旧ボタン	 ○	廊下灯
ケアコム BT-312ZR（参考型番）		ケアコム BT-311ZR（参考型番）		ケアコム BR-302RAU（参考型番）		ケアコム BT-673U／8（参考型番）	
							
形 状	壁埋込形（JIS1個用スイッチボックスカバー付）	形 状	壁埋込形（JIS1個用スイッチボックスカバー付）	形 状	壁埋込形（JIS1個用スイッチボックスカバー付）	形 状	壁埋込形（JIS1個用スイッチボックスカバー付）
プレート／握り	抗菌樹脂	プレート／握り	抗菌樹脂	プレート	新金属	プレート／握り	新金属
確認灯	LED（赤）	確認灯	LED（赤）	表示灯	ノンロック式		
呼出ボタン	ノンロック式	呼出ボタン	ノンロック式			表示灯	表示灯カバー：ポリカーボネート
点 字	よびだし	点 字	よびだし				LED（赤）,DC8V
備 考	JIS C-0920 IPx5（防噴流形）適合	備 考	JIS C-0920 IPx5（防噴流形）適合				

 緊急通報装置	緊急通報装置	 E	通報用ボタン	取付高さ H=1500
アイホン FE-M（参考型番）		アイホン QEW-BNW（参考型番）		
				
電源電圧	AC100V 50/60Hz	形 状	壁埋込型(JIS1個用スイッチボックス)	
形 状	据置・壁取付型(JIS1個用スイッチボックス)	材 質	自己消火性樹脂	
材 質	自己消火性樹脂	備 考	ノンロック式	
通報先登録数	5ヵ所		防沫形	
備 考	ワイヤレス機器 登録数 最大16個			

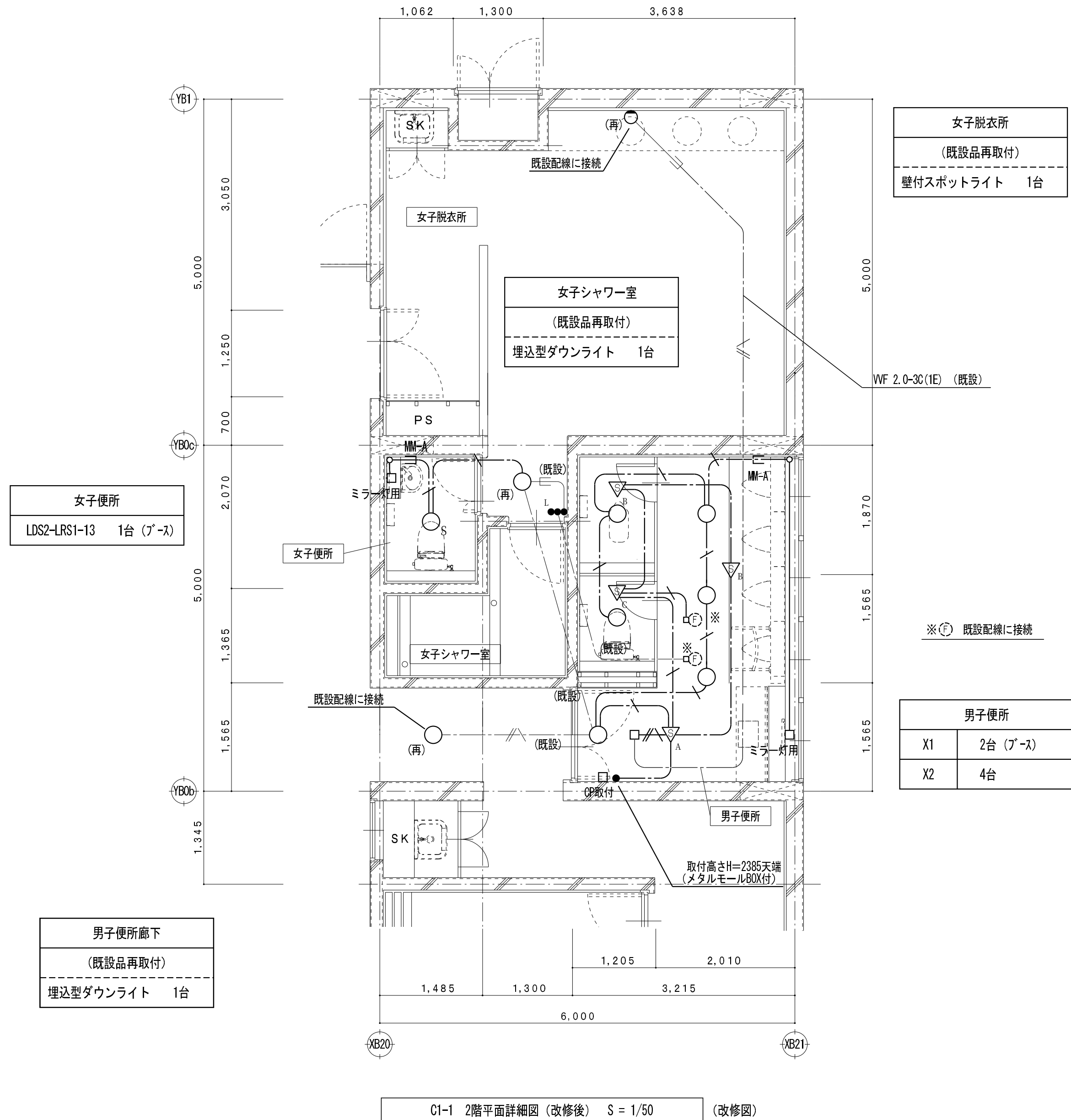
改修前



凡	例
記 号	名 称
●	埋込型スイッチ 1P15Ax1
● ^L	確認表示灯付きスイッチ 1P15Ax1
⬮ ^L	確認表示灯付きスイッチ 1P15Ax2
⬮ ^{2PL}	確認表示灯付きスイッチ (2極) 2P15Ax2
⬮ ^L	確認表示灯付きスイッチ 1P15Ax3
☒	プルボックス
⬮	電灯分電盤
⬮	制御盤
(再)	取外し再取付を示す

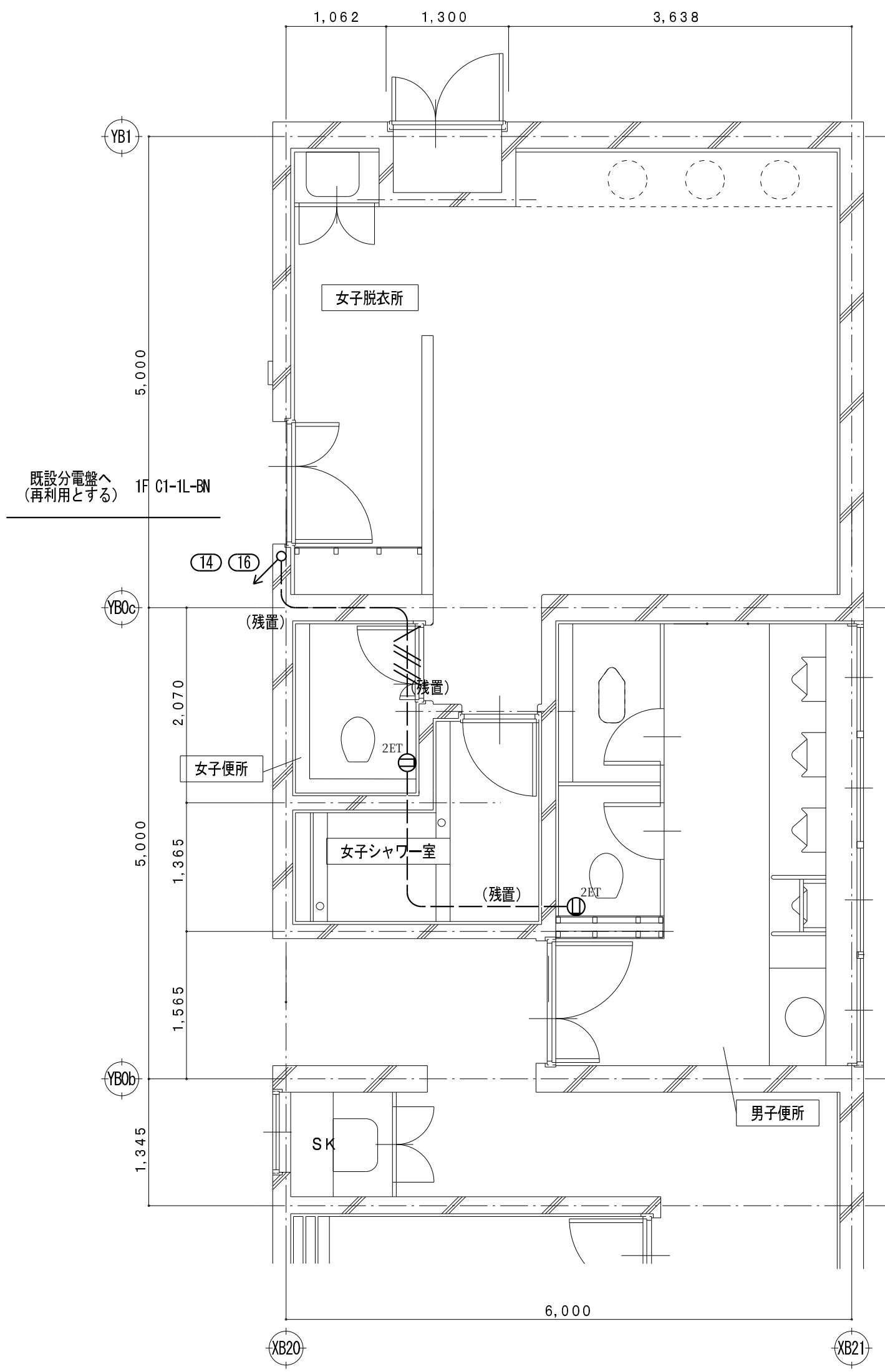
特 記 事 項			
特記なき配管配線は下記とする。			
電 灯 回 路	——— VV-F 1.6-2C (PF16)		
	—— ~~ハ~~ —— VV-F 1.6-2C x2 (PF28)		
	—— ~~ハ~~ —— VV-F 1.6-3C (PF22)		
	—— ^{2.0} —— VV-F 2.0-2C (PF22)		
	—— ~~ハ~~ ^{2.0} —— VV-F 2.0-3C (PF22)		
	—— ~~ハ~~ —— VV-F 2.0-3C(1E) (PF22)		
	—— ^E —— IV 2.0x2 E1.6 (PF16)		
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。			
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。			
特記無き器具類、配管配線は全て撤去する。（打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。）			
配管配線種別			
—————	天井内隠蔽配管配線工事	—————	天井内ころがし配線工事
—————	床内隠蔽配管配線工事	……………	露出配管工事
—————	ケーブルダクト配線工事		

改修後



凡 例	
記 号	名 称
●	埋込型スイッチ
● ¹	確認表示灯付き埋込型スイッチ
△ _A	天井付熱線センサ付自動スイッチ
▽ _B	天井付熱線センサ付自動スイッチ
▽ _C	天井付熱線センサ付自動スイッチ
	既設コンクリート・床貫通を示す（防火区画貫通処理含む）
☐	アウトレットボックス
☐ 取付	カバープレート取付
	電灯分電盤（既設）
	制御盤（既設）
(再)	取外し再取付を示す

特 記 事 項		
特記なき配管配線は下記とする。		保護管
電 灯 回 路	—— ———— EM-EEF 1.6-2C	(PF16)
	—— ~~///~~ ———— EM-EEF 1.6-3C	(PF22)
	—— ~~///~~ ———— EM-EEF 2.0-3C(1E)	(PF22)
	—— ~~—~~ ———— EM-EEF 1.6-3C(1E)	(PF22)
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)		
貫通穴はコンソート共用とする。		
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。		
配管配線種別		
—————	天井内隠蔽配管配線工事	————— 天井内ころがし配線工事
—————	床内隠蔽配管配線工事	…………… 露出配管工事
—————	ケーブルラック配線工事	



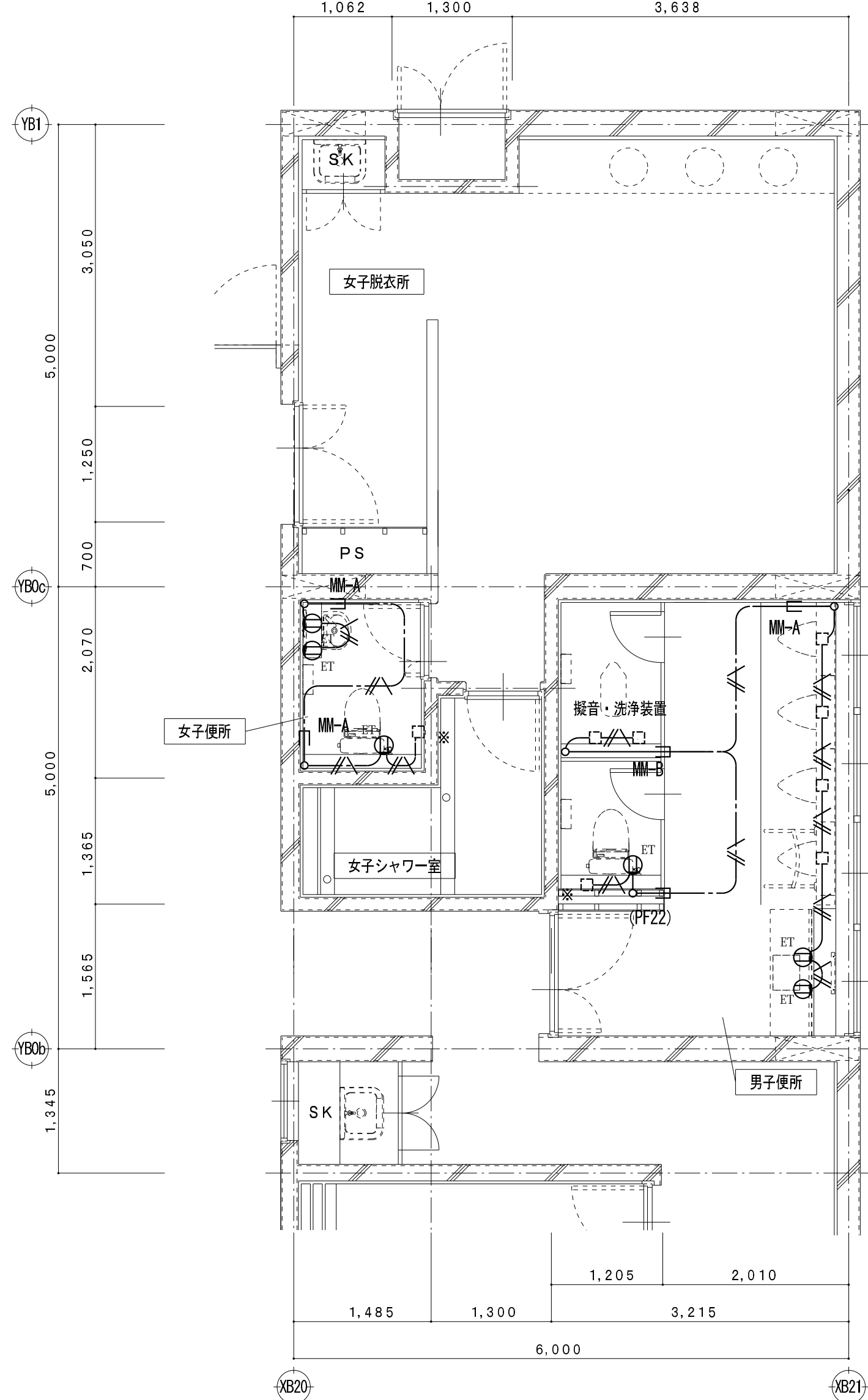
C1-1 2階平面詳細図 (改修前) S = 1/50 (撤去図)

凡 例

記 号	名 称
Ⓚ	埋込型コンセント (接地極付)
Ⓚ ^{ET}	埋込型スイッチ (接地極接地端子付)
Ⓚ ^{ZET}	埋込型スイッチ (接地端子付)
☒	ブルボックス
■	電灯分電盤
(再)	取外し再取付を示す

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管	
差 込 回 路		IV2.0 x 3 (PF16)	
		IV2.0 x 2 E2.0 (PF16)	
		IV2.0 x 4 E2.0 (PF22)	
		IV1.6 x 5 (PF22)	
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。			
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。			
特記無き器具類、配管配線は全て撤去する。（打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。）			
配管配線種別			
	天井内隠蔽配管配線工事		天井内ころがし配線工事
	床内隠蔽配管配線工事		露出配管工事
	ケーブルラック配線工事		

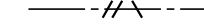


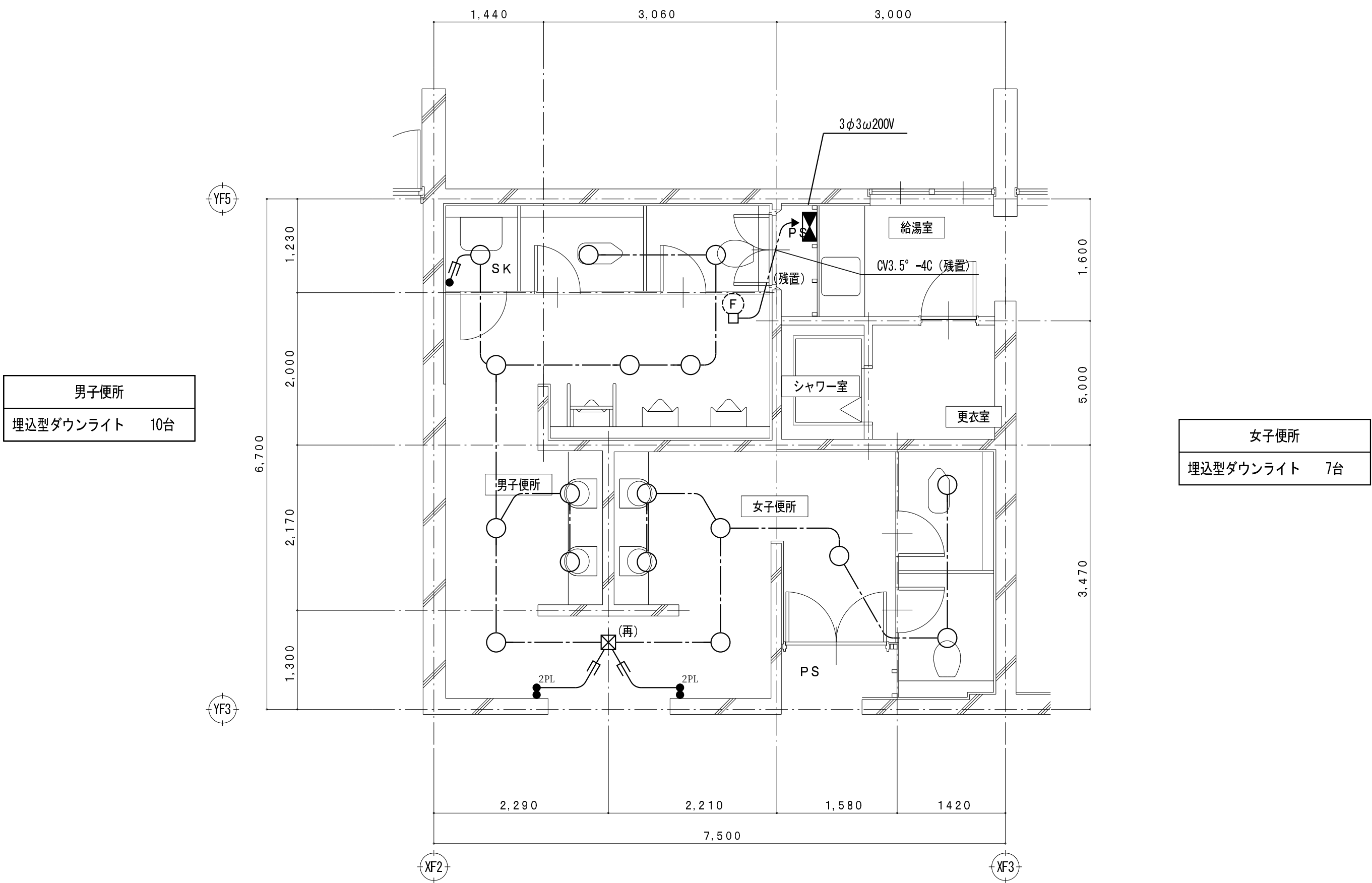
C1-1 2階平面詳細図 (改修後) S = 1/50 (改修図)

凡 例

記 号	名 称
Ⓚ ^{ET}	埋込型スイッチ (接地端子付) 2P15Ax1
●	既設コンクリート・床貫通を示す (防火区画貫通処理含む)
□	アウトレットボックス
☒	カバープレート取付
☒	ブルボックス 鋼板製 150×150×150
■	電灯分電盤 (既設)
(再)	取外し再取付を示す

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管	
差 込 回 路	 EM-EEF 2.0-3C(1E)	(PF22)	
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。			
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。			
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。（メタルモールボックス共）			
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。			
配管配線種別			
—————	天井内隠蔽配管配線工事	—————	天井内ころがし配線工事
—————	床内隠蔽配管配線工事	·····	露出配管工事
—————	ケーブルラック配線工事		



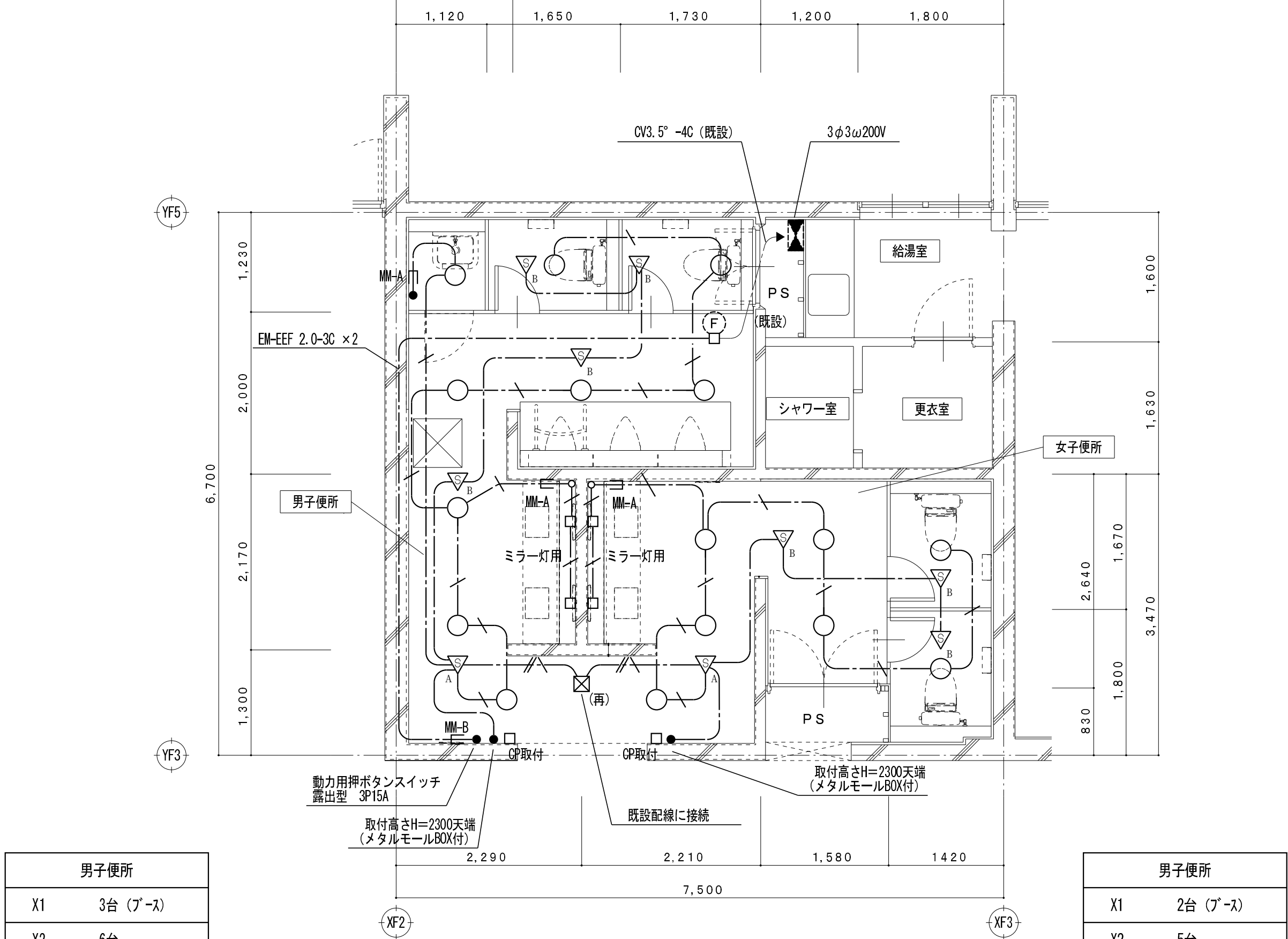
C2 2階平面詳細図 (改修前) S = 1/50 (撤去図)

凡 例

記 号	名 称
●	埋込型スイッチ 1P15Ax1
● ^L	確認表示灯付きスイッチ 1P15Ax1
● ^L	確認表示灯付きスイッチ 1P15Ax2
● ^{2P}	確認表示灯付きスイッチ (2極) 2P15Ax2
● ^L	確認表示灯付きスイッチ 1P15Ax3
☒	ブルボックス
■	電灯分電盤
◀▶	制御盤
(再)	取外し再取付を示す

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		
電 灯 回 路	——— VV-F 1.6-2C	(PF16)
	——-H-H- VV-F 1.6-2C x2	(PF28)
	——-H- VV-F 1.6-3C	(PF22)
	———2.0 VV-F 2.0-2C	(PF22)
	——-H2.0 VV-F 2.0-3C	(PF22)
	——-H- VV-F 2.0-3C(1E)	(PF22)
	———E IV 2.0x2 E1.6	(PF16)
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
特記無き器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)		
配管配線種別		
———	天井内隠蔽配管配線工事	——— 天井内ころがし配線工事
———	床内隠蔽配管配線工事	 露出配管工事
———	ケーブルラック配線工事	



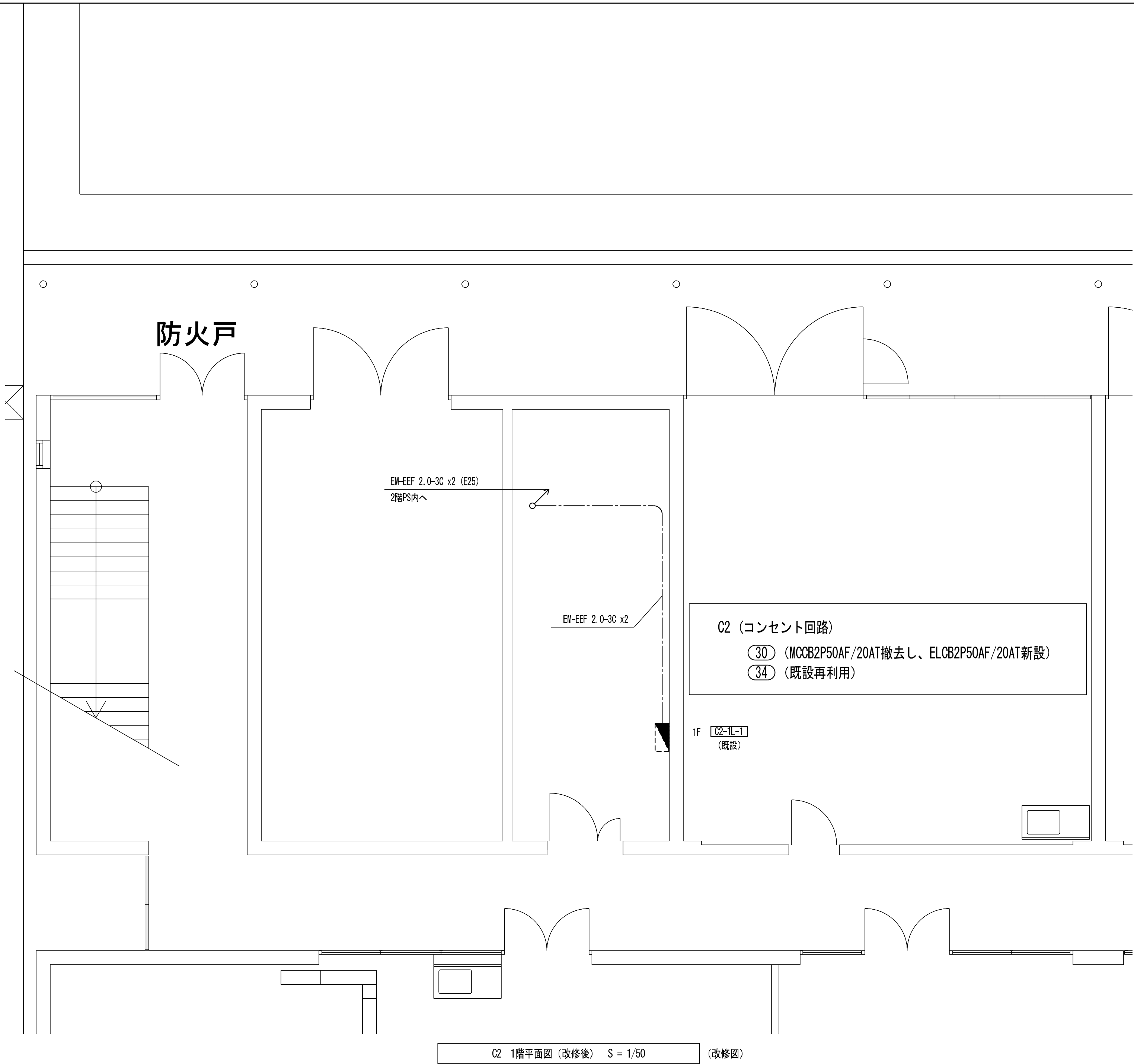
C2 2階平面詳細図 (改修後) S = 1/50 (改修図)

凡 例

記 号	名 称
●	埋込型スイッチ 1P15Ax1 ネーム付
● ^L	確認表示灯付き埋込型スイッチ 1P15Ax2 ネーム付
▽ _A	天井付熱線センサ付自動スイッチ 親機・8Aタイプ・広角形
▽ _B	天井付熱線センサ付自動スイッチ 子機
▽ _C	天井付熱線センサ付自動スイッチ 子機・換気扇連動用・3系統連動形
◯	既設コンクリート・床貫通を示す (防火区画貫通処理含む)
□	アウトレットボックス
□取付	カバープレート取付
■	電灯分電盤 (既設)
◀▶	制御盤 (既設)
(再)	取外し再取付を示す

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		
電 灯 回 路	——— EM-EEF 1.6-2C	(PF16)
	——-H- EM-EEF 1.6-3C	(PF22)
	——-H- EM-EEF 2.0-3C(1E)	(PF22)
	——-H- EM-EEF 1.6-3C(1E)	(PF22)
	———	
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)		
貫通穴はコンセント共用とする。		
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。		
配管配線種別		
———	天井内隠蔽配管配線工事	——— 天井内ころがし配線工事
———	床内隠蔽配管配線工事	 露出配管工事
———	ケーブルラック配線工事	

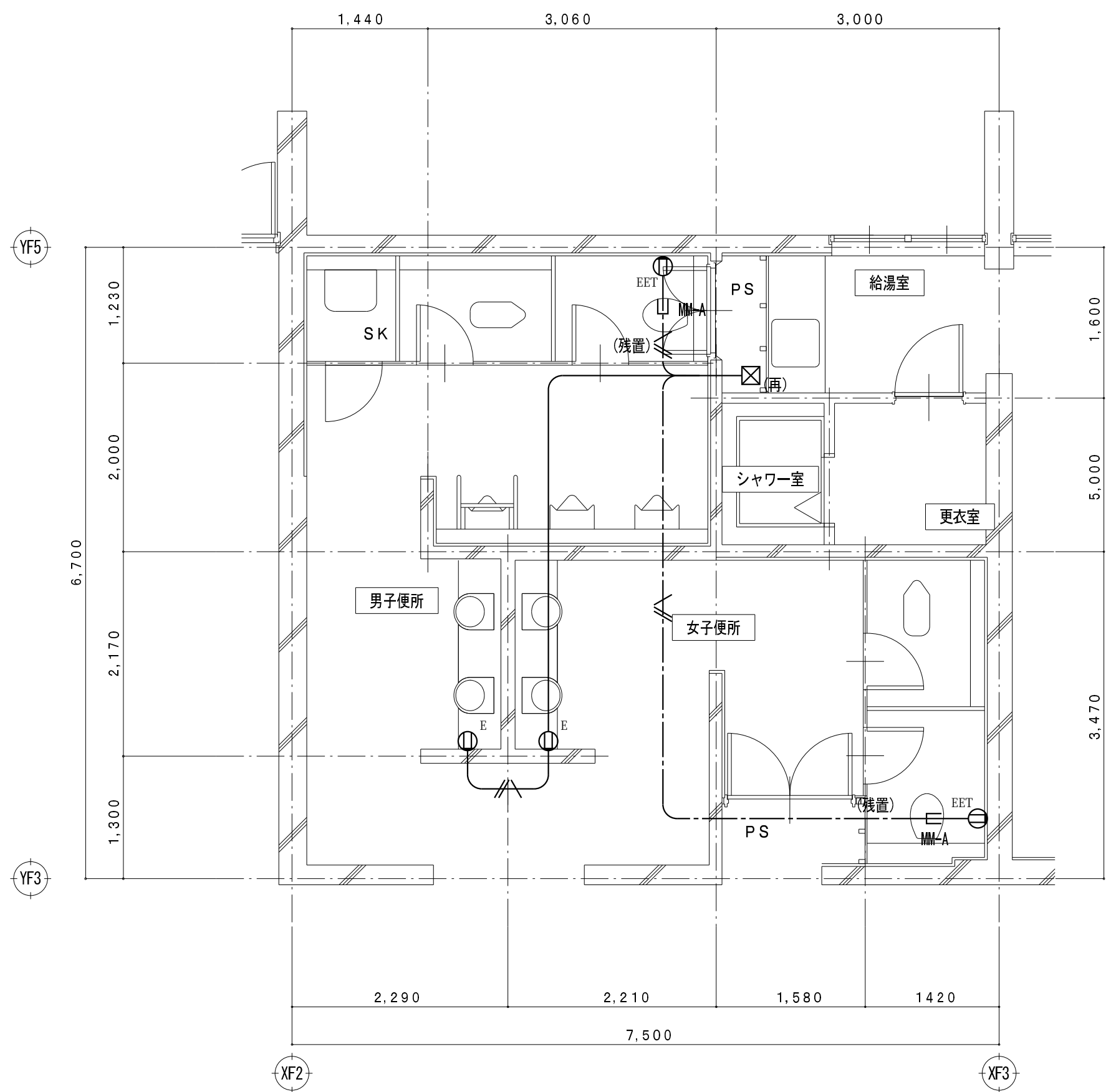


凡 例

記 号	名 称
	埋込型スイッチ (接地端子付) 2P15Ax1
	既設コンクリート・床貫通を示す (防火区画貫通処理含む)
	アウトレットボックス
	電灯分電盤

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		
差 込 回 路		(PF22)
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
MN-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)		
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。		
配管配線種別		
	天井内隠蔽配管配線工事	
	床内隠蔽配管配線工事	
	ケーブルラック配線工事	

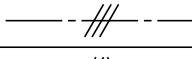
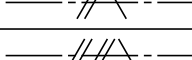
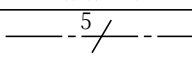
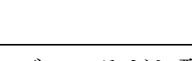
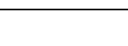
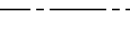
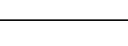


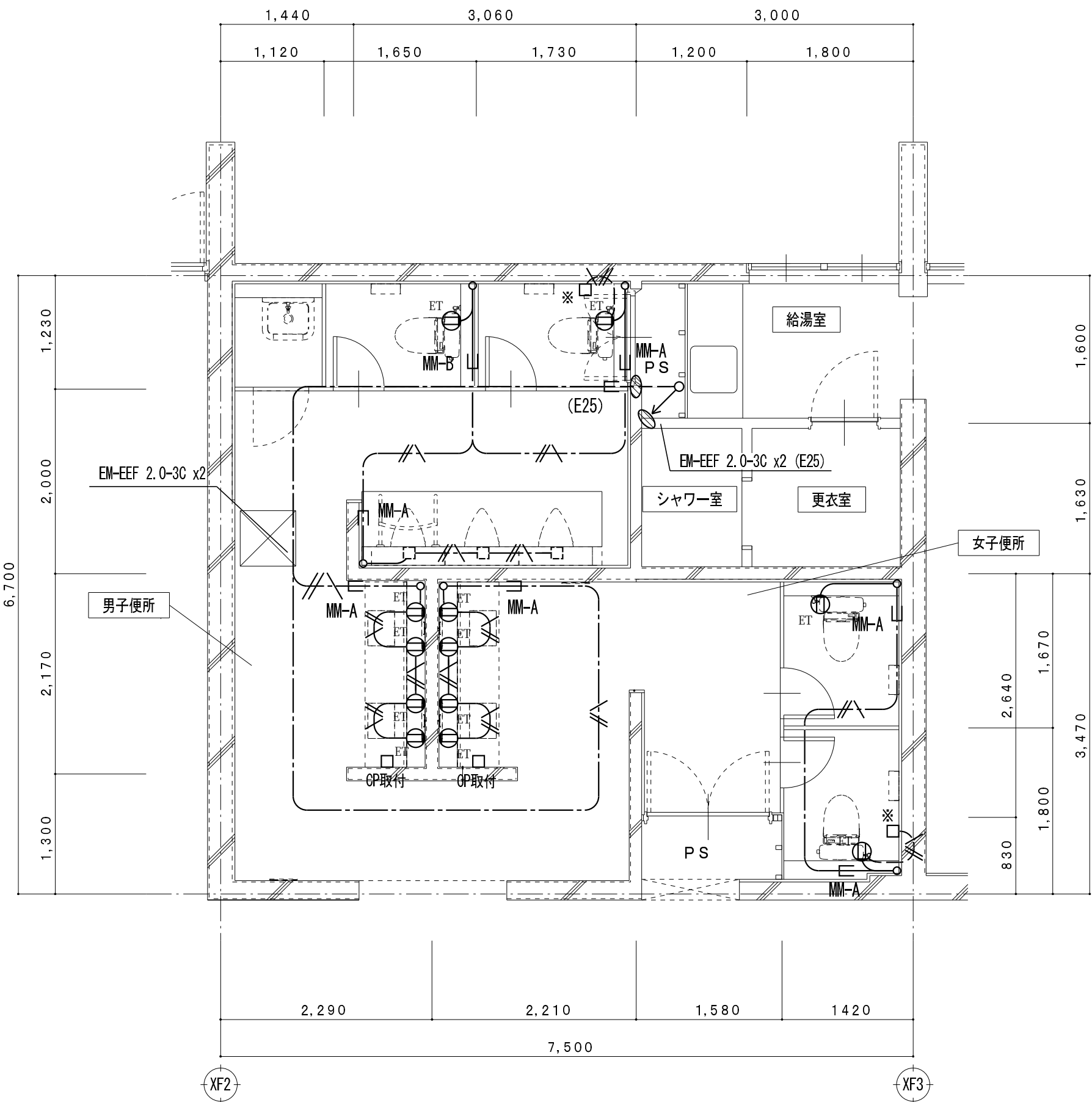
C2 2階平面詳細図（改修前） S = 1/50 （撤去図）

凡 例

記 号	名 称
	埋込型コンセント（接地極付） 2P15Ax1
	埋込型スイッチ（接地極接地端子付） 2P15Ax1
	埋込型スイッチ（接地端子付） 2P15Ax2
	プルボックス
	電灯分電盤
	取外し再取付を示す

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		
差 込 回 路		IV2.0x3 (PF16)
		IV2.0x2 E2.0 (PF16)
		IV2.0x4 E2.0 (PF22)
		IV1.6x5 (PF22)
二重天井内配線はケーブルこがし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
特記無き器具類、配管配線は全て撤去する。（打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。）		
配管配線種別		
	天井内隠蔽配管配線工事	 天井内こがし配線工事
	床内隠蔽配管配線工事	 露出配管工事
	ケーブルラック配線工事	

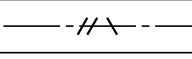
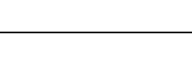
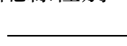
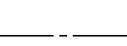
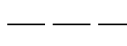
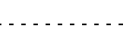
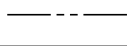


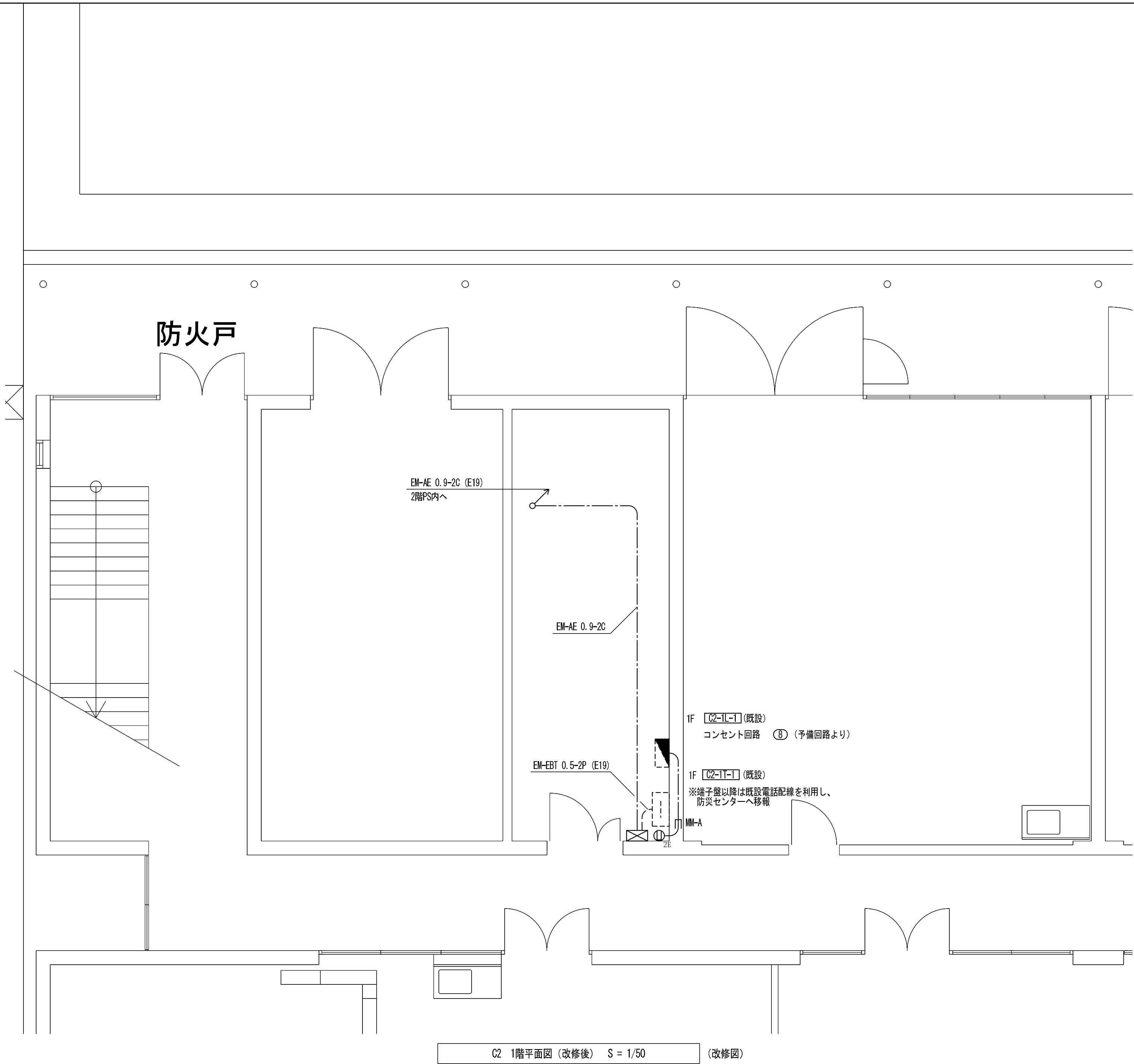
C2 2階平面詳細図（改修後） S = 1/50 （改修図）

凡 例

記 号	名 称
	埋込型スイッチ（接地端子付） 2P15Ax1
	埋込型スイッチ（接地端子付） 2P15Ax1
	埋込型スイッチ（接地端子付） 2P15Ax2
	プルボックス
	電灯分電盤（既設）
	取外し再取付を示す

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		
差 込 回 路		EM-EFF 2.0-3C (1E) (PF22)
		EM-EFF 2.0-3C (2E) (PF22)
		EM-EFF 2.0-3C (3E) (PF22)
		EM-EFF 2.0-3C (4E) (PF22)
二重天井内配線はケーブルこがし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。（メタルモールボックス共）		
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。		
配管配線種別		
	天井内隠蔽配管配線工事	 天井内こがし配線工事
	床内隠蔽配管配線工事	 露出配管工事
	ケーブルラック配線工事	

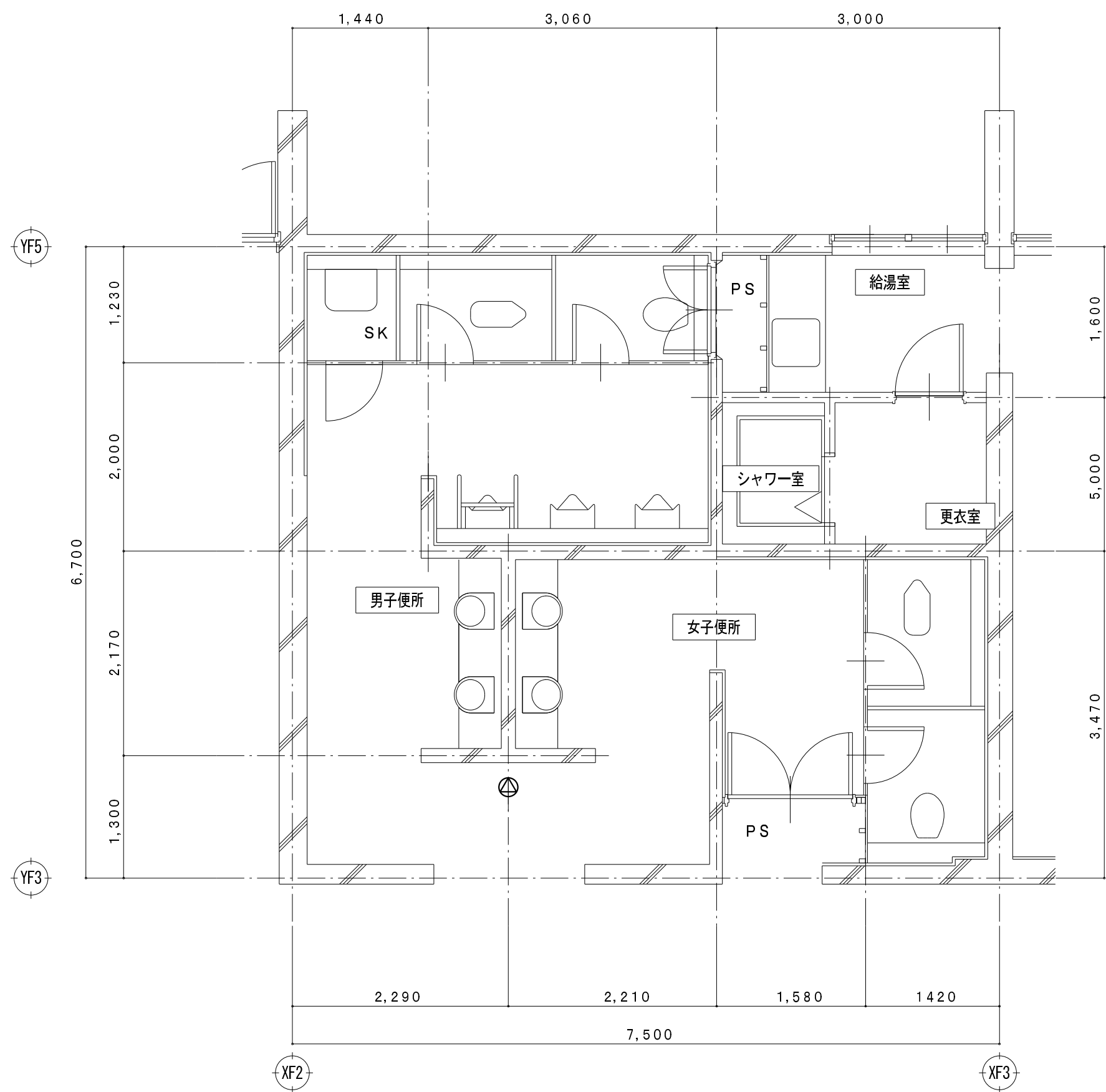


凡 例

記 号	名 称
	トイレ用呼出押しボタン
	トイレ用呼出押しボタン ひも付き
	廊下灯
	復旧ボタン
	通報用ボタン
	天井埋込型スピーカー 3W (SC6H1-3V3-M)
	光電式スポット型感知器 2種 非蓄積型 埋込型
	埋込型コンセント (接地極付) 2P15Ax2
	既設コンクリート・床貫通を示す (防火区画貫通処理含む)
	アウトレットボックス
	弱電端子盤(既設)
(再)	取外し再取付を示す

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管
呼 出 回 路	EM-AE 1.2-2C	(PF16)
	EM-AE 1.2-3C	(PF16)
	EM-AE 1.2-4C	(PF16)
	EM-EEF 1.6-2C	(PF16)
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)		
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。		
配管配線種別		
天井内隠蔽配管配線工事		天井内ころがし配線工事
床内隠蔽配管配線工事		露出配管工事
ケーブ・トラック配線工事		



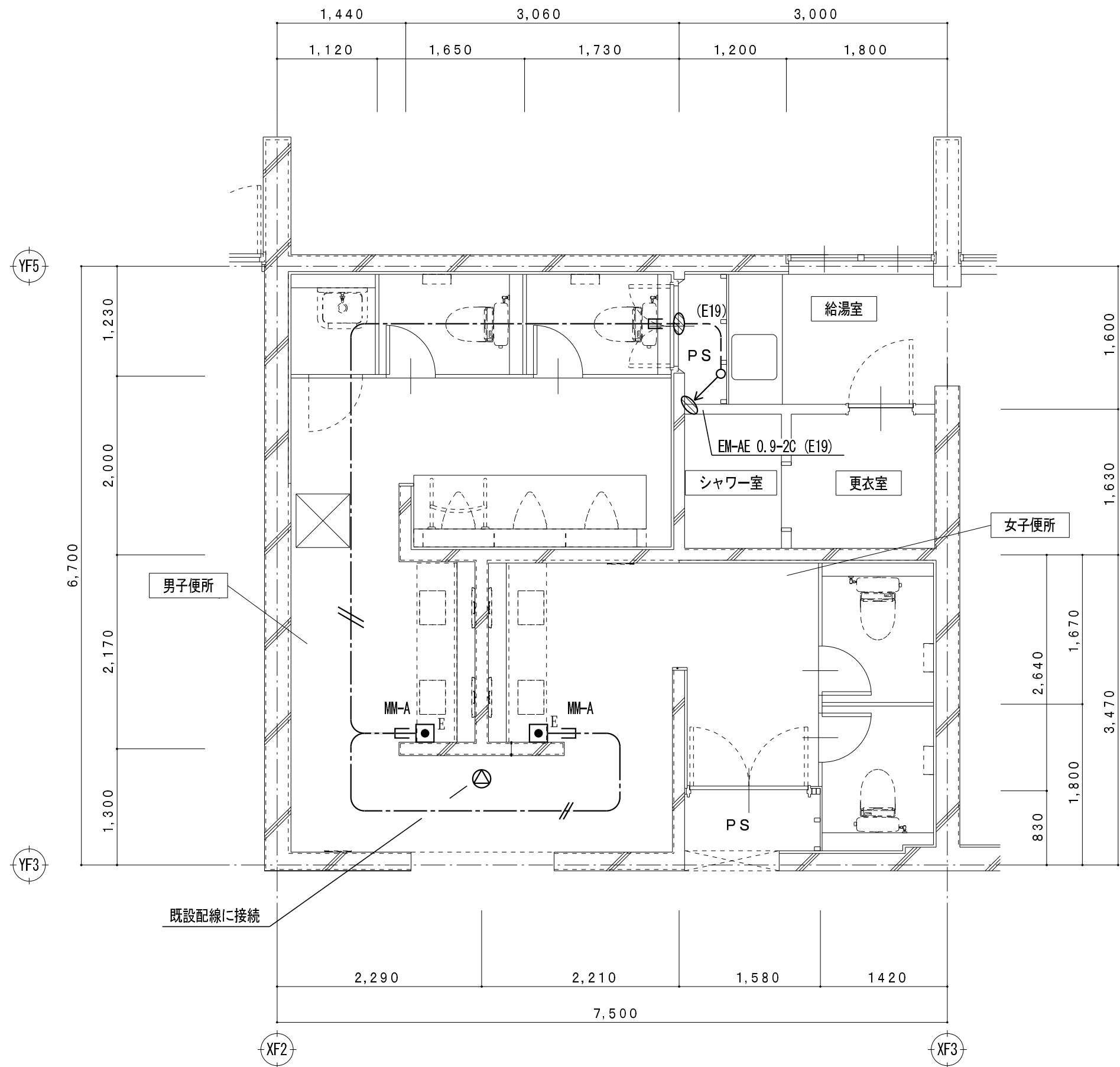
C2 2階平面詳細図（改修前） S = 1/50 （撤去図）

凡 例

記 号	名 称
	トイレ用呼出押しボタン
	廊下灯
	復旧ボタン
	天井埋込型スピーカー 3W
	光電式スポット型感知器 非蓄積型 埋込型
	アウトレットボックス
	弱電端子盤
(再)	取外し再取付を示す

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。	保護管
呼 出 回 路 AE 1.2-2C	(PF16)
AE 1.2-3C	(PF16)
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。	
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。	
特記無き器具類、配管配線は全て撤去する。（打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。）	
配管配線種別	
天井内隠蔽配管配線工事	天井内ころがし配線工事
床内隠蔽配管配線工事	露出配管工事
ケーブルラック配線工事	



C2 2階平面詳細図（改修後） S = 1/50 （改修図）

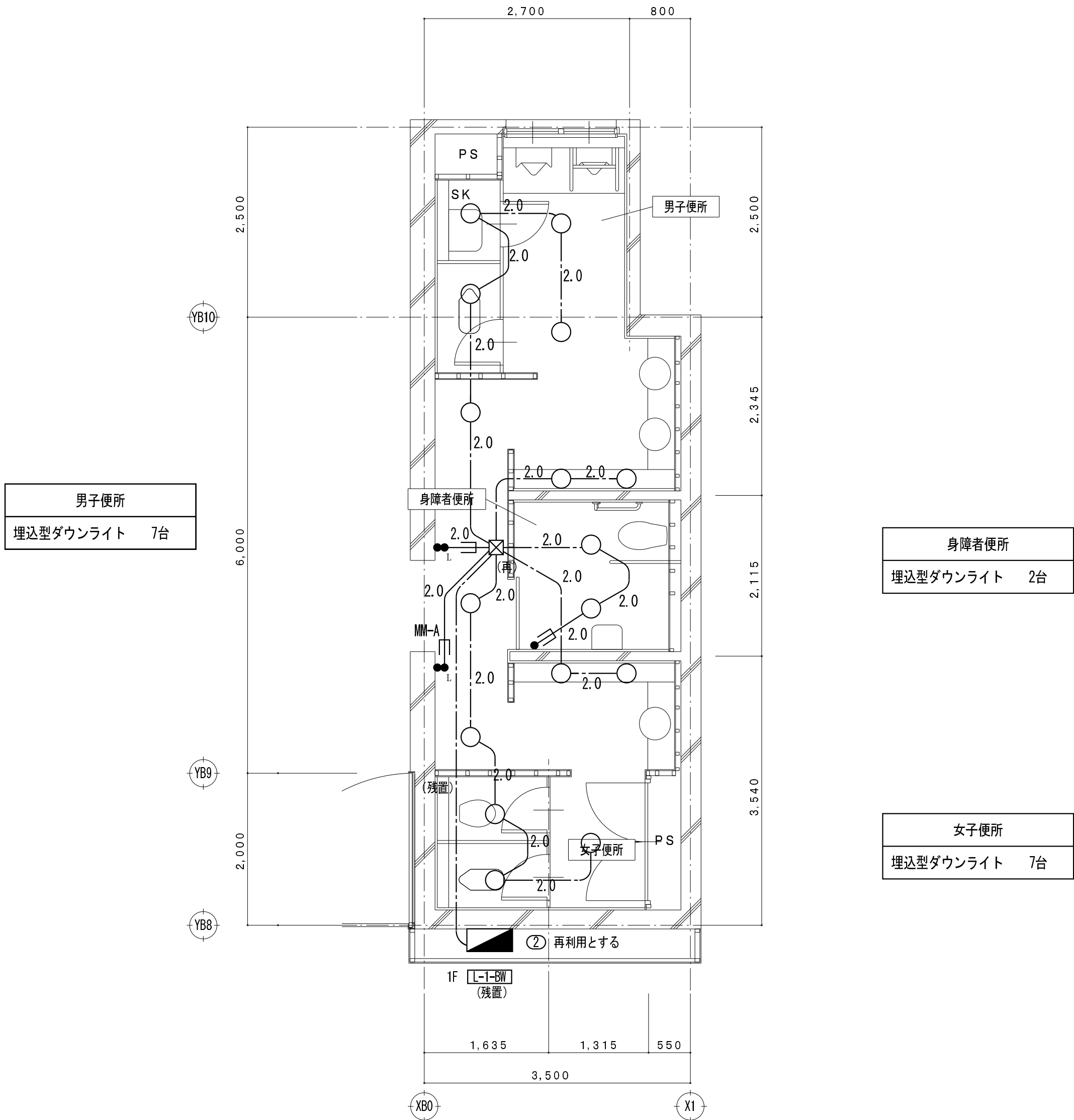
凡 例

記 号	名 称
	トイレ用呼出押しボタン
	トイレ用呼出押しボタン ひも付き
	廊下灯
	復旧ボタン
	通電用ボタン
	天井埋込型スピーカー 3W (SC6H1-3V3-M)
	光電式スポット型感知器 2種 非蓄積型 埋込型
	埋込型コンセント（接地極付） 2P15Ax2
	既設コンクリート・床貫通を示す（防火区画貫通処理含む）
	アウトレットボックス
	弱電端子盤（既設）
(再)	取外し再取付を示す

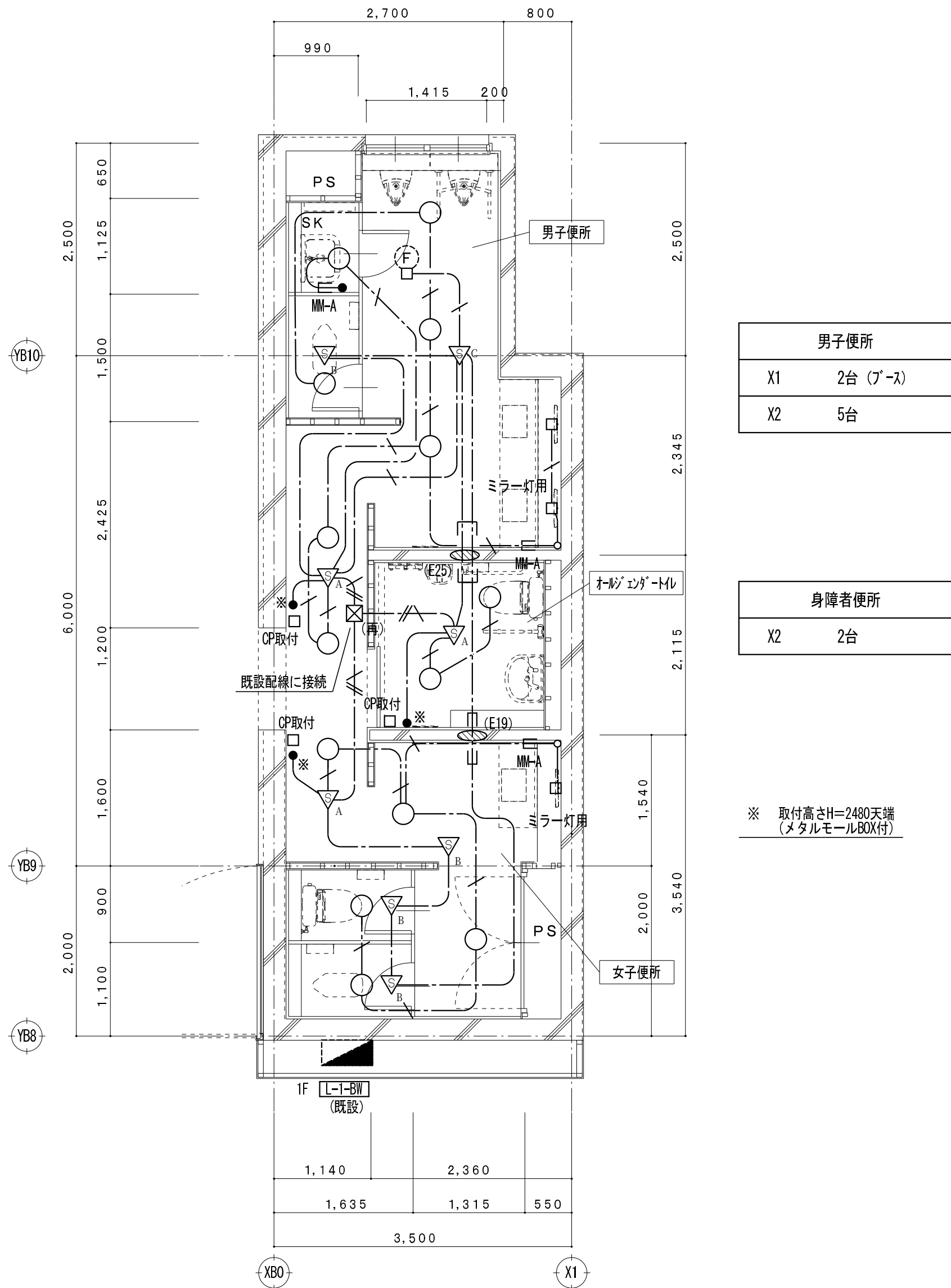
特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。	保護管
呼 出 回 路 EM-AE 1.2-2C	(PF16)
EM-AE 1.2-3C	(PF16)
EM-AE 1.2-4C	(PF16)
EM-EEF 1.6-2C	(PF16)
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。	
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。	
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。（メタルモールボックス共）	
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。	
配管配線種別	
天井内隠蔽配管配線工事	天井内ころがし配線工事
床内隠蔽配管配線工事	露出配管工事
ケーブルラック配線工事	

--	--	--	--



C3 1階平面詳細図 (改修前) S = 1/50 (撤去図)



C3 1階平面詳細図 (改修後) S = 1/50 (改修図)

凡	例
---	---

記 号	名 称
●	埋込型スイッチ 1P15Ax1
● ^L	確認表示灯付きスイッチ 1P15Ax1
● ^L	確認表示灯付きスイッチ 1P15Ax2
● ^{2PC}	確認表示灯付きスイッチ (2極) 2P15Ax2
● ^L	確認表示灯付きスイッチ 1P15Ax3
☒	ブルボックス
▣	電灯分電盤
▣	制御盤
(再)	取外し再取付を示す

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		
電 灯 回 路	—— ————	VV-F 1.6-2C (PF16)
	—— <i>///</i> ——	VV-F 1.6-2C x2 (PF28)
	—— <i>///</i> ——	VV-F 1.6-3C (PF22)
	—— <i>2.0</i> ——	VV-F 2.0-2C (PF22)
	—— <i>///2.0</i> ——	VV-F 2.0-3C (PF22)
	—— <i>///</i> ——	VV-F 2.0-3C(1E) (PF22)
	—— <i>E</i> ——	1V 2.0x2 E1.6 (PF16)
	—— ————	保護管
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
特記無き器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)		
配管配線種別		
—— ————	天井内隠蔽配管配線工事	—— ———— 天井内ころがし配線工事
—— ————	床内隠蔽配管配線工事	 露出配管工事
—— ————	ケーブルラック配線工事	

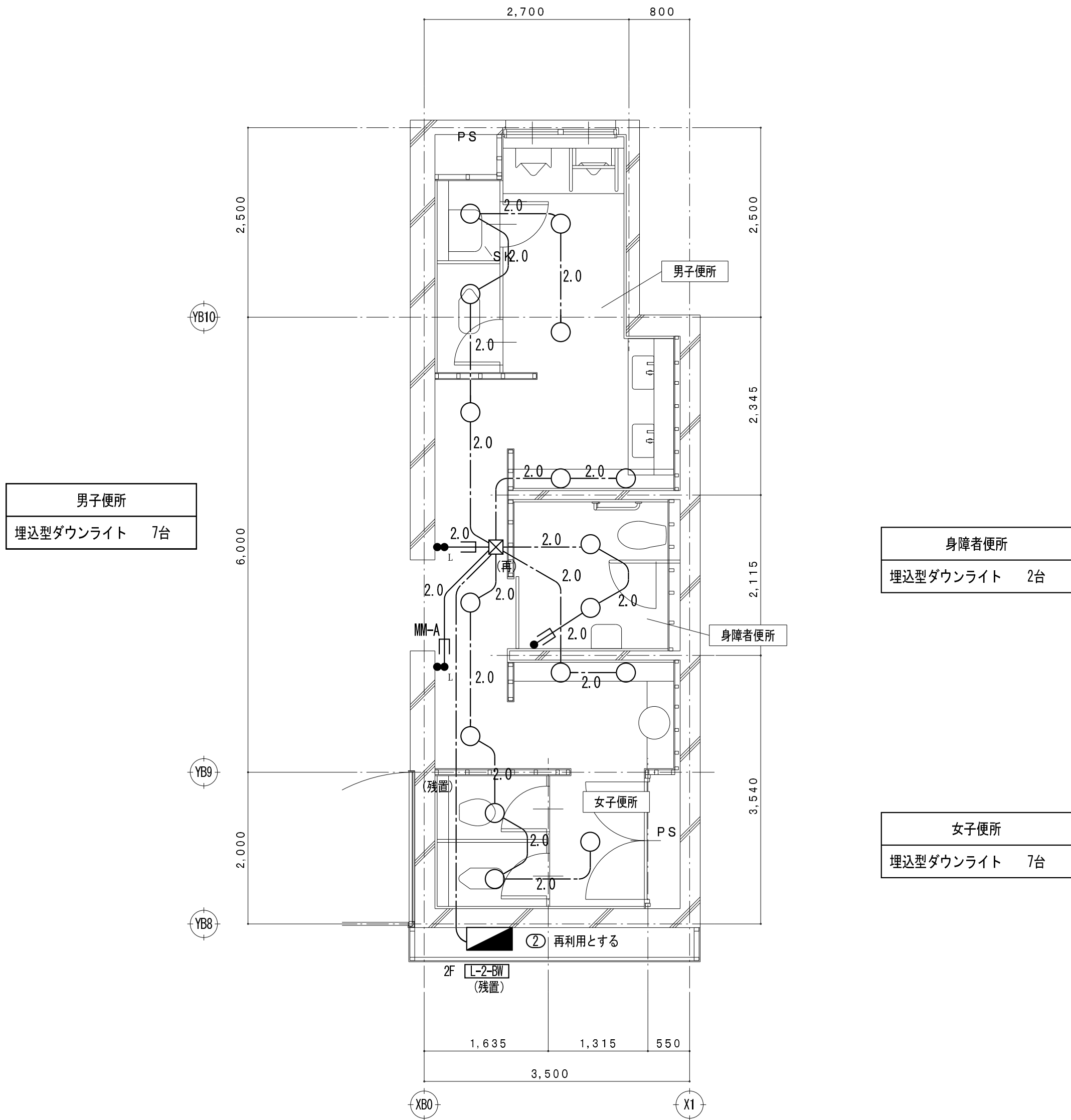
凡	例
---	---

記 号	名 称
●	埋込型スイッチ 1P15Ax1 ネーム付
● ^L	確認表示灯付き埋込型スイッチ 1P15Ax2 ネーム付
▽ _A	天井付熱線センサ付自動スイッチ 親機・8Aタイプ・広角形
▽ _B	天井付熱線センサ付自動スイッチ 子機
▽ _C	天井付熱線センサ付自動スイッチ 子機・換気扇連動用・3系統連動形
▣	既設コンクリート・床貫通を示す (防火区画貫通処理含む)
□	アウトレットボックス
□ ^{CP} 取付	カバープレート取付
▣	電灯分電盤 (既設)
▣	制御盤 (既設)
(再)	取外し再取付を示す

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		
電 灯 回 路	—— ————	EM-EEF 1.6-2C (PF16)
	—— <i>///</i> ——	EM-EEF 1.6-3C (PF22)
	—— <i>///</i> ——	EM-EEF 2.0-3C(1E) (PF22)
	—— <i>///</i> ——	EM-EEF 1.6-3C(1E) (PF22)
	—— ————	保護管
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)		
貫通穴はコンセント共用とする。		
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。		
配管配線種別		
—— ————	天井内隠蔽配管配線工事	—— ———— 天井内ころがし配線工事
—— ————	床内隠蔽配管配線工事	 露出配管工事
—— ————	ケーブルラック配線工事	

--	--	--	--	--



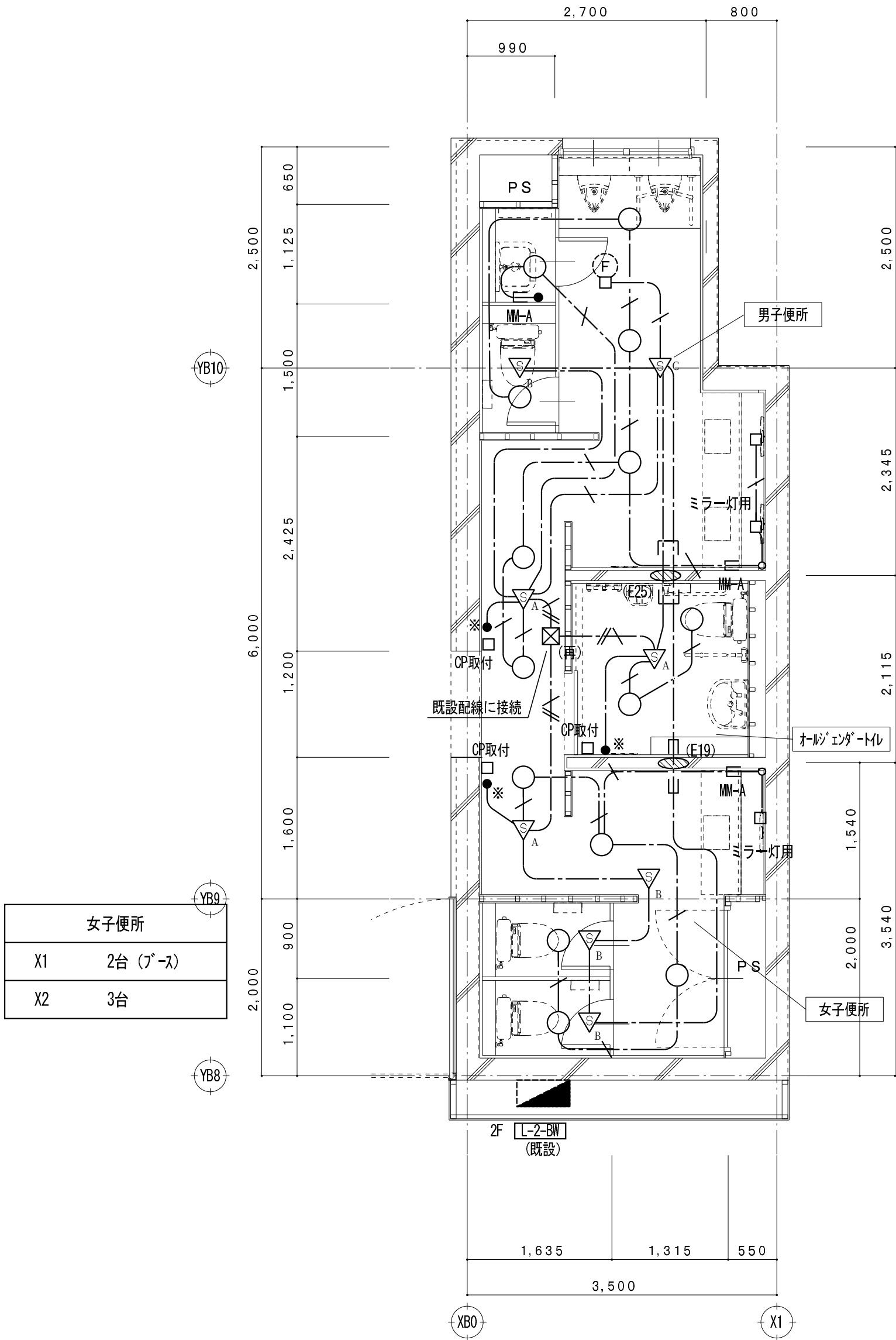
C3 2階平面詳細図 (改修前) S = 1/50 (撤去図)

凡 例

記 号	名 称
●	埋込型スイッチ 1P15Ax1
● ^L	確認表示灯付きスイッチ 1P15Ax1
● ^L	確認表示灯付きスイッチ 1P15Ax2
● ^{2P}	確認表示灯付きスイッチ (2極) 2P15Ax2
● ^L	確認表示灯付きスイッチ 1P15Ax3
☒	ブルボックス
■	電灯分電盤
◀▶	制御盤
(再)	取外し再取付を示す

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		
電 灯 回 路	——— VV-F 1.6-2C	(PF16)
	—— ~~///~~ —— VV-F 1.6-2C x2	(PF28)
	—— ~~///~~ —— VV-F 1.6-3C	(PF22)
	—— ^{2.0} —— VV-F 2.0-2C	(PF22)
	—— ~~///~~ ^{2.0} —— VV-F 2.0-3C	(PF22)
	—— ~~///~~ —— VV-F 2.0-3C(1E)	(PF22)
	—— ^E —— IV 2.0x2 E1.6	(PF16)
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
特記無き器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)		
配管配線種別		
———	天井内隠蔽配管配線工事	——— 天井内ころがし配線工事
———	床内隠蔽配管配線工事	 露出配管工事
———	ケーブルラック配線工事	



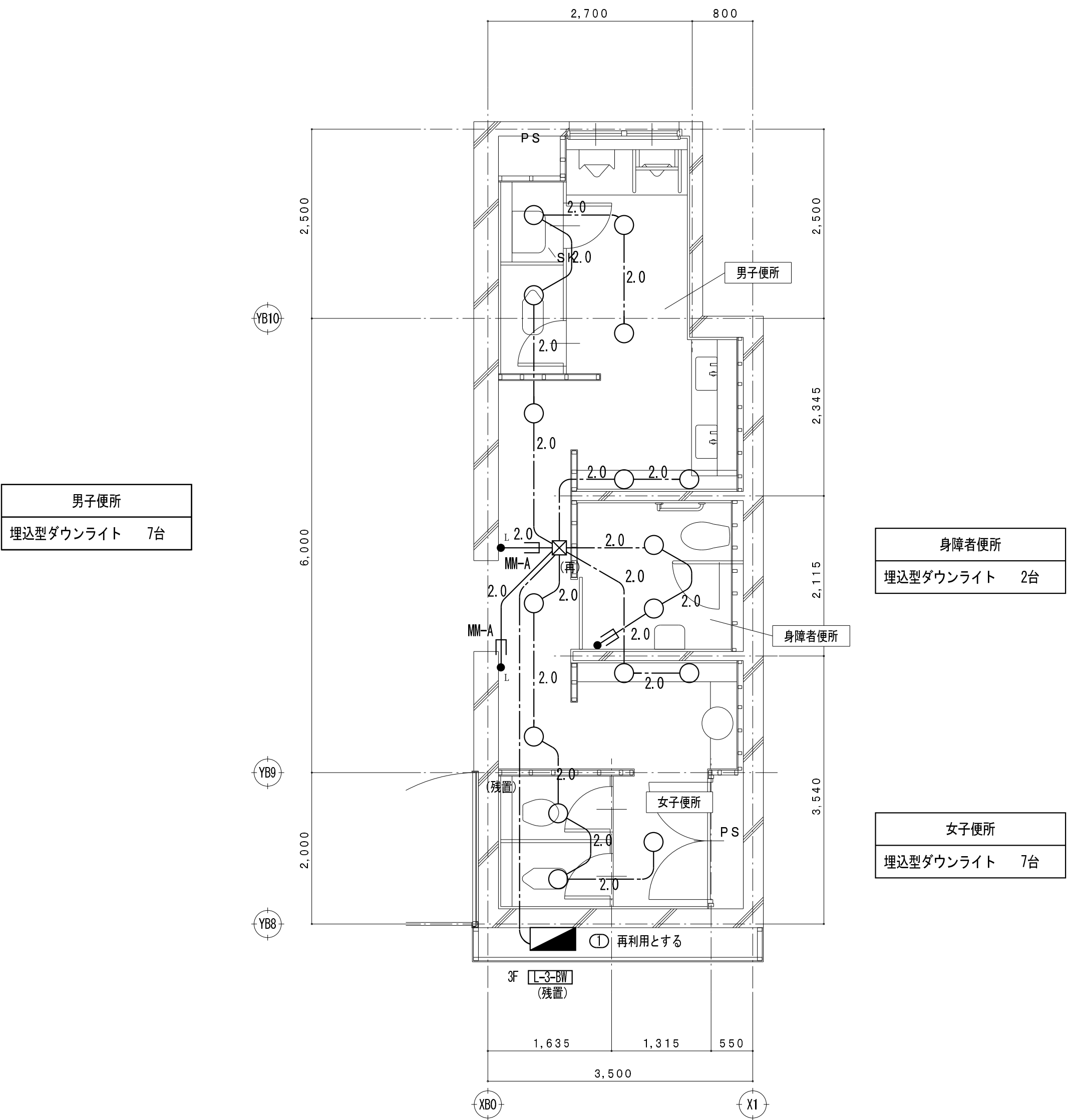
C3 2階平面詳細図 (改修後) S = 1/50 (改修図)

凡 例

記 号	名 称
●	埋込型スイッチ 1P15Ax1 ネーム付
● ^L	確認表示灯付き埋込型スイッチ 1P15Ax2 ネーム付
▽ _A	天井付熱線センサ付自動スイッチ 親機・8Aタイプ・広角形
▽ _B	天井付熱線センサ付自動スイッチ 子機
▽ _C	天井付熱線センサ付自動スイッチ 子機・換気扇連動用・3系統連動形
◉	既設コンクリート・床貫通を示す (防火区画貫通処理含む)
□	アウトレットボックス
□ ^{CP} 取付	カバープレート取付
■	電灯分電盤 (既設)
◀▶	制御盤 (既設)
(再)	取外し再取付を示す

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。	
電 灯 回 路	——— EM-EEF 1.6-2C (PF16)
	—— ~~///~~ —— EM-EEF 1.6-3C (PF22)
	—— ~~///~~ —— EM-EEF 2.0-3C(1E) (PF22)
	—— ~~///~~ —— EM-EEF 1.6-3C(1E) (PF22)
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。	
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。	
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)	
貫通穴はコンセント共用とする。	
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。	
配管配線種別	
———	天井内隠蔽配管配線工事
———	床内隠蔽配管配線工事
———	ケーブルラック配線工事



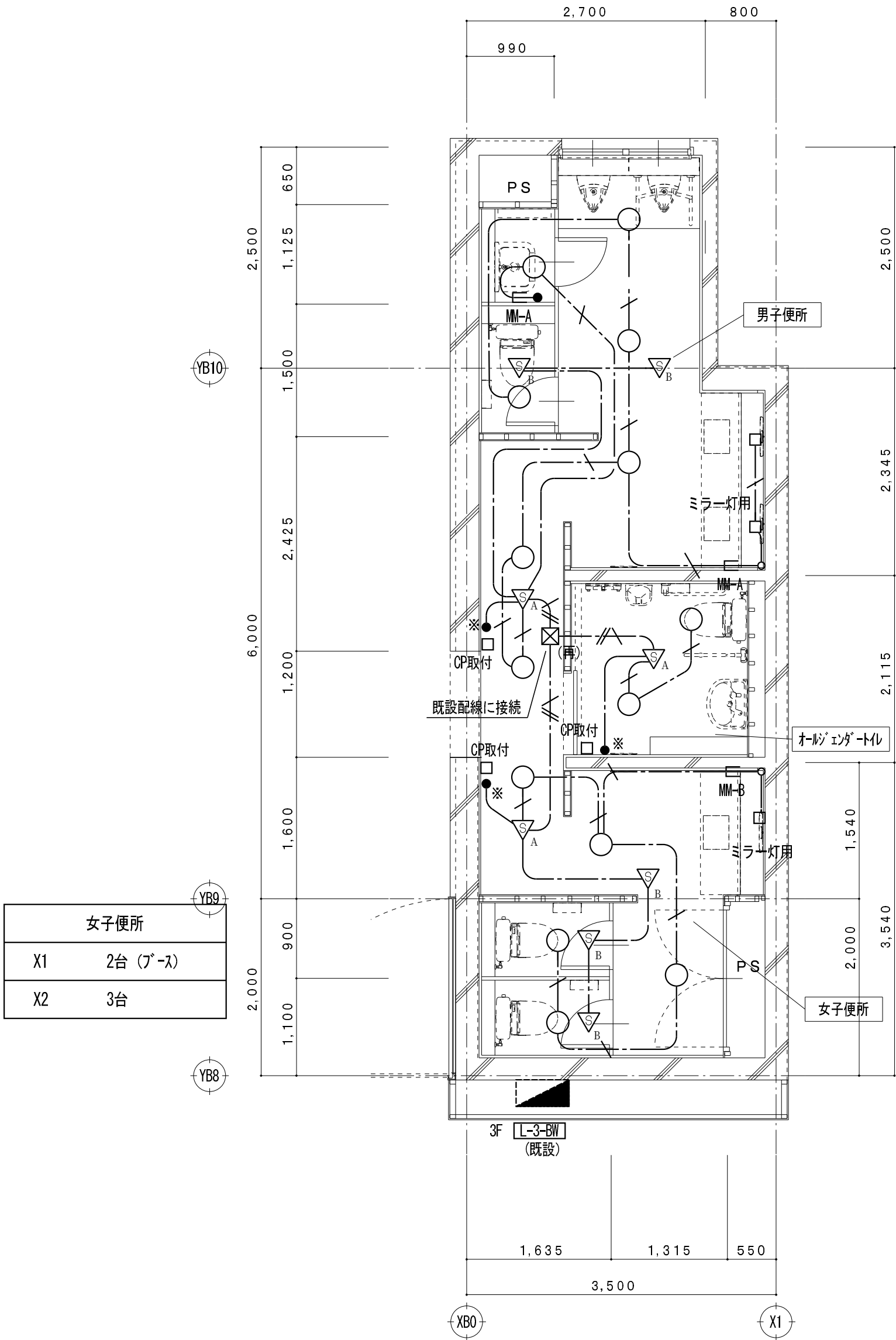
C3 3階平面詳細図 (改修前) S = 1/50 (撤去図)

凡 例

記 号	名 称
●	埋込型スイッチ 1P15Ax1
● ^L	確認表示灯付きスイッチ 1P15Ax1
● ^L	確認表示灯付きスイッチ 1P15Ax2
● ^{2P}	確認表示灯付きスイッチ (2極) 2P15Ax2
● ^L	確認表示灯付きスイッチ 1P15Ax3
☒	ブルボックス
■	電灯分電盤
◀▶	制御盤
(再)	取外し再取付を示す

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管	
電 灯 回 路	—— ——— ———	VV-F 1.6-2C (PF16)	
	—— ~~///~~ ——	VV-F 1.6-2C x2 (PF28)	
	—— ~~///~~ ——	VV-F 1.6-3C (PF22)	
	—— <u>2.0</u> ——	VV-F 2.0-2C (PF22)	
	—— ~~///~~ <u>2.0</u> ——	VV-F 2.0-3C (PF22)	
	—— ~~///~~ ——	VV-F 2.0-3C(1E) (PF22)	
	—— <u>E</u> ——	IV 2.0x2 E1.6 (PF16)	
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。			
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。			
特記無き器具類、配管配線は全て撤去する。（打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。）			
配管配線種別			
—— ——— ———	天井内隠蔽配管配線工事	—— ——— ———	天井内ころがし配線工事
—— ——— ———	床内隠蔽配管配線工事		露出配管工事
—— ——— ———	ケーブルラック配線工事		



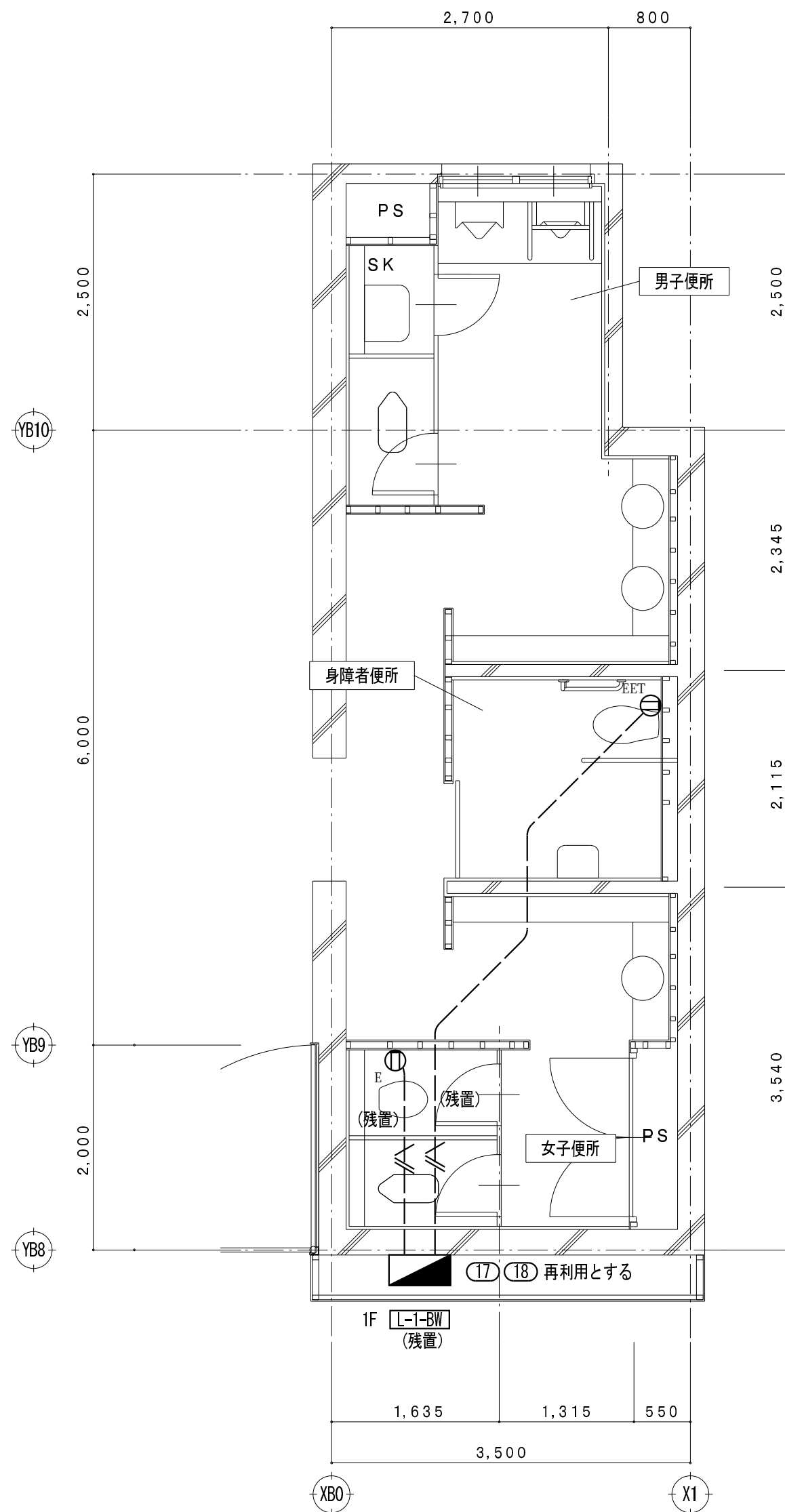
C3 3階平面詳細図 (改修後) S = 1/50 (改修図)

凡 例

記 号	名 称
●	埋込型スイッチ 1P15Ax1 ネーム付
● ^L	確認表示灯付き埋込型スイッチ 1P15Ax2 ネーム付
▽ _A	天井付熱線センサ付自動スイッチ 親機・8Aタイプ・広角形
▽ _B	天井付熱線センサ付自動スイッチ 子機
▽ _C	天井付熱線センサ付自動スイッチ 子機・換気扇連動用・3系統連動形
◉	既設コンクリート・床貫通を示す (防火区画貫通処理含む)
□	アウトレットボックス
□ ^{OP} 取付	カバープレート取付
■	電灯分電盤 (既設)
◀▶	制御盤 (既設)
(再)	取外し再取付を示す

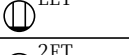
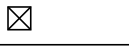
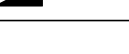
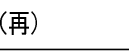
特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管
電 灯 回 路	——— EM-EEF 1.6-2C	(PF16)
	—— ~~///~~ —— EM-EEF 1.6-3C	(PF22)
	—— ~~///~~ —— EM-EEF 2.0-3C(1E)	(PF22)
	—— ~~///~~ —— EM-EEF 1.6-3C(1E)	(PF22)
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)		
貫通穴はコンセント共用とする。		
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。		
配管配線種別		
———	天井内隠蔽配管配線工事	——— 天井内ころがし配線工事
———	床内隠蔽配管配線工事	…………… 露出配管工事
———	ケーブルラック配線工事	

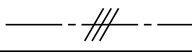
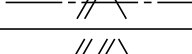
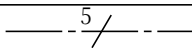
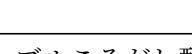
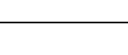
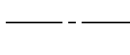
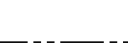


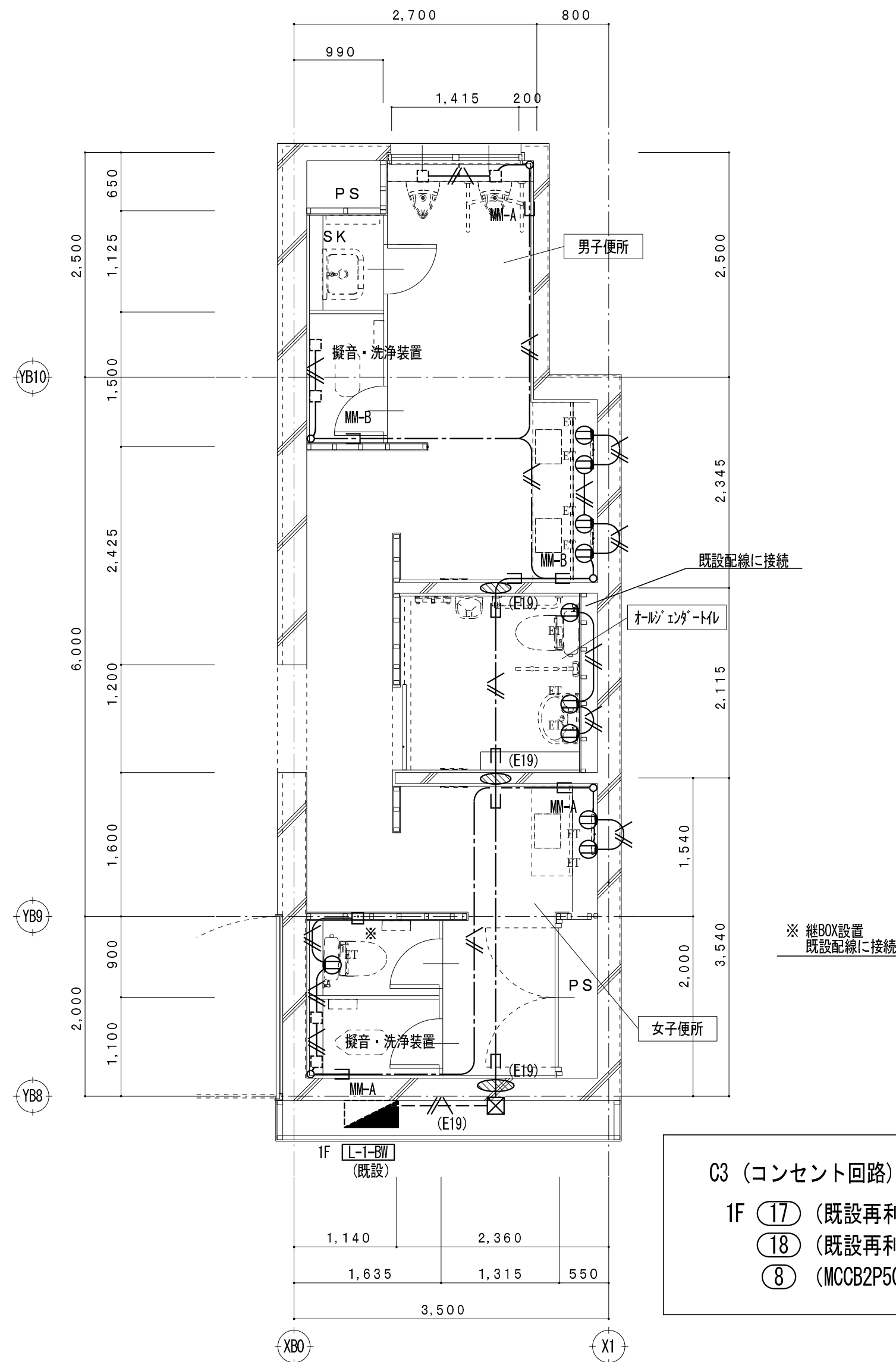
C3 1階平面詳細図（改修前） S = 1/50 （撤去図）

凡 例

記 号	名 称
	埋込型コンセント（接地極付） 2P15Ax1
	埋込型スイッチ（接地極接地端子付） 2P15Ax1
	埋込型スイッチ（接地端子付） 2P15Ax2
	ブルボックス
	電灯分電盤
	取外し再取付を示す

特 記 事 項

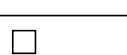
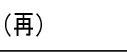
特記なき配管配線は下記とする。		
差 込 回 路		IV2.0x3 (PF16)
		IV2.0x2 E2.0 (PF16)
		IV2.0x4 E2.0 (PF22)
		IV1.6x5 (PF22)
二重天井内配線はケーブルこがし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
特記無き器具類、配管配線は全て撤去する。（打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。）		
配管配線種別		
	天井内隠蔽配管配線工事	 天井内こがし配線工事
	床内隠蔽配管配線工事	 露出配管工事
	ケーブルラック配線工事	



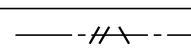
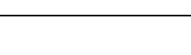
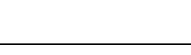
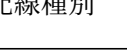
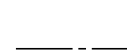
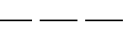
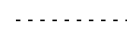
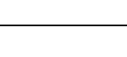
C3 1階平面詳細図（改修後） S = 1/50 （改修図）

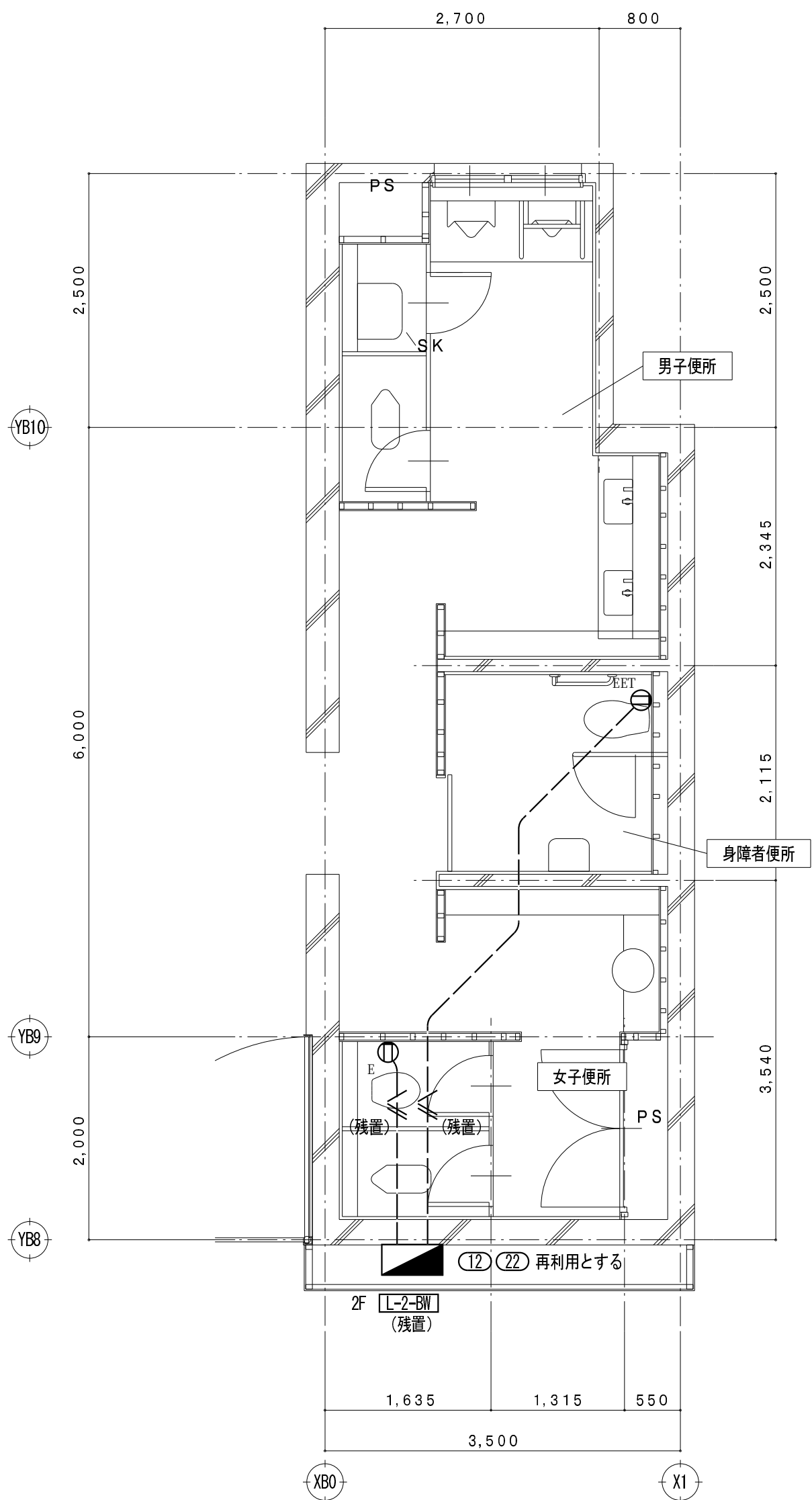
C3（コンセント回路）
1F ①⑦（既設再利用）
①⑧（既設再利用）
⑧（MCCB2P50AF/20AT撤去し、ELCB2P50AF/20AT新設）

凡 例

記 号	名 称
	埋込型スイッチ（接地端子付） 2P15Ax1
	埋込型スイッチ（接地極接地端子付） 2P15Ax1
	埋込型スイッチ（接地端子付） 2P15Ax2
	ブルボックス
	電灯分電盤
	取外し再取付を示す

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管
差 込 回 路		EM-EEF 2.0-3C(1E) (PF22)
		EM-EEF 2.0-3C(1E) (PF22)
		EM-EEF 2.0-3C(1E) (PF22)
		EM-EEF 2.0-3C(1E) (PF22)
二重天井内配線はケーブルこがし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。（メタルモールボックス共）		
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。		
配管配線種別		
	天井内隠蔽配管配線工事	 天井内こがし配線工事
	床内隠蔽配管配線工事	 露出配管工事
	ケーブルラック配線工事	

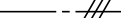


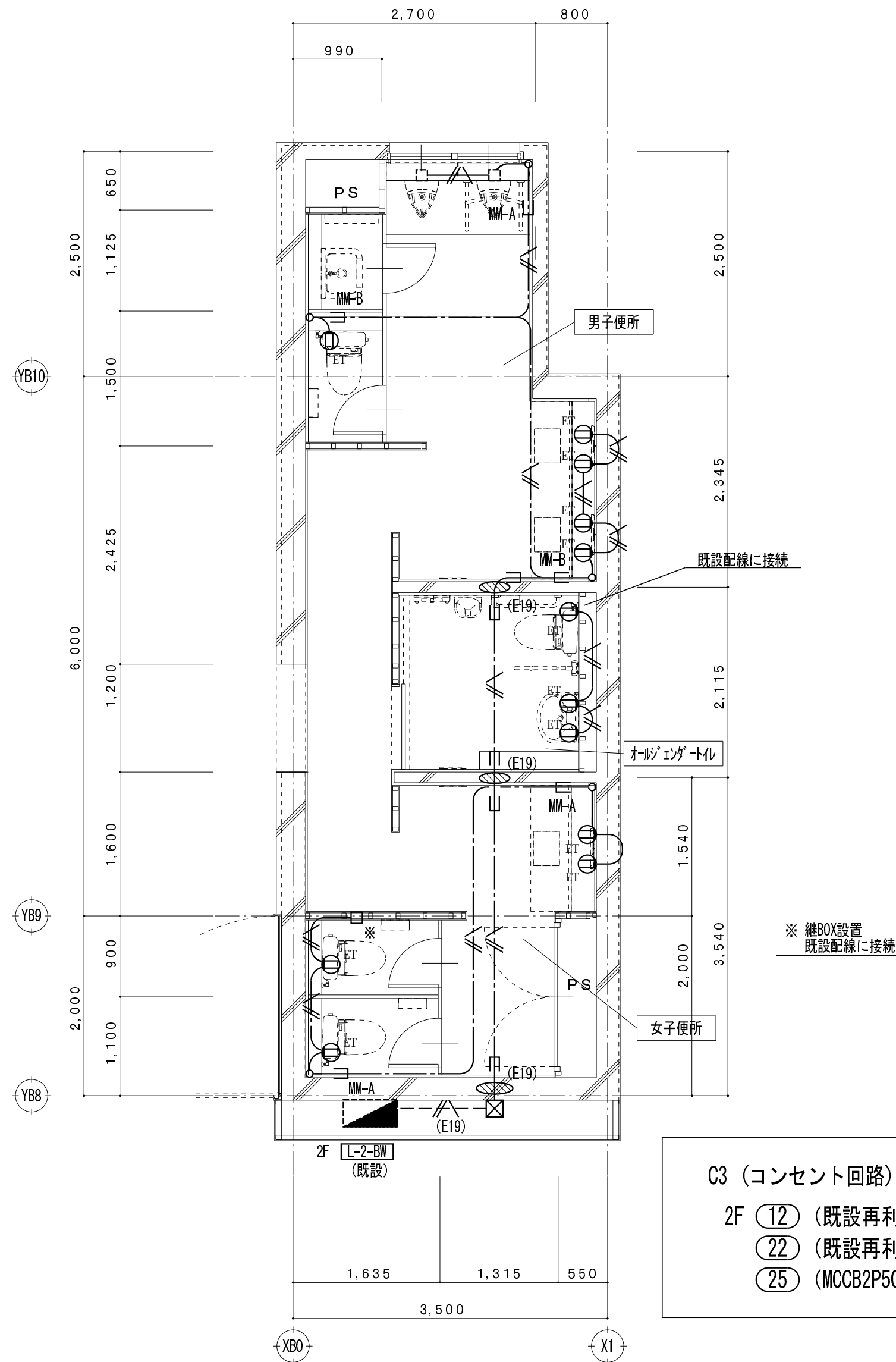
C3 2階平面詳細図 (改修前) S = 1/50 (撤去図)

凡 例

記 号	名 称
Ⓚ	埋込型コンセント (接地極付) 2P15Ax1
Ⓚ ^{ET}	埋込型スイッチ (接地極接地端子付) 2P15Ax1
Ⓚ ^{ZET}	埋込型スイッチ (接地端子付) 2P15Ax2
☒	ブルボックス
■	電灯分電盤
(再)	取外し再取付を示す

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管	
差 込 回 路		IV2.0 x 3 (PF16)	
		IV2.0 x 2 E2.0 (PF16)	
		IV2.0 x 4 E2.0 (PF22)	
		IV1.6 x 5 (PF22)	
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。			
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。			
特記無き器具類、配管配線は全て撤去する。（打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。）			
配管配線種別			
	天井内隠蔽配管配線工事		天井内ころがし配線工事
	床内隠蔽配管配線工事		露出配管工事
	ケーブルラック配線工事		



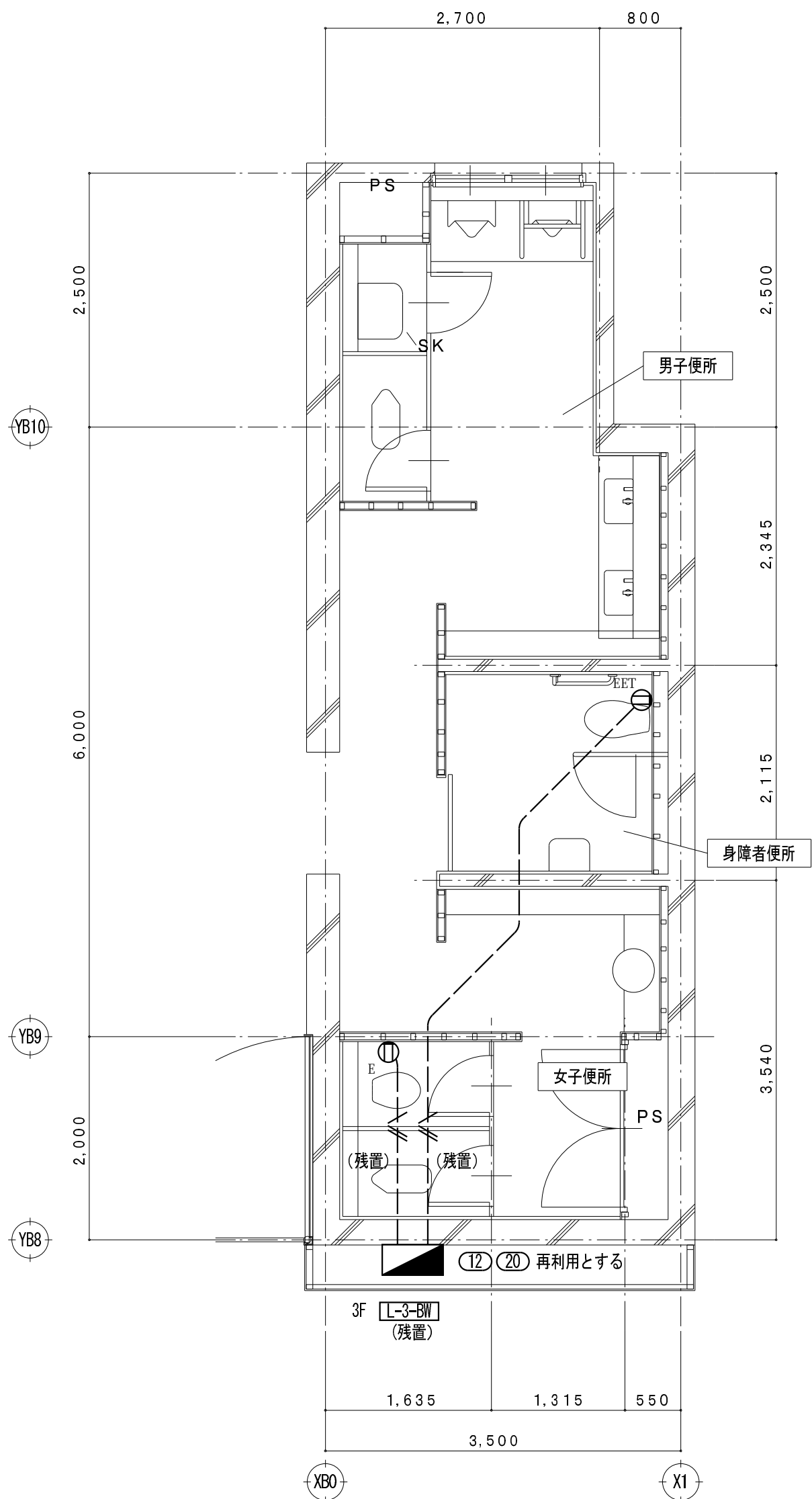
C3 2階平面詳細図 (改修後) S = 1/50 (改修図)

凡 例

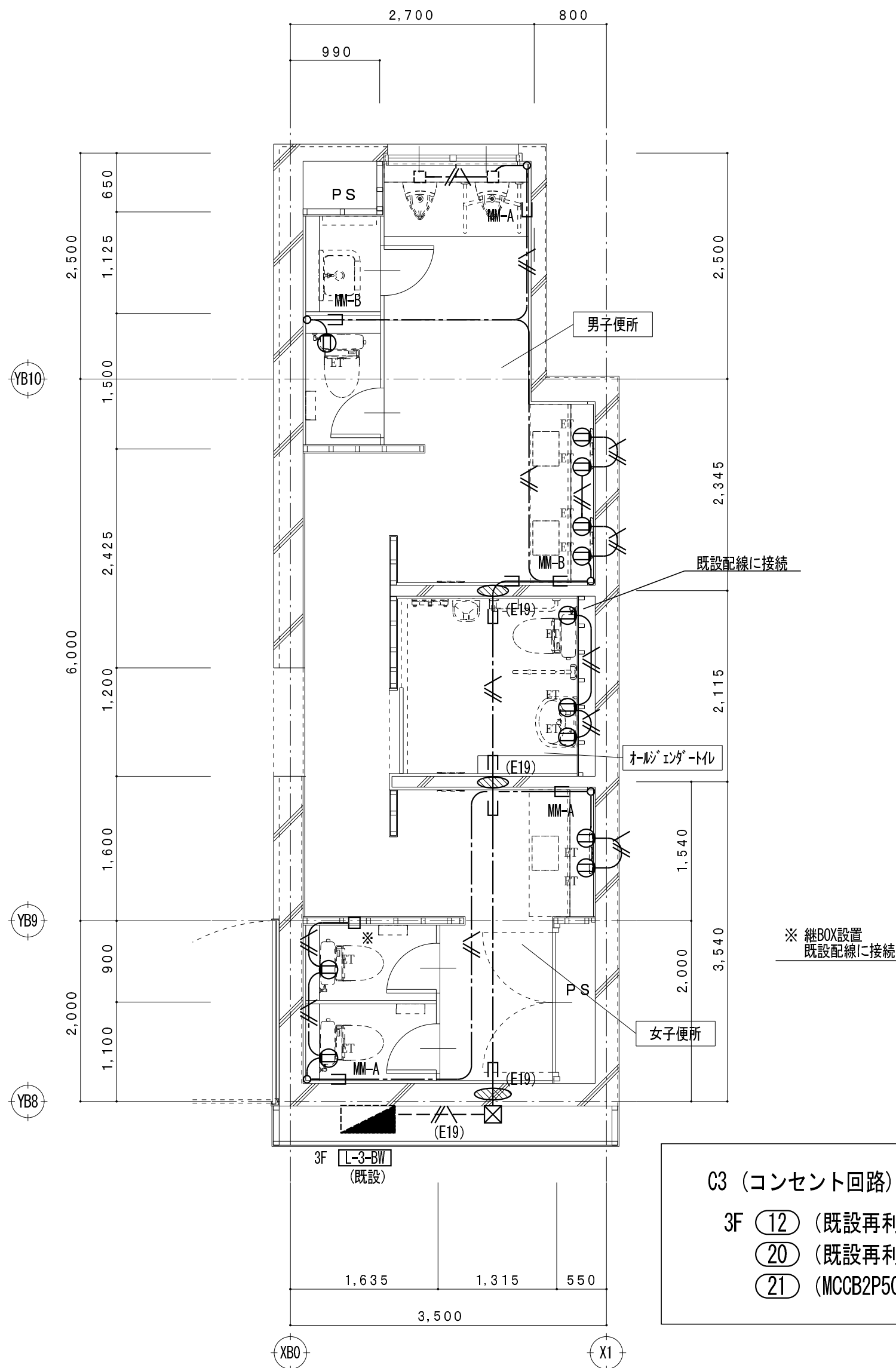
記 号	名 称
Ⓚ ^{ET}	埋込型スイッチ (接地端子付) 2P15Ax1
Ⓚ	埋込型スイッチ (接地端子付) 2P15Ax1
Ⓚ ^{ZET}	埋込型スイッチ (接地端子付) 2P15Ax2
☒	ブルボックス
■	電灯分電盤 (既設)
(再)	取外し再取付を示す

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管	
差 込 回 路	———  ———	EM-EEF 2.0-3C(1E)	(PF22)
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。			
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。			
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)			
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。			
配管配線種別			
—————	天井内隠蔽配管配線工事	—————	天井内ころがし配線工事
-----	床内隠蔽配管配線工事		露出配管工事
-----	ケーブルラック配線工事		



C3 3階平面詳細図 (改修前) S = 1/50 (撤去図)



C3 3階平面詳細図 (改修後) S = 1/50 (改修図)

C3 (コンセント回路)
3F (12) (既設再利用)
(20) (既設再利用)
(21) (MCCB2P50AF/20AT撤去し、ELCB2P50AF/20AT新設)

凡 例

記 号	名 称
Ⓚ	埋込型コンセント (接地極付) 2P15Ax1
Ⓚ ^{ET}	埋込型スイッチ (接地極接地端子付) 2P15Ax1
Ⓚ ^{ZET}	埋込型スイッチ (接地端子付) 2P15Ax2
☒	プルボックス
■	電灯分電盤
(再)	取外し再取付を示す

特 記 事 項

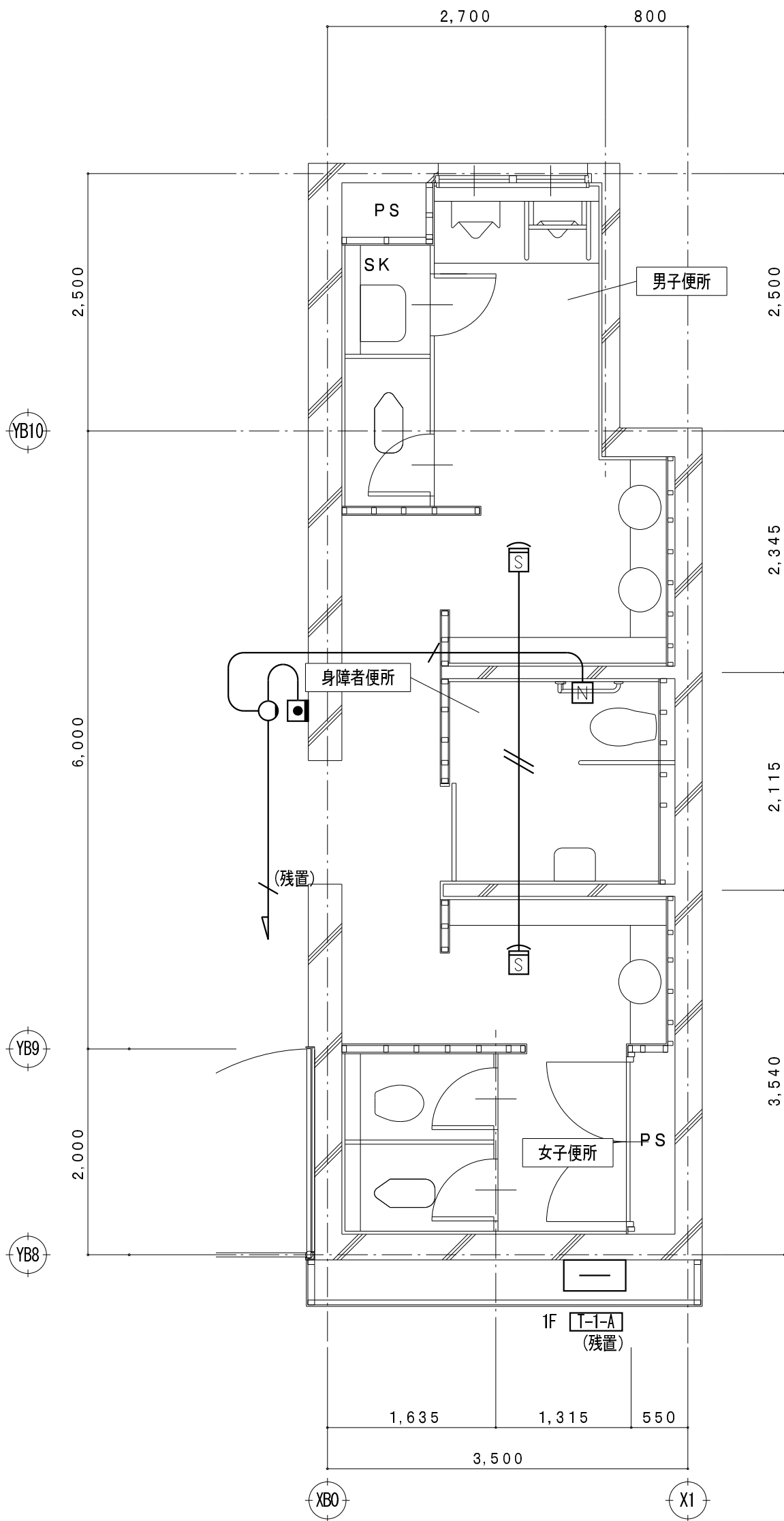
特記なき配管配線は下記とする。	保護管
差 込 回 路	
— // —	IV2.0x3 (PF16)
— // —	IV2.0x2 E2.0 (PF16)
— // —	IV2.0x4 E2.0 (PF22)
— / —	IV1.6x5 (PF22)
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。	
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。	
特記無き器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)	
配管配線種別	
———	天井内隠蔽配管配線工事
———	天井内ころがし配線工事
———	床内隠蔽配管配線工事
———	露出配管工事
———	ケーブルラック配線工事

凡 例

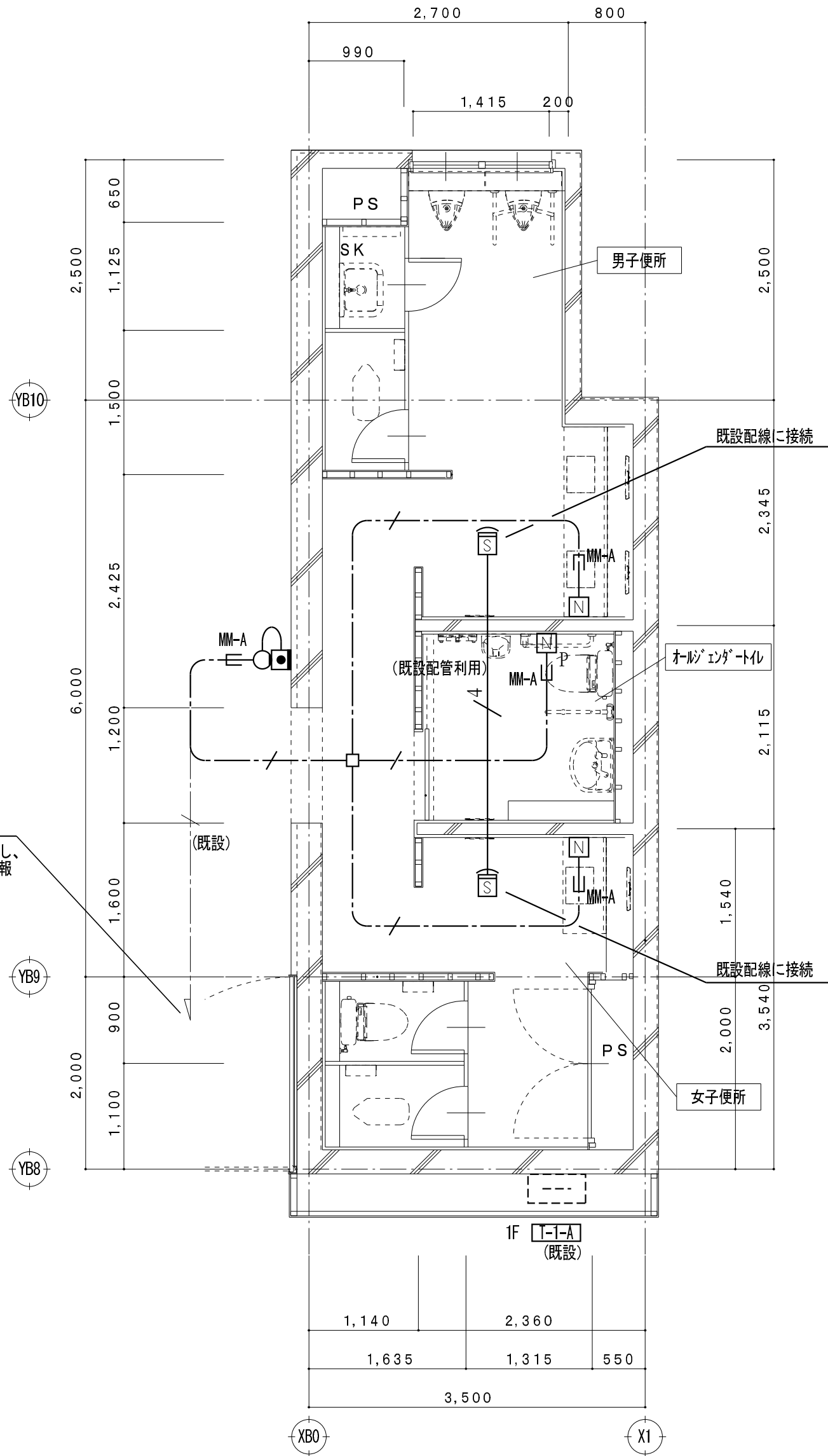
記 号	名 称
Ⓚ ^{ET}	埋込型スイッチ (接地端子付) 2P15Ax1
Ⓚ	既設コンクリート・床貫通を示す (防火区画貫通処理含む)
□	アウトレットボックス
□ ^{取付}	カバープレート取付
☒	プルボックス 鋼板製 150×150×150
■	電灯分電盤 (既設)
(再)	取外し再取付を示す

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。	保護管
差 込 回 路	
— // —	EM-EEF 2.0-3C (1E) (PF22)
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。	
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。	
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)	
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。	
配管配線種別	
———	天井内隠蔽配管配線工事
———	天井内ころがし配線工事
———	床内隠蔽配管配線工事
———	露出配管工事
———	ケーブルラック配線工事



C3 1階平面詳細図 (改修前) S = 1/50 (撤去図)

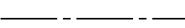
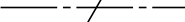
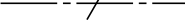
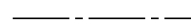
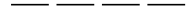


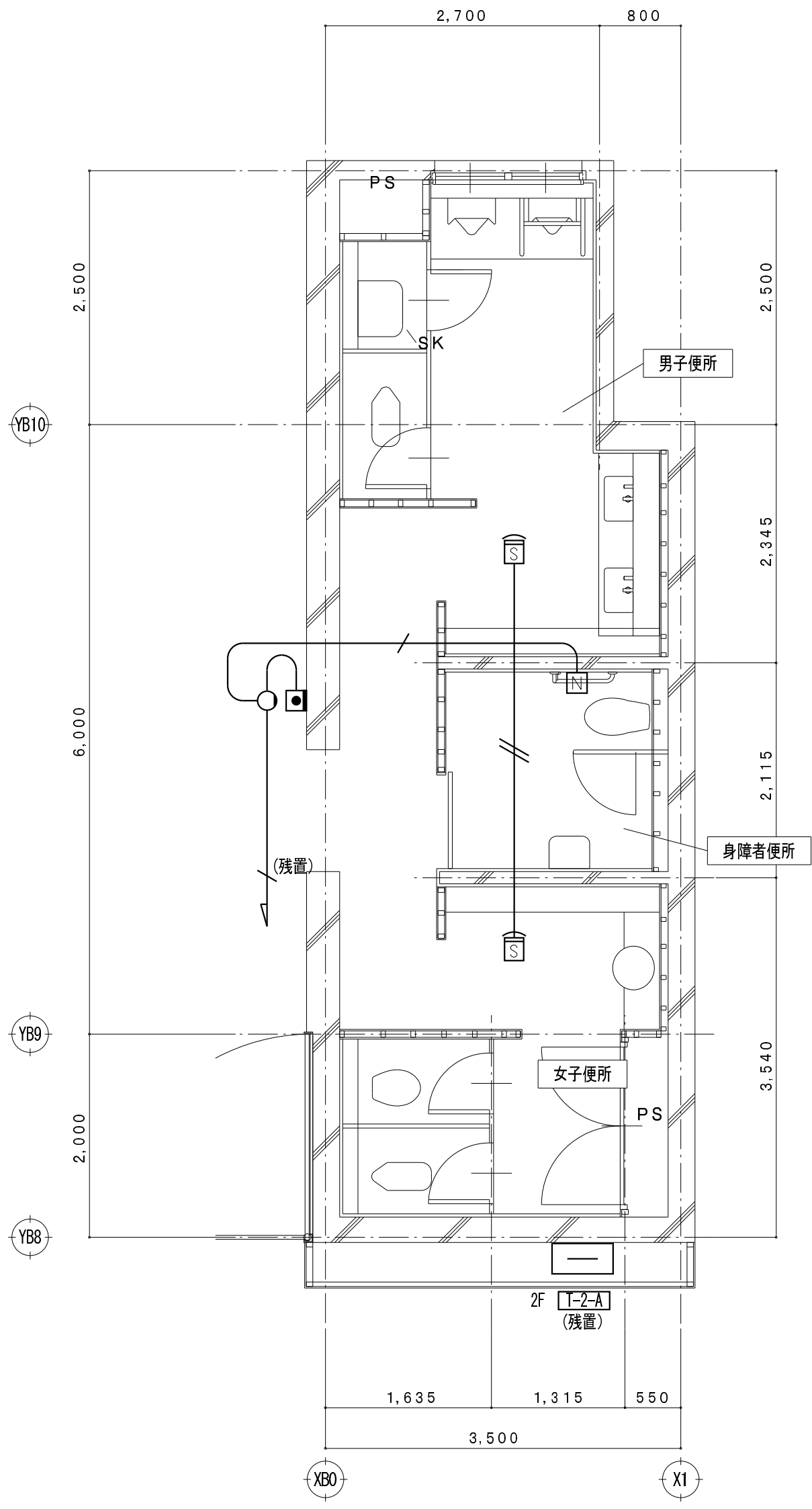
C3 1階平面詳細図 (改修後) S = 1/50 (改修図)

凡 例	
記 号	名 称
	トイレ用呼出押しボタン
	廊下灯
	復旧ボタン
	天井埋込型スピーカー 3W
	光電式スポット型感知器 非蓄積型 埋込型
	アウトレットボックス
	弱電端子盤
(再)	取外し再取付を示す

特 記 事 項		
特記なき配管配線は下記とする。		保護管
呼 出 回 路	 AE 1.2-2C	(PF16)
	 AE 1.2-3C	(PF16)
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
特記無き器具類、配管配線は全て撤去する。（打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。）		
配管配線種別		
	天井内隠蔽配管配線工事	 天井内ころがし配線工事
	床内隠蔽配管配線工事	 露出配管工事
	ケーブルラック配線工事	

凡 例	
記 号	名 称
	トイレ用呼出押しボタン
	トイレ用呼出押しボタン ひも付き
	廊下灯
	復旧ボタン
	通報用ボタン
	天井埋込型スピーカー 3W (SC601-3V3-M)
	光電式スポット型感知器 2種 非蓄積型 埋込型
	埋込型コンセント (接地極付) 2P15Ax2
	既設コンクリート・床貫通を示す (防火区画貫通処理含む)
	アウトレットボックス
	弱電端子盤 (既設)
(再)	取外し再取付を示す

特 記 事 項			
特記なき配管配線は下記とする。		保護管	
呼 出 回 路	 EM-AE 1.2-2C	(PF16)	
	 EM-AE 1.2-3C	(PF16)	
	 EM-AE 1.2-4C	(PF16)	
	 EM-EEF 1.6-2C	(PF16)	
二重天井内配線はケーブルころがし配線とする。			
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。			
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)			
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。			
配管配線種別			
	天井内隠蔽配管配線工事		天井内ころがし配線工事
	床内隠蔽配管配線工事		露出配管工事
	ケーブルラック配線工事		



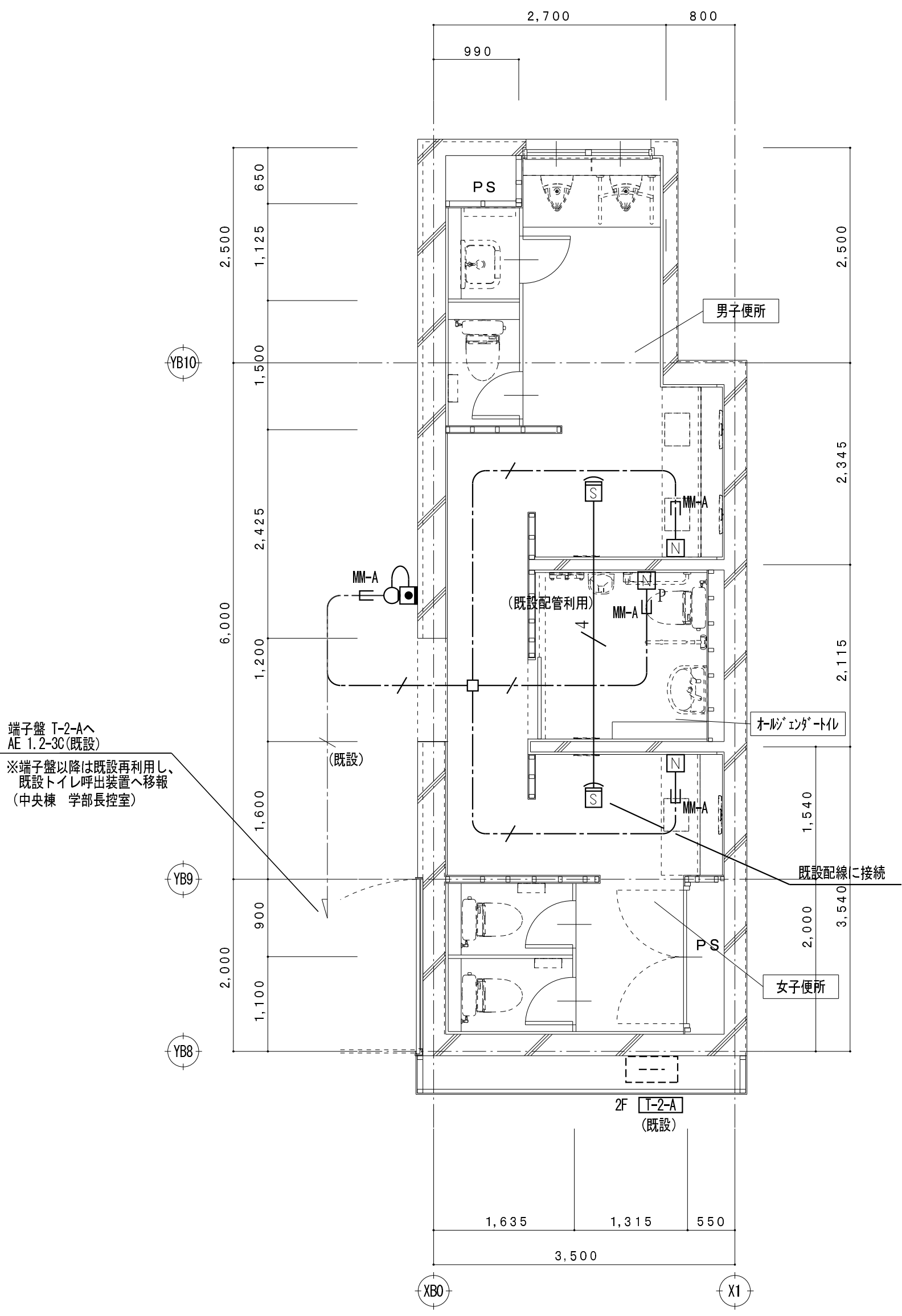
C3 2階平面詳細図 (改修前) S = 1/50 (撤去図)

凡 例

記 号	名 称
N	トイレ用呼出しボタン
○	廊下灯
■	復旧ボタン
⊙	天井埋込型スピーカー 3W
□	光電式スポット型感知器 非蓄積型 埋込型
□	アウトレットボックス
□	弱電端子盤
(再)	取外し再取付を示す

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管
呼 出 回 路	----- AE 1.2-2C	(PF16)
	---/--- AE 1.2-3C	(PF16)
二重天井内配線はケーブルころかし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
特記無き器具類、配管配線は全て撤去する。(打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。)		
配管配線種別		
-----	天井内隠蔽配管配線工事	----- 天井内ころかし配線工事
-----	床内隠蔽配管配線工事	 露出配管工事
-----	ケーブルラック配線工事	



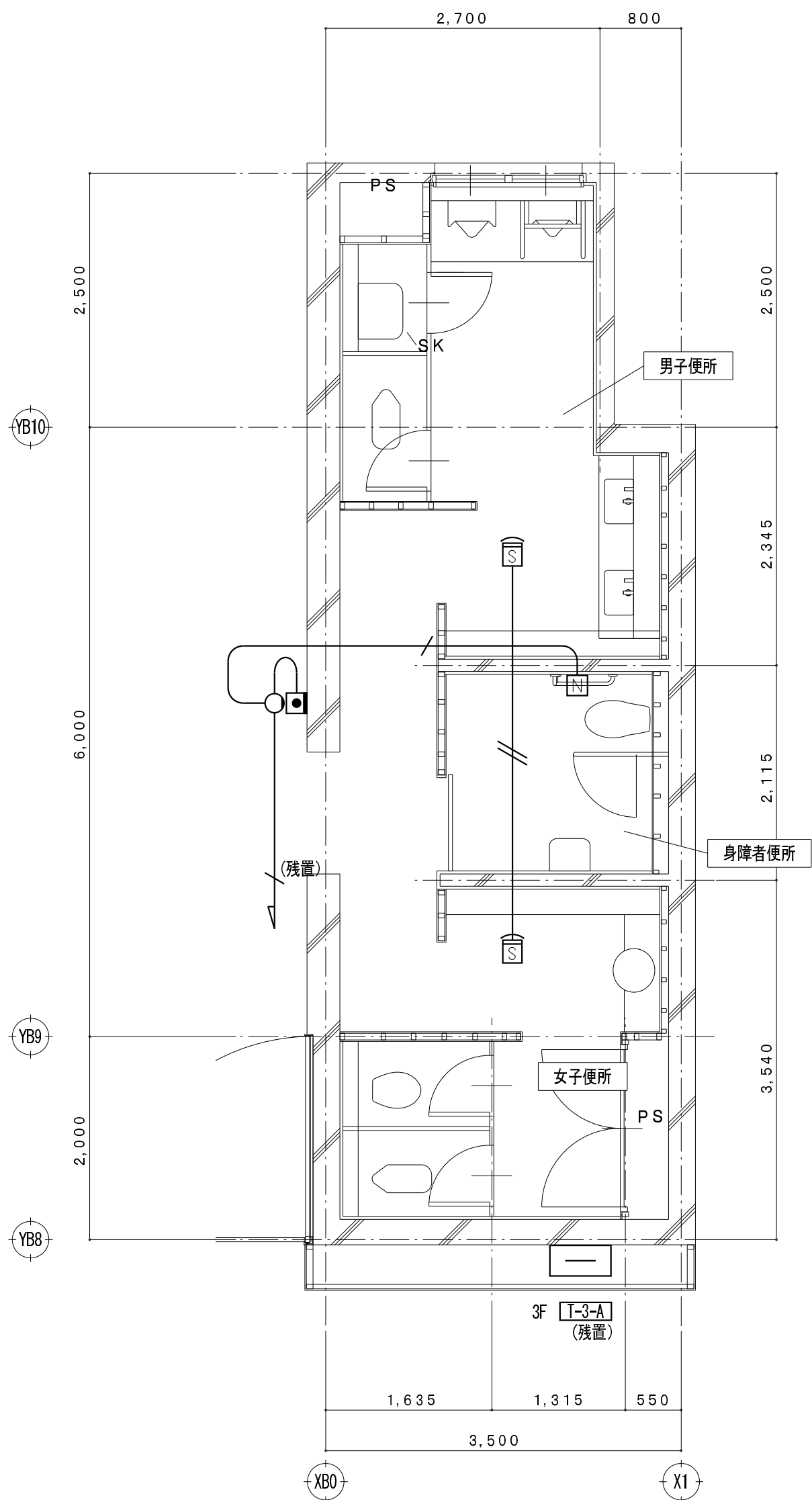
C3 2階平面詳細図 (改修後) S = 1/50 (改修図)

凡 例

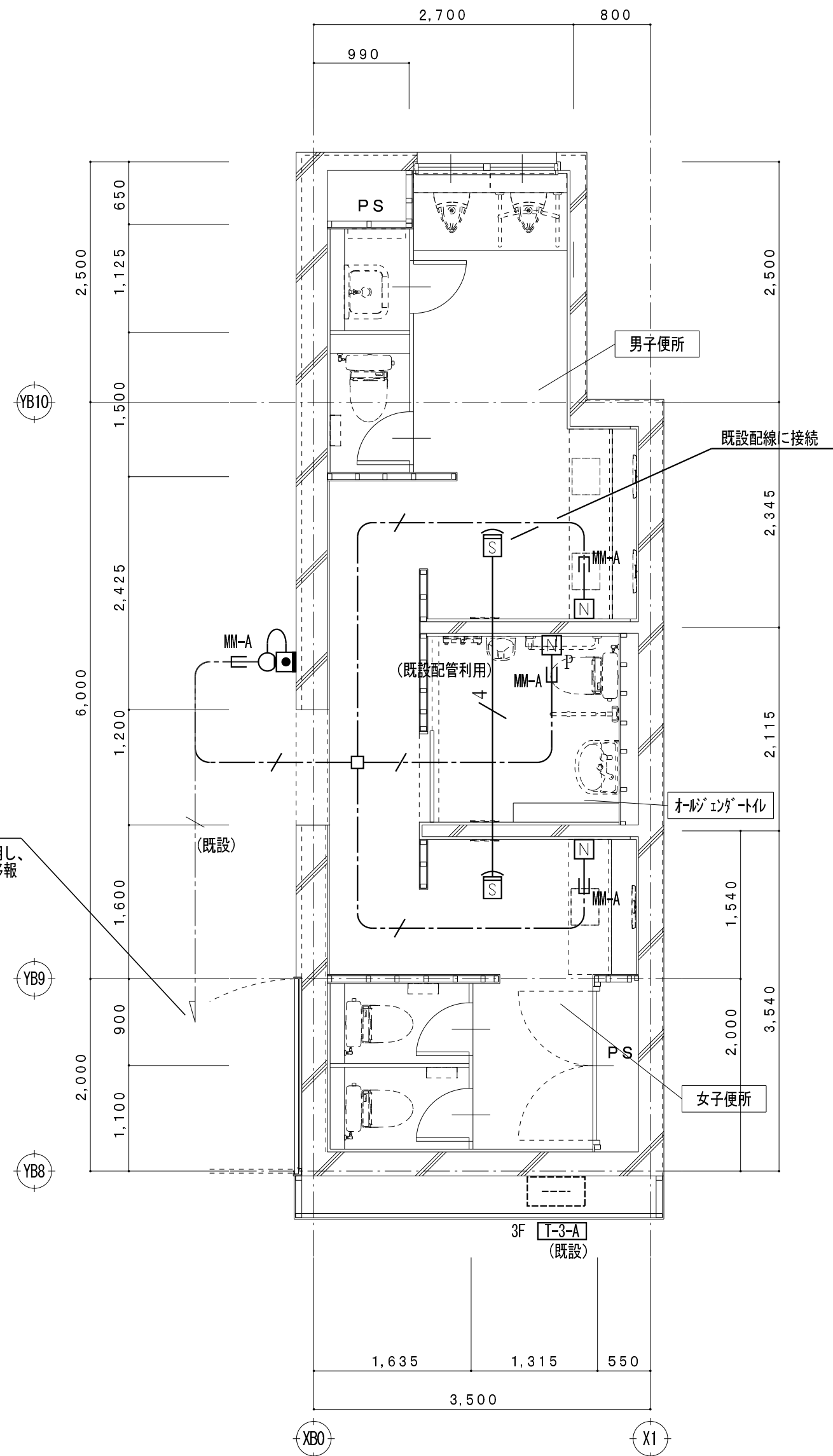
記 号	名 称
N	トイレ用呼出しボタン
Np	トイレ用呼出しボタン ひも付き
○	廊下灯
■	復旧ボタン
●	通電用ボタン
⊙	天井埋込型スピーカー 3W (SC6H1-3V3-M)
□	光電式スポット型感知器 2種 非蓄積型 埋込型
⊙	埋込型コンセント (接地極付) 2P15Ax2
⬭	既設コンクリート・床貫通を示す (防火区画貫通処理含む)
□	アウトレットボックス
□	弱電端子盤(既設)
(再)	取外し再取付を示す

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管
呼 出 回 路	----- EM-AE 1.2-2C	(PF16)
	---/--- EM-AE 1.2-3C	(PF16)
	---/--- EM-AE 1.2-4C	(PF16)
	---/--- EM-EEF 1.6-2C	(PF16)
二重天井内配線はケーブルころかし配線とする。		
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。		
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)		
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。		
配管配線種別		
-----	天井内隠蔽配管配線工事	----- 天井内ころかし配線工事
-----	床内隠蔽配管配線工事	 露出配管工事
-----	ケーブルラック配線工事	



C3 3階平面詳細図 (改修前) S = 1/50 (撤去図)

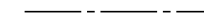
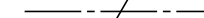
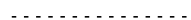
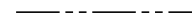


C3 3階平面詳細図 (改修後) S = 1/50 (改修図)

凡 例

記 号	名 称
	トイレ用呼出押しボタン
	廊下灯
	復旧ボタン
	天井埋込型スピーカー 3W
	光電式スポット型感知器 非蓄積型 埋込型
	アウトレットボックス
	弱電端子盤
	取外し再取付を示す

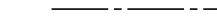
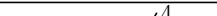
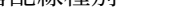
特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管	
呼 出 回 路	 AE 1.2-2C	(PF16)	
	 AE 1.2-3C	(PF16)	
二重天井内配線はケーブルこがし配線とする。			
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。			
特記無き器具類、配管配線は全て撤去する。（打込配管の場合はケーブル類のみ撤去とする。）			
配管配線種別			
	天井内隠蔽配管配線工事		天井内こがし配線工事
	床内隠蔽配管配線工事		露出配管工事
	ケーブルラック配線工事		

凡 例

記 号	名 称
	トイレ用呼出押しボタン
	トイレ用呼出押しボタン ひも付き
	廊下灯
	復旧ボタン
	通電用ボタン
	天井埋込型スピーカー 3W (SC6H1-3V3-M)
	光電式スポット型感知器 2種 非蓄積型 埋込型
	埋込型コンセント (接地極付) 2P15Ax2
	既設コンクリート・床貫通を示す (防火区画貫通処理含む)
	アウトレットボックス
	弱電端子盤 (既設)
	取外し再取付を示す

特 記 事 項

特記なき配管配線は下記とする。		保護管	
呼 出 回 路	 EM-AE 1.2-2C	(PF16)	
	 EM-AE 1.2-3C	(PF16)	
	 EM-AE 1.2-4C	(PF16)	
	 EM-EEF 1.6-2C	(PF16)	
二重天井内配線はケーブルこがし配線とする。			
壁内配線及び貫通部分はPF電線管にて保護すること。			
MM-A・B表記はメタルモールA型・B型を示す。(メタルモールボックス共)			
防火区画及び界壁貫通の場合は、建築設備・施工上の指導指針により施工すること。			
配管配線種別			
	天井内隠蔽配管配線工事		天井内こがし配線工事
	床内隠蔽配管配線工事		露出配管工事
	ケーブルラック配線工事		